# 2. 環境•安全

令和 3 年度事後評価	<u> 令和</u>	1	丰度 事務	事業	マネシ	ジメン	トシー	<b>ト</b> 令	<u>和 4 年 6</u>	6 月作成
事務事業名 環境審議会運営					所属部	環境下水	道部	課長名	横塚 浩-	-
政策名 環境・安全					所属課	環境対策	課	係名	環境推進	係
施策名 持続可能な環境の	保全				予算科目	会計 1	款 4	項 1	目 6	事業 2番号 2
基本事業名環境に配慮した活動	動の推進			形態 <sub>選択可)</sub>	全部	<b>『委託</b>	一部委託	補助・	助成	連携∙協働
事業期間 単年度繰返 平成7年度~		根拠 よ令等	<u> </u>	去第4	4条、立川市	市環境基本	条例第18	条		
□ 市長公約 □ □   主要施策 □ 1 現状把握の部(1)事務事業	<u></u> との概要・	目的	 ・結果・活動・成	果						
①事業概要	⑤対象				H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
環境基本計画の進行管理など 市の環境施策について専門的	ア委員会	 汝		人	13	13	13			
な意見をいただく。	1									
	ウ									
		比描		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
0 - 11	⑥活動:				実績	実績	実績	計画	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)環境審議会委員に、環境基本	ア開催			回	5	1	3			
計画の進行管理について意見	イ答申	汝		件	2	1	1			
をもらい、施策に反映する。	ウ						20 5 5			50 to the
	⑦成果:	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア答申録	案件数	女	件	2	1	1			
計画の進行管理を通じて、「人と自然を育み住みやすさを創るまち」を実現する。	イウ									
					山の4左座	DO左座	DO 左连	D.4 左连	DE C E	DC/T/F
	(2)事美	€の=	コスト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
・環境ブックによる環境基本計画の点検・評価		財源	都支出金	千円	0	0	0	0	~	0
・エコチャレンジ事業参加者の	1	内	地方債 その他	千円 千円	0	0	0	0	ŭ	
表彰対象者の審査	事業	訳	一般財源	千円		96	272	230		0
	費	3	事業費計(A)	千円	441	96	272	230		0
			予算額(B)	千円	679	340	273	_	_	
		_	执行率(A)/(B)	%	64.9%	28.2%	99.6%	_		_
	② 人		数(正規   月給   時給) 正規職員分	人 千円	1,710	0.25 0.00 0.00 2,250	3,600	3,600	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	件			十円	0	0	0,000	0	0	0
	費	,	人件費計(C)	千円	1,710	2,250	3,600	3,600	0	0
	3	総事:	業費(A)+(C)	千円	2,151	2,346	3,872	3,830	0	0
2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・()	2.改革•改	盖•(	3)課題•反省占)		改善	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	]ot:	(2)事業	美の方針	
※課題の有無 ア・日的平当性					工:公平性					スト
(事業の成果)									削減維	持 増加
環境基本計画の進捗管理を行うた、令和3年度から新たな指標と										
議を行った。	5 0 EM/2(2)			()) <b>(</b> ,)	or end of	п ш / 2 / 2 (		成維持		
								低		
								下 (廃止・	休止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革	- 改善案	等)						())(311.	. —	. , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
たちかわし環境ブックについて、 務事業編)の改定に伴い、たちか	引き続き認	間を					や立川市は	也球温暖化	公対策実行	計画(事
1977 中 木/附 / マノ以及では下 V · 、/ こり//	いい状況	- 77	▽/   竹//人 寸 (C ) / '	(田中	txiv /L/L\o	)				

令和 3 年度事後評価				度 事務		マネシ	ジメン	トシー	<b>卜</b> 令	和 4 年	6 月作成
事務事業名 環境啓発事業(環 途評価)	境フェ	ア実	行委員	員会補助金	をは別	所属部	環境下水	道部	課長名	横塚 浩	<u> </u>
政策名 環境・安全						所属課	環境対策	課	係名	環境推進	係
施策名 持続可能な環境の	)保全					予算科目	会計 1	款 4	項 1	目 6	事業 4 番号
基本事業名環境に配慮した活動	動の推進	隹			実施形態	全音	<b>多</b> 話	一部委託	補助	·助成 🗸	連携・協働
事業期間 単年度繰返		柝	見拠	立川市	環境基本	:条例、立/	川市第2次	環境基本語	十画		
平成18 年度~       市長公約     主要施策	年度		令等								
1 現状把握の部 (1)事務事業	L 業の概項	更・目	的・糸	<u></u> 吉果·活動·	· 成果						
①事業概要			の推			H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
地球規模から身近なものまで幅 広く環境問題への関心・意識を	ア市	民(1	月1日	現在)	人	184,090	184,577	185,124			
高めてもらうために、①たちかわし環境ブックの作成・配布、②緑	<b>イ</b> 幼	稚園	·認可 <sup>/</sup>	保育園	施設	48	47	47			
のカーテン用の種・土の配布や 苗作り、③再使用可能な食器(く	ウ小	学校	<ul><li>中学</li></ul>	 校	施設	28	28	28		1	
るりん食器)の貸出し、を行う。	⑥活:	動指	標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	アた	ちかれ	つし環	 境ブック作成	対 冊	<del>文</del> 模		250	пш	пе	пш
市民や事業者、団体等が環境意識を高める機会を持ち、環境				用苗作りに参 等施設数	施設	29	25	27			
に配慮した生活や行動を実践				団体数	団体	48		1			
する。	⑦成:	果指	標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	アた	ちかれ	つし環	境ブック配布	数 冊	240	215	214			
市民や事業者等との協働を促し、低炭素まちづくりの実現、水				用苗作りに参 苗作成数	株	1,459	1,304	1,267			
と緑の保全、生活環境の確保に			出枚数		枚	23,410	390	1,140			
つなげる。	(2)	事業の	のコス	<b>(</b> }	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)				国庫支出	金千円	天順 ()	<del>天</del> 順	<del>天</del> 頓			
①たちかわし環境ブックの作	1		財	都支出金		0	0	0	(	0	
成。特集記事は、再生可能エネルギー」。	(-		源一	地方債	千円	0	0	0	(	0	0
②保育園や小中学校等に対し	=		内 訳	その他	千円	500	940	450	400	0	0
て、緑のカーテン用の種と土を	当	<b>*</b>		一般財源	千円 千円	568	213	132	760	0	0
配布した。本庁舎に緑のカーテン種ボックスを設置し、種を回収		<b>₹</b> -	事	業費計(A)	千円	1,068	1,153	582	1,160	0	0
し、環境対策課窓口で配布し			予	·算額(B)	千円	1,101	1,217	1,155	_	_	_
た。 ② <b>T</b>			執行		%	97.0%	94.7%	50.4%	_	_	_
③再使用食器の貸出しを通して、温暖化防止・ごみ減量の啓		2) 耶	就員数		時給) 人	0.32 0.00 0.00	0.33 0.00 0.00	0.35 0.00 0.00	0.35 0.00 0.0	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
発活動を目指したが、新型コロ	_			規職員分	千円	2,880	2,970	3,150	3,150	0	0
ナウイルス感染症の影響でイベ		.` ⊨	計年	度任用職員		0	. 0	,	,	0	0
ントが中止となり、利用がほぼなかった。				牛費計(C)		2,880	2,970	3,150	3,150		
// <sup>40</sup> // <sub>Co</sub>		②終		<u>+ 負品(0)</u> 費(A)+(C		3,948	4,123	3,732	4,310	+	
L		<b>O</b> 140	チズ	<b>貝(ハ) 1 (C</b>	//   I I J	0,040	7,120	0,102	4,010		U
(1)全体総括(①事業の成果・(	2)改革・	·改善	<b>*</b> (3)	課題•反省	点)	改善改善	きや見直しを図	引った	(2)事	業の方針	
※課題の有無 アー目的妥当性			カ性「			エ:公平性		の他レ			スト
(課題がある場合にと) (事業の成果)	^	· H X	) IT	ノ. 別年	-1 <b>T</b>	<b>一. 五十</b> 庄					持 増加
(事業の成業)  環境ブックは、指標や取組を記載	載し、環境	境基	本計画	画の施策の:	進行管理	ツールとし	て作成、西	己布、情報	向		
発信することができた。また、緑の	つカーテ	ンの	取組	ま、密になら	らないよう	対策しなが	ら、保育園	や小中学	上		
校等で苗作り、緑のカーテン作りができた	に取り糺	且むこ	ことがっ	でき、温暖イ	ヒ防止や村	直物の生育	育体験につ	なげること	成 維果 持		)
ができた。 (課題・反省点)											

なかった。今後はイベント以外での利用など対応を検討する必要がある。

①たちかわし環境ブックは、環境基本計画の進行管理をするための報告書であり、広く市民に環境に関心を持ってもらうように、時宜に合わせた特集記事を引き続き作成する。第2次環境基本計画の中間見直し後、計画内容にあわせて構成や指標の掲出方法などの修正を行う。②緑のカーテン用の土・種の配布、苗作りは、作成した苗の地域への配布など波及効果が大きい事業であり、今後も継続していく。

再使用可能な食器の貸出しは、新型コロナウイルス感染症の影響でイベントが中止となり、利用がほぼ

下

(廃止・休止の場合は記入不要)

令和 3 年度事後評価	令	和~	4 年	度 事務	事業	マネシ	<b>ジメン</b>	トシー	<b>卜</b> 令	和4年(	6 月作成
事務事業名 環境啓発事業(環							環境下水		課長名	横塚 浩-	
政策名 環境・安全						所属課	環境対策	課	係名	環境推進	
施策名 持続可能な環境の	)保全	<u> </u>				予算科目	会計 1	款 4	項 1	目 6	事業 番号 4
基本事業名 環境に配慮した活動	助の扌	<b></b>			<b>を形態</b>	全部	『委託 ▶	一部委託	✔ 補助・	助成	連携∙協働
事業期間 単年度繰返	5 pts		根拠	立川市環境	境基本						
平成19 年度~ 市長公約 主要施策	年度		去令等	立川巾塚江	覚ンエ.	ア実行会員	員会補助金	:交付毀裥			
1 現状把握の部(1)事務事業	美の村	既要•	目的・	ニュー 結果・活動・成	果						
① <b>事業概要</b> 市民・事業者・市の協働で実施	5	対象	数の推	<u></u> 養移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
している環境フェア実行委員会に対して、補助を行い、環境に	ア	市民(	(1月1	日現在)	人	184,090	184,577	185,124			
配慮した生活の普及促進を目	1	環境	フェア出	出展団体	団体	15	_	_			
指して、地球規模から身近なも のまで幅広く環境問題への関心	ウ										
を深めてもらうためのイベントを開催する。		活動技	指標		単位	H31年度	R2年度 宝績	R3年度 宝績	R4年度	R5年度	R6年度
刑催する。 ②目的(対象をどのような状態にしたいのか)		環境に	フェア実	実行委員会・分科		<b>実績</b> 4	<b>実績</b>	実績の	計画	計画	計画
環境フェア実行委員会が環境	-		開催回	<u>数</u> Dポスター作成数	1			_			-
フェアを開催することで、来場者	-				1						
や出展者が環境意識を高め、 環境に配慮した生活を実践する	-			Dチラシ作成数 	枚	H31年度		— R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
機会となる。		成果技			単位	実績	実績	実績	計画	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア	環境に	フェアオ	<b></b>	人	5,000	_	_			
市民や事業者等との協働で環境フェアを行うことにより、温暖	1										
化防止や水と緑の保全、生活環	ウ										
境の確保につなげる。	(2	2)事訓	業のコニ	スト	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
④令和3年度実績(事業活動)	,			国庫支出金	千円	<b>実績</b> ()	実績	<b>実績</b> ()	計画 ()	計画 ()	計画 0
令和2年度に引き続き、令和3			財	都支出金	千円	0	- v	0	0		
年度も環境フェアの開催中止を 決定し、2年続けての中止となっ		1	源	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
てしまった。令和4年度の開催		事	訳	その他	千円	400	0	0	0	0	_
に向け、新型コロナウイルス感染症への対応方法を検討した。		業費		一般財源	千円	77	0	0	650	0	Ů
N/100 - 1/1/10 / 10   10   10   10   10   10		, ,		禁費計(A)	千円	477	700	700	650	0	0
				予算額(B)  .行率(A)/(B)	千円 %	700 68.1%	700 0.0%	700 0.0%		_	
		(a)		<b>数</b> (正規   月給   時給)					0.33 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
		② 人	-	E規職員分	千円	3,600	2,520	2,970	2,970	0	_
		件	会計组	年度任用職員等	千円	0	0	0	0	0	0
		費		、件費計(C)	千円	3,600	2,520	2,970	2,970	0	
2 評価の部	]	(3)	総事業	美費(A)+(C)	千円	4,077	2,520	2,970	3,620	0	0
(1)全体総括(①事業の成果・②	2)改.	革∙改	善。③			改善	∮や見直しを図	つた	(2)事業	美の方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性		_	_	<b>✓</b> ウ:効率性		工:公平性	オ∶そ	の他			スト
(事業の成果)	P2.L.	· ~ /r=		·- !! >- ###1	- 98 /	→ ↓ , , ,	·		一向	削減 維	持増加
新型コロナウイルス感染症の拡大 となった。	に防止	:の観	点から	ɔ、10月に変更し	ノて開作	崔予定だっ	た環境フェ	アは甲止	上		
(課題・反省点)	⊁₋ ≒ <del>U</del> ™	いてすべ	ادا دا ~	<b>ブ</b> いてぶ	احصا	ふ フェラ南	沙山中の村	上叶山の知	成維果持		
環境フェアでは、体験型の内容を 点から、イベント自体が実施する					<u>, பப</u>	ワイルへ忍	終症の拡	不)り止い電	低		
									(廃止・	 休止の場合に	+記入不要)
L (3)今後の事業の方向性(改革	≦∙改	善案	等)						(//1.11-	МПС > 2/1/2 ГГ .	<b>5</b> 記/ <b>、</b> ) ス/
環境フェアのテーマやコンセプト	は、珍	環境フ	アエア実						と図ることを	目的とした	環境啓発
イベントとして継続して実施してい	1	新型ニ	コロナウ	フイルスへの対応	ぶを考慮	煮して、開	催方法を検	計する。			

令和 3 年度事後評価	<u>令和</u>	<u>4</u>	<u> </u>	<u>事業</u>	<u>マネシ</u>	<b>ジメン</b>	<u>トシー</u>	<b>卜</b> 令	11 4 年 (	6 月作成
事務事業名 温暖化対策事業(	温暖化防	止啓	発)		所属部	環境下水	道部	課長名	横塚浩	<del>-</del>
政策名 環境・安全					所属課	環境対策	課	係名	温暖化対	策係
施策名 持続可能な環境の	保全				予算科目	会計 1	款 4	項 1	目 6	事業 番号 5
基本事業名 環境に配慮した活動	動の推進			形態 <sub>選択可)</sub>	全部	<b>『委託</b>	一部委託	補助•	助成	連携·協働
<b>事業期間</b> 単年度繰返 平成25 年度~	年度	根拠 法令等		竟基本	条例					
	0									
1 現状把握の部 (1)事務事第 ①事業概要										
温暖化防止のための啓発活動	⑤対象	数の打	生移 ————————————————————————————————————	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
により温暖化対策の一層の普及 啓発を推進し、環境に配慮した	ア市民	(1月1	日現在)	人	184,090	184,577	185,124			
生活の普及定着を目指す。温	イ事業	所数(約	圣済センサスより)	所	9,905	9,905	9,905			
暖化対策の周知啓発や市内小学校等において環境リーダーと	ウ									
連携した講座、イベントでの温暖化対策の啓発を行う。	<b>⑥活動</b>	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア温暖	——— 化対策	<b>B</b> P P P P P P P P P P P P P P P P P P P	回	1	0	0			
環境意識が向上し、環境に配慮	イル温暖	化対策	音及啓発イベン	回	2	0	0			
した生活を実践する。			広報活動実施数	□	2	1	1			
	⑦成果	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア温暖数	化対策	商発講座参加人	人	<del>天</del> 根 72	<b>天</b> 根 ()	<b>天</b> 根 ()	前四		
市民・事業者の省エネルギー意	/ 温暖	化対策 叩人数	音及啓発イベン	人	273	0	0			
識が向上し、多くの事業所において省エネルギー行動が実践さ	ウ	山八								
れている状況。					H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	(2)事	業の=	スト	単位	実績	実績	実績	計画	計画	計画
④令和3年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
・夏季における節電啓発として、「家庭で取り組む立川市夏の節		財源	都支出金	千円	0	0	0	0	0	0
電対策」をホームページや広報	1	内	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
に掲載し周知、啓発を図った。 ・省エネ普及啓発や打ち水のイ	事業	訳		千円	0	0 21	0	0	0	
ベントは、新型コロナウイルス感	費		│ 一般財源 事業費計(A)	千円	10	21	0	15 15	0	0
染防止を考慮して実施しなかっ た。			予算額(B)	千円	75	40	15	—	_	_
		载	九行率(A)/(B)	%	13.3%	52.5%	0.0%	_	_	_
	2	職員	数(正規   月給   時給)	人	0.30 0.20	0.30 0.20	0.30 0.20	0.30 0.20 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	Ž		正規職員分	千円	2,700	2,700	2,700	2,700	0	0
	件   費		年度任用職員等		700	840	840	840	0	0
			人件費計(C)	千円	3,400	3,540	3,540	3,540	0	0
	(3)	総事	業費(A)+(C)	千円	3,410	3,561	3,540	3,555	0	0
(1)全体総括(①事業の成果・②	2)改革•改	7善.(3	3)課題・反省点)		改善	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<b>国った</b>	(2)事業	の方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性			<b>レ</b> ウ:効率性		工:公平性	オ:そ	·の他		Π,	スト
(事業の成果)	t _ Ł ベ		- 5日 の 見く組N1ァ トロ・	お歩き、	此会』と			向	削減 維	持 増加
令和3年度は1校から申し込みがる 今後とも温暖化対策を実施するこ							6	上		
(課題・反省点)								成 集 持		
温暖化対策は、市民・事業者に対	いして周知			、巾氏	・ 争来石と	ツ連携を	史に独化し			
て、温暖化防止への意識の醸成		るよう耳	対組んでいく。					低下		

温暖化防止活動を推進していくことが必要であることから、教育委員会、小学校、PTA,子ども会、自治会等のほか、市内各種団体、事業者との連携するとともに、イベントなどでの啓発を行うことで浸透を図っていく。 また、日や都の動向にも注視しつつ、取組むべき施策を検証するとともに、関連団体等との連携を強化し、より効果的な啓発活動を立

案、実行していく。

令和 3 年度事後評価	令和	] 4	1 左	F度	事務	事業	ミマネシ	ジメン	トシー	<b>卜</b> 令	11 4 年 6	3 月作成
事務事業名 温暖化対策事業(	中小企	)業(	CO2	排出	量削減事業	<b>美</b> )	所属部	環境下水	道部	課長名	横塚 浩-	<b>→</b>
政策名 環境・安全							所属課	環境対策	課	係名	温暖化対	策係
施策名 持続可能な環境の	保全						予算科目	会計 1	款 4	項 1	目 6	事業 番号 5
基本事業名 環境に配慮した活動	動の推	進				を で で で で で で で で で で で で で	✔ 全部	<b>『委託</b>	一部委託	補助・	助成	連携•協働
事業期間 単年度繰返 平成21 年度~	年度		根拠		立川市環境 東京都区市		く 「その連携」	こよる地域!	環境力活性	生化事業実	施要綱	
ハルス・コンド	0			-	<b>'7 = 1</b>	_						
1 現状把握の部 (1)事務事第 ①事業概要					•沽虭•风				50 to the			
市内中小企業のCO2排出量削			数の			単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
減を推進するため、商工会議所と連携し、市内事業所の省エネ	ア事	事業月	<b>沂数(</b> ;	経済セ	ンサスより)	社	9,905	9,905	9,905			
対策に関する施策の立案、啓発活動や情報提供などを行う。	1											
位野で情報症状などを打り。	ウ											
	6 注	動技	指標			単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)			ミユニ	ニティ特	別委員会	□	<b>夫</b> 根 4	<b>夫</b> 根 3	<b>大</b> 根	可凹	可凹	可凹
中小事業所の省エネ改修による	I)F	昇催 野倍:	\\\\ <del>\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\</del>	ミジウム	等参加者	人		78	81			
CO2排出量削減効果を、身近な道へ東海はステス		下がし イ	· / //		子参加名	八		10	01			
な導入事例として周知啓発する ことで、他の事業所に波及させ	ウ						H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
る。		集技		1-7 h		単位	実績	実績	実績	計画	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	7 3	江案			ョンプラン	本	8	8	8			
市内事業者の省エネルギー意識の向上が図られ、より多くの事	11.	P長其 §手	明活重	カアクシ	ョンプラン	本	6	6	6			
業所において省エネルギー行動が実践されている状況。		当エネ	<b></b>	§事例幸	股告配布	枚	5,000	5,000	5,000			
	(2)	事業	€の=	コスト		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)					車支出金	千円	0	0	0	0	0	0
・立川モデル創出のため、産学 官連携事業として近隣大学等と			財源		支出金	千円	0	0	0	0	0	0
連携したプレゼンプロジェクトに		1	内	_	也方債	千円	460	500	500	500	0	0
は3校から応募があった。 ・優良事例発表を含む環境シン		事 業 	訳	-	その他 ·般財源	千円	460	500	500	500	0	0
ポジウムを開催した。 ・会員企業約3,000社を含む市		費			計(A)	十円	920	1,000	1,001	1,001	0	0
内事業所に対し、省エネ対策を		-		予算額		千円	1,000	1,000	1,001	_	_	_
含む報告書を作成し配布をした。			幸	丸行率	(A)/(B)	%	92.0%	100.0%	100.0%	_	—	—
700		2			月給   時給)	, ,					0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
		人 件 			战員分 E用職員等	千円	2,700	2,700	2,700	2,700	0	0
		費			t用職貝寺 計(C)	千円	700 3,400	3,540	3,540	840 3,540	0	0
		(3) <sub>f</sub>			A)+(C)	千円		4,540	4,541	4,541	0	0
2 評価の部		0 1	,		, , , , , ,		_,	_,	_,	_,		
(1)全体総括(①事業の成果・②								きや見直しを図 		(2)事業	きの方針	
※課題の有無 (課題がある場合によ) ア:目的妥当性		イ:有	効性	V	ウ:効率性		工:公平性	オ:そ	の他		削減 維	
(事業の成果)  市内中小企業における省エネ対	策が推	進	∠, C0	02排と	出量が減少	した。				向	口 1//火 下任	1-1 - 1-11
(課題・反省点)							いかロフィラ	ハマ キロ	本十人学	<u> 上</u>   成 維		
民生業務部門の低炭素化につな 所との更なる連携による中長期的							い組みにつ	$\mathcal{N}_{A}(\mathcal{C},\overline{\mathcal{M}})$	尙上宏議	'    果 持		)
										低下		
										(廃止・	休止の場合に	ま記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革												
民生業務部門からの温室効果ガ都市においては、経済成長と低原												
都用においては、栓消放長と低原   策を推進することはいとし、計画												

民生業務部門からの温室効果ガス削減は、国・東京都においても東重要課題のひとうとなっている。本市のような商業集積が進んだ都市においては、経済成長と低炭素化の両立が必須要件であることから、市内事業所を東ねる立川商工会議所と連携して短期的施策を推進することはもとより、計画している中長期的施策を確実に実施していく必要性がある。今後も継続して、市民や事業者、大学等との連携を強化し、より多くの市民、事業者が温暖化防止に取り組む割合を増加させる。立川商工会議所や近隣大学などとの連携事業に継続して取り組んでいく。

事務事業名			止未'		排出量削減事	<b></b>	所属部	環境下水	道部	課長名	横塚 浩-	-
政策名	環境·安全	<u>,</u>					所属課	環境対策	課	係名	温暖化対	策係
施策名	持続可能な環境の	(保全	<u>.</u>				予算科目	会計 1	款 4	項 1	目 6	事業 5番号 5
基本事業名	環境に配慮した活動	動の丼	推進			<b>地形態</b>	全部	<b>『委託</b>	一部委託	<b>✓</b> 補助・	助成	連携•協働
事業期間	単年度繰返			根拠	立川市環:		本条例				<u> </u>	
	平成22 年度~	年度	7	去令等	₹   立川山山中/						補助金交付	寸要綱
市長公約 1 現状把据	主要施策  を   全の部 (1)事務事業	O ŧ O #	坪亜.	日的	. , . , . , . , . ,		「との連携に	こよる地域	環境力活性	E化事業実	施要緔	
①事業概要				<del>ロロ</del> 数の打			H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	業のCO2排出量削							RZ 牛皮	パン十尺	R4+皮	RO千皮	RO千皮
	るため、省エネル の誘導と診断に基	ア	事業原	折数(紅	経済センサスより)	社	9,905	9,905	9,905			
づく省エネ改	(修にかかる経費の	1										
一部を補助っ	する事業を行う。	ウ										
		<u>6</u>	活動	 指煙		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
<u> </u>					Nur +/\ +- \ \ +- \ \ \ .		実績	実績	実績	計画	計画	計画
	どのような状態にしたいのか)				- ネ診断斡旋数	件	7	7	7			
	の省エネ改修による 削減効果を、身近	1	省エス	ネ改修	費補助件数	件	7	5	4			
な導入事例と	として周知啓発する	ウ										
ことで、他の事	事業所に波及させ	7	成果	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
	うな結果に結び付けるか)	ア	省エス	えみ修	補助CO2削減量	t-	22	<del>天</del> 根 13	<del>天</del> 根 7	前凹	前凹	前凹
	の、省エネルギー意		Н	19/19	1110010011110011	co2						
識が向上し、	省エネ・再エネ等	1										
の機器・設備  る状況。	<b>前の導入が促進され</b>	ウ										
		(2	)事業	業の⊐	スト	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
			, , , ,		•	— I	実績	実績	実績	計画	計画	計画
④令和3年原	度実績(事業活動)	) 	, , ,		国庫支出金	千円	<b>実績</b> 0	<b>実績</b> 0	<b>実績</b> ()	計画 0	計画 0	計画 0
本事業は「東	京都区市町村連		, , , ,	財			2 1121					
本事業は「東携による地域	京都区市町村連 成環境力活性化事			財源	国庫支出金	千円	0	0	0		0	
本事業は「東 携による地域 業」実施要綱 定する事業メ	京都区市町村連 環境力活性化事 個に基づき、都が指 パニューであり、東京		① 事	財	国庫支出金都支出金	千円 千円 千円 千円	0	0	0	0	0	0
本事業は「東 携による地域 業」実施要綱 定する事業メ 都環境確保約	京都区市町村連 球環境力活性化事 間に基づき、都が指 ベニューであり、東京 条例におけるCO2		① 事 業	財源内訳	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源	千円 千円 千円 千円	0 0	0 0	0 0	0 0 0 3,000 3,005	0 0 0	0 0
本事業は「東 携による地域 業」実施要綱 定する事業メ 都環境確保 排出量削減 小企業のCO	京都区市町村連 環境力活性化事 側に基づき、都が指 ペニューであり、東京 条例におけるCO2 義務のない市内中 り2排出量削減の推		① 事	財源内訳	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A)	千円 千円 千円 千円 千円	0 0 0 1,232 1,236 2,468	0 0 0 786 816 1,602	0 0 0 687 689 1,376	0 0 0 3,000	0 0 0	0 0 0
本事業は「東 携による地域 業」実施要業メ 都環境で 排出量のCO 進を目的とし	京都区市町村連 京環境力活性化事 派と基づき、都が指 とニューであり、東京 条例におけるCO2 義務のない市内中 り2排出量削減の推 、省エネ診断、省		① 事 業	財源内訳	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B)	千円 千円 千円 千円 千円	0 0 0 1,232 1,236 2,468 8,007	0 0 786 816 1,602 8,043	0 0 0 687 689 1,376 6,006	0 0 0 3,000 3,005	0 0 0 0	0 0 0 0
本携に実は「東域というでは、 本携に実るでは、 本携に実るでは、 は、 は、 、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	京都区市町村連 環境力活性化事 に基づき、都が指 に基づき、都が東京 条例におけるCO2 義務のない市内中 2排出量削減の推 、省エネ診断、省 助果測定をトータル る中小企業向け補		①事業費	財源内訳	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) (行率(A)/(B)	千円 千円 千円 千円 千円 千円	0 0 0 1,232 1,236 2,468 8,007 30.8%	0 0 0 786 816 1,602 8,043 19.9%	0 0 0 687 689 1,376 6,006	0 0 0 3,000 3,005 6,005 —	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0
本集は「東域 業」は「東域 業」まる 事業と を 事業と を 事業と が は 地 の と り し を り り と り り り り り り り り り り り り り り り り	京都区市町村連 環境力活性化事 に基づき、都が指 に基づき、都が東京 条例におけるCO2 義務のない市内中 2排出量削減の推 、省エネ診断、省 助果測定をトータル る中小企業向け補		① 事業費	財源内訳 彰員	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 大行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給)	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	0 0 0 1,232 1,236 2,468 8,007 30.8%	0 0 786 816 1,602 8,043 19.9%	0 0 0 687 689 1,376 6,006 22.9%	0 0 3,000 3,005 6,005 — — 0.35 0.20 0.00	0 0 0 0	0 0 0 0 0
本携に実は「東域というでは、 事業な施事業は「実る施事業」を をでは、 本規に、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	京都区市町村連 環境力活性化事 に基づき、都が指 に基づき、都が東京 条例におけるCO2 義務のない市内中 2排出量削減の推 、省エネ診断、省 助果測定をトータル る中小企業向け補		①事業費  ②人	財源内訳 財 職員	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 気行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給)	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	0 0 0 1,232 1,236 2,468 8,007 30.8% 0.35 0.20 3,150	0 0 786 816 1,602 8,043 19.9% 0.35 0.20	0 0 0 687 689 1,376 6,006 22.9% 0.35 0.20	0 0 3,000 3,005 6,005 — — 0.35 0.20 0.00 3,150	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0
本携に実は「東域というでは、 事業な施事業は「実る施事業」を をでは、 本規に、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	京都区市町村連 環境力活性化事 に基づき、都が指 に基づき、都が東京 条例におけるCO2 義務のない市内中 2排出量削減の推 、省エネ診断、省 助果測定をトータル る中小企業向け補		① 事業費	財源内訳 報員 計	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 大行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	0 0 1,232 1,236 2,468 8,007 30.8% 0.35 0.20 3,150 700	0 0 786 816 1,602 8,043 19.9% 0.35 0.20 3,150 840	0 0 687 689 1,376 6,006 22.9% 0.35 0.20 3,150 840	0 0 3,000 3,005 6,005 — 0.35 0.20 0.00 3,150 840	0 0 0 0 0 0 0 	0 0 0 0 0 0 0 0 
本携に実は「東域というでは、 事業な施事業は「実る施事業」を をでは、 本規に、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	京都区市町村連 環境力活性化事 に基づき、都が指 に基づき、都が東京 条例におけるCO2 義務のない市内中 2排出量削減の推 、省エネ診断、省 助果測定をトータル る中小企業向け補		①事業費  ②人件費	財源内訳 報員 計	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 気行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給)	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	0 0 0 1,232 1,236 2,468 8,007 30.8% 0.35 0.20 3,150	0 0 786 816 1,602 8,043 19.9% 0.35 0.20	0 0 0 687 689 1,376 6,006 22.9% 0.35 0.20	0 0 3,000 3,005 6,005 — — 0.35 0.20 0.00 3,150	0 0 0 0 0 0 0  0.00 0.00 0.00	0 0 0 0 0 0 0  0.00 0.00 0.00
本携に実は「東域というでは、 事業な施事業は「実る施事業」を をでは、 本規に、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	京都区市町村連 環境力活性化事 に基づき、都が東京 を例におけるCO2 義務のない市内中 が設計出土ネ診断、省 が出土ネ診断、省 が出土をトータル であり、東施。		①事業費  ②人件費	財源内訳 報員 計	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 場行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	0 0 0 1,232 1,236 2,468 8,007 30.8% 0.35 0.20 3,150 700 3,850 6,318	0 0 786 816 1,602 8,043 19.9% 0.35 0.20 3,150 840 3,990 5,592	0 0 687 689 1,376 6,006 22.9% 0.35 0.20 3,150 840 3,990 5,366	0 0 3,000 3,005 6,005 — 0.35 0.20 0.00 3,150 840 3,990 9,995	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0.00 0.00
本携業は「東域 業は「実」なで 事に実るで で は、 で り に まる施事で は、 は、 と を れず は、 と を れず は、 と を れず り と り り り り り り り り り り り り り り り り り	京都区市町村連 京環境力活性化 に基づき、都が東京 条例におけるCO2 義務のない市内中 が選出工名 が出土名 が出土名 が出土名 が出土名 が出土名 が出土名 が出土名 が出土名 が出土名 が出土名 が出土名 が出土名 がは がは がは がは がは がは がは がは がは がは	2)改立	①事業費 ②人件費 ③ 改	財源内訳	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) (行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 (件費計(C) 業費(A)+(C)	千円       千円         千円       千円         千円       千円         千円       千円	0 0 1,232 1,236 2,468 8,007 30.8% 0.35 0.20 3,150 700 3,850 6,318	0 0 786 816 1,602 8,043 19.9% 0.35 0.20 3,150 840 3,990 5,592	0 0 0 687 689 1,376 6,006 22.9% 0.35 0.20 3,150 840 3,990 5,366	0 0 3,000 3,005 6,005 — 0.35 0.20 0.00 3,150 840 3,990 9,995	0 0 0 0 0 0 0   0.00 0.00 0.00 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0.00 0.00 0.00 0 0
本携業定都排小進工で助 事に実る境量とですり 事に実る境量とですり 事に実る境量ののと、トレーン では地要業保減のと、トレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、アレーン では、ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・	京都区市町村連 京環境力活を、 派に基づき、都が東京 条例におけるCO2 義務のない市内の 造業ののない前域の 造業ののが が東連 が東京 を別におけるCO2 義務のない市内の 推出ネ診断、 がまのか、 であり、であり、 であり、であり、 であり、であり、 であり、であり、 であり、であり、 であり、であり、 であり、であり、 であり、であり、 であり、であり、 であり、であり、 であり、であり、 であり、であり、 であり、であり、 であり、であり、 であり、であり、 であり、であり、 であり、であり、 であり、であり、 であり、 であり、であり、 であり、 であり、 であり、 であり、 であり、 では、 では、 では、 では、 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 です。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。	2)改立	①事業費 ②人件費 ③ 改	財源内訳	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) (行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 (件費計(C) 業費(A)+(C)	千円       千円         千円       千円         千円       千円         千円       千円	0 0 1,232 1,236 2,468 8,007 30.8% 0.35 0.20 3,150 700 3,850 6,318	0 0 786 816 1,602 8,043 19.9% 0.35 0.20 3,150 840 3,990 5,592	0 0 687 689 1,376 6,006 22.9% 0.35 0.20 3,150 840 3,990 5,366	0 0 3,000 3,005 6,005 — 0.35 0.20 0.00 3,150 840 3,990 9,995	0 0 0 0 0 0 0 - - 0,00 0,00 0,00 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
本携業定都排小進工で助 事に実る境量を含みず度 事に実る境量のと、トレーン 事に実る境量のと、トレーン では地要業保減のと、トレーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーン では、アーと では、アーと では、アーと では、アーと では、アーと では、アーと では、アーと では、アーと では、アーと では、アーと では、アーと では、アーと では、アーと では、アーと では、アーと では、アーと では、アーと では、アーと では、アーと では、アーと では、アーと では、アーと では、アーと では、アーと では、アーと では、アーと では、アーと では、アーと では、アーと では、アーと では、アーと では、アーと では、アーと では、アー では、アーと では、アーと では、アーと では、アーと では、アーと では、アーと では、アーと では、アーと では では、アーと では では では では では では では では では では では では では	京都区市町村連 京環境力活を 派に基づき、新東京 経に基一であり、CO2 義務のない市内の 造りのと が出出す診断、 が、省エネをトータル が、第二、名 が、第二、名 が、第二、名 が、第二、名 が、第二、名 が、第二、名 が、第二、名 が、第二、名 が、第二、名 が、第二、名 であり、で 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	2)改造	①事業費 ②人件費 ③ 改 有	財源内訳 報員計算事 性	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 (件費計(C) 業費(A)+(C) 3課題・反省点)	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	0 0 1,232 1,236 2,468 8,007 30.8% 0.35 0.20 3,150 700 3,850 6,318	0 0 786 816 1,602 8,043 19.9% 0.35 0.20 3,150 840 3,990 5,592	0 0 0 687 689 1,376 6,006 22.9% 0.35 0.20 3,150 840 3,990 5,366	0 0 3,000 3,005 6,005 — 0.35 0.20 0.00 3,150 840 3,990 9,995	0 0 0 0 0 0 0 - - 0,00 0,00 0,00 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0.00 0.00 0.00 0 0
本携業定都排小進工で助業よこでで表す。本携業ででは、一次で表すでは、一次で表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表	京都区市町村連 環境力活を 派に基づき、新東京 経に基一であり、CO2 義務のない市域の 義務のない市域の と3 2 第出土ネ診断、タル は1 は1 は2 は2 を2 第一 であり、であり、であり、であり、 であり、であり、であり、 であり、であり、であり、 であり、であり、であり、 であり、であり、であり、 であり、であり、であり、であり、 であり、であり、であり、 であり、であり、であり、 であり、であり、であり、 であり、であり、であり、 であり、であり、であり、 であり、であり、であり、 であり、であり、であり、 であり、であり、であり、 であり、であり、であり、 であり、であり、であり、 であり、であり、であり、 であり、であり、であり、 であり、であり、であり、 であり、であり、であり、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	<b>②改立</b> 策が	①事業費 ②人件費 ③ 改有進	財源内訳 職会 等 性 C	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) (石本(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 (件費計(C) 業費(A)+(C) 3課題・反省点) レ ウ:効率性	千円千円千円千円・千円・千円・千円・千円・千円・千円・千円・千円・千円・十円・十円・十円・十円・十円・十円・十円・十円・十一・・・・・・・・・・	0 0 1,232 1,236 2,468 8,007 30.8% 0.35 0.20 3,150 700 3,850 6,318	0 0 786 816 1,602 8,043 19.9% 0.35 0.20 3,150 840 3,990 5,592 計や見直しを図	0 0 687 689 1,376 6,006 22.9% 0.35 0.20 3,150 840 3,990 5,366	0 0 3,000 3,005 6,005 — — 0.35 0.20 0.00 3,150 840 3,990 9,995	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
本携業定都排小進工で助 2 (1) 課題事内 本 男に実る境量をネサ制 事に実る境量をネサ制 評全 の場ののと、トしてのの総元の中・事に要業保減のと、トしてのの総元の中・事は地要業保減のしめますて	京都区市町村連 京都区市町村連 京環境力き、が、東京 派に基一であり、CO2 義務のない市域の名との2 義務のない前縁、、省 選別定を 大省別定を 大名であり、であり、であり、2 2 2 3 2 3 3 4 4 1 3 4 4 4 4 5 6 7 7 1 8 1 8 1 8 1 8 1 8 1 8 1 8 1 8 1 8 1 8 1 8 1 8 1 8 1 8 1 8 1 8 1 8 1 8 1 8 1 8 1 8 1 8 1 8 1 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	<b>②改立</b> (	①事業費  ②人件費 ③ 改有 進ぶ	財源内訳 職 会 総 善 効 、 の 相	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 場行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 (件費計(C) 業費(A)+(C) システン・対象率性 のと対し、周知	千円千円千円千円・千円・千円・千円・千円・千円・千円・千円・千円・千円・十円・十円・十円・十円・十円・十円・十円・十円・十一・・・・・・・・・・	0 0 1,232 1,236 2,468 8,007 30.8% 0.35 0.20 3,150 700 3,850 6,318	0 0 786 816 1,602 8,043 19.9% 0.35 0.20 3,150 840 3,990 5,592 計や見直しを図	0 0 687 689 1,376 6,006 22.9% 0.35 0.20 3,150 840 3,990 5,366	0 0 3,000 3,005 6,005 ———————————————————————————————————	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
本携業定都排小進工で助 2 ( ) ※ ( ) 市( ) 市総課事に実る境量業目改ポ度	京都区市町村連 京都区市町村連 京環境力き、 派に基一であり、CO2 養務のない市域の 養務出土ネをいった。 大き、例ののは 大き、例ののは 大き、例ののは 大き、例ののは 大き、例ののは 大き、ののは 大き、ののは 大き、ののは 大き、ののは 大き、ののは 大き、ののは 大き、ののは 大き、ののは 大き、ののは 大き、ののは 大き、ののは 大き、ののは 大き、ののは 大き、ののは 大き、ののは 大き、ののは 大き、ののは 大き、ののは 大き、ののは 大き、ののは 大き、ののは 大き、ののは 大き、ののは 大き、ののは 大き、かましてののは 大き、かましてののは 大き、かましてのした。 大き、かましてのした。 大き、かましてのした。 大き、かましてのした。 大き、かましてのした。 大き、かましてのした。 大き、かましてのは 大き、かましてのは 大き、かましてのは 大き、かましてのは 大き、かましてのは 大き、かましてのは 大き、かましてのは 大き、かましてのは 大き、かましてのは 大き、かましてのものな 大き、かましてのは 大き、かましてのもの。 大き、かましてのは 大き、かましてのもの。 大き、かましてのものもの。 大き、かましてのものもの。 大き、かましてのものもの。 大き、かましてのものもの。 大き、かましてのものものもの。 大き、かましてのものもの。 大き、かましてのものものもの。 大き、かましてのものものものものものものものものものものものものものものものものものものも	<b>②改立</b>	①事業費 ②人件費 ③ 改有 進 ・ ・ が と	財源内訳 職 会 総 善 対 、 のた	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 場行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 (件費計(C) 業費(A)+(C) システン・対策は、同知 (はのため、周知	千千円円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 十二 ・	0 0 1,232 1,236 2,468 8,007 30.8% 0.35 0.20 3,150 700 3,850 6,318 ビン改善	0 0 786 816 1,602 8,043 19.9% 0.35 0.20 3,150 840 3,990 5,592 まや見直しを図 オ:そ	0 0 687 689 1,376 6,006 22.9% 0.35 0.20 3,150 840 3,990 5,366	0 0 3,000 3,005 6,005 ———————————————————————————————————	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
本携業定都排小進工で助 2 ( ※ 課題事内改内統 課事に実る境量業目改ポ度	京都区市町村連 京郡区市町村化が東京 派環境力き、が、、CO2 派に基一でありるCO2 義務のない前縁、全側にない、 養務出土ネをトー向り2 指別中企業向け補 でまり、であり、であり、であり、2 作場ののなりであり、 であり、であり、であり、 を発出上来をいる。 であり、であり、であり、 を表側のない前縁、タル では、 は、 は、 は、 であり、であり、であり、 であり、であり、 であり、であり、 であり、であり、 であり、であり、 であり、であり、 であり、であり、 であり、であり、 であり、であり、 であり、であり、 であり、 であり、 であり、 であり、 であり、 であり、 であり、 であり、 であり、 であり、 であり、 であり、 であり、 であり、 であり、 であり、 であり、 であり、 であり、 であり、 であり、 であり、 であり、 であり、 であり、 であり、 であり、 であり、 であり、 であり、 であり、 であり、 であり、 でのはまり、 でのはまり、 でのはまり、 でのはまり、 でのはまり、 でのはまり、 でのはまり、 でのはまり、 でのはまり、 でのはまり、 でのはまり、 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 での。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 での。 でのまた。 での。 での。 での。 での。 での。 での。 での。 での	<b>②改立</b>	①事業費 ②人件費 ③ 改有 進 ・ ・ が と	財源内訳 職 会 総 善 対 、 のた	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 場行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 (件費計(C) 業費(A)+(C) システン・対策は、同知 (はのため、周知	千千円円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 十二 ・	0 0 1,232 1,236 2,468 8,007 30.8% 0.35 0.20 3,150 700 3,850 6,318 ビン改善	0 0 786 816 1,602 8,043 19.9% 0.35 0.20 3,150 840 3,990 5,592 まや見直しを図 オ:そ	0 0 687 689 1,376 6,006 22.9% 0.35 0.20 3,150 840 3,990 5,366	0 0 3,000 3,005 6,005  0.35 0.20 0.00 3,150 840 3,990 9,995 (2)事業   成果   向上維持低下	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 7 7 7 8 7 8

令和 4 年度 事務事業マネジメントシート

令和 4 年 6 月作成

令和

356

事業所部門からの温室効果ガス削減は、国・東京都においても最重要課題のひとつとなっている。本市のような商業集積が進んだ都市においては、経済成長と低炭素化の両立が必須要件であることから、市内事業所を束ねる立川商工会議所と連携して事業周知に努め、引き続き事業所の省エネ化を図ることが、更に必要になってきている。市内の事業所に対して、一層の省エネルギー対策の推進を促すため、事業の周知活動を強化していく。事業者がより利用しやすい事業となるよう工夫しながら、立川商工会議所等と連携し

層の周知に努め、更なる省エネ化を推進する。

事務事業名 エコチャレンジ事	業						所属部	環境下水	道部	課長名	横塚 浩-	<del>_</del>
政策名 環境・安全							所属課	環境対策	課	係名	温暖化対	策係
施策名 持続可能な環境	の保全						予算科目	会計 1	款 4	項 1	目 6	事業 6番号 6
基本事業名 環境に配慮した活	動の推	推進				地形態 (選択可)	全部	<b>『委託</b>	一部委託	補助・	助成	連携•協働
事業期間 単年度繰返			根拠	1	立川市環境		条例					
平成27 年度~	年度 〇		去令等									
市長公約     主要施策   1 現状把握の部(1)事務事	•	要・	月的	·結果·	活動∙成	果						
①事業概要			<u>ロハ</u> 数の:		711 - 33 770		H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
小学生と保護者がチームとなり、夏休み期間中に家庭ででき				<b>ルン</b> ンジ参加	1壬	組						
る省エネ行動にチャレンジす							70		109			
る。チャレンジを達成したチーム に認定証等を交付し、優良な取	,			ンジ達成		組	53	66	79			
り組み事例については表彰等を		エコラ	Fヤレ:	ンジ参加	1人数	人	161	209	270			
行うとともに市民向けに普及啓 発を図る。	6)	舌動	指標			単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか	) ア	推計	 二酸化	上炭素削	 ]減量	kg	318		477			
市民一人ひとりの省エネ等に対												
する意識啓発を図り、家庭における省エネの取組みを促進す	・ウ											
る。		<b>.</b>	TF 1=				H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
			指標	・ノミジョ華国	会等参加	単位	実績	実績	実績	計画	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)		エコラ 者	70.	/ ン神音	云守参加	人	17	=	_			
市民がより積極的に、温暖化対策に取り組んでいる状態。	1	エコラ	Fヤレ:	ンジ協力	]小学校	校	19	19	19			
THE STATE OF THE S	ゥ	優良	事例(	表彰)チ	ーム	組	5	4	6			
	(2	)重当		17 K		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		/ <del>T</del> >	K V / -				実績	実績	実績	計画	計画	計画
④令和3年度実績(事業活動) ・前年度の優良チームの表彰、			財		支出金	千円	0	0	0	0	0	0
優良事例の周知啓発(6月)			源	_	支出金 地方債	千円	0	0	0	0	0	0
・参加申込み受付(7月中旬から 8月中旬)		① 事	内	1	の他	千円	0	0	0	0	0	0
・チェックシートにてエコチャレン		業	訳		. <u></u>	千円	•	140	133	167	0	0
ジに取組む8月) ・エコチャレンジ講習会→コロナ		費	3	事業費		千円	121	140	133	167	0	0
禍の影響で中止	1 1			予算額		千円	123	148	174	_	_	_
・チェックシートの提出(9月末まで)			<b>‡</b>	执行率(	A)/(B)	%	98.4%	94.6%	76.4%	_	_	_
・参加チームに認定証(記念品	)	2			月給 時給)		0.20 0.20	0.15 0.20		0.15 0.20 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
交付(10月)  ・環境審議会委員による優良事	:	人		正規職		千円	1,800	1,350	1,350	1,350	0	0
例の選出及び決定→令和4年3		件費			用職員等		700	840	840	840	0	0
月	1 1	(3)		人件費 業费(A	(C) ()+(C)	千円	2,500 2,621	2,190 2,330	2,190 2,323	2,190 2,357	0	0
		<b>9</b>	心子:	<b>不</b> 良(/	() 1 (0)	111	2,021	2,550	2,020	2,001	U	U
(1)全体総括(①事業の成果・	②改革	直∙改	善(	3課題	・反省点)		✓ 改善	善や見直しを図	引った	(2)事業	美の方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性 (課題がある場合にと)		イ:有	効性	<b>V</b>	ウ:効率性		エ:公平性	オ:そ	の他		J/15-4-1-24	
(事業の成果) 家庭での省エネ行動が普及、気	⇒美1	坐ェ	シル	ゼーに	トス泪会な	出田・ガ	フ北山 豊当	山浦にへわ	がった	向	削減 維	
(改革・改善)	こ何し、						△144川里日	門仮にづな	// <sup>1</sup> 2/C <sub>0</sub>			)
		V 1-1-	への揺	3.力依東	頁を行った	-0				成維		
参加チームの増加のため継続し(課題・反省点)	て小賞	产仪~	- > 1/2	,,, o  e ,						ⅠⅠ朱Ⅰ符		
(課題・反省点) 地球温暖化対策は中長期的に	継続し	てい	く必要	更がある	ことから、							
(課題・反省点) 地球温暖化対策は中長期的に を行い、参加チームの増加を目	継続し 指す。	ていまた。	く必要 、家庭	更がある Eで取り	ことから、 組むエコ					〔 〔 〕 〔 下		は記入不要)
(課題・反省点) 地球温暖化対策は中長期的に	継続し 指す。 に周知	てい また。 ・啓	く必要 、家庭 発を図	更がある Eで取り	ことから、 組むエコ					〔 〔 〕 〔 下	休止の場合に	は記入不要)
(課題・反省点) 地球温暖化対策は中長期的に を行い、参加チームの増加を目 意識や行動に定着するよう、更	継続し 指す。 に周知 <b>革・改</b> す	ていまた ・啓 <b>善案</b>	く必要 、家庭 等) ( <b>等</b> )	更がある 重で取り 引ってい 会、小	ことから、 組むエコ・ く。 学校、PT	チャレ A、子。	ンジが、省	エネ対策と	して市民の Eか、市内の	(廃止・) (存組団体	休止の場合は、事業者な	

令和 4 年度 事務事業マネジメントシート

令和 4 年 6 月作成

令和 3 年度事後評価

環境フェアなどの大規模なイベント等を通じ、各家庭において、より身近で具体的な参考となる優良事例の情報発信を進める。また、

今後の事業実施の際には、参加チームの増加に繋げるとともに、将来的には対象の拡大を図る。

参加者用チェックシートの内容についても同様に検討を行う。

<u>令和 3 年度事後評価</u>	<u> </u>	<u>4 年</u>	<u>                                      </u>	<del>手</del> 表	<u>: イイン</u>	<u> ノメン</u>	トンー	<b>卜</b> 令	和 4 年 (	<u> 3 月作成</u>
事務事業名 エコオフィスプラン	21推進事	業			所属部	環境下水	道部	課長名	横塚 浩-	
政策名 環境・安全					所属課	環境対策	課	係名	温暖化対	策係
施策名 持続可能な環境の	保全				予算科目	会計 1	款 4	項 1	目 6	事業 9番号 9
基本事業名 環境に配慮した活動	動の推進			を ・ 選択可)	全部	『委託	一部委託	補助・	助成	連携·協働
事業期間 単年度繰返		根拠	立川市環境		条例					
平成12 年度~ 市長公約 主要施策	年度	法令等	<b>-</b>							
1 現状把握の部(1)事務事業	 kの概要・	目的•	·結果·活動·成	 果						
①事業概要 市民、事業者の環境保全に向	<b>⑤</b> 対象	数の推	 推移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
けた取組みを推進するため、市	ア対象	職場		箇所	107	106	106			
が率先して環境に関する取組み を推進していく。	イ職場			人	118	124	114			
で1世世してV·N。		1世. 世. 貝		八	116	124	114			
	ウ				H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	⑥活動	指標		単位	実績	実績	実績	計画	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	アチェ	ックシー	-トの報告回数	口	12	12	12			
市内の公共施設のエネルギー	イ内部	評価の	実施	口	0	0	1			
使用量の低減 市職員の意識向上	ウェコス	ナフィス	 通信の発行	回	1	2	3			
	⑦成果	指煙		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
②红田			エネルギー使用		実績	実績	実績	計画	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか) 公共施設における、省エネル	工工		s to the	kl	10,723	·	,			
ギー対策など率先した省エネル		ックシー	トの報告率	%	99	99	99			
ギー行動を実践している状況。	ウ									
	(2)事	業のコ	スト	単位	H31年度 宝績	R2年度 宝績	R3年度 宝績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)	(2)事	業のコ 			H31年度 実績 0	R2年度 実績 0	R3年度 実績 0	R4年度 計画 0	R5年度 計画 0	R6年度 計画 0
<ul><li>④令和3年度実績(事業活動)</li><li>各課職場推進員等の選出及び</li></ul>	(2)事	財	国庫支出金都支出金	単位 千円 千円	実績	実績	実績	計画	計画	計画
各課職場推進員等の選出及び 説明会の実施(4月)		財源	国庫支出金	千円	<b>実績</b> 0	<b>実績</b> 0	<b>実績</b> 0	計画 0	計画 0	計画 0
各課職場推進員等の選出及び 説明会の実施(4月) ・チェックシートに基づく取組み 状況の報告(毎月)	1	財	国庫支出金都支出金	千円 千円	<b>実績</b> 0 0	<b>実績</b> 0 0 0	<b>実績</b> 0 0 0	計画 0 0	計画 0 0 0	計画 0 0 0
各課職場推進員等の選出及び 説明会の実施(4月) ・チェックシートに基づく取組み 状況の報告(毎月) ・集計結果の公表(毎月)	① 事 業	財源内訳	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源	千円 千円 千円 千円	<b>実績</b> 0 0 0 0 67	<b>実績</b> 0 0 0 0 20	<b>実績</b> 0 0 0 0 61	計画 0 0 0 0 0 61	計画 0 0 0	計画 0 0 0
各課職場推進員等の選出及び 説明会の実施(4月) ・チェックシートに基づく取組み 状況の報告(毎月) ・集計結果の公表(毎月) ・職員への周知・啓発(随時) ・共通備品不足分調査及び購	1	財源内訳事	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A)	千円 千円 千円 千円 千円	<b>実績</b> 0 0 0 0 0 67	実績 0 0 0 0 20 20	<b>実績</b> 0 0 0 0 61 61	計画 0 0 0 0	計画 0 0 0 0	計画 0 0 0 0
各課職場推進員等の選出及び 説明会の実施(4月) ・チェックシートに基づく取組み 状況の報告(毎月) ・集計結果の公表(毎月) ・職員への周知・啓発(随時)	① 事 業	財源内訳事	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 等業費計(A) 予算額(B)	千円 千円 千円 千円 千円	<b>実績</b> 0 0 0 0 67 67 68	<b>実績</b> 0 0 0 0 20 20 75	実績 0 0 0 0 61 61	計画 0 0 0 0 61 61 —	計画 0 0 0 0 0	計画 0 0 0 0 0
各課職場推進員等の選出及び 説明会の実施(4月) ・チェックシートに基づく取組み 状況の報告(毎月) ・集計結果の公表(毎月) ・職員への周知・啓発(随時) ・共通備品不足分調査及び購	①事業費	財源内訳事	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B)	千円 千円 千円 千円 千円	<b>実績</b> 0 0 0 0 67 67 68 98.5%	実績 0 0 0 0 20 20 75 26.7%	実績 0 0 0 0 61 61 100.0%	計画 0 0 0 0 61 61 —	計画 0 0 0 0 0 0 —	計画 0 0 0 0 0 
各課職場推進員等の選出及び 説明会の実施(4月) ・チェックシートに基づく取組み 状況の報告(毎月) ・集計結果の公表(毎月) ・職員への周知・啓発(随時) ・共通備品不足分調査及び購	①事業費	財源内訳  戦闘	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給)	千円 千円 千円 千円 千円 千円	<b>実績</b> 0 0 0 0 67 67 68 98.5% 0.20 0.20	実績 0 0 0 20 20 75 26.7% 0.20 0.20	<b>実績</b>	計画 0 0 0 0 61 61 — —	計画 0 0 0 0 0	計画 0 0 0 0 0 
各課職場推進員等の選出及び 説明会の実施(4月) ・チェックシートに基づく取組み 状況の報告(毎月) ・集計結果の公表(毎月) ・職員への周知・啓発(随時) ・共通備品不足分調査及び購	①事業費   ②人件	財源内訳 報員	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B)	千円 千円 千円 千円 千円	<b>実績</b> 0 0 0 0 67 67 68 98.5%	実績 0 0 0 0 20 20 75 26.7%	実績 0 0 0 0 61 61 100.0%	計画 0 0 0 0 61 61 —	計画 0 0 0 0 0 0 0 	計画 0 0 0 0 0 0 
各課職場推進員等の選出及び 説明会の実施(4月) ・チェックシートに基づく取組み 状況の報告(毎月) ・集計結果の公表(毎月) ・職員への周知・啓発(随時) ・共通備品不足分調査及び購	①事業費  ②人	財源内訳報員会計	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) E規職員分	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	<b>実績</b>	実績 0 0 0 20 20 75 26.7% 0.20 0.20	<b>実績</b> 0 0 0 0 61 61 100.0% 0.20 0.20 1,800	計画 0 0 0 61 61 	計画 0 0 0 0 0 0 	計画 0 0 0 0 0 0 
各課職場推進員等の選出及び 説明会の実施(4月) ・チェックシートに基づく取組み 状況の報告(毎月) ・集計結果の公表(毎月) ・職員への周知・啓発(随時) ・共通備品不足分調査及び購 入後配布	①事業費 ②人件費	財源内訳 報員 会計人	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) E規職員分 年度任用職員等	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	実績 0 0 0 67 67 68 98.5% 0.20 0.20 1,800 700	実績 0 0 0 20 20 75 26.7% 0.20 0.20 1,800 840	実績       0       0       0       0       61       61       100.0%       0.20       1,800       840	計画 0 0 0 61 61  0.20 0.20 0.00 1,800 840	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	計画 0 0 0 0 0 0 
各課職場推進員等の選出及び 説明会の実施(4月) ・チェックシートに基づく取組み 状況の報告(毎月) ・集計結果の公表(毎月) ・職員への周知・啓発(随時) ・共通備品不足分調査及び購 入後配布	①事業費 ②人件費 ③	財源内訳 報員 計 人 事	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) E規職員分 年度任用職員等 、件費計(C) 業費(A)+(C)	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	実績       0       0       0       0       67       68       98.5%       0.20       1,800       700       2,500       2,567	実績 0 0 0 20 20 75 26.7% 0.20 0.20 1,800 840 2,640 2,660	実績 0 0 0 61 61 100.0% 0.20 0.20 1,800 840 2,640 2,701	計画 0 0 0 61 61   1,800 840 2,640 2,701	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
各課職場推進員等の選出及び 説明会の実施(4月) ・チェックシートに基づく取組み 状況の報告(毎月) ・集計結果の公表(毎月) ・職員への周知・啓発(随時) ・共通備品不足分調査及び購入後配布	①事業費 ②人件費 ③ ②改革·3	財源内訳 事 執員 三 余 本 ・ ③	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) E規職員分 年度任用職員等 、件費計(C) 業費(A)+(C)	千千千千千千%人円円円	実績	実績	実績	計画 0 0 0 61 61   1,800 840 2,640 2,701	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
各課職場推進員等の選出及び 説明会の実施(4月) ・チェックシートに基づく取組み 状況の報告(毎月) ・集計結果の公表(毎月) ・職員への周知・啓発(随時) ・共通備品不足分調査及び購入後配布  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合に) ア:目的妥当性	①事業費 ②人件費 ③ ②改革·3	財源内訳 事 執員 三 余 本 ・ ③	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) E規職員分 年度任用職員等 、件費計(C) 業費(A)+(C)	千千千千千千%人円円円	実績       0       0       0       0       67       68       98.5%       0.20       1,800       700       2,500       2,567	実績	実績 0 0 0 61 61 100.0% 0.20 0.20 1,800 840 2,640 2,701	計画 0 0 0 61 61   1,800 840 2,640 2,701	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
各課職場推進員等の選出及び 説明会の実施(4月) ・チェックシートに基づく取組み 状況の報告(毎月) ・集計結果の公表(毎月) ・職員への周知・啓発(随時) ・共通備品不足分調査及び購入後配布  (1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合に) (事業の成果) 公共施設のエネルギー使用量の	①事業費 ②人件費 ③ び ず イ: す	財源内訳 事 執員 計 人 事 一 第 一	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) E規職員分 年度任用職員等 (件費計(C) 業費(A)+(C)	千円円千円千円 4 千千千円	実績 0 0 0 67 67 68 98.5% 0.20 1,800 700 2,500 2,567	実績	実績	計画 0 0 0 61 61   1,800 840 2,640 2,701	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
各課職場推進員等の選出及び 説明会の実施(4月) ・チェックシートに基づく取組み 状況の報告(毎月) ・集計結果の公表(毎月) ・職員への周知・啓発(随時) ・共通備品不足分調査及び購入後配布  (1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合にマ) (事業の成果) 公共施設のエネルギー使用量の (改革・改善)	①事業費 ②人件費 ③ ・さ: 本 ・ ジ が が が が が が が うだ。 うだ。 うだ。 うだ。 うだ。 うだ。 うだ。 うだ。 うだ。 うだ。	財源内訳 事 執員 正計 人 書 効 の 発	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) E規職員分 年度任用職員等 (件費計(C) 業費(A)+(C)	千円円千円千円 4 千千千円	実績 0 0 0 67 67 68 98.5% 0.20 1,800 700 2,500 2,567	実績	実績	計画 0 0 0 0 61 61 0.20 0.20 0.00 840 2,640 2,701	計画	計画
各課職場推進員等の選出及び 説明会の実施(4月) ・チェックシートに基づく取組み 状況の報告(毎月) ・集計結果の公表(毎月) ・職員への周知・啓発(随時) ・共通備品不足分調査及び購入後配布  (1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合にジ) (事業の成果) 公共施設のエネルギー使用量の (改革・改善) 事業の必要性についての周知啓 (課題・反省点)	①事業費 ②人件費 ③ ・3 ・3 ・4 ・2 ・3 ・3 ・3 ・4 ・5 ・5 ・6 ・6 ・7 ・7 ・7 ・7 ・7 ・7 ・7 ・7 ・7 ・7 ・7 ・7 ・7	財源内訳・執員「計・人事・③ 本 か か た。	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) E規職員分 年度任用職員等 件費計(C) 業費(A)+(C) 課題・反省点) レウ:効率性	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	実績 0 0 0 67 67 68 98.5% 0.20 0.20 1,800 700 2,500 2,567  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	実績	実績	計画	計画	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
各課職場推進員等の選出及び 説明会の実施(4月) ・チェックシートに基づく取組み 状況の報告(毎月) ・集計結果の公表(毎月) ・職員への周知・啓発(随時) ・共通備品不足分調査及び購入後配布  (1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合にジ) (事業の成果) 公共施設のエネルギー使用量の (改革・改善) 事業の必要性についての周知啓 (課題・反省点) 報告義務や削減目標を課されて	①事業費 ②人件費 ③ ・3 ・4 ・2 ・3 ・3 ・4 ・4 ・5 ・6 ・7 ・7 ・7 ・7 ・8 ・7 ・8 ・7 ・8 ・9 ・9 ・9 ・9 ・9 ・9 ・9 ・9 ・9 ・9 ・9 ・9 ・9	財源内訳・執員「計・人事・③ 一 発に	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) E規職員分 年度任用職員等 件費計(C) 業費(A)+(C) 課題・反省点) レウ:効率性 生量の抑制がな	千円円円円円円 千円円 千円円 千円円 千円円 千円円 千円円 千円円 十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	実績	実績	実績	計画	計画	計画
各課職場推進員等の選出及び 説明会の実施(4月) ・チェックシートに基づく取組み 状況の報告(毎月) ・集計結果の公表(毎月) ・職員への周知・啓発(随時) ・共通備品不足分調査及び購入後配布  (1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合に) (事業の成果) 公共施設のエネルギー使用量の (改革・改善) 事業の必要性についての周知啓 (課題・反省点)	①事業費 ②人件費 ③ ・3 ・4 ・3 ・3 ・3 ・4 ・4 ・5 ・6 ・7 ・7 ・7 ・7 ・8 ・7 ・8 ・7 ・8 ・8 ・8 ・9 ・9 ・9 ・9 ・9 ・9 ・9 ・9 ・9 ・9 ・9 ・9 ・9	財源内訳 事 執員 「計・人事・③ 一	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) E規職員分 年度任用職員等 件費計(C) 業費(A)+(C) 課題・反省点) ・反省点) 生量の抑制がな 基づく定期長期	千千千千千千 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	実績	実績	実績	計画	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	計画

市民、事業者の環境行動の推進に向けて、市が自ら率先して規範となる行動を取っていく必要性があることから、PDCAサイクルによる継続的改善を行い、市としての環境に関する取り組みを市内に発信し、市民及び事業者へ波及させる。また、削減目標を課されている省エネ法に基づく定期報告書制度の対策について、関連部署とも連携して取組む。「エコオフィスプラン21」の運用について、PDCAサイクルを回すシステム構築をする必要があり、そのための庁内組織体制や役割分担等を通じて、継続して職員の意識向上を働きかけていく。

令和 3 年度事後評价	西 4	令和	4	<b>上</b>	F度	事務	事業	マネ		<b>ジメン</b>	,	トシ	_		令	和44	年 6	7 月作成
事務事業名 犬の登録事務	务(ペッ	トの適	正的	飼育	<del>;</del> )			所属	部	環境下	水	道部		課	長名	横塚	浩-	_
政策名 環境·安全								所属	課	環境対象	策	課		1:	系名	環境推	推進 <sup>,</sup>	 係
施策名 持続可能な弱	環境の値	保全						予算和	丰目	会計 1		款	4	項	1	目	3	事業 番号 18
基本事業名生活環境の保	是全						地形態 「選択可)		全音	邻委託		一部氢	委託		補助・	助成	$\overline{}$	連携•協働
<b>事業期間</b> 単年度繰返 年度~	白	手度		根拠		動物の愛認 東京都動物						条例						
市長公約 主要施				令等			_											
1 現状把握の部 (1)事系 ①事業概要	<b>務事業</b>					₹•活動•成	果										_	
○・サルスを   ・	する	⑤対:	象数	女の:	推移		単位	H31年	度	R2年度		R3年	度	R4	年度	R5年	度	R6年度
苦情・相談について、状況を適正飼育のための指導・		ア市	民(	1月1	日現在	主)	人	184,0	90	184,57	7	185,	124					
を東京都動物愛護相談センター多摩支所と連携して行	/	イ犬	登録	数			頭	7,	147	7,25	54	7,	397					
犬のふん尿に困っている相	談者	ウ							_			_						
にマナー啓発標示板を配布る。	11.9	⑥活	動指	旨標			単位	H31年 実績		R2年度 実績		R3年. 実績			年度 -画	R5年 計画		R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたし		ア犬	のマ	ナー	-標示	仮の配布数	件		101	7	'4		67					
苦情要因となる飼い主の飼ナーが向上し、ペットの不通		イ苦	情相	目談作	‡数(延	(ベ)	件		76	6	57		31					
飼育の状態が改善する。		ウ						110.4 =	rt-	D2 = -		B 6 -	rtr		<del></del>		<u></u>	DC
		⑦成:	果指	旨標			単位	H31年 実績		R2年度 実績		R3年 実績			年度 ·画	R5年 計画		R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付け		ア苦	情相	目談作	‡数(延	(べ)	件		76	6	57		31					
市民に対して動物飼育のマナー啓発、訪問対応をする	こと	1																
で、愛玩動物の適正な管理 行ってもらう。	見を	ウ																
		(2)	<b>事業</b>	の=	スト		単位	H31年 実績		R2年度 実績		R3年 実績			年度 ·画	R5年 計画		R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活	動)				国	庫支出金	千円		0		0		0		0		0	(
1. 犬の飼い主に対する登録 続き時のマナー啓発	禄手			財源	_	<b>『支出金</b>	千円		0		0		0		0		0	(
2. 飼い猫、飼い主のいない			D	内	-	地方債	千円		0		0		0		0		0	(
に係る市民への啓発(ガイトン周知)	ドライ	事	<b>事</b> ►	訳		その他	千円		0		0		30		33		0	(
3. 苦情現場への訪問対応		す	<b>1</b>	3		-般財源 計(A)	千円 千円		0		0		30		33		0	(
4. 犬のマナー標示板の配	布		H	=		を 額(B)	千円		27		3		33				U	
			ŀ	<b></b>		(A)/(B)	%	0	.0%		-	90	.9%		_	_		_
		(2				見 月給   時給)	人	0.17 0.20	0.00	0.17 0.20 0.	00			0.17	.20 0.00	0.00	0.00	0.00 0.00
		Ĵ				哉員分	千円	1,5			0	1,5	530		1,530		0	(
		4				壬用職員等			00		_		340		840		0	(
						費計(C)	千円	2,2			-+		370		2,370		0	(
2 評価の部			3)彩	<b>お事</b>	<b>耒</b> 賀(	(A)+(C)	千円	2,2	30	2,40	U	2,4	100	4	2,403		0	(
(1)全体総括(①事業の成	大果・②	)改革・	改	善 (	3)課題	頁•反省点)			改善	<b>手や見直し</b> を	三図	った		(2	!)事第	美の方針	計	
※課題の有無 ア・日的妥	_					ウ:効率性		エ:公平	性		そ	の他						<del></del>
(課題がある場合にと) (事業の成果)	_	_										_		٦.	12	削減	維	持 増加
原因者不明の犬のふんのプ											一根	票示板	を配		向  -			
布した。犬の登録時に、飼い (課題・反省点)	ハ土にす	敗歩等	· <i>(</i> )	イナ	<b>一・</b> ル	一ルの路角	ニナフ	ノど配え	IJL	/に。				J	す 雑			
苦情・相談については、飼い															果 括 低			
といった内容が多く、事後的 向けて時間が必要な案件が			りで	ある	。発生	三後に逐一	対応す	るしか	なく	(、対応が	蝉	しく解	決に	-11	下			
		-0												(		休止の場	場合に	は記入不要
(3)今後の事業の方向性	(改革	- 改善	案等	手)														
飼い主へのマナー啓発の抽場では																		
状況の改善が見られない案 成するチラシやハンドブック																		

るために準備することなどの啓発を行う。

令和 3 年度事後評価	令和 4	1 左	F度 事務	事業	ミマネシ	ジメン	トシー	<b>卜</b> 令和	11 4 年 6	6 月作成
事務事業名 蜂の巣駆除(補助会	金は別途	評価)	1		所属部	環境下水	道部	課長名	横塚浩	_
政策名 環境・安全					所属課	環境対策	課	係名	環境指導	係
施策名 持続可能な環境の	保全				予算科目	会計 1	款 4	項 1	目 4	事業 1番号 1
基本事業名 生活環境の保全				地形態 (選択可)		<b>『</b> 委託 <b>▶</b>	一部委託	<b>✓</b> 補助・		連携・協働
事業期間 単年度繰返		根拠	立川市峰(			助金交付	要綱(平成1	7年度開始	<del>(</del> a)	
年度~ 主要施策		去令等								
1 現状把握の部(1)事務事業	 eの概要・	目的	·結果·活動·成	 果						
①事業概要 蜂の巣駆除に関する相談を受	<b>⑤</b> 対象	数の打	推移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
け付けるとともに、スズメバチに	ア市民	1月1	 日現在)	人	184,090	184,577	185,124			
ついては、巣の駆除費用の一 部を補助することにより、安全な	1									
市民生活を確保する。	ゥ									
		七 + 番		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
0	⑥活動				実績	実績	実績	計画	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア相談			件	301	343	278			
蜂の危害から市民生活を守る。	<b>イ</b> 蜂の身	<b>单確認</b>	8件数	件	117	136	121			
	ウ									
	⑦成果:	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア駆除化	乍業補	甫助金件数	件	50	54	59			
スズメバチの巣を駆除すること	1									
で、安全な生活環境の確保に結び付ける。	ウ									
		<u> </u>			H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	(2)事第	€0)=	コスト	単位	実績	実績	実績	計画	計画	計画
④令和3年度実績(事業活動)		п_	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
蜂の巣駆除に関する相談受付 蜂の巣確認作業		財源	都支出金	千円	116	20	20	21	0	0
スズメバチの巣の駆除に対する 補助金交付	1	内	地方債 その他	千円	0	0	0	0	0	0
	事業	訳	一般財源	千円	117	20	20	21	0	0
	費	<u> </u>	<u> </u>	千円	233	40	40	42	0	0
			予算額(B)	千円	399	396	42	_		
		-	执行率(A)/(B)	%	58.4%	10.1%	95.2%	_	_	_
	2		.数(正規   月給   時給) 正担職品公	人 千円		0.51 0.00 0.00				0.00 0.00 0.00
	人   件		正規職員分 年度任用職員等		4,590 0	4,590	4,590 0	4,590	0	0
	費		人件費計(C)	千円	4,590	4,590	4,590	4,590	0	0
	3	総事	業費(A)+(C)	千円		4,630	4,630	4,632	0	0
2 評価の部 (1) 合体 (4) 東番のは用 (7)		<b>*</b> (			74.4		7 - +	(0) 車型	± ∩ ± △ L	
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 ア:目的妥当性	<u> </u>		3)課題・反省点 <i>)</i> 「レ」ウ:効率性		<sup> 改善</sup>  エ: 公平性	きや見直しを図 ────────オ:そ		(乙)争录	美の方針 コフ	スト
(課題がある場合にと) 「日的女当性」 (事業の成果)	1 1 : 有	刘汪	[7] グーツの単性		工:公平性	<b>オ</b> :て	の旭			持 増加
令和3年度は、相談受付278件中							の説明、雰	向上		
地確認作業、補助金交付等の業 (課題・反省点)	務を適且で	丁りこ	とで、安全な生活	「埬項	の確保を図	当った。		成維		
スズメバチの巣が、再利用される、真冬でも駆除が必要だ等の問い										
いえる。	ロタフピル	ンつ0 !	好ツ日 圧守にづ	v · C II	1八子、10)	/PJ AH/合づし	火火女にこ	下		
(2) 今後の声響の士白牌 (2)ませ	. 小羊字	<del>-/-</del> \						(廃止・	休止の場合は	は記入不要)
(3) 今後の事業の方向性(改革 一般的にスズメバチの巣はS58以			曽加傾向にある。	全国(	の死亡者数	ritS59より4	氏下し続け	. H21以降	は構げい	頃向にあ
る。多摩地区では駆除に関与する	る自治体に	減少	し、現在半数以	下とな	っている。	立川市では	相談件数	が横ばいて	で推移して	いる。都
市部に定着したスズメバチに対しに、早期発見・早期駆除につなが										

蜂の巣駆除に関する相談受付 蜂の巣確認作業 スズメバチの巣の駆除に対する 補助金交付  「事業費」(A) 千円 476 545 584 585 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	令和 3 年度事後評価	令和	和4	4	年度	<b>事務</b>	事業	マネシ	<b>ジメン</b>	トシー	<b>卜</b> 令	和4年6	8 月作成
一部	事務事業名 蜂の巣駆除(蜂の巣	<b>長駆</b> [	徐補」	助金)	)			所属部	環境下水	道部	課長名	横塚 浩-	_
本本事業日   中部に対応が必要と   実施形態   全要表   マール   全要   日本   日本   全要   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日	政策名 環境・安全							所属課	環境対策	課	係名	環境指導	係
事業期間   平年度格及   年度   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日	施策名 持続可能な環境の	保全	<u>.</u>					予算科目	会計 1	款 4	項 1	目 4	事業 番号 1
事業期間     年年後区   年度   接換   生産医療   1 現状 把握の部(1) 事務事業の概要・目的・結果・下部・成果   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日	基本事業名 生活環境の保全							全部	『委託 ▶	一部委託	<b>✓</b> 補助・	助成	連携・協働
事長公称	半羊即間			根拠	П,			区除作業補	助金交付嬰	要綱(平成1	7年度開始	台)	,
野林田樹の部 (1) 事務事業の概要・目的・結果・活動・成果   1	年度~	年度											
本学報報   単位   H31年度   R2年度   R3年度   R4年度   R5年度		便 の 根	既要・	目的	」•結身	<u>┃</u> 艮·活動·成	果						
計付けるとされて、スズンゲチについては、東の家院舎用の一部を維助することにより、安全な   市民(1月11日東在)	①事業概要							H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
1   1   1   1   1   1   1   1   1   1	け付けるとともに、スズメバチに	ア	市民	(1月1	 1日現ā	<del></del> 在)	人	184,090	184,577	185,124			
空目的   対象を   のような状態にしたいのか   体	部を補助することにより、安全な	1											
②目的(対象をどのような栄養にたいのか) 住の危害から市民生活を守る。  中 117 136 121	市民生活を確保する。	ウ											
中央		<u>6</u>	活動	指標			単位						
録の危害から市民生活を守る。	(ア)目的(対象をどのような状態にしたいのか)						件				司四		前凹
つ   つ   の   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本						•							
3 結果(どのような精工(結び付けるか)				T 1-14-11 .	L'II >> -		'		==				
③結果(とのよう6結果に結び付けるか) スズメバチの巣を駆除することで、安全な生活環境の確保に 結び付ける。  (2)事業のコスト 単位 H31年度 実績 R3年度 実績 R3年度 実績 計画			成果	指標			単位						
(2) 事業のコスト	③結里(どのようか結果に結び付けるか)					件数		夫領			計画	計画	計画
(2)事業のコスト 単位 H31年度 R2年度 R3年度 R3年度 R3年度 R3年度 R3年度 R3年度 R3年度 R3	スズメバチの巣を駆除すること			1 /15 1.	111-2-4		'	-	_				
(2)事業のコスト 単位 H31年度 R2年度 実績 R4年度 計画 R5年度 計画 計画 H画 計画 M4の A4年度 実績 字様 P4年度 計画 R5年度 計画 計画 M4の A4年度 学校 学校 単純 R3年度 学校 P4年度 P4年度 P4年度 P4年度 P4年度 P4年度 P4年度 P4年度	で、安全な生活環境の確保に												
(2) 中本のおいて 実績 実績 実績 計画	祚 ( ひ当) ける。	')											
蜂の巣駆除に関する相談受付 蜂の巣確認作業 流動金交付		(2	)事美	ξのΞ	コスト		単位						
蜂の巣確認作業 スズメバチの巣の駆除に対する 補助金交付  **  **  **  **  **  **  **  **  **					国	庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
The content of th									_	Ŭ.	_		
業費	スズメバチの巣の駆除に対する		_	内	_					<u> </u>		v	
事業費計(A) 千円 476 545 584 585 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	補助金交付		事業	訳				_	_	_	_	_	
予算額(B)   千円   585   585   585   一   一   一   1   1   1   1   1   1   1				ļ								Ů	
執行率(A)/(B)   %   81.4%   93.2%   99.8%   一   一   一   一   一   一   一   一   一						-	-				_	_	
正規職員分 干円 2,430 2,430 2,430 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0				ŧ				81.4%	93.2%	99.8%	_	_	_
			2										
			人										
							-		_				
2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②改革・改善・③課題・反省点)			(3)				-						
※課題の有無 ア:目的妥当性 イ:有効性 レ ウ:効率性 エ:公平性 オ:その他 (事業の成果) 令和3年度は、相談受付278件中、スズメバチに関する相談が113件あった。市は、駆除方法の説明、現地確認作業、補助金交付等の業務を適宜行うことで、安全な生活環境の確保を図った。 (課題・反省点) スズメバチの巣が、再利用されることは無く、真冬には放棄され中は空になっているはずだが、市民から真冬でも駆除が必要だ等の問い合わせがある。蜂の習性等について市民等への周知啓発が必要だといえる。 (廃止・休止の場合は記入不要)			<u> </u>	160 子:	不良	(A) I (O)	1114	2,300	2,310	5,014	3,013	U	0
(事業の成果) 令和3年度は、相談受付278件中、スズメバチに関する相談が113件あった。市は、駆除方法の説明、現地確認作業、補助金交付等の業務を適宜行うことで、安全な生活環境の確保を図った。 (課題・反省点) スズメバチの巣が、再利用されることは無く、真冬には放棄され中は空になっているはずだが、市民から真冬でも駆除が必要だ等の問い合わせがある。蜂の習性等について市民等への周知啓発が必要だといえる。 (廃止・休止の場合は記入不要)		)改革	革·改	善(	3課是	題•反省点)		改善	きや見直しを図	つた	(2)事業		
令和3年度は、相談受付278件中、スズメバチに関する相談が113件あった。市は、駆除方法の説明、現地確認作業、補助金交付等の業務を適宜行うことで、安全な生活環境の確保を図った。 (課題・反省点) スズメバチの巣が、再利用されることは無く、真冬には放棄され中は空になっているはずだが、市民から真冬でも駆除が必要だ等の問い合わせがある。蜂の習性等について市民等への周知啓発が必要だといえる。  「廃止・休止の場合は記入不要)	(課題がある場合にと)	$\Box$	イ∶有	ī効性	~	ウ:効率性		工:公平性	オ:そ	の他			
地確認作業、補助金交付等の業務を適宜行うことで、安全な生活環境の確保を図った。 (課題・反省点) スズメバチの巣が、再利用されることは無く、真冬には放棄され中は空になっているはずだが、市民から真冬でも駆除が必要だ等の問い合わせがある。蜂の習性等について市民等への周知啓発が必要だといえる。 (廃止・休止の場合は記入不要)		、スプ	ズメバ	チに	関す	る相談が11:	3件あ・	った。市は、	駆除方法	の説明、我		月川川川市	.付 . 培加
真冬でも駆除が必要だ等の問い合わせがある。蜂の習性等について市民等への周知啓発が必要だと いえる。 (廃止・休止の場合は記入不要)	地確認作業、補助金交付等の業									1027117			
いえる。       (廃止・休止の場合は記入不要)	スズメバチの巣が、再利用されるこ												
(廃止・休止の場合は記入不要)		台わっ	せがる	ある。	蜂の食	習性等につ	いて正	5民等への	周知啓発7	が必要だと			
(3)今後の事業の方向性(改革・改善案等)	·										(廃止・	休止の場合に	は記入不要)
がいたりょうが とくて の光とLOEのNIRA と称となって					24 -b- /G	たん)マナフ		5 TT -L- +X *V	artaro bio/	rf == 1 .	11011117	), 1, 4#; ), 1%; , /	ほかしゃよ
一般的にスズメバチの巣はS58以降、都市部で増加傾向にある。全国の死亡者数はS59より低下し続け、H21以降は横ばい傾向にある。多摩地区では駆除に関与する自治体は減少し、現在半数以下となっている。立川市では相談件数が横ばいで推移している。都	る。多摩地区では駆除に関与する	5自治	台体に	は減少	いし、判	見在半数以	下とな	っている。	立川市では	相談件数	が横ばいて	で推移してい	いる。都
	市部に定着したスズメバチに対し	声	民から	うの柞	日談に	応じ、職員に	による	現場確認	駆除費用	の助成、防	護服の貸	出を継続す	- ストンも

市部に定着したスズメバチに対し、市民からの相談に応じ、職員による現場確認、駆除費用の助成、防護服の貸出を継続するととに、早期発見・早期駆除につながるよう周知啓発する。また、状況に応じた適当な対策となるよう事業内容の検討を継続していく。

令和 3 年度事後評価	令和 4	4 年月	度 事務	事業	マネシ	<b>ジメン</b>	トシー	<b>卜</b> 令和	11 4 年 6	6 月作成
事務事業名 喫煙対策事業					所属部	環境下水	道部	課長名	横塚 浩-	_
<b>政策名</b> 環境・安全					所属課	環境対策	課	係名	環境推進	係
施策名 持続可能な環境の	保全				予算科目	会計 1	款 4	項 1	目 4	事業 番号 2
基本事業名 生活環境の保全				地形態 (選択可)	全部	<b>多</b> 話	/ 一部委託	補助・		連携・協働
事業期間 単年度繰返 平成19 年度~		根拠		全で快	・適な生活	環境を確保	- とするための	)喫煙制限	:条例	
	O	去令等			更防止条例					
1 現状把握の部(1)事務事業	美の概要・	目的·結	果・活動・成	果						
①事業概要 市民・関係団体・事業者と行政	<b>⑤</b> 対象	数の推移	3	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
の協働による喫煙マナーアップ			数(1/1の20歳 労省喫煙率)	人	25,689	27,515	25,964			
実行委員会が、立川市内の駅 でキャンペーンを行う等、条例	<b>1</b> 人	ヘロヘ序	方有 突煙率)							
の周知啓発活動を行う。定期的	ウ									
な喫煙状況調査を実施し、事業 の効果を測定する。立川駅南北					H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
の公衆喫煙所を運営する。	⑥活動:	指標		単位	実績	実績	実績	計画	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	アキャン	ペーン実	施回数	回	13	10	12			
喫煙制限条例の周知啓発を通 じ、喫煙マナーが向上すること	イ喫煙料	<b>犬況調査</b>	実施回数	旦	1	1	1			
で、喫煙者・非喫煙者の共存が	ウ 喫煙・	マナーアッ	プ実行委員	□	2	2	1			
図られる。	⑦成果:			単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア特定は		の路上喫煙率	%	0.08	0.03	0.01			
路上喫煙を制限し、また喫煙マ	, 特定 <sup>1</sup>	也区内での	の路上喫煙率	%	0.08	0.05	0.01			
ナー向上を図ることで、住みやすいまちの実現につながる。	り	調 <u>金)</u>		, -						
ティスウック大党にフルスがいる。	.7									
	(2)事第	美のコスト	•	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
立川市内の駅周辺での喫煙制		財	都支出金	千円	575	20,893	814	856	0	0
限条例の周知啓発活動 ポイ捨て状況調査(7,1月に実	1	源 一	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
施)	事	訳	その他	千円	0			0	0	
路面標示シートの新設、貼替 市内各駅の喫煙状況調査の実	業費	ىلىد 🛨	一般財源	千円	8,121	33,376	72,165	45,399	0	0
施 立川駅南北の公衆喫煙所の運			:費計(A)	千円	8,696	54,269	72,979	46,255	0	0
用開始			算額(B) 率(A)/(B)	千円 %	9,466	65,804 82.5%	75,024 97.3%	_	_	
									0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	2 人		現職員分	千円	3,780	7,380	8,100	8,100	0	0
	件	会計年度	<b>E任用職員等</b>	千円	0	0	0	0	0	0
	費	人件	·費計(C)	千円	3,780	7,380	8,100	8,100	0	0
	3	総事業費	₹(A)+(C)	千円	12,476	61,649	81,079	54,355	0	0
2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・()	2)改革•改	善:③課	題•反省点)		改善	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	つた	(2)事業	きの方針	
※課題の有無 マロの空当性	<u> </u>				工:公平性				ادر (۱۳	スト
(事業の成果)			_					<b> </b>	削減維	持 増加
立川駅周辺の啓発活動、巡回キャ 啓発を行った。損傷が著しい路面								,        向        上		
行った。立川駅南北の公衆喫煙				)PJ 1/2	/ 1/11/3109/	(以)大庄小	化明ヨる	成 集 持		
(課題・反省点) 新型コロナウイルス感染症の影響	返により 哮	!煙マナ-	-アップキャン	/~°—	ンが中止と	たスニレが。	多かったの			_
で、啓発物資配布以外の啓発方					~ ~   <u></u> C	- & DCC//-	<i>91</i> 0 21C+2	下		
(2) 人名尔克罗尔士克州 /7-1	1. 北羊安/	<del>/-/-</del> \						(廃止・作	休止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革歩きたばこ、ポイ捨ての苦情は、			寄せられてい	ステレ	から 新刑	コロナウイ	ルス成沈点	くりなけば	を老庸しか	がら市
内各駅での啓発キャンペーンを終	継続して行	っていく。	立川駅南北							
ンス、喫煙マナー指導員の配置等	等の委託業	を終の管3	埋を行う。							

事務事業名	途評価)	#未(凡	D-490.	川(口)野	四件册列亚位	ナカリ	所属部	環境下水	道部	課長名	横塚浩	<b>→</b>
政策名	環境•安全						所属課	環境対策	課	係名	環境推進	係
施策名	持続可能な環境の	保全					予算科目	会計 1	款 4	項 1	目 4	事業 3番号 3
基本事業名	生活環境の保全					<b>色形態</b>	全部	<b>『委託</b>	一部委託	<b>ィ</b> 補助・	助成	連携·協働
<del>古</del> ** *** ***	単年度繰返			TE TPU		(選択可) 養及し	 ド管理に関 <sup>・</sup>	する法律				•
事業期間	平成21 年度~	年度		根拠 去令等	東京都動物	物の愛	き護及び管	理に関する	5条例			
市長公約		0										
	屋の部 (1)事務事業	美の概	要•	目的・	結果·活動·成	果						
①事業概要	ない猫による地域で	<b>⑤</b> 対	<b>才象</b>	数の推	:移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
のトラブルの	解消を図るため地	ア均	也域犭	苗活動を	登録団体	団体	45	38	30			
	体を支援する。地域 知啓発を促進する											
	が出域猫登録団体	1										
	動し、譲渡相談会な	ウ										
どの開催や  実施する。	也域への働きかけを	<b>⑥</b> 浸	動	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
	どのような状態にしたいのか)	ア意	子目 ア		 連絡会)の開催	□	<b>大順</b>	<b>大</b> 順 4	<b>大</b> 根	пш		пш
	行政が協働で地域								- 1			
猫活動に取り	0組むことで、猫が	17	<b>卜妊•</b>	去勢数	•	匹	182	134	117			
	ブルを解消し、誰も	ウ調	襄渡村	目談会の	り開催	口	8	3	3			
か快週に春9	らせるまちの実現を	⑦成	<b></b> 大果	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
3結里(どの)	うな結果に結び付けるか)	ア均	<b>北域</b> 系	苗(団体	 が把握する猫)	匹	<del>天順</del> 655	<del>天順</del> 448	377	前凹	前凹	可凹
	と連携・協働して、					· ·						
地域猫活動	を推進することで、		曲に関	対す るさ	情相談件数	件	68	60	22			
住みやすいる がる。	まちの実現につな	ウ										
N-100		(2)	車当	美のコス	<b>.</b> .	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		(-/	, ,				実績	実績	実績	計画	計画	計画
_	度実績(事業活動)			財	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
地域価値期間	に伴う不妊去勢手 浦助の実施。			源	都支出金	千円	28	32	16	48	0	0
自治会や住民	民への説明・相談。		1	内	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	、講演会の開催。地 体連絡会の開催。		事業	訳	その他	千円	0	0	0	0	0	0
次加豆虾山	平 <del>建</del> 加五v/用度。		費	=	一般財源	千円	28	32	16	49	0	- J
					業費計(A)	千円	56	64	32	97	0	0
					予算額(B) 	千円	102	101	101			
		H			行率 (A)/(B) ▼ <sub>(正規 月給 時給)</sub>	人	54.9%	63.4%	31.7% 0.16 0.00 0.00	0.16 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
			2		<sup>ێᇉᇌᆝ궑給ᆝ時給)</sup> ⋮規職員分	十円	1,440	1,440	1,440	1,440	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00
			人件		.戍嘅貝刀 ■度任用職員等		1,440	1,440	1,440	1,440	0	0
			費		-及世州城員寺 件費計(C)	千円	1,440	1,440	1,440	1,440	0	0
		H	(3):		于其时(O) :費(A)+(C)	千円	1,446	1,504	1,472	1,537	0	0
2 評価の部	ß			····			1,100	1,001	1,112			
(1)全体総打	活①事業の成果・②	2)改革	• 改	善3	課題·反省点)		改善	や見直しを図	回った	(2)事業	美の方針	
※課題の有無 (課題がある場合に			イ:有	効性	✓ ウ:効率性	~	工:公平性	オ:そ	の他			スト
(事業の成果	) 活動団体と地域住										削減 維	持 増加
	手術の実施ができた。 f動の啓発のために、											
	大防止のためにイベ					四亿1]	つたか、利	空コロナリ	イルへ恐呆	成 維		
(課題・反省点	点)					ा चारा ः !	JV. A NU	4	占が目さい	果摂低		
	ブルが少なくなった団											
「□ □ □ 1/1 □ 7/1 · 1 □ 0 □ □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1 □ 1/1	い地域での猫のトラ	ブルが	7巻に	‡してい	いる。入院筌に	じつて	が開ける	なくなった	という問い			
	い地域での猫のトラン るが、対応が困難であ		\$発 <i>生</i>	<b></b> もしてい	る。入院等に。	よって	、猫か飼え	なくなった	といり問い		休止の場合に	は記入不要)

令和

今後も、猫の苦情相談が寄せられる地域を中心に、地域猫活動を推進していく。既存の地域猫活動団体の登録更新を促し、継続的 な猫の見守りをお願いしていく。また、高齢者のペットの終生飼養の問題など、新たな課題への対応が求められており、地域猫活動事業とは別の枠組みを検討していく。

令和 3 年度事後評価	<u>令和</u>	4 4	年度 事務	<u>事業</u>	マネシ	ジメン	<u>トシー</u>	ト <sub>令</sub> 和	11 4 年 (	6 月作成
事務事業名地域猫活動推進事	事業(地域	猫活	動団体補助金)		所属部	環境下水	道部	課長名	横塚浩	_
政策名 環境・安全					所属課	環境対策	課	係名	環境推進	
施策名 持続可能な環境の	保全				予算科目	会計 1	款 4	項 1	目 4	事業 3 番号 3
基本事業名生活環境の保全			(複数	<b>も形態</b>		<b>『委託</b>	一部委託	<b>✓</b> 補助・	助成	連携•協働
事業期間 単年度繰返 平成21 年度~	年度	根拠	古		が管理に関	する法律 理に関する	(久何)			
	0	法令	_			助金交付				
1 現状把握の部 (1)事務事第	(の概要	∙目的	)・結果・活動・成	果						
①事業概要 飼い主のいない猫による地域で	<b>⑤</b> 対象	数の	推移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
のトラブルの解消を図るため地	ア地域	猫活重	動登録団体	団体	45	38	30			
域猫活動団体を支援する。地域猫活動を行う団体に対して、不	イ地域	猫(団	体が把握する猫)	匹	655	448	377			
妊去勢や譲渡費用の補助を行う。	ウ									
70	<ul><li>⑥活動</li></ul>	指標		単位	H31年度	R2年度 実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	<b>ア</b> 不妇			匹	<b>実績</b> 182		<b>実績</b> 117	計画	計画	計画
市民・地域・行政が協働で地域	イ譲渡			匹	187	152	139			
猫活動に取り組むことで、猫が 起因となるトラブルを解消し、誰も	ウ捕獲			台	5	2	100			
が快適に暮らせるまちの実現を目指す。	7成果			単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
3 <b>結果</b> (どのような結果に結び付けるか)			 体が把握する猫)	匹匹	<b>実績</b> 655	<b>実績</b> 448	<b>実績</b> 377	計画	計画	計画
市民や団体と連携・協働して、			る苦情相談件数	件	68	60	22			
地域猫活動を推進することで、 住みやすいまちの実現につな		-  大  リ 'o		П		- 00	22			
がる。	ウ									
	(2)事	業のコ	コスト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
地域猫活動に伴う不妊去勢手術などへの補助の実施。		財	都支出金	千円	1,072	816	721	1,150	0	0
自治会や住民への説明・相談。	1	内	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
譲渡相談会の開催。地域猫登 録団体連絡会の開催。	事業	訳	その他	千円		816	722	1,150	0	
	費	-	事業費計(A)	千円		1,632	1,443	2,300	0	_
			予算額(B)	千円	2,688	2,586	2,400	_	_	_
			执行率(A)/(B)	%	79.8%	63.1%	60.1%	_		_
	2		数(正規   月給   時給)	人	0.44 0.00 0.00		0.43 0.00 0.00			
	人   件		正規職員分    年度任用職員等	千円	3,960	3,600	3,870	3,870	0	0
	費			千円	3,960	3,600	3,870	3,870	0	
	3		業費(A)+(C)	千円		5,232	5,313	6,170	0	0
2 評価の部	@75# -	L¥ /			7		a <i>t</i>	(0) 市場	± 0 ± 41	
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無			3)課題・反省点) 「✓」ウ:効率性		<sup>  改善</sup>  エ: 公平性	きや見直しを図 オ:そ		(2)争录	の方針った	スト
(課題がある場合によ) 「事業の成果)	1 1.	日刈江			工. 公十日	٦.٠	<b>の個</b>			持 増加
地域猫活動団体の取組により、地				ことが	できた。また	た、子猫や	成猫の譲渡	自自上		
により、地域での問題になる猫の (課題・反省点)			-					成維		
地域猫活動団体がない地域では により、対応を図った。 既存団体						の活動エリ	アの拡大	果 持 低		
. 3.7 (74/2 C = 21-0 % 1 D PT	· 14 273		****	ц,с	. 90			下	チルの担へ	+ 約1ア亜)
 (3)今後の事業の方向性(改革	支 改善室	室(等)						(発止・1	木止の場合に	ょ配八个安)
今後も、猫の苦情相談が寄せられ	いる地域を	を中心	に、地域猫活動を	を推進	こしていく。き	未手術の猫	首がいると、	猫の数は1	匹につき	F間で10
匹程度増える可能性があり、地域 を促し、継続的な猫の見守りをお	なでの猫の	)継続	的な管理と未手行	析の猫	「への手術	が必要であ	る。既存の	地域猫活	動団体の登	<b>登録更新</b>
する。	·//// ( ) ( )	1 ./0	ショエ チ て ^ ノク田 º ノ ト	= ×±1/\	いして 小型がた	, a/LV/(L	、コ 反び心・	X7E1D 59/L	4」 /十 <sup>・・・</sup> *ソノ/肝	コウノ こ 小仏が几

令和 3 年度事後評価	<u> </u>	Ц 4	▶ 年 <u></u>	争務	事 耒	マイン	<u> ノメン</u>	トンー	<b>卜</b> 令	和 4 年 6	6 月作成
事務事業名 専用水道事務等						所属部	環境下水	道部	課長名	横塚浩	<del>-</del>
政策名 環境・安全						所属課	環境対策	課	係名	環境指導	係
施策名 持続可能な環境の	保全	,				予算科目	会計 1	款 4	項 1	目 4	事業 4番号 4
基本事業名生活環境の保全					を ・ 選択可)	✓ 全部	『委託	一部委託	補助・	助成	連携·協働
事業期間 単年度繰返			根拠	水道法、東		条例、東京	京都要綱、均	地方自治法	ž.		
平成25 年度~	年度	注	情况 1875年								
市長公約     主要施策   1 現状把握の部(1)事務事業	の概	亜・	日的•結耳	┃ <b>┃・</b> 活動・成。	里						
①事業概要			数の推移		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
地域主権推進一括法の施行に 伴い水道法に係る専用水道、簡									八千十茂	NO 千度	NO千度
景中川水道伝に係る専用水道、間	ア	水道沒	去に規定す	る施設数	件	366	360	351			
特定小規模貯水槽水道等、都	1	都条例	列に規定す	る施設数	件	1,117	1,091	1,051			
要綱における飲用に供する井 戸等の衛生行政に関する事務	ウ	都要絲	岡に規定す	る施設数	件	14	14	11			
について地方自治法に基づき 都へ事務委託を行う。	6;	舌動扌	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア	水道法	去に規定す	る事務委託	件	366				пш	
東京都へ専用水道等の事務を	7 1	<u>数</u> 都条例	列に規定す	る事務委託	件	1,117	1,091				
委託し、衛生行政の維持を図	1	数 都要組	圏に規定す	る事務委託			· ·				
る。	·ノ	数		0 <del>1</del> 1/1 X III	件	14 <b>H31年度</b>	14 <b>R2年度</b>	11 <b>R3年度</b>	R4年度	R5年度	R6年度
	<b>7</b> ,	<b></b>	指標		単位	実績	実績	実績	計画	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア	施設の	)改善指示		件	0	0	0			
専用水道等の安全確保を図り、良好な生活環境を維持してい	1	給水值	亭止命令		件	0	0	0		ļ	
く。	ウ										
	(2)	中本	<b>手のコスト</b>		24 /L	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	(2,	<b>一</b>			単位	実績	実績	実績	計画	計画	計画
④令和3年度実績(事業活動)					千円	0	0		0	0	_
事務委託をしている東京都において、専用水道等についての施			源	郭支出金	千円	0	0		0	0	_
設の把握、届出の受理、報告の		1	内 —	地方債その他	千円	0	0		0	0	
徴収、立入検査、水質検査を実 施するとともに講習会を開催し		事業	訳	<u>- その他</u> -般財源	千円 千円		2,641	2,930	3,150	0	
た。		費		世 表 表 表 計 (A)	· · · · 千円	2,862	2,641	2,930	3,150	0	_
				[額(B)	千円	3,857	3,689	,	_	_	_
			執行率		%	74.2%	71.6%	74.3%	_	_	_
		2	職員数征	規 月給 時給)	人	0.26 0.00 0.00	0.21 0.00 0.00	0.21 0.00 0.00	0.21 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
		人	正規	職員分	千円	2,340	1,890	1,890	1,890	0	0
		件   費	会計年度	任用職員等	千円	0	0	0	0	0	0
				費計(C)	千円		1,890		1,890	0	0
2 評価の部		3	総事業費	(A)+(C)	千円	5,202	4,531	4,820	5,040	0	0
(1)全体総括(①事業の成果・②	2)改革	≛・改	善・③課題	題•反省点)		改善	きや見直しを図	図った	(2)事業	美の方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性 [ (課題がある場合に)			効性 対性	」 フロ・M/ フロ・効率性		工:公平性		の他		ī	スト
(事業の成果)				-						削減組	持増加
地域主権一括法により平成25年スケールメリットを図るため都へ委				とづく事務が	市へ	移譲となっ	たが、広域	処理による			
アンプログランドを図るにの金の一分	申してし	U ( V	.′√₀						成 維 果 持	(	
									果  <u>持</u>   低		
									下		
		<u></u>	efer \						(廃止・	休止の場合は	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革				<b>小宝兰</b> 5年	; /l.	淮ナが出し	トスたい	〒日日 ケロ⇒が・ナ	性っていて	古古却。	すな チョイ
専用水道等の水の安全を確保す を継続する。	つにめ	り、郊	学りな行	<b>以連呂</b> 〜僅	土水	年で維持る	りつだめ、昔	チ门加誠を	付っている	宋 尔 和 个 ·	尹伤安託

令和 3 年度事後評価	<u> 市</u> 木	<u> 1</u> 4	- 年	<u>   度 事務</u>	<u>事</u>	マネシ	ノメン	トンー	<b>卜</b> 令	和 4 年 6	<u> 月作成</u>
事務事業名空き地の適正管理	指導	_	_	_	_	所属部	環境下水	_ 道部	課長名	横塚 浩-	_
政策名 環境・安全						所属課	環境対策	課	係名	環境指導	係
施策名 持続可能な環境の	保全					予算科目	会計 1	款 4	項 1	目 4	事業 _ 番号
基本事業名生活環境の保全					<b>地形態</b>	全部	<b>『委託</b>	一部委託	補助・	助成	連携•協働
事業期間 単年度繰返		7	根拠			管理の適	正化に関す	る要綱			
市長公約   主要施策	年度		<b>长</b> 令等	<u> </u>							
1 現状把握の部(1)事務事業	の概	要•[	目的:	結果·活動·成	果						
(1)事業概要 株古笠が繁生したままな置され	<b>⑤</b> \$	寸象娄	数の推	推移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
雑草等が繁茂したまま放置されている空き地を適正に管理させ			れた2	空き地等(通報件	件	29	31	26			
ることにより、生活環境の保全及 び市民生活の安全を確保する。	イ	数)									
〇.山か一口 ハマ 丁 こ はいい 、 の 0	ゥ										
		1	· - 1 mm			H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	6)活	舌動指	旨標		単位	実績	実績	実績	計画	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	アき	<b>苫情</b> 受	受付件	数	件	29	31	26			
雑草等を繁茂したまま放置させ ない。	1										
/A V 0	ウ										
	<b>⑦</b> 瓦	<b>龙果</b> 指	旨標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)			指導作	牛数	件	<del></del>		<del> </del>	計画	計画	司凹
空き地の管理の適正化を図るこ	1		JH ., .		'						
とにより、生活環境の保全及び											
市民生活の安全の確保に結びつける。	ウ										
	(2)	事業	(のコ	スト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
					_						
④令和3年度実績(事業活動)				国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
苦情受付			財源	都支出金	千円	0	0	0	0	0	0
		1	源内	都支出金 地方債	千円 千円	0	0	0	0	0	0
苦情受付 現地等調査		事	源	都支出金 地方債 その他	千円 千円 千円	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	
苦情受付 現地等調査			源内訳	都支出金 地方債 その他 一般財源	千円 千円 千円 千円	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0 0	0 0 0	0 0 0
苦情受付 現地等調査		事業	源内訳事	都支出金 地方債 その他	千円 千円 千円	0 0	0 0 0	0 0	0 0	0 0	0 0 0
苦情受付 現地等調査		事業	源内訳事	都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A)	千円 千円 千円 千円	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0 0	0 0 0	0
苦情受付 現地等調査		事業費	源内訳事執職員	都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給)	千円 千円 千円 千円 千円 千円	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 	0 0 0	0 0 0 0 0 0 
苦情受付 現地等調査		事業費②人は	源内訳	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) E規職員分	千円 千円 千円 千円 千円 千円 % 人	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 5,670	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 	0 0 0 0 0 0 	0 0 0 0 0 
苦情受付 現地等調査		事業費②人は	源内訳 執 員	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) E規職員分 年度任用職員等	千円 千円 千円 千円 千円 4 千円 千円	0 0 0 0 0 0 0 0.74 0.00 0.00	0 0 0 0 0 0 0 0 0.63 0.00 0.00 5,670	0 0 0 0 0 0 0 0 0.63 0.00 0.00 5,670	0 0 0 0 0 0 - - 0.63 0.00 0.00	0 0 0 0 0 0 0 	0 0 0 0 0 0 
苦情受付 現地等調査		事業費 ②人件費	源内訳 執	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) E規職員分 年度任用職員等	千円 千円 千円 千円 4 千円 千円 千円	0 0 0 0 0 0 0.74 0.00 0.00 6,660	0 0 0 0 0 0 0 0.63 0.00 0.00 5,670	0 0 0 0 0 0 0.63 0.00 0.00 5,670	0 0 0 0 0   0.63 0.00 0.00 5,670	0 0 0 0 0 0 	0 0 0 0 0 
苦情受付 現地等調査		事業費 ②人件費	源内訳 執	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) E規職員分 年度任用職員等	千円 千円 千円 千円 千円 4 千円 千円	0 0 0 0 0 0 0 0.74 0.00 0.00	0 0 0 0 0 0 0 0.63 0.00 0.00 5,670	0 0 0 0 0 0 0 0 0.63 0.00 0.00 5,670	0 0 0 0 0 0 - - 0.63 0.00 0.00	0 0 0 0 0 0  0.00 0.00 0.00	0 0 0 0 0   0.00 0.00 0.00 0.00
苦情受付 現地等調査 所有者等への指導・助言  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②	②改革	事業費 ②人件費 ③ ※	源内訳 事 執員 計 人 第 一 3	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) E規職員分 年度任用職員等 、件費計(C) 業費(A)+(C)	千円 千円 千円 千円 人 千円 千円 千円	0 0 0 0 0 0 0.74 0.00 0.00 6,660 0 6,660	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0,63 0.00 0.00 5,670 0 5,670	0 0 0 0 0 0 - - 0.63 0.00 0.00 5,670 5,670	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0.00 0.00 0.00 0
苦情受付現地等調査 所有者等への指導・助言  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合にマ) ア:目的妥当性	②改革	事業費 ②人件費 ③ ※	源内訳	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) E規職員分 年度任用職員等 、件費計(C) 業費(A)+(C)	千円 千円 千円 千円 人 千円 千円 千円	0 0 0 0 0 0 0.74 0.00 0.00 6,660 0 6,660	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0,63 0.00 0.00 5,670 0 5,670	0 0 0 0 0 0 - - 0.63 0.00 0.00 5,670 5,670	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
苦情受付 現地等調査 所有者等への指導・助言  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合にマ) (事業の成果)	②改革	事業費②人件費③糸される	源内訳 事 執員 計 人 第 一	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) E規職員分 年度任用職員等 (件費計(C) 業費(A)+(C)	千円       千円         千円       千円         千円       千円         千円       千円         千円       千円	0 0 0 0 0 0 0 0.74 0.00 0.00 6,660 0 6,660 0 0 0 2 0 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 5,670 0 5,670 5,670	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 - - 0.63 0.00 0.00 5,670 5,670	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00
苦情受付 現地等調査 所有者等への指導・助言  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合に))ア:目的妥当性	②改革	事業費②人件費③糸される	源内訳 事 執員 計 人 第 一	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) E規職員分 年度任用職員等 (件費計(C) 業費(A)+(C)	千円       千円         千円       千円         千円       千円         千円       千円         千円       千円	0 0 0 0 0 0 0 0.74 0.00 0.00 6,660 0 6,660 0 0 0 2 0 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 5,670 0 5,670 5,670	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0   5,670 0 5,670	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	000000000000000000000000000000000000
苦情受付 現地等調査 所有者等への指導・助言  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合にマ) (事業の成果)	②改革	事業費②人件費③糸される	源内訳 事 執員 計 人 第 一	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) E規職員分 年度任用職員等 (件費計(C) 業費(A)+(C)	千円       千円         千円       千円         千円       千円         千円       千円         千円       千円	0 0 0 0 0 0 0 0.74 0.00 0.00 6,660 0 6,660 0 0 0 2 0 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 5,670 0 5,670 5,670	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 - - - 5,670 5,670 5,670 (2)事業	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	000000000000000000000000000000000000
苦情受付 現地等調査 所有者等への指導・助言  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合にマ) (事業の成果)	②改革	事業費②人件費③糸される	源内訳 事 執員 計 人 第 一	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) E規職員分 年度任用職員等 (件費計(C) 業費(A)+(C)	千円       千円         千円       千円         千円       千円         千円       千円         千円       千円	0 0 0 0 0 0 0 0.74 0.00 0.00 6,660 0 6,660 0 0 0 2 0 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 5,670 0 5,670 5,670	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0   5,670 0 5,670	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	000000000000000000000000000000000000
苦情受付 現地等調査 所有者等への指導・助言  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合にマ) (事業の成果)	②改革	事業費②人件費③糸される	源内訳 事 執員 計 人 第 一	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) E規職員分 年度任用職員等 (件費計(C) 業費(A)+(C)	千円       千円         千円       千円         千円       千円         千円       千円         千円       千円	0 0 0 0 0 0 0 0.74 0.00 0.00 6,660 0 6,660 0 0 0 2 0 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 5,670 0 5,670 5,670	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 - - 0.63 0.00 0.00 5,670 5,670 (2)事第	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00
<ul> <li>苦情受付現地等調査所有者等への指導・助言</li> <li>(1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 (課題がある場合にマ) (事業の成果) 空き地の所有者等に適正な管理</li> <li>(3)今後の事業の方向性(改革</li> </ul>	を求め	事業費②人件費③・改有	源内訳 事 執員 1計人 第 3 1 1 で う	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) E規職員分 年度任用職員等 (件費計(C) 業費(A)+(C) 課題・反省点) ウ:効率性	千円円 千円 ・	0 0 0 0 0 0 0 0 0 6,660 0 6,660 6,660 立 世 工:公平性	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 5,670 0 5,670 5,670	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 - - 0.63 0.00 0.00 5,670 5,670 (2)事第	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
を	を求め	事業費②人件費③・改有	源内訳 事 執員 1計人 第 3 1 1 で う	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) E規職員分 年度任用職員等 (件費計(C) 業費(A)+(C) 課題・反省点) ウ:効率性	千円円 千円 ・	0 0 0 0 0 0 0 0 0 6,660 0 6,660 6,660 立 世 工:公平性	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 5,670 0 5,670 5,670	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 - - 0.63 0.00 0.00 5,670 5,670 (2)事第	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

令和 3 年度事後評価	<u> </u>	4 1	丰度 事務	事 耒	マイン	ノメン	トンー	<b>卜</b> 令	和 4 年 (	6 月作成
事務事業名 公衆便所管理運営	<b>對</b>				所属部	環境下水	道部	課長名	大須賀 -	一夫
政策名 環境・安全					所属課	ごみ対策	課	係名	計画推進	係
施策名 持続可能な環境の	保全				予算科目	会計 1	款 4	項 2	目 3	事業 2番号 2
基本事業名生活環境の保全				地形態 (選択可)	全部	<b>『委託 ▶</b>	✓ 一部委託	補助・	助成	連携∙協働
事業期間 単年度繰返 昭和40 年度~	年度 ,	根拠	- 5川主ハュ			関する法律	<u> </u>			
	$\circ$	法令等								
1 現状把握の部(1)事務事業	美の概要・ □ □	目的	•結果•活動•成	果						
①事業概要 市内に設置している公衆便所を	⑤対象	数の	推移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
適切に維持管理し、市民や来 訪者の利便を図るとともに、公衆 衛生環境を確保する。	ア公衆	便所認	设置箇所数	ヶ所	2	2	2	2		
	ゥ									
	⑥活動	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア年間	清掃日	1数	日	366	365	365	365		
利用者が快適に利用できるよう、適正な維持管理に努め、良好な環境を維持する。	イウ									
⑦成果指標					H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか) 市民や来訪者の利便性及び快		利用豆	可能日数	日	366	365	365	365		
適な公衆衛生環境の維持	イウ									
	(2)事	業の=	コスト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
・日常清掃、定期特別清掃・消耗品(トイレットペーパー等)		財源	都支出金	千円	0	0	0	0	0	0
の補充	1	内	地方債	千円	0	0	0	0	0	
<ul><li>・排管清掃</li><li>・破損個所の修繕</li></ul>	事業	訳	その他	千円	0	0	0	0	U	Ů
	費		一般財源 事業費計(A)	千円	10,974 10,974	11,098 11,098	11,458 11,458	11,302 11,302	0	_
		-	尹未負計(A) ──── 予算額(B)	千円	11,509	11,453	11,436	11,302		
		<b></b>	以行率(A)/(B)	%	95.4%	96.9%	97.0%	_	_	_
		_	<b>数</b> (正規   月給   時給)				0.42 0.00 0.00	0.42 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	<b>②</b> 人		正規職員分	千円	4,770	4,500	3,780	3,780	0	0
	件	会計	-年度任用職員等	千円	0	0	0	0	0	0
	費		人件費計(C)	千円	4,770	4,500	3,780	3,780	0	0
	3	総事	業費(A)+(C)	千円	15,744	15,598	15,238	15,082	0	0
2 評価の部	^¬++ ¬+	· ¥ (	の細胞 に少よ)		7b #	5 th F1 = 1 + 12	7.4	(0) 車業	美の方針	
(1)全体総括(①事業の成果・②						・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		(4)争求		スト
※課題の有無 (課題がある場合により) (事業の成果)市内2か所の公衆(					エ:公平性   		- <b>の他_<i>レ</i>_</b> 利用空間を			持 増加
提供した。 (課題・反省点)立川駅南口公衆( 等が後を絶たない。快適な利用2						が破損、トイ	レの詰まり	成果 成果		)
								(廃止・	休止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革	古·改善案	等)								
引き続き、市内2か所の公衆便所 みの不法投棄やいたずらによる	 「について 波損、トイレ	、清掃	帯や修繕等により まり等が後を絶た	、快適 こない	iな利用空  ため、それ	間を維持す らを抑止す	る。立川駅 るための手	R南口公衆 ≤法を検討	便所につい する。	ハては、ご

令和 3 年度事後評価	令和 4	4 年度 事務	事業	マネシ	ジメン	トシー	<b>卜</b> 令和	和 4 年 6	3 月作成
事務事業名 空家等対策事業(生	生活安全	課)		所属部	市民生活	部	課長名	中島 弘隆	易
政策名 環境・安全				所属課	生活安全	課	係名	生活安全	<del></del> 係
施策名 持続可能な環境の	保全			予算科目	会計 1	款 8	項 4	目 1	事業 番号 6
基本事業名生活環境の保全			<b>も形態</b>	全部	『委託 🗸	一部委託	補助・	助成	連携•協働
事業期間 単年度繰返		空家等対	策の推		る特別措置				
平成30 年度~	年度 <b>7</b>	<b>共会等</b> 【立川市特)			管理に関す		<b>行</b>		
□ □ 長公利   □   土姜旭泉   ○ 1 現状把握の部 (1)事務事業				(守い旭工	官性に因う	る木門旭	11 及 只 1		
①事業概要 空家等対策の推進に関する特		数の推移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
別措置法及び特定空家等の適	ア管理	 不全空家等件数	件	40	36	35			
正管理に関する条例に基づき、 管理不全空家等及び特定空家	イ特定	空家等認定件数	件	6	3	2			
等に対して、空家特措法に基づ	ウ	T-SIN (1 BIDINE   1 354	''			-			
く措置を行う。		! b ! ==	224 / L	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	⑥活動:	<b>指標</b> 空家等認定審査会開催	単位	実績	実績	実績	計画	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア数特定	空 <b>多</b>	回	3	1	1			
管理不全空家等が適正に管理 される。	イ 市民	等からの通報件数	件	60	67	57			
CA 0.00	ウ								
	⑦成果:	指標	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)		····· 空家等認定件数	件	<b>夫根</b> 6	<b>夫</b> 根 3	<b>天</b> 積 2	司四		11四
空家等の適正管理につながり、		管理通知送付件数	通	55	48	38			
快適な生活環境が確保される。		自在他邓伦门 IT 数	地	JU	40	JU			
	ウ								
	(2)事業	業のコスト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
・市民から通報のあった、管理		財都支出金	千円	76	282	574	362	0	0
不全空家等所有者への適正管 理通知	1	源 地方債	千円	0	0	0	0	0	0
・特定空家等認定審査会の開催、及び特定空家等認定	事	訳その他	千円				0		
・空家等対策の推進に関する特	業費	一般財源	千円			1,070	407	0	0
別措置法に基づく助言・指導		事業費計(A) 予算額(B)	千円	1,046 1,063	615 799	1,644 2,344	769 —	0	0
		執行率(A)/(B)	%	98.4%	77.0%	70.1%	_	_	_
	2	職員数(正規   月給   時給)	人	0.65 0.10 0.00			0.60 0.10 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	人	正規職員分	千円	5,850	5,850	5,400	5,400	0	0
	件費	会計年度任用職員等	千円	350	420	420	420	0	0
		人件費計(C)	千円	6,200	6,270	5,820	5,820	0	0
	(3)	総事業費(A)+(C)	千円	7,246	6,885	7,464	6,589	0	0
(1)全体総括(①事業の成果・②	②改革•改			✓ 改善	きや見直しを図	つた	(2)事業	美の方針	
※課題の有無 ア・日的妥当性 [		前効性 □ ウ:効率性		工:公平性	オ:そ	の他			スト
(課題がある場合にと) (事業の成果)								削減維	持増加
市民等から通報のあった管理不会いて改善を促すことができた。また							.		
等による管理が確認されたため、			PIC AL C	- 4 0/ C <del>X</del> 11 ·	0   (C )(	C \ // H 1	成維持		
(改革・改善) 不在者財産管理人制度を活用し	て特定空	家等に認定されていた	案件	を解決した	とともに、オ	「在者財産			
管理人制度の活用に関するマニ			->/<11	2/11/0(0)			下	(Int off A)	127 7 37
(3)今後の事業の方向性(改革	. 改善安	<b>生</b> )					(発止・1	休止の場合は	ま記人不要)
・所有者による自主的な改善を促			たいま	場合は空家	を特措法に	基づく措置	の実施に〜	 ついて検討	か進め
る。									
・管理不全空家の所有者等から村	目談があっ	た場合に柔軟に対応	できる	よう、専門	家や事業者	がと連携して	て対応する	ことについ	て検討す

	令和 3 年度事後評価	<u> 令木</u>	<u> </u>	1 年	皮 事務	事業	マネシ	<u> シメン</u>	<u>トシー</u>	<b>卜</b> 令	和 4 年 (	6 月作成
	事務事業名 空家等対策事業(任	主宅誌	果)				所属部	市民生活	部	課長名	西上 大	助
本業期間	政策名 環境・安全						所属課	住宅課		係名		
事業期間 令和4 年次・今和2 年度	施策名 持続可能な環境の	保全					予算科目	会計 1	款 8	項 4	目 1	事業 番号 6
本表金約   一次	基本事業名生活環境の保全				(複数	選択可)	<u> </u>			✔ 補助・	助成	連携∙協働
重要議案		左曲		根拠				る特別措置	置法			
理解性機の部 (1) 事務事業の概要・目的・結果   括動・成果   日本学院   日本学院院   日本学院院院   日本学院院院院院院院院院院院院院院院院院院院院院院院院院院院院院院院院院院院院		_			立川市空	<b>豕等</b> が	可東計画					
	1 現状把握の部(1)事務事業	。 の 概	₹要・	目的•	結果·活動·成	果						
②家等実験商産による空産を 極 322	①事業概要	<b>⑤</b> \$	対象数	数の推	移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
(次国はNoticitaryを予定)   1	空家等対策計画に基づき施策	ア	空家等	等実態	調査による空き	棟	322	_	_			
2 目的(例象を2003分域製にしたいのか)   では不全空家等の発生を抑制   では一次では一次では一次では一次では一次では一次では一次では一次では一次では一次	を展開する。											
(6)活動指標 単位 実績 実質 R2年度 R3年度 R4年度 計画 計画 S28 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 475 693 4		-										
②目的(対象をどのような状態にたいのか) 管理不全空家等の発生を抑制する。			ナエル	LF.1=		× / L	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
2月 日前   1					ハボコ <del>ナに米k</del> ・	単位						
書巻行に係る空き家植数   標   13   20   18   18   18   18   18   18   18   1		1	(6/1~	~翌年:	5/31)	部	528	475	693			
ウ   つ   の						棟	13	20	18			
(3) 結果 (とのような結果に結び付けるか)   市民の良好な生活環境の海線 を図り、市民が安全に安心して生活することができる。	, 30	ウ										
③ 結果 (とのような結果 NBU 619 45 Ab)		<b>7</b> 5	<b></b>	指標		単位						
を図り、市民が安全に安心して生活することができる。  (2) 事業のコスト 単位 H31年度 実績 実績 実績 実績 計画 R5年度 計画 計画 計画 計画 計画 対象 ためまい 市ホームページ・空き家冊子を通じて情報提供を行った。  (2) 事業のコスト 単位 H31年度 実績 実績 実績 実績 計画 R5年度 計画 R5年度 計画 計画 計画 N5年度 実績 実績 実績 実績 まま いま にままままままままままままままままままままままままままままままま	③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア	管理プ	下全空:	家等件数	件				пе	пш	ш
全図り、市氏が安全に安心して生活することができる。  (2)事業のコスト 単位 H31年度 R2年度 実績 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R6年度 R6年度 R6年度 R6年度 R6年度 R6年度 R6	市民の良好な生活環境の確保	1										
(2)事業のコスト 単位 H31年度 R2年度 R3年度 R4年度 計画 R6年度 計画 計画 R6年度 字線 R3年度 R4年度 R3年度 R3年度 R4年度 R3年度 R3年度 R3年度 R3年度 R3年度 R3年度 R3年度 R3												
②令和3年度実績事業活動) ・広報たちかわ・市ホームページ・空き家冊子を通じた情報提供・令和4年度固定資産税納税通知書に同封する啓発用チラシの作成  「1」 事業費計(A) 〒円 101 2,556 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	Ξia / Φσσ., το Φο							2055	20/5	<i>b-</i>		
・広報たちかわ・市ホームページ・空き家冊子を通じた情報提供を行った。       1       本方債       千円       100       2,554       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0       0 <td< td=""><td></td><td>(2)</td><td>事業</td><td>美のコ.</td><td>スト</td><td>単位</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></td<>		(2)	事業	美のコ.	スト	単位						
・ 空き家冊子を通じた情報提供、					国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
世・令和4年度固定資産税納税通知書に同封する啓発用チラシの作成								2,554	0	0	_	
#書 と	供			内				_	_			
# 書業費計(A) 千円 201 5,110 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0			事   業	訳						_		
予算額(B)       千円       446       5,121       0       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       一       上       上       上       上       上       上       上       上       上       上       上       上       上       上       上       上       上       上       上       上       上       上       上       上       上       上       上       上       上       上				事				·		, and the same of		_
では、										_	_	_
正規職員分 千円 1,800 3,600 1,800 1,800 0 0 0 会計年度任用職員等 千円 525 1,260 840 840 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0				執	行率(A)/(B)	%	45.1%	99.8%		_	_	_
正規職員分   千円   1,800   3,600   1,800   0   0   0   0   0   0   0   0   0		Π	2						0.20 0.20 0.00	0.20 0.20 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
費       人件費計(C)       千円       2,325       4,860       2,640       0       0         3総事業費(A)+(C)       千円       2,526       9,970       2,640       0       0         2 評価の部       (1)全体総括(①事業の成果・②改革・改善・③課題・反省点)			7.1								_	
3総事業費(A)+(C) 千円 2,526 9,970 2,640 2,640 0 0 0 2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②改革・改善・③課題・反省点) ※課題の有無 ア:目的妥当性 イ:有効性 ウ:効率性 エ:公平性 オ:その他 コスト 削減 維持 増加 当市に基づき、空き家の所有者や空き家近隣の居住者向けに空き家関連情報を広報たちかわ・市ホームページ・空き家冊子を通じて情報提供を行った。 (3)今後の事業の方向性(改革・改善案等)令和4年度以降も引き続き、計画に基づき、発生抑制、適正管理の促進、利活用の促進等に係る空家等施策を進めていく。実態調査								,	-		_	_
2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②改革・改善・③課題・反省点)			(3){			-						
※課題の有無 ア:目的妥当性 イ:有効性 ウ:効率性 エ:公平性 オ:その他   コスト (課題がある場合にょ) (事業の成果) 計画に基づき、空き家の所有者や空き家近隣の居住者向けに空き家関連情報を広報たちかわ・市ホームページ・空き家冊子を通じて情報提供を行った。   成 推	2 評価の部		<b>9</b> 1	ドレティ	Q (7 (7 1 (O)	1111	2,020	0,010	2,010	2,010		
(事業の成果) 計画に基づき、空き家の所有者や空き家近隣の居住者向けに空き家関連情報を広報たちかわ・市ホームページ・空き家冊子を通じて情報提供を行った。  (3)今後の事業の方向性(改革・改善案等) 令和4年度以降も引き続き、計画に基づき、発生抑制、適正管理の促進、利活用の促進等に係る空家等施策を進めていく。実態調査		②改革	ⅰ改	善-③	課題・反省点)		改善	きや見直しを図	図った	(2)事業		
計画に基づき、空き家の所有者や空き家近隣の居住者向けに空き家関連情報を広報たちかわ・市ホームページ・空き家冊子を通じて情報提供を行った。  (3)今後の事業の方向性(改革・改善案等) 令和4年度以降も引き続き、計画に基づき、発生抑制、適正管理の促進、利活用の促進等に係る空家等施策を進めていく。実態調査	(課題がある場合にと)		イ:有	効性	ウ:効率性		工:公平性	オ:そ	の他			
ムページ・空き家冊子を通じて情報提供を行った。    上   様   提   持     「   「   「   「   「   「   「   「		っ空き	家近	·           	民住者向けに空	き家園	関連情報を	・広報たちた	いわ・市ホー	自向	月1700 市田	1分 追加
(3)今後の事業の方向性(改革・改善案等) 令和4年度以降も引き続き、計画に基づき、発生抑制、適正管理の促進、利活用の促進等に係る空家等施策を進めていく。実態調査						. C 2/\	3 XT 111 32 K	ATKIC JA	45 1144			
(3)今後の事業の方向性(改革・改善案等) 令和4年度以降も引き続き、計画に基づき、発生抑制、適正管理の促進、利活用の促進等に係る空家等施策を進めていく。実態調査										果持		O _
(廃止・休止の場合は記入不要) (3)今後の事業の方向性(改革・改善案等) 令和4年度以降も引き続き、計画に基づき、発生抑制、適正管理の促進、利活用の促進等に係る空家等施策を進めていく。実態調査										低		
・ 令和4年度以降も引き続き、計画に基づき、発生抑制、適正管理の促進、利活用の促進等に係る空家等施策を進めていく。実態調査											休止の場合に	は記入不要)
	(3)今後の事業の方向性(改革	•改書	善案	等)								
(C )v · Cfd、T7 /HU 十及よ/にfd f 十度の天旭を f 足し CV 'る。						の促済	進、利活用	の促進等に	こ係る空家	等施策を進	色めていく。	実態調査
	に フィ・いょ、アイ40十及または1円	戸皮り	・天雕	3C 1/Y	ヒレ(V'る。							

令和 3 年度事後評価	<u> </u>	<u> 1</u> 4	上年度 事務	<u>事</u>	ミマネン	<u> ノメン</u>	<u>トンー</u>	<b>卜</b> 令	和 4 年 6	<u> 3 月作成</u>
事務事業名 分譲マンション適	正管理	促進	進事業		所属部	市民生活	部	課長名	西上 大馬	功
政策名 環境·安全					所属課	住宅課		係名	住宅対策	
施策名 持続可能な環境の	)保全				予算科目	会計 1	款 8	項 4	目 1	事業 番号 7
基本事業名生活環境の保全				色形態 (選択可)	全部	『委託	一部委託	補助・	助成	連携・協働
事業期間	年度		根拠	けるマ	ンションの	適正な管理	世の促進に	関する条例	i	
1 現状把握の部(1)事務事業	業の概要	要・	目的·結果·活動·成	果						
①事業概要 東京におけるマンションの適正	⑤対	象数	数の推移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
な管理の促進に関する条例に	ア対	ままり	アンション	棟	0	143	143			
基づき提出される各種届出書を受理し、助言等を行う。										
文柱し、明日寺で行う。	-1									
	ウ				山竹左南	D0左座	DO左连	D4 F F	DE C G	DC 左连
	<b>⑥活</b>	動扎	旨標	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	アま	帰っ	アンションへの督促	通	0	49	30			
マンションの管理不全を予防		デ理イ で等	「全マンションへの調	件	0	3	10			
し、適正な管理を促進し、その社会的機能を向上させる。	上管	理不	マ全マンションへの指	件	0	0	0			
	7成		 남 <del>ᇤ</del>	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
@ A T T					実績	実績	実績	計画	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)			代況届出状況(累計) 	棟	0	119	133			
良質なマンションストック及び良好な居住環境の形成を促進し、		累計		棟	0	111	114			
生活の安定向上及び市街地環	ウ									
境の向上に寄与する。	(2)]	車業	こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	(2)	<del>-</del> -		中辺	実績	実績	実績	計画	計画	計画
④令和3年度実績(事業活動)	(2)	7 1	国庫支出金	千円	<b>実績</b> ()	<b>実績</b> ()	0	8,204	計画 ()	計画 ()
•管理状況届出受理事務		7	国庫支出金 財 都支出金	千円	0	<b>実績</b> 0 83	0 274	8,204 593	0	0
<del>-</del> 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		1	国庫支出金 財 都支出金 地方債	千円 千円	0 0	<b>実績</b> 0 83 0	0 274 0	8,204 593 0	0 0	0 0
·管理状況届出受理事務 ·管理状況届出催促事務	(	1	国庫支出金 財 源 内 訳 セカ債 その他	千円 千円 千円	0 0 0	<b>実績</b> 0 83 0 0	0 274 0 0	8,204 593 0	0 0 0	0 0 0
·管理状況届出受理事務 ·管理状況届出催促事務	( pulp that	1	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源	千円 千円 千円 千円	0 0 0 0	<b>実績</b> 0 83 0 0 0 0	0 274 0 0	8,204 593 0 0	0 0 0	0 0 0 0
·管理状況届出受理事務 ·管理状況届出催促事務	( pulp that	① 事 業	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A)	千円千円千円千円	0 0 0	実績 0 83 0 0 0 0 83	0 274 0 0	8,204 593 0	0 0 0	0 0 0
·管理状況届出受理事務 ·管理状況届出催促事務	( pulp that	① 事 業	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源	千円 千円 千円 千円	0 0 0 0 0	実績 0 83 0 0 0 0 83	0 274 0 0 0 274	8,204 593 0 0	0 0 0	0 0 0 0
·管理状況届出受理事務 ·管理状況届出催促事務	( bit the	事業費	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B)	千円 千円 千円 千円 千円	0 0 0 0 0	<b>実績</b> 0 83 0 0 0 0 253	0 274 0 0 0 274 596 46.0%	8,204 593 0 0 0 8,797 —	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0
·管理状況届出受理事務 ·管理状況届出催促事務	( left that the left is	①事業費 ②人:	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 職員数(正規   月給   時給) 正規職員分	千円千円千円千円千円千円千円千円千円千円千円十円十十円十十十十十十十十十十十	0 0 0 0 0	実績 0 83 0 0 0 83 253 32.8%	0 274 0 0 0 274 596 46.0%	8,204 593 0 0 0 8,797 —	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0
·管理状況届出受理事務 ·管理状況届出催促事務	( )	①事業費 ②人件	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 職員数(正規   月給   時給) 正規職員分 会計年度任用職員等	千円 十一	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	実績 0 83 0 0 0 0 83 253 32.8% 0.10 0.10 0.00 900 420	0 274 0 0 0 274 596 46.0% 0.15 0.20 0.00 1,350 840	8,204 593 0 0 8,797 - 0.20 0.20 0.00 840	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0  0.00 0.00 0.00
·管理状況届出受理事務 ·管理状況届出催促事務	( ) — 1 m 1 m 1 m 1 m 1 m 1 m 1 m 1 m 1 m 1	①事業費 ②人件費	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 職員数(正規   月給   時給) 正規職員分 会計年度任用職員等	千円       千円         千円       千円         千円       千円         千円       千円         千円       千円	0 0 0 0 0 0 0 0 0.00 0.00	実績 0 83 0 0 0 0 0 83 253 32.8% 0.10 0.10 0.00 900 420 1,320	0 274 0 0 0 274 596 46.0% 0.15 0.20 0.00 1,350 840 2,190	8,204 593 0 0 0 8,797 — 0.20 0.20 0.00 840 2,640	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 
·管理状況届出受理事務 ·管理状況届出催促事務 ·適正管理促進支援業務委託	( ) — 1 m 1 m 1 m 1 m 1 m 1 m 1 m 1 m 1 m 1	①事業費 ②人件費	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 職員数(正規   月給   時給) 正規職員分 会計年度任用職員等	千円 十一	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	実績 0 83 0 0 0 0 83 253 32.8% 0.10 0.10 0.00 900 420	0 274 0 0 0 274 596 46.0% 0.15 0.20 0.00 1,350 840	8,204 593 0 0 8,797 - 0.20 0.20 0.00 840	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 
·管理状況届出受理事務 ·管理状況届出催促事務	( Fig. 101 and	①事業費 ②人件費 ③ ※	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 職員数(正規   月給   時給) 正規職員分 会計年度任用職員等 人件費計(C) 公事業費(A)+(C)	千円円千円千円 千円 千円円 千円円	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	実績 0 83 0 0 0 0 0 83 253 32.8% 0.10 0.10 0.00 900 420 1,320	0 274 0 0 0 274 596 46.0% 0.15 0.20 0.00 1,350 840 2,190 2,464	8,204 593 0 0 8,797 1,800 840 2,640 11,437	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 
・管理状況届出受理事務 ・管理状況届出催促事務 ・適正管理促進支援業務委託  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・(※課題の有無	②改革	①事業費 ②人件費 ③ 改	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 職員数(正規   月給   時給) 正規職員分 会計年度任用職員等 人件費計(C) 公事業費(A)+(C)	千千千千千千 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	実績	0 274 0 0 0 274 596 46.0% 0.15 0.20 0.00 1,350 840 2,190 2,464	8,204 593 0 0 8,797 1,800 840 2,640 11,437	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 
・管理状況届出受理事務 ・管理状況届出催促事務 ・適正管理促進支援業務委託  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・(※課題の有無 (課題がある場合に・) ア:目的妥当性 (事業の成果)	②改革	①事業費 ②人件費 ③ 改有	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 職員数(正規   月給   時給) 正規職員分 会計年度任用職員等 人件費計(C) 公事業費(A)+(C) 善・③課題・反省点)	千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	実績	0 274 0 0 0 274 596 46.0% 0.15 0.20 0.00 1,350 840 2,190 2,464	8,204 593 0 0 8,797 — 0.20 0.20 0.00 1,800 840 2,640 11,437	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 
・管理状況届出受理事務 ・管理状況届出催促事務 ・適正管理促進支援業務委託  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・(※課題の有無 (課題がある場合に・)・ア:目的妥当性 (事業の成果) 東京都の事務処理特例条例に基	2改革 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	①事業費 ②人件費 ③ 改有 京	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 職員数(正規   月給   時給) 正規職員分 会計年度任用職員等 人件費計(C) 総事業費(A)+(C) 善・③課題・反省点) 効性 ・ウ:効率性	千千千八千千八千千八千千八一 適	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	実績	0 274 0 0 0 274 596 46.0% 0.15 0.20 0.00 1,350 840 2,190 2,464	8,204 593 0 0 0 8,797 — 0.20 0.20 0.00 1,800 840 2,640 11,437	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 
・管理状況届出受理事務 ・管理状況届出催促事務 ・適正管理促進支援業務委託  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・(課題がある場合により) (事業の成果) 東京都の事務処理特例条例に 建理状況届出制度に係る管理状況 と対してマンション管理士との に対してマンション管理士との	(	①事業費 ②人件費 ③ 改有 京班	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 職員数(正規   月給   時給) 正規職員分 会計年度任用職員等 人件費計(C) 総事業費(A)+(C) 善・③課題・反省点) 効性 レウ:効率性	千千千八千千八千千八千千八一 適	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	実績	0 274 0 0 0 274 596 46.0% 0.15 0.20 0.00 1,350 840 2,190 2,464	8,204 593 0 0 0 8,797 — 0.20 0.20 0.00 1,800 840 2,640 11,437	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 - - 0,00 0,00 0,00 0,00 0 0
・管理状況届出受理事務 ・管理状況届出催促事務 ・適正管理促進支援業務委託  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・(課題がある場合によ)) 東京都の事務処理特例条例に基理状況届出制度に係る管理状況 と対してマンション管理士とのに課題・反省点)	②改革 1 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	①事業費 ②人件費 ③ ・ c f 東理る 記	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 職員数(正規   月給   時給 正規職員分 会計年度任用職員等 人件費計(C) 総事業費(A)+(C) 善・③課題・反省点) 効性 ノウ:効率性 ばにおけるマンションの 気に変更を実施した。	千千千千千9人千千千	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	実績	0 274 0 0 0 274 596 46.0% 0.15 0.20 0.00 1,350 840 2,190 2,464	8,204 593 0 0 8,797 — 0.20 0.20 0.00 1,800 840 2,640 11,437	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 - - 0,00 0,00 0,00 0,00 0 0
・管理状況届出受理事務 ・管理状況届出催促事務 ・適正管理促進支援業務委託  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・(※課題の有無 (課題がある場合によ)) 東京都の事務処理特例条例に基理状況届出制度に係る管理状況 と対してマンション管理士との記載してマンション管理士との記載してマンション管理士との記載してマンション管理士との記載してマンション管理士との記載してマンション管理士との記載してマンション管理士との記載してマンション管理士との記載してマンション管理士との記載してマンション管理士との記載してマンション管理士との記載してマンション管理士との記載していませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、おりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりまませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりまりまりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりませば、まりまませば、まりまま	②改革 1 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	①事業費 ②人件費 ③ ・ c f 東理る 記	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 職員数(正規   月給   時給 正規職員分 会計年度任用職員等 人件費計(C) 総事業費(A)+(C) 善・③課題・反省点) 効性 ノウ:効率性 ばにおけるマンションの 気に変更を実施した。	千千千千千9人千千千	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	実績	0 274 0 0 0 274 596 46.0% 0.15 0.20 0.00 1,350 840 2,190 2,464	8,204 593 0 0 0 8,797 — 0.20 0.20 0.00 1,800 840 2,640 11,437 (2)事業	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 7 7 7 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9
・管理状況届出受理事務・管理状況届出催促事務・適正管理促進支援業務委託  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・(※課題の有無(課題がある場合に))で、目的妥当性(事業の成果)東京都の事務処理特例条例に基理状況届出制度に係る管理状況がに対してマンション管理士とのは、課題・反省点)マンション管理組合等の郵便ポプマンション管理組合等の郵便ポプロステスを表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表	( Turn turn turn turn turn turn turn turn t	<ul><li>①事業費</li><li>②人件費</li><li>③ さ に 東廷よ か</li><li>一 東廷よ か</li></ul>	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 職員数(正規   月給   時給) 正規職員分 会計年度任用職員分 会計年度任用職員等 人件費計(C) 念事業費(A)+(C) 善・③課題・反省点) ウ:効率性 におけるマンションの で、管理状況に応じた 調査等を実施した。 たり、管理組合代表	千千千千千9人千千千	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	実績	0 274 0 0 0 274 596 46.0% 0.15 0.20 0.00 1,350 840 2,190 2,464	8,204 593 0 0 0 8,797 — 0.20 0.20 0.00 1,800 840 2,640 11,437 (2)事業	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 7 7 7 8 7 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9

建物の老朽化と居住者の高齢化という「二つの老い」が進行し、今後、管理組合の機能低下等によって管理不全に陥る可能性が指摘されていることから、東京におけるマンションの適正な管理の促進に関する条例に基づき、マンションの管理不全を予防し、適正管理を促進していくとともに、良質なマンションストックの形成を図っていく。

また、令和4年4月に改正マンション管理適正化法が施行され、地方自治体ではマンション管理適正化推進計画の作成、管理計画認定制度の実施が可能になった。令和4年度は、計画の作成に向けて、市内にある分譲マンションの実態調査を行う。

令和 3 年度事後評価	<u>令和</u>	1 年	度 事務	事業	マネシ	ジメン	トシー	<b>卜</b> 令	和 4 年 6	3 月作成
事務事業名 基地対策事務					所属部	総合政策	部	課長名	渡貫 泰县	夬
政策名 環境・安全					所属課	企画政策	課	係名	基地対策	係
施策名 持続可能な環境の	保全				予算科目	会計 1	款 2	項 1	目 10	事業 番号 1
基本事業名公害の防止			実加	<b>も形態</b>	全音	『委託	一部委託	補助・	助成	連携·協働
事業期間 単年度繰返		根拠			•					
年度~		去令等								
1 現状把握の部(1)事務事業		目的・	<b>_</b> 結果∙活動∙成	果						
①事業概要 横田基地及び立川飛行場の安	<b>⑤</b> 対象	数の推	移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
全性や騒音等の課題に対し、周	ア市民	1月1日	 引現在)	人	184,090	184,577	185,124	_		_
辺市と協力して、関係機関へ要 請を行うとともに特定防衛施設	1									
周辺整備調整交付金を活用し	ゥ									
た事業を進める。また、基地跡 地の暫定的利用の維持に努め		lk 1m		ж / <b>т</b>	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
る。	⑥活動			単位	実績	実績	実績	計画	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	Hills root		要請件数	件	110	169	100	_	_	_
基地周辺等の住民が感じている 騒音や事故等の不安を軽減さ	1 数		71町会議開催	□	5	6	6	_	_	_
せる。あわせて交付金を活用し て関係住民の生活を安定させ、	ウ会開作	飛行場) 崔数	<b>司</b> 辺自治体連絡	回	2	2	2		_	_
(関係住民の生活を安定させ、 福祉を向上させる。	⑦成果:	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア苦情	対応件数	 数	件	75		67			
基地周辺等の市民が安全かつ	<b>イ</b> 砂川 <sup>2</sup>	学習館の	の航空機騒音	dB	50.4	51.1	50.5	_	_	_
静かな生活を安心して過ごせる ようになる。	ウ中里泊	訓定局(	の航空機騒音	(W)	(62.6) 61.2	(63.0) 61.9	(62.5) 61.9	_	_	_
				(W)	(77.2)	(78.2) <b>R2年度</b>	(77.9)	D4年度	DE左曲	DC左连
	(2)事美	美のコス	スト	単位	H31年度 実績	実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	57	17	20	1,997	0	0
横田基地対策では、東京都及 び周辺5市1町と連携し、協議		財源	都支出金	千円		0	0	0	0	
会又は連絡会を通じて基地の	1	内	地方債	千円			0	0	0	
整理・縮小・返還を含めた要請 行動を行い、基地に起因する諸	事	訳	その他  一般財源	千円		0 25	0	17	0	
問題の解決に努めた。 立川飛行場については、ヘリコ	費		業費計(A)	千円		42	20	2,014		
プターの騒音問題等を改善する		-	予算額(B)	千円	71	178	66	_	_	_
ため、周辺8市連絡会の幹事市 を務めるとともに、連絡会を通じ		** *	行率(A)/(B)	%	98.6%	23.6%	30.3%		_	_
て、自衛隊等の関係機関に要	2		牧(正規   月給   時給)						0.00 0.00 0.00	_
請した。令和4年度に向けて、 特防交付金を活用する市内コン	人		E規職員分 F度任用職員等	千円	9,720	9,000	9,000	9,000	0	0
ビニエンスストアへのAED設置 事業の準備を進めた。	費		上 上 件費計(C)	千円	ŭ	9,000	9,000	9,000	0	_
チベッー加でたりた。	3		費(A)+(C)	千円		9,042	9,020	11,014	0	
2 評価の部		* 0						( - \ → M	k = -1- A I	
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 ファロ ロ スカー	<u> </u>	_				きや見直しを図 ─────		(2)事業	美の方針 	7.1
※課題の有無 (課題がある場合によ) (事業の成果)基地周辺における		_			エ:公平性				□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	スト .持 増加
絡会により広域的な連絡調整を行	テい、周辺	自治体	ぶが一致して関	係機関	へ要請を	行うことによ	り、基地に	向		
関連する要望を効果的に伝えるこ 学校体育館照明設備改修工事や								成 維 井		
ることができた。	. >14 > 4 1 1		C112/11 7 \ 15		· 11.391	\(\(\pi\) \(\pi\) \(\frac{1}{2}\) \(\frac{1}{	J.C C &= V/	果 持 低		
(課題・反省点)国や東京都、周辺	四自治体と	の情報	段共有や課題対	が応を行	行う機会づ	くりに継続に	的に取り組			
む必要がある。								(廃止・1	休止の場合は	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革			いからなります。	生1 よ	ぶと /年 ー	1 1 + 1	ユ <del>ノナ</del> ロ	のは却中	H-ナ-4宝+モム	りょうこと
基地に関する要請を米軍や国にとにより、市民の安全な生活環境	の確保に	取り組む	い。また、特定際	方衛施	設周辺整					
いく。令和4年度に設置する市内										

令和 3 年度事後評価	令和 4	1 左	F度 事務	事業	マネシ	ジメン	トシー	<b>卜</b> 令	11 4 年 6	3 月作成
事務事業名 公害対策事務					所属部	環境下水	道部	課長名	横塚浩	_
政策名 環境・安全					所属課	環境対策	課	係名	環境指導	係
施策名 持続可能な環境の	保全				予算科目	会計 1	款 4	項 1	目 6	事業 1番号
基本事業名公害の防止				形態 <sub>選択可</sub> )	全部	<b>『委託</b>	一部委託	補助•	助成	連携•協働
事業期間 単年度繰返	6-a -d-a	根拠	都民の健康							
		<b>长</b> 令等	大気汚染	力上没	5、騒音規制	制法、振動	規制法 他			
1 現状把握の部(1)事務事業	_	目的	·結果·活動·成	果						
①事業概要 法令に基づく事業者への規制、	<b>⑤</b> 対象	数の排	<b>推移</b>	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
指導を行い、公害の発生を未然	ア市民	1月1	日現在)	人	184,090	184,577	185,124			
に防止するとともに、環境調査 等により現状把握し、市民の安	イ工場、	指定	作業場の数	_	1,538	1,547	1,545			
全な生活環境の確保を図る。	ウ特定が	を設(馬	蚤音・振動)の数	_	527	535	538			
	⑥活動:	治標		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア河川領		·	日	<b>実績</b> 20	<b>実績</b> 21	<b>実績</b> 20	計画	計画	計画
法令を遵守させることにより、公				箇所	9	10	10			
害防止や環境負荷の低減を図り、市民が安心して生活できる	▲ 届出き	<sub>口坦人</sub> 受付及	び公害苦情処理	<b>西</b> 件						
環境を確保する。	111 90				492 <b>H31年度</b>	424 <b>R2年度</b>	448 <b>R3年度</b>	R4年度	R5年度	R6年度
- · · -	⑦成果:		点におけるBOD	単位	実績	実績	実績	計画	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	の環均	意基準	達成率 における大気環	%	100.0	100.0	100.0			
事業者への規制、指導等により、公害の発生を未然に防止す	1  境基注	<b>性達成</b>	率	%	83.3	83.3	83.3			
ること、環境調査等によって環 境汚染の状況を把握、結果を公	ウ停止で	う規制	違反により勧告、 至った件数	件	0	0	0			
表することで、安全な生活環境 づくりを図る。	(2)事業	€のコ	スト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
各種届出の受理、公害苦情処 理(事業者への指導等)、公害		財源	都支出金	千円	6,705	6,721	6,536	6,721	0	0
関係調査等の実施、調査結果	1	内	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
の公表	事	訳	その他	千円 千円	357 2,708	2,922	502 2,873	1,169 7,214	0	0
	費	亘	■ 一般的 // ■業費計(A)	千円 千円	9,770	10,049	9,911	15,104	0	0
			予算額(B)	千円	17,679	12,733	13,091	_	_	_
		幇	1行率(A)/(B)	%	55.3%	78.9%	75.7%	_	_	
	2		数(正規   月給   時給)			2.22 0.00 0.00			0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	人件		E規職員分 在度任用聯昌等	千円	19,080	19,980	19,980	19,980	0	0
	費		年度任用職員等 (件費計(C)	千円	19,080	19,980	19,980	19,980	0	0
	3		業費(A)+(C)	· · · · 千円	28,850	30,029	29,891	35,084	0	0
2 評価の部										
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 ア:目的妥当性	<u> </u>		<u> </u>			きや見直しを図 		(2)事業	の方針コス	7 L
※課題の有無 ア:目的妥当性   (課題がある場合によ)   (事業の成果)	イ:有	効性	ウ:効率性		工:公平性	オ:そ	の他			<u>^^</u> 持
法令に基づき適切に指導助言を										0
なげた。また、各種調査等によって を図った。	て環境汚り	きの状	、況を把握し、結果	果を公	ふ表すること	で、市民の	)不安解消	成維持		
								果  <u>持</u>   低		
								下		
(2) 会後の声業の十六県 /コヒサザ	. 少美安/	<b>≠</b> \						(廃止・	木止の場合は	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革法令に基づき事業及び調査・監視			お調査項目に	つい	てけ 環倍	おかり巻く	状況の変れ	くや他継世	での宝飾り	犬沢たど
を踏まえ、適時検討、見直しを図	っていく。						V ( DU > 2 X ] [		・マ・ノンでルビイ	ハレロ・みこ
法改正に伴うアスベスト関連業務	か増加する	っ。ま	に、外米生物防	示美的	6℃ 夫施す	る。				

令和 3 年度事後評価	<u>令和 </u>	4 年	<u>F度 事務</u>	事	マネシ	ノメン	<u>トシー</u>	<b>卜</b> 令	和 4 年 6	<u>6 月作成</u>
事務事業名 放射線関連測定(類	 環境対策	課)			所属部	環境下水	道部	課長名	横塚 浩-	_
政策名 環境・安全					所属課	環境対策	課	係名	環境指導	係
施策名 持続可能な環境の	保全				予算科目	会計 1	款 4	項 1	目 6	事業 番号 7
基本事業名公害の防止				<b>地形態</b>	✓ 全部	<b>『委託</b>	一部委託	補助・	助成	連携・協働
事業期間 単年度繰返		根拠		()361/(-)	1					
平成23 年度~		去令等								
市長公約     主要施策   ( 1 現状把握の部(1)事務事業	•	目的:	<u> </u>	果						
①事業概要	<ul><li>5対象</li></ul>			単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
市民の放射線に対する不安に 応え、安全・安心な市民生活を									1,5	1,0
確保するため、空間放射線量の	ア市民	(1月1	日現仕)	人	184,090	184,577	185,124			
測定を行うとともに、情報提供を行う。	イ									
1170	ウ									
	⑥活動:	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア空間が	放射線	 !量定点測定	□	<del>کرایج</del> 4	<del>大</del> 根	4	N E	BIE	BI E
安全・安心な市民生活を確保す	イ相談			件	4		0			
S.		寺文心	1十数	117	-11		U			
	ウ				山外左帝	- DO 左 由	- DO 左 由	- 5.4 左 亩	DE左曲	DC左由
	⑦成果:			単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)			件(0.23 μ Sv/h) 点箇所	箇所	0	0	0			
市民の放射線に対する不安に	1	<u> </u>	W 101/21							
応え、安全・安心な市民生活を 確保することで、良好な生活環	ウ									
境づくりに結びつける。										
	(2)事業	業のコ	スト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
	1 -									
④令和3年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
空間放射線量定点測定		財源	国庫支出金 都支出金	千円 千円	0	0	0	0	_	_
	1	源				0	_	_	0	0 0
空間放射線量定点測定 ホームペーシン等による情報提供	事		都支出金 地方債 その他	千円 千円 千円	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
空間放射線量定点測定 ホームペーシン等による情報提供	事業	源内訳	都支出金 地方債 その他 一般財源	千円 千円 千円 千円	0 0 0 23	0 0 0 23	0 0 0 23	0 0 0 0 29	0 0 0	0 0 0
空間放射線量定点測定 ホームペーシン等による情報提供	事	源内訳	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A)	千円 千円 千円 千円	0 0 0 23 23	0 0 0 23 23	0 0 0 23 23	0 0	0 0	0 0
空間放射線量定点測定 ホームペーシン等による情報提供	事業	源内訳	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B)	千円 千円 千円 千円 千円	0 0 0 23 23 24	0 0 0 23 23 24	0 0 0 23 23 29	0 0 0 0 29	0 0 0	0 0 0
空間放射線量定点測定 ホームペーシン等による情報提供	事業費	源内訳事	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B)	千円 千円 千円 千円 千円	0 0 0 23 23 24 95.8%	0 0 0 23 23 24 95.8%	0 0 0 23 23 29 79.3%	0 0 0 29 29 —	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0
空間放射線量定点測定 ホームペーシン等による情報提供	事業費	源内訳事	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B)	千円 千円 千円 千円 千円	0 0 0 23 23 24	0 0 0 23 23 24 95.8%	0 0 0 23 23 29 79.3% 0.31 0.00 0.00	0 0 0 29 29 	0 0 0	0 0 0 0 0
空間放射線量定点測定 ホームペーシン等による情報提供	事業費    ②人件	源内訳事	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) (行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給)	千円 千円 千円 千円 千円 千円	0 0 0 23 23 24 95.8% 0.51 0.00 0.00	0 0 0 23 23 24 95.8%	0 0 0 23 23 29 79.3%	0 0 0 29 29 —	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
空間放射線量定点測定 ホームペーシン等による情報提供	事業費	源内訳	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 沿行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	$\begin{array}{c c} & 0 \\ & 0 \\ \hline & 0 \\ \hline & 23 \\ \hline & 23 \\ \hline & 24 \\ \hline & 95.8\% \\ \hline & 0.51 & 0.00 & 0.00 \\ \hline & 4,590 \\ \hline \end{array}$	0 0 23 23 24 95.8% 0.31 0.00 0.00 2,790	0 0 0 23 23 29 79.3% 0.31 0.00 0.00 2,790	0 0 0 29 29   0.31 0.00 0.00 2,790	0 0 0 0 0 0 0 	0 0 0 0 0 
空間放射線量定点測定 ホームページ等による情報提供 市民からの相談等受付	事業費②人件費	源内訳	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) (行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	0 0 23 23 24 95.8% 0.51 0.00 0.00 4,590	0 0 0 23 23 24 95.8% 0.31 0.00 0.00 2,790	0 0 0 23 23 29 79.3% 0.31 0.00 0.00 2,790	0 0 0 29 29 - - 0.31 0.00 0.00 2,790	0 0 0 0 0 0  0.00 0.00 0.00	0 0 0 0 0 
空間放射線量定点測定 ホームページ等による情報提供 市民からの相談等受付	事業費②人件費③	源内訳 職員 三人	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) (石本(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 、件費計(C) 業費(A)+(C)	千円千円千円%人円円円	0 0 0 23 23 24 95.8% 0.51 0.00 0.00 4,590 0 4,613	0 0 23 23 24 95.8% 0.31 0.00 0.00 2,790 0 2,813	0 0 0 23 23 29 79.3% 0.31 0.00 0.00 2,790 0 2,813	0 0 0 29 29 - - 2,790 2,790 2,819	0 0 0 0 0 0 0 0 0.00 0.00 0.00	0 0 0 0 0 0 
空間放射線量定点測定ホームページ等による情報提供市民からの相談等受付  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②	事業費 ②人件費 ③	源内訳 事 執員 」	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) E規職員分 年度任用職員等 件費計(C) 業費(A)+(C)	千円円円円 外人 千円円	0 0 0 23 23 24 95.8% 0.51 0.00 0.00 4,590 4,613	0 0 23 23 24 95.8% 0.31 0.00 0.00 2,790 0 2,790 2,813	0 0 0 23 23 29 79.3% 0.31 0.00 0.00 2,790 0 2,790 2,813	0 0 0 29 29 - - 2,790 2,790 2,819	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
空間放射線量定点測定ホームページ等による情報提供市民からの相談等受付  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 ア:目的妥当性	事業費 ②人件費 ③	源内訳 事 執員 」	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) E規職員分 年度任用職員等 件費計(C) 業費(A)+(C)	千円円円円 外人 千円円	0 0 0 23 23 24 95.8% 0.51 0.00 0.00 4,590 0 4,613	0 0 23 23 24 95.8% 0.31 0.00 0.00 2,790 0 2,790 2,813	0 0 0 23 23 29 79.3% 0.31 0.00 0.00 2,790 0 2,813	0 0 0 29 29 - - 2,790 2,790 2,819	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
空間放射線量定点測定ホームページ等による情報提供市民からの相談等受付  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無	事業費 ②人件費 ③ さ イ:	源内訳	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) (行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 件費計(C) 業費(A)+(C)	千円千円千円%人円円千円	0 0 0 23 24 95.8% 0.51 0.00 0.00 4,590 0 4,613	0 0 23 23 24 95.8% 0.31 0.00 0.00 2,790 0 2,813 季や見直しを図	0 0 0 23 23 29 79.3% 0.31 0.00 0.00 2,790 0 2,790 2,813	0 0 0 29 29 - - 2,790 2,790 2,819	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00
空間放射線量定点測定ホームページ等による情報提供市民からの相談等受付  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 ア:目的妥当性 (事業の成果)	事業費 ②人件費 ③ さ イ:	源内訳	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) (行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 件費計(C) 業費(A)+(C)	千円千円千円%人円円千円	0 0 0 23 24 95.8% 0.51 0.00 0.00 4,590 0 4,613	0 0 23 23 24 95.8% 0.31 0.00 0.00 2,790 0 2,813 季や見直しを図	0 0 0 23 23 29 79.3% 0.31 0.00 0.00 2,790 0 2,790 2,813	0 0 0 29 29 - - - 2,790 0 2,790 2,819	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00
空間放射線量定点測定ホームページ等による情報提供市民からの相談等受付  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 ア:目的妥当性 (事業の成果)	事業費 ②人件費 ③ さ イ: 本・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	源内訳	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) (行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 件費計(C) 業費(A)+(C)	千円千円千円%人円円千円	0 0 0 23 24 95.8% 0.51 0.00 0.00 4,590 0 4,613	0 0 23 23 24 95.8% 0.31 0.00 0.00 2,790 0 2,813 季や見直しを図	0 0 0 23 23 29 79.3% 0.31 0.00 0.00 2,790 0 2,790 2,813	0 0 29 29 - 0.31 0.00 0.00 2,790 0 2,819 (2)事第	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00
空間放射線量定点測定ホームページ等による情報提供市民からの相談等受付  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 ア:目的妥当性 (事業の成果)	事業費 ②人件費 ③ さ イ: 本・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	源内訳	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) (行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 件費計(C) 業費(A)+(C)	千円千円千円%人円円千円	0 0 0 23 24 95.8% 0.51 0.00 0.00 4,590 0 4,613	0 0 23 23 24 95.8% 0.31 0.00 0.00 2,790 0 2,813 季や見直しを図	0 0 0 23 23 29 79.3% 0.31 0.00 0.00 2,790 0 2,790 2,813	0 0 29 29 - 0.31 0.00 0.00 2,790 0 2,819 (2)事第	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00
空間放射線量定点測定ホームページ等による情報提供市民からの相談等受付  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 ア:目的妥当性 (事業の成果)	事業費 ②人件費 ③ さ イ: 本・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	源内訳	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) (行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 件費計(C) 業費(A)+(C)	千円千円千円%人円円千円	0 0 0 23 24 95.8% 0.51 0.00 0.00 4,590 0 4,613	0 0 23 23 24 95.8% 0.31 0.00 0.00 2,790 0 2,813 季や見直しを図	0 0 0 23 23 29 79.3% 0.31 0.00 0.00 2,790 0 2,790 2,813	0 0 0 29 29 - 0.31 0.00 0.00 2,790 0 2,819 (2)事業	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	000000000000000000000000000000000000
空間放射線量定点測定ホームページ等による情報提供市民からの相談等受付  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 ア:目的妥当性 (事業の成果)	事業費 ②人件費 ③ む 本・1 な 対 線 は 2 な 対 線 は 3 に 対 線 は 3 に 対 線 は 3 に 対 線 は 3 に 対 線 は 3 に 対 線 は 3 に 対 線 は 3 に 対 線 は 3 に 対 線 は 3 に 対 線 は 3 に 対 線 は 3 に 対 線 は 3 に 対 線 は 3 に 対 線 は 3 に 対 線 は 3 に 対 線 は 3 に 対 線 は 3 に 対 線 は 3 に 対 線 は 3 に 対 線 は 3 に 対 線 は 3 に 対 線 は 3 に 対 線 は 3 に 対 線 は 3 に 対 線 は 3 に 対 線 は 3 に 対 線 は 3 に 対 線 は 3 に 対 線 は 3 に 対 線 は 3 に 対 線 は 3 に 対 線 は 3 に 対 線 は 3 に 対 線 は 3 に 対 線 は 3 に 対 線 は 3 に 対 線 は 3 に 対 線 は 3 に 対 線 は 3 に 対 線 は 3 に 対 線 は 3 に 対 線 は 3 に 対 線 は 3 に 対 線 は 3 に 対 線 は 3 に 対 線 は 3 に 対 線 は 3 に 対 線 は 3 に 対 線 は 3 に 対 線 は 3 に 対 線 は 3 に 対 線 は 3 に 対 線 は 3 に 対 線 は 3 に 対	源内訳 事 教員 I 計 人 事 を で す か 定	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) (行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 件費計(C) 業費(A)+(C)	千円千円千円%人円円千円	0 0 0 23 24 95.8% 0.51 0.00 0.00 4,590 0 4,613	0 0 23 23 24 95.8% 0.31 0.00 0.00 2,790 0 2,813 季や見直しを図	0 0 0 23 23 29 79.3% 0.31 0.00 0.00 2,790 0 2,790 2,813	0 0 0 29 29 - 0.31 0.00 0.00 2,790 0 2,819 (2)事業	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	000000000000000000000000000000000000
空間放射線量定点測定ホームページ等による情報提供市民からの相談等受付  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無(課題がある場合により)・立川市の空間放射線測定により)・立川市の空間放射線測定によりが (3)今後の事業の方向性(改革国や都の関係機関と連携を図りた。)	事業費     ②人件費       ③     み       本 イ:     は       本 がら     条	源内訳     職員     会     等     分       第     計     人     等     分	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) (A) (A) (B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 件費計(C) 業費(A)+(C) 意課題・反省点) でいることが確認	千千千千 9人 千千千 でき、	0 0 23 24 95.8% 0.51 0.00 0.00 4,590 4,613 立き エ:公平性	0 0 23 23 24 95.8% 0.31 0.00 0.00 2,790 2,813 すか見直しを駆 オ:そ	0 0 0 23 23 29 79.3% 0.31 0.00 0.00 2,790 0 2,813	0 0 0 29 29 - 0.31 0.00 0.00 2,790 2,819 (2)事事 (2)事事	の の の の の の の の の の の の の の	000000000000000000000000000000000000
空間放射線量定点測定ホームページ等による情報提供市民からの相談等受付  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 (課題がある場合によ)ア:目的妥当性 (事業の成果)立川市の空間放射線測定により)	事業費     ②人件費       ③     み       本 イ:     は       本 がら     条	源内訳     職員     会     等     分       第     計     人     等     分	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) (A) (A) (B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 件費計(C) 業費(A)+(C) 意課題・反省点) でいることが確認	千千千千 9人 千千千 でき、	0 0 23 24 95.8% 0.51 0.00 0.00 4,590 4,613 立き エ:公平性	0 0 23 23 24 95.8% 0.31 0.00 0.00 2,790 2,813 すか見直しを駆 オ:そ	0 0 0 23 23 29 79.3% 0.31 0.00 0.00 2,790 0 2,813	0 0 0 29 29 - 0.31 0.00 0.00 2,790 2,819 (2)事事 (2)事事	の の の の の の の の の の の の の の	000000000000000000000000000000000000

令和 3 年度事後評価	<u>令和 </u>	4 年度 事務	<u>事業</u>	マネシ	<u> ジメン</u>	<u>トシー</u>	<b>卜</b> 令	和 4 年 (	6 月作成
事務事業名 放射線関連測定(	清掃事務	所)		所属部	環境下水	道部	課長名	鎌田純	文
政策名 環境・安全				所属課	清掃事務	所	係名	管理係	
施策名 持続可能な環境の	保全			予算科目	会計 1	款 4	項 1	目 6	事業 番号 7
基本事業名公害の防止			<b>も形態</b>	✔ 全部	『委託	一部委託	補助・	助成	連携·協働
事業期間 単年度繰返	her pie	根拠	二ツ塚	廃棄物広	域処分場耳	<b>文扱特別協</b>	定		
平成23 年度~ 市長公約 主要施策 (	年度 〇	去令等————							
1 現状把握の部(1)事務事業	•	目的·結果·活動·成	果						
①事業概要 「日の出町二ツ塚廃棄物広域処	<b>⑤</b> 対象	数の推移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
分場東京たまエコセメント化施	ア焼却	 残さの年間搬出量	トン	3,452	3,542	3,099	3,099		
設における取扱特別協定」により、清掃工場における焼却灰や	イ現清		数	14	14	14	14		
空間放射線量を測定し公表す	ウ	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,							
る。		11-12-	22/11	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	⑥活動:		単位	実績	実績	実績	計画	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア焼却	灭放射線量測定	口	12	12	12	12		
焼却灰の放射線量を搬入基準 値以下にすることにより、二ツ塚		放射線量測定	口	12	12	12	12		
処分場に搬入できる。また空間	ウルカル合い	帰工場周辺住民との話	口	7	3	0	8		
放射線量を測定することにより、 周辺自治会の理解を得る。	⑦成果:		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア搬入		回	<del></del>			12		
周辺自治会の理解を得ることに		帰工場話し合い開催回	□	7	3	0	8		
より、燃やせるごみの焼却処理 をすることができる。	カカ			·			0		
2 9 DCCN- (CD)	.7		Ш						
	(2)事業	業のコスト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
焼却灰及び空間放射線量を測 定し、周辺自治会への報告とと		財都支出金	千円	0	0	0	0	0	0
もに、ホームページによる情報	1	内   型力領	千円	0	0	0	0	0	
提供を行った。	事業	訳その他	千円					0	
	費	一般財源 事業費計(A)	千円	205 205	216 216	216 216	377 377	0	_
		予算額(B)	千円	428	432	432	—	_	_
		執行率(A)/(B)	%	47.9%	50.0%	50.0%	_	_	_
	2	職員数(正規   月給   時給	人	0.00 0.01 0.00	0.00 0.01 0.00	0.00 0.01 0.00	0.00 0.01 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	人	正規職員分	千円		0	0	0	0	0
	件   費	会計年度任用職員等		35	42	42	42	0	0
		人件費計(C)	千円	35	42	42 258	42	0	0
2 評価の部		総事業費(A)+(C)	千円	240	258	208	419	0	0
(1)全体総括(①事業の成果・②	2)改革·改	(善·③課題·反省点)	)	改善	きや見直しを図	図った	(2)事業	美の方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性	レ イ:有	ī効性		工:公平性	オ:そ	の他			スト
(事業の成果)	ハハ☆ Yu 1/7寸	日 の体制度の拠する	ロッド人	※ の動士	ナベの田油	:	向	削減 維	持 増加
放射線関連測定については、二 良好な運営の観点から、継続的					までの現消	掃上場の			
(課題・反省点) 「日の出町二ツ塚廃棄物広域処会	八担由古	シオテコセン 小仏歩ぎ	レノナ・ナッノ	ナス形切は	即扱字で	内容が亦	成 維果 持		
更された場合には、その内容に応			((-43)	7公奴奴村	がた。	四分の	低		
							(廃止・	休止の場合に	†記入不要)
 (3)今後の事業の方向性(改革	≛•改善案	等)					(76.11.	7.415×25/70 口 (	∽μ□/ <b>(・) (   ∀</b> )
二ツ塚処分場へ焼却灰を搬入す			界工場	を良好に追	運営し、住民	民の理解を	得るため、	放射線測5	定を行って
いく。									
1									

令和 3 年度事後評価	<u>令和</u>	] _	1 左	F度 事	務事業	マネシ	ジメン	トシー	<b>ト</b> 令	<b>和 4 年 6</b>	6 月作成
事務事業名家庭ごみ収集事業	É					所属部	環境下水	道部	課長名	大須賀 -	一夫
政策名 環境・安全						所属課	ごみ対策	課	係名	家庭ごみ	減量係
施策名 ごみ減量とリサイク	ルの推	推				予算科目	会計 1	款 4	項 2	目 2	事業 番号 4
基本事業名家庭ごみ減量の推議	進				実施形態	✓ 全部	<b>『委託</b>	一部委託	補助・	助成	連携•協働
事業期間 単年度繰返			根拠		の処理及		関する法律				
昭和27 年度~	年度 <b>〇</b>		去令等		<b>「廃棄物処</b>	理及び冉	利用促進	条例			
1 現状把握の部 (1)事務事業	)	要・	目的	 ・結果・活動	•成果						
①事業概要			<u> </u>		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
生活環境確保のため、家庭から排出される資源とごみの分別を	ア市	i民(	1月1	日現在)	人	184,090	184,577	185,124			
徹底し、収集業務を円滑に行 う。「家庭ごみ戸別収集・有料化				型理件数(直営		239		200			
実施」で増える集合住宅等への		\仏1	又来火	也理什 <u>級(</u> 但呂	) 14	239	221	200			
不法投棄を防止し、ごみ減量と分別等の市民意識の向上とまち	ウ				-	山の4万英	DO左连	DO左连	D.4 左连	DE C E	DC左曲
の美化推進を目指す。	<b>⑥活</b>	動	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	アル	集	對数		日	259	259	258			
各家庭・集合住宅集積所に排 出された資源やごみを速やかに	1 指	定山	又集级	泛作成枚数	枚	9,431,000	9,400,000	8,459,750			
収集し、良好な生活環境を維持	ウ不	法技	<b>殳棄</b> 处	D理件数(直営	)件	239	221	200			
する。	⑦成	果	指標		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
③結果(どのような結果に結び付けるか)			作業に	<b>上係る平均作業</b>	美時 時間	<b>実績</b> 5	<b>実績</b> 5	<b>実績</b> 5	計画	計画	計画
良好な生活環境が維持されると	イ家	•	· み収	 汉集量	t	35,531	37,348	36,235			
ともに、ごみの排出者責任が明確になり、家庭から排出されるご				京電処理件数 1	件	1		6			
みの減量が進む。						山红ケ庄	R2年度	R3年度	D4年度	DE在由	R6年度
	(2)	事第	€の=	コスト	単位	H31年度 実績	実績	実績	R4年度 計画	R5年度 計画	計画
④令和3年度実績(事業活動)				国庫支出	金千円	0	2,349	0	0	0	0
・36,235tの家庭ごみを収集・燃やせるごみと燃やせないごみの			財源	都支出金		0	0	0	0	0	0
それぞれ4種類の指定収集袋を		1	内	地方債		0	0	0	0	_	0
作成し交付 ・平日の8時30分から17時ま	-	事業	訳	その他		-	-	306,485	-		
で、不法投棄パトロールを実施		費	3	│ 一般財源 事業費計(A)				1,066,481 1,372,966			0
・たちかわごみ分別アプリを平成 30年8月1日からリリースし、ダウ			-	デ <del>ス</del> 負の (へ) 予算額(B)				1,377,970			
ンロード数が39,376件となって			幸	九行率(A)/(B		99.8%	99.8%	99.6%	_	_	_
いる。		2	職員	<b>数</b> (正規   月給	時給) 人	4.10 0.60 0.65	4.40 0.90 0.00	4.61 1.80 0.00	4.61 1.80 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
		人		正規職員分	千円	36,900	39,600	41,490	41,490	0	0
		件   費		年度任用職員		3,075	3,780	7,560	7,560	0	0
				人件費計(C)		39,975	43,380	49,050	49,050	0	0
2 評価の部		(3)	総事	業費(A)+((	C)  千円	1,382,670	1,402,103	1,422,016	1,430,503	0	0
(1)全体総括(①事業の成果・②	2)改革	. 改	善 (	3)課題•反省	(点)	レ改善	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	引った	(2)事業	************************************	
※課題の有無 マーロ 的 平 当 的 平 当 的 平 当 的 平 当 的 平 当 的 平 当 的 平 当 的 平 当 的 平 当 的 平 当 的 平 当 的 平 当 的 平 当 的 平 当 的 平 当 的 平 当 的 平 当 的 平 当 的 平 当 的 ー ア・日 的 平 当 れ ー ア・日 的 ア・日 の ア・日 的 ア・日 の					· · · ·						スト
(課題がある場合によ) ・ 日間 ダヨロ (事業の成果)(改革・改善)戸別収										削減維	持 増加
チックの汚れや異物の混入が増え き、資源やごみのさらなる分別・リ										`	
継続するとともに、ばら売りの販売	店店を拡	広充	した。						成維持		
(課題・反省点)一定の条件に該 ているが、対象の拡充等の声がる					帯を対象に	「ごみ出し	支援事業	」を実施し	果  <u>持</u>   低		
	41 C DA		v⊘°						下		
I									(廃止・	休止の場合に	は記入不要)

引き続き市民に対して分別方法等について丁寧な啓発を行うとともに、収集事業者との班長会議等を通じて収集現場の状況把握に努め、安定的な収集を行う。あわせて「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」を踏まえたプラスチック類の分別収集体制を検討する。また、「ごみ出し支援事業」に対し対象世帯の拡充をはじめとして様々な声が寄せられているため、他市の事例等を参考に、新たに「ごみ出しサポートシール事業」について検討を行い、令和4年度から実施予定である。

令和 3 年度事後評価	<u>ጉ                                    </u>	1 4	平戊 書	* /	夫 マイン	<u>ソメノ</u>	トンー	<u> </u>	和 4 年	<u>6 月作成</u>
事務事業名家庭ごみ減量事業	É				所属部	環境下水	道部	課長名	大須賀 -	一夫
政策名 環境・安全					所属課	ごみ対策	課	係名	家庭ごみ	
施策名 ごみ減量とリサイク		進			予算科目	会計 1	款 4	項 2	目 2	事業 番号 5
基本事業名家庭ごみ減量の推議	進			実施形態	T)	部委託	一部委託	補助・	助成	連携∙協働
事業期間 単年度繰返	f a sta	根			及び清掃に					
平成6 年度~	年度 <b>O</b>	法令	· <b>生</b>		処理及び再 棄物処理基		条例			
1 現状把握の部(1)事務事業	•	要・日白			来物处理是	8个計画				
①事業概要		象数0			立 H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
出前説明会や臨時相談窓口の 開催、各種イベントへの出展、			11日現在)	人						
ごみ減量情報紙の発行等の啓			11 11 20117)			+				
発活動を通じ、ごみ減量とリサイクルの推進を目指す。また、各		業所		所	7,522	7,310	7,310			
種施策の点検・検証や新たな施	ウ									
策の検討等を行うため、ごみ市 民委員会を開催する。	<b>⑥活</b>	動指標	票	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)			会等参加数	人	426	133	151			
2Rの推進を目指し、ライフスタイ		合リサイ 見学者	クルセンター・清扌 ・数	帚工場 人	1,233	0	209			
ル・ビジネススタイルの転換を図るため、適正な分別や地域のご	ウ	グレナイ	<i>9</i> X							
み減量に向けた活動などに積極的に取り組む。		果指標	<u></u>	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
③結果(どのような結果に結び付けるか)		、 、 、 み排出		t	<b>実績</b> 40,748	<b>実績</b> 42,766	<b>実績</b> 42,406	計画	計画	計画
市民、事業者、市の協働により、		がかせる		t		+				
ごみの減量と分別・リサイクルの	-		この里 :情報紙配布部	77 **-/ 1	25,505					
取り組みが進み、ごみ量が減少する。		]あたり)		部数(1 部	5,199	671	6,797			
	(2)	事業の	コスト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)			国庫支	出金 千F				0	0	
ごみ市民委員会の開催、資源と		則		出金 千F	<b>9</b> 0	0	0	0	0	0
ごみの分別・減量・出し方パネル 展、ごみ減量情報紙:2回発行、	(		THE I	債 千F	9 0	0	0	0	0	0
ベランダたい肥づくり(延べ147戸	4	事 訴	その				, i	Ů		0
配布)、たちかわ食べきりキャンペーン、臨時相談窓口:子ども		業 費 —	一般則					·		
未来センター(64人)、福祉会館		_	事業費計(					1,299	0	0
4館(73人)で実施、リサイクルセンター施設見学(4団体209人)			予算額(B			-		_		_
		⊕	執行率(A)/ - 員数﹝﹝□規 │ 月約			2.35 0.00 0.00			0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
		②   <u>職</u> 人	正規職員:							-
	1	件会	計年度任用單			1				
	-	費┕━	人件費計(			21,150	24,030	24,030	0	0
		3総事	事業費(A)+	·(C) 千F	<b>9</b> 20,909	21,763	24,361	25,329	0	0
2 評価の部 (1) 全体終任(①東業の成果。(	ササ	. 과 羊	.②刪邸. ⊏	少占)		善や見直しを図	<u></u>	(2)車当	美の方針	
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 ア:目的妥当性								(乙/事月		スト
(課題がある場合にと) デュロナウイルス					_					持 増加
んだ。しかし、昨年度同様、ごみれ	咸量に	向けた	啓発活動を							
来センター・祉会館4館で臨時相 (課題・反省点)イベントでの啓発?				またかった	テニス減量	骨骨報紙が	縮小発信と	成維		
なった。コロナ渦でも発信できる旅						BIII IKANOA	II. 1 7010C	果 持		
								低下		
								(廃止・	休止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革										
新型コロナウイルス感染症の感染ないライフスタイル」を目指し、幅										
民へ提案することで主体的な取り			(, -   11, / C/H	76-H 70 C 1	4 70 ONICY 2	1 C(CAL	1, L. O I C <del>J C</del> [4	1-1-0-11-20		(H1 ) ( II)
i .										

令和 3 年度事後評価	<u>令和</u>	4	白	F度 事務	事業	マネシ	ジメン	トシー	<b>ト</b> 令	和 4 年 6	<u>6 月作成</u>
事務事業名家庭ごみ減量事業金)	(生ごみ	タ処	理榜	と器等購入費補	i助	所属部	環境下水	道部	課長名	大須賀 -	一夫
<b>政策名</b> 環境・安全						所属課	ごみ対策	課	係名	家庭ごみ	減量係
施策名 ごみ減量とリサイク	ルの推	進				予算科目	会計 1	款 4	項 2	目 2	事業 番号 5
基本事業名家庭ごみ減量の推議	焦				<b>地形態</b>	全部	逐託 🗸	一部委託	<b>✓</b> 補助・	助成	連携∙協働
事業期間 単年度繰返	<i>F</i>	植	見拠	廃棄物の処							
平成2 年度~ 市長公約   主要施策   (	年度		令等			上理及び再 上理機器等			· ※紹		
1 現状把握の部(1)事務事業	。	₹•目	的				(1) • (1) (1)	<u> </u>	41.3		
①事業概要 ごみの減量化対策の一環とし	⑤対	象数	の‡	<b>推移</b>	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
て、各家庭から出される生ごみ	ア市	民(1	月1	 ∃現在)	人	184,090	184,577	185,124			
の自家処理を促進するため、生 ごみ処理機器等を購入した市	イ家は	庭の!	<b>燃や</b>	せるごみにおけ	%	44.9	_	_			
民に対して補助金を交付する。	ウ (組	<u>もごみ</u> 成分			□	0	0	0			
	6活			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
@ <b></b>	<u> </u>			者からのアン		実績	実績	実績	計画	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか) 生ごみの自家処理を進める。	<b>y</b> 5	<b>−</b> トの	)回2	<u> </u>	件	0	未実施	66			
エニッグシュロ外で生で使うる。	-			展示回数	回	4	0	1			
	ウ記	事掲	載		回	1	1 20 左座	1 20 左座	D4 5 5	DE CE	DC左座
	⑦成!			· W	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	(生	助対 ごみ	堆肥	児化容器)	基	3	11	10		ļ	
家庭の燃やせるごみを減量する。		助対ごみ		数 <sup>1</sup> 機器)	機	27	87	99			
.00	ウ										
	(2)事	1 学	<b>መ</b> ¬	7.5	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
<b>② A. T. a. F. c. c.</b>	(2/3	· 本·				実績	実績	実績	計画	計画	計画
<ul><li>④令和3年度実績(事業活動)</li><li>・補助金の交付(生ごみ処理機)</li></ul>			財	国庫支出金 都支出金	千円	0	0	0	0	0	
器99件、生ごみ堆肥化容器10	a		源	地方債	千円	0	0	0	0	0	
件)	①		内 訳	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	業	É		一般財源	千円	411	1,392	1,668	596	0	0
	]		寻	業費計(A)	千円		1,392	1,668	596	0	0
		-	±+	予算額(B) 	千円	596	1,645	1,920		_	
		, II	_	1,行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給)	%	0.20 0.00 0.00	84.6% 0.35 0.00 0.00	86.9% 0.46 0.00 0.00		0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	2			E規職員分	千円	1,800	3,150	4,140	4,140	0	
	14	<u> </u>	: 什会	年度任用職員等	千円	0	0	0	0	0	0
	- 基			(件費計(C)	千円	1,800	3,150	4,140	4,140	0	_
		3)総	事	業費(A)+(C)	千円	2,211	4,542	5,808	4,736	0	0
(1)全体総括(①事業の成果・②	2)改革・	改割	<b>售•</b> ③			レ改善	や見直しを図	引った	(2)事業	美の方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性						工:公平性				٦,	スト
(事業の成果)(改革・改善)新型=											持 増加
度同様、生ごみ堆肥化容器及び コンスタントに申請があり、一定程									上		)
市民の負担軽減を図った。 (課題・反省点)昨年に引き続き申									成 維果 持		
(味趣・)又有点/叶子に引き脱さり	7月1十岁	<i>X/J</i> → <i>D</i>	百人。	/こ/こはノ、/田 ユニ 丁 貞	戸 しか	ルいし/こ。			低		
									<b>下</b> (廃止・	休止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革	•改善	案等	)								
引き続き、制度の周知に努めつつ 含めた制度全体の見直しを検討		業の	)申記	清動向を注視する	る。また	た、今後の	申請の動向	句を踏まえ、	その他の	生ごみ減量	<b>遣の取組も</b>

令和 3 年度事後評価	<u>令和 </u>	1 年	<u> </u>	<u>事業</u>	マネシ	<b>ジメン</b>	トシー	<b>卜</b> 令	和 4 年	6 月作成
事務事業名粗大ごみ収集事業	4 <u>4</u>	_	_	_	所属部	環境下水	.道部	課長名	大須賀	一夫
政策名 環境・安全					所属課	ごみ対策	課	係名	家庭ごみ	減量係
施策名 ごみ減量とリサイク	ルの推進				予算科目	会計 1	款 4	項 2	目 2	事業 6番号
基本事業名 家庭ごみ減量の推議	進			<b>地形態</b>	✓ 全部	<b>『委託</b>	一部委託	補助・	助成	連携・協働
事業期間 単年度繰返		根拠	廃棄物の処	の理及 しゅうしゅう かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい						
昭和53 年度~		去令等		棄物处	1理及び冉	利用促進	条例			
市長公約   I 王要施策   「 1 現状把握の部(1)事務事業	$\sim$	日的	<u> </u>	里						
①事業概要	5 分 多 分 象			単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
専用電話に加えて、令和2年10 月1日からインターネット受付を								· · · · ~	110 1 12	110 12
開始した。収集日を指定すると	ア 市民(	.1月11	1 現仕 <i>)</i>	人	184,090	184,577	185,124			
ともに、一般家庭から排出される 粗大ごみを戸別に速やかに収	1									
集し、良好な生活環境を維持す	ウ									
る。	⑥活動技	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア粗大ご	ごみ収	集件数	件	17,421	19,916		RI F	ны	ны
市民から受け付けた粗大ごみを	イ収集	 日数		日	259	259				
速やかに収集し、良好な生活環境を維持する。なお、対象は家	ウ	→ <i>&gt;</i> ^								
庭から排出される粗大ごみ。		·レ1本		/ L	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	⑦成果技			単位	実績	実績	実績	計画	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア粗大ご	ごみ収	集量	t	914	990	1,000			
廃棄物を適正に処理し、良好な 生活環境を維持する。	<b>イ</b> 1日あ	たり粗	大ごみ収集量	t	3	3	3			<u></u>
丁1日 公公元 G Ni 中1 1 1 / 20	ウ平均は	お待た	せ日数	日	5	10	21			
	(2)事業	きのコ	スト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	0	0		0		
・月曜日から金曜日(祝日・年末		財	都支出金	千円	0	0	_	0	_	
年始を除く)の午前9時から午後 4時までの間の専用電話での受	1	源内	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
付に併せ、令和2年10月1日か	事	訳	その他	千円	21,064	23,956	22,531	24,820	0	0
らはインターネットで24時間365 日受付。	業		一般財源	千円	22,350	44,802	44,536	46,944	0	0
・一般家庭から排出される粗大	費	事	事業費計(A)	千円	43,414	68,758	67,067	71,764	0	0
ごみを戸別に速やかに収集。			予算額(B)	千円	44,113	68,994		_		_
・1,000tの粗大ごみを収集した。			1行率(A)/(B)	%	98.4%	99.7%		_	_	
	2		数(正規   月給   時給)	Ľ						0.00 0.00 0.00
	人		E規職員分 左席任用聯号等	千円	11,700	13,950	· ·	11,250		· ·
	件     費				700	1,260		3,150		
			(件費計(C) 業費(A)+(C)	千円	12,400 55,814	15,210 83,968		14,400 86,164	0	+
2 評価の部		応サッ	<b>長貝(A)</b> T(O)	ונ דד	99,614	00,500	10,002	00,104	U	U
(1)全体総括(①事業の成果・②	2)改革•改	善.③	課題・反省点)		✓ 改善	きや見直しを図	図った	(2)事業	美の方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性	レ イ:有	効性	✓ ウ:効率性	V	工:公平性	オ:そ	の他			スト
(事業の成果)申し込み制の分別に									削減 維	<u>掛 増加</u>
(改革・改善)粗大ごみ収集につい を拡充したことで予約件数が増加										0
図った。								成維		
(課題・反省点)インターネットによから収集日までの間隔がこれまて							ル、受付日	果 持 低		
10 OKATA COMMO CAUS	. • > 1 10 F	-11/2·J	、双尺(2 000	IH1) LLC	_, & D /// L /	7 47 27 6				

インターネット受付件数の推移を注視し、電子決済についても研究を進める。将来的な電子決済の検討に際しては、ポイント表の見直 しや、粗大ごみ処理券、し尿処理券の取扱方法についても検討を進める。また、高齢者社会の進展に対応した、室内からの搬出や遺 品整理などに対応する、家庭ごみに関する一般廃棄物収集運搬業の許可について、メリットとデメリットを整理し検討していく。

(廃止・休止の場合は記入不要)

令和 3 年度事後評価	令和	14	年	度 事務	事業	マネシ	ジメン	トシー	<b>卜</b> 令	11 4 年 (	6 月作成
事務事業名 資源再生利用補助	力金					所属部	環境下水	道部	課長名	大須賀 -	一夫
政策名 環境・安全						所属課	ごみ対策	課	係名	計画推進	係
施策名 ごみ減量とリサイク	ルの推	進				予算科目	会計 1	款 4	項 2	目 2	事業 8 番号
基本事業名家庭ごみ減量の推議	進			実施	<b>地形態</b>	全部	<b>『委託</b>	一部委託	補助・	助成	連携•協働
事業期間 単年度繰返	for the	札	艮拠	廃棄物の処							
	年度 <b>〇</b>		令等				利用促進 金交付規則				
1 現状把握の部(1)事務事業	~	要・目	的·			7/1-17/10 HII1-9/3	亚人口////	7.1			
①事業概要 廃棄物を収集し、かつ、再生利	⑤対	象数	tの‡	推移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
用の用に供した市民の団体に対して補助金を交付することに	ア集	国团	収		t	2,949	2,542	2,573	2,500		
より、市民による主体的なごみの	イ補	助金	:額		千円	29,924	26,277	26,625	33,000		
減量と分別・リサイクルの意識を高める。	ウ										
	⑥活	動指	標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア神	助金	中請	 ·団体数	団体	<del> </del>	<del> 夫</del> 根 167	<del>- 美棋</del> 163	163	計画	計画
市民による主体的なごみの減量	1	.,,,	. , ,,,								
と分別・リサイクルの意識を高める。	ウ										
		果指	一		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
② 红田 (15-2-1-5-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1	<b>7</b> 5	み総	量に	占める集団回収	平区 %	<b>実績</b> 6.7	<b>実績</b> 5.6	<b>実績</b> 5.7	<u>計画</u> 5.7	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか) 生活環境の保全を図る。		との割	合		70	0.7	5.0	5.7	5.7		
ZII XXXII X PIX Z C C C C	1										
	ウ										
	(2)	事業	のコ	スト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)				国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
・163団体が実施し、回収量 2,573tに対し、26,625千円の補			財源	都支出金	千円	0	0	0	0	0	0
助金を交付。		1	内	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	4	事業	訳	その他  一般財源	千円 千円	29,980	26,348	26,678	33,100	0	0
		費-			千円	29,980	26,348	26,678	33,100	0	0
		F		予算額(B)	千円	34,367	28,082	30,130	_	_	_
			幇	(行率(A)/(B)	%	87.2%	93.8%	88.5%	_	_	_
	(	2		数(正規   月給   時給)	,,		0.52 0.00 0.00			0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
		人		E規職員分	千円	5,670	4,680	6,390	6,390	0	0
		件 La 費		年度任用職員等 、件費計(C)	十円	450 6,120	4,680	6,390	6,390	0	0
		(3)終		と	千円	36,100	31,028	33,068	39,490	0	0
2 評価の部		© 114C	· /	K C ( )   ( )	113	00,100	01,020	00,000	00,100	O	· ·
(1)全体総括(①事業の成果・②	2)改革	•改善	善•③	課題•反省点)		改善	きや見直しを図	回った	(2)事業	の方針	
※課題の有無 (課題がある場合にマ)ア:目的妥当性				ウ:効率性		工:公平性		の他			スト 持 ┃ 増加
(事業の成果)本事業は、市民の自て開始した。長年にわたり活動し									向	月1700 平田	付
き、利用団体を増やすために制度	度の積	極的7	な利	用を呼びかけてい	ハく必	要がある。					
(課題・反省点)昨年に引き続き、 見送る団体があり、実施団体及び					架拡え	大防止のた	め集団回り	又の実施を	果 持		
									低下		
										木止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革	- 改善	案等	F)								
利用団体が自主的に実施してい	る集団	回収	を支	援することで、ご	みの	減量や分別	リ・リサイクバ	レを推進す	ることがで	きるため、	今後も実

令和 3 年度事後評価	<u> 令和</u>	1 年度	事務事	፤業	マネシ	<b>ジメン</b>	トシー	ト <sub>令和</sub>	11 4 年 6	3 月作成
事務事業名 生ごみ分別・資源化	化事業				所属部	環境下水	道部	課長名	大須賀 -	一夫
政策名 環境・安全					所属課	ごみ対策	果	係名	家庭ごみれ	減量係
施策名 ごみ減量とリサイク	ルの推進	·	·		予算科目	会計 1	款 4	項 2	目 2	事業 番号 13
基本事業名 家庭ごみ減量の推済	焦		実施研究		全部	逐託 🗸	一部委託	補助・		連携•協働
事業期間 単年度繰返	·	根拠	立川市一般		物処理基	本計画				
平成22 年度~		去令等								
1 現状把握の部(1)事務事業	•	目的・結果	_ . ·活動 · 成果	Į						
①事業概要 大山団地(都営上砂町1丁目ア	<b>⑤</b> 対象	数の推移	道	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
パート)に居住する約1,400世帯	ア大山国	団地居住世	帯 †	世帯	1,423	1,429	1,426			
を対象とした生ごみ分別・資源 化事業の取り組みに対し、評価	イ事業は	-		%	58.2	56.3	55.0			
及び検証を継続して行うことで	ウ			-		-	_			
更なる生ごみの減量を目指す。		比上兩		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	⑥活動:			₽1⊻	実績	実績	実績	計画	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア生ごみ			kg	30,960	31,120	29,030			
燃やせるごみの減量施策の一 環として、本事業に取り組むこと	イ事業は	地区パトロー	-ル回数	回	20	22	24			
により、一定量のたい肥化を図 る。	ウ燃やも	せるごみ組成	成分析	口	1		_			
ري. 	⑦成果技	指標	其	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア組成分	分析での生	ごみ率	%	43.7	_	_			
本事業の成果を、市民に周知・	1									
啓発することで、家庭の燃やせるごみの減量とリサイクル率の向	ウ			$\top$						
上につなげる。	/の)車を			.,,,	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	(2)争ォ	美のコスト		丰江	実績	実績	実績	計画	計画	計画
④令和3年度実績(事業活動) ・定期的なカート洗浄				千円	0	0	0	0	0	0
<ul><li>定期パトロール</li></ul>		源		千円 千円	0	0	0	0	0	0
・完熟たい肥を使用した大山団 地内の花壇整備	事	M		千円	0	_		0		0
・バケツ交換会	業	ш, ч		· · · · 千円	6,872	6,756	6,326	6,803	0	0
	費	事業費	貴計(A) ㅋ	千円	6,872	6,756	6,326	6,803	0	0
				千円	7,400	7,128	6,803	_	_	_
			(- 77 (= 7	%	92.9%	94.8%	93.0%		0.00 0.00 0.00	
	② 人			人 f円	11,070	13,320	14,580	14,580	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	件		任用職員等		0	0	0	0	0	0
	費「			千円	11,070	13,320	14,580	14,580	0	0
	3	総事業費(	(A)+(C) =	千円	17,942	20,076	20,906	21,383	0	0
2 評価の部	シュケギュー	<b>羊</b> ②钿目	五二少上)		⊐h ¥	ᆹᄆᇠᆝᄼᅈ	1-+	(2) 車架	きの方針	
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 ア:目的妥当性			選・反有点》 ┃ウ∶効率性┃		エ: 公平性	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の他	(4)争未	ラフェ	۲.
(課題がある場合にと) 日的安当にし(事業の成果)本事業は、大山自治			_		_					持 増加
また、出来上がったたい肥は、自	治会内の	花壇や地域	或の保育園、	小中	学校で利用	用され、環境	竟学習に活	:		
用されるなど、事業の成果の見え が開催できず、市民への周知・啓	発活動を	行う機会が	減少した。ま					成維		
物検査の一時中止に伴い組成分(課題・反省点)居住者の高齢化な				+油7	2個向にあ	ス		上 成 乗 長		
	CICITY	· Demon	のエニッ・玉は	51% Z	· ISSINICED	/ <b>V</b> 0		下		
(2) 会然の事業の大白性(3)某	- 小羊安生	<del>*/-</del> \						(廃止・	休止の場合は	‡記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革燃やせるごみの50%減量を達成で			。 4の水切り・分	→別[沓	が かんに対	する市民の	)協力が不	可欠である	ることから、:	太事業を
継続する。一方、大山自治会では 方法などについて、自治会ととも	は、高齢化	などに伴い	、事業協力†	世帯及	及び生ごみ	・収集量が	減少してい	ることから	、より効果的	内な実施

令和 3 年度事後評価	令和 4	4 年度	事務事	業	マネシ	ジメン	トシー	<b>ト</b> 令和	11 4 年 6	3 月作成
事務事業名事業系ごみ減量事	業				所属部	環境下水	道部	課長名	大須賀 -	一夫
政策名 環境・安全					所属課	ごみ対策	<del></del> 課	係名	事業系ご	み減量係
施策名 ごみ減量とリサイク	ルの推進				予算科目	会計 1	款 4	項 2	目 2	事業 9
基本事業名 事業系ごみ減量の	推進		実施		全部	『委託 ▶	一部委託	補助・	助成	連携・協働
事業期間 単年度繰返		根拠	廃棄物の処	埋及						
平成6 年度~		去令等	立川市廃棄	手物処	<u>は理及び再</u>	利用促進約	条例			
<ul><li>市長公約     主要施策   1</li><li>1 現状把握の部(1)事務事業</li></ul>	•	目的・結果	<u> </u> !・活動・成男	<u> </u>						
①事業概要		<u>ロログ 1021</u> 数の推移			H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業系ごみのさらなる減量を目指し、搬入物検査や訪問指導	ア事業			t	4,145	4,075	4,972		~ ~	
体制の強化を図り、適正指導を					,					
行うとともに、優良事業所認定 制度等を利用した各種啓発を	イ許可	美有数		_	43	42	42			
行う。	ウ									
	<b>⑥活動</b> :	指標	<u>i</u>	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア専用を	指定袋による	る排出事業	-	2,847	2,461	2,581			
一般廃棄物収集運搬業許可事	→ 百級 <b>→</b> 従量	契約による技	非出事業者	_	1,517	1,580	1,504			
業者(以下、「許可業者」)の指導・監督などを通じ、事業系ご	カ数				1,011	1,000	1,001			
みの適正処理とさらなる減量を		LP 137		***	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
図る。 	⑦成果:		<u> </u>	単位	実績	実績	実績	計画	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア事業	系ごみ量		t	4,145	4,075	4,972			
事業系ごみが減少する。特に、事業系の燃やせるごみが減少	イ 事業	系の燃やせ	るごみ量	t	3,779	3,701	4,627			
する。	ウ									
	(a) ± 4	* o – ¬ ı			H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	(2)争到	美のコスト	<u>i</u>	単位	実績	実績	実績	計画	計画	計画
④令和3年度実績(事業活動)		-		千円	0	0	0	0	0	0
・事業所への訪問指導等:現場 確認指導等29か所、多量排出		酒		千円	0	0	0	0	0	0
事業者等訪問調査5か所・少	1	内		千円	0	0	0	0	0	0
量排出事業者専用指定袋の作 製:195,000枚 ・ごみ処理優良	事業	訳		千円	280 2,997	170 2,956	3,080 177	3,561 76	0	0
事業所の認定:37事業所・一	費			千円 千円	3,277	3,126	3,257	3,637	0	0
般廃棄物収集運搬業許可:42 件(継続を含む)・食べきり協				''', 千円	3,835	3,584	3,381	_	_	_
力店の登録:81店舗			E(A)/(B)	%	85.4%	87.2%	96.3%	_	_	_
	2		規 月給 時給)	人			2.00 0.00 0.00	2.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	人	正規	職員分 -	千円	13,500	21,150	18,000	18,000	0	0
	件費			千円	0	0	0	0	0	0
				千円	13,500	21,150	18,000	18,000	0	0
2 評価の部	(3)	総事業費	(A)+(C)	千円	16,777	24,276	21,257	21,637	0	0
(1)全体総括(1)事業の成果・(	2)改革•改	善.③課品	頃•反省点)		改善	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	つた	(2)事業	の方針	
※課題の有無 アー日的妥当性						オ:そ			احرون	スト
(事業の成果)市処理施設に搬入	 される事業	<u></u> き系ごみは	、前年度比で	38971	t増加し、そ	一の内、燃ぐ	<u>ーー</u> やせるごみ		削減維	持 増加
は前年度比で926t増加した。食べ 決に向けた事業所訪問調査の実							で課題解	向上		
(課題・反省点)事業系ごみ量が源	ず少した大	きな要因に	は、平成27年1	12月7	から開始さ	れた民間気		成維		
の搬入が挙げられる。しかし、令がで、市処理施設に搬入されるごみ								果 持 低		
より高くなったことなどが考えられ								下		
(0) 人从 0 末米 0 七 七 11 / 11 11	t ¬L <del>*</del> ·	tete \						(廃止・	木止の場合に	は記入不要)
(3) 今後の事業の方向性(改革事業系ごみの発生量全体の把握			これが出され	++21	レンシラフ・	フタイルのま	に協けて白け	引き/生キ	地へ かか	との重要
所訪問調査による指導・助言、ご	み処理優	良事業所制	制度や食べき	り協	力店事業為	など、意識原	啓発の強化	を図る。ま	た、令和44	年度は新
たな取組として販売期限の迫った	た商品を積	極的に選ん	んで食品ロス	削減	につなげる	5「てまえど	り」のPOP	を作成して	、協力して	もらえる

令和 3 年度事後評価	<u>令和</u>	4 :	年度 事務	事業	マネシ	<b>ジメン</b>	トシー	<b>卜</b> 令和	11 4 年 6	6 月作成
事務事業名建設リサイクル法則	<b>退連事務</b>	Ş			所属部	まちづくり	部	課長名	市川 正和	春
政策名 環境・安全					所属課	建築指導	課	係名	庶務係	
施策名 ごみ減量とリサイク	ルの推済	隹			予算科目	会計 1	款 8	項 3	目 5	事業 番号
基本事業名事業系ごみ減量の	推進			<b>も形態</b>	全部	<b>『委託</b>	一部委託	補助・	助成	連携•協働
事業期間 単年度繰返	f a sta	根拠	建設工事	に係る	資材の再資	資源化等に	関する法律	丰		
平成14 年度~       市長公約     主要施策	年度	法令								
1 現状把握の部 (1)事務事業	美の概要	・目的	p·結果·活動·成	果						
①事業概要 一定規模以上の建設工事の発	<b>⑤</b> 対象	象数の	推移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
注者が、工事着手7日前までに	ア対象	段推定.	工事件数	件	450	440	430			
分別・解体等の計画、特定建設 資材廃棄物の見込み量等を届	1									
出することになっており、その受付事務、分別・解体指導、無届	ウ									
工事の発見及び届出の指導を	<b>⑥活</b> 重	市垸埋	ī	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
行う。					実績	実績	実績	計画	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか) 建設リサイクル法に基づく届出	ア届は	日上事/	件 <u>级</u>	件	375	343	384			
をすることにより、資源の有効利	1									
用と廃棄物の減量を図る。	ウ					D0 5 5	B0 左连	D.1 5 5	DE	D0 / E
	⑦成是	<b>!指標</b>		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア届日	出率		%	83.3	78.0	89.3			
建設リサイクル法の適正な運用 によるリサイクルの推進を図るこ	1									
と。	ウ									
	(2)事	*************************************	¬7 Ь	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	(2/7	<del>太</del> 切.	_		実績	実績	実績	計画	計画	計画
④令和3年度実績(事業活動) 建設リサイクル法届出受付、分		財	国庫支出金 都支出金	千円	0	0	0	0	0	0
別・解体指導(環境対策課)、現		源		千円	0	0	0	0	0	0
場パトロール及び無届工事の発 見及び届出指導。			H	千円	13	17	38	39	0	
	業		一般財源	千円	26	0	0	0	0	0
	費		事業費計(A)	千円	39	17	38	39	0	0
			予算額(B)	千円	39	19	39		_	
		1124年 日	執行率(A)/(B) 員数(正規   月給   時給)	人	100.0% 0.24 0.03 0.70	89.5%	97.4% 0.43 0.03 0.00	0.42 0.02 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	<b>②</b> 人	' <del>                                    </del>	正規職員分	千円	2,160	3,870	3,870	3,870	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	件	会計	十年度任用職員等		1,155	126	126	126	0	0
	費		人件費計(C)	千円	3,315	3,996	3,996	3,996	0	0
T. (T. o. ÷0.		3)総事	業費(A)+(C)	千円	3,354	4,013	4,034	4,035	0	0
2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②	かおい	小 恙 •	② 課題 . 反劣占)		ノ改善	まや見直しを図	1-t-	(2) 重業	美の方針	
※課題の有無 ア・日的妥当性		ステ 有効性			エ:公平性		の他レ	(2) 7 7	الله (	スト
(課題がある場合によ) (事業の成果)		1379312			# T   I	,,, . c			削減 維	持 増加
法の施行から届出事務および、ノる。	ペトローノ	レの実	施などにより、建設	<b>投資材</b>	の適正なり	リサイクルか	進んでい	向		
(改革・改善)								成維		
建設資材の適正なリサイクルの集 届出の押印を廃止して手続きを制			パトロールの機会	を確保	とした。			果 持 低		_
(課題・反省点)		-	- 2 074/LUNA	- 2 - 21	2			下	Visit of H A 2	1-311 - Z-=X
適切なリサイクルの実施に向けて (3)今後の事業の方向性(改革			ロールの強化がク	ベルせ	 パパ,°			(廃止・	休止の場合は	ょ記人个要)
資源の有効利用と廃棄物の減量			ーーーー B出を徹底させるこ	ことが貧	 第一歩であ	る。そのた	めには、引	き続きパト	ロールの強	化を図る
必要がある。 東京都では建設リサイクル法の届						-				
資源の有効利用と廃棄物の減量			出を徹底させるこ	ことが复	第一歩であ	る。そのた	めには、引	き続きパト	ロールの強	化を図る
	出•通知	1のオ	ンライン化が進め	られて	おり、今後	は立川市で	でもオンライ	ン化に対応	<b></b>	テム環境

の構築が必要となる。

事務事業名ごみ焼却処理事業	<u> </u>				所属部	環境下水	道部	課長名	鎌田純	文
政策名 環境・安全					所属課	清掃事務	所	係名	管理係	
施策名 ごみ減量とリサイク	ルの推進				予算科目	会計 1	款 4	項 2	目 2	事業 番号
基本事業名 安定したごみ処理				を で で で で で で で で で で で で で		<b>『委託</b>	一部委託	補助・	助成	連携・協働
事業期間 単年度繰返		根拠	廃棄物の処	2011		関する法律	<u> </u>		<u> </u>	
平成9 年度~	年度	低拠 去令等					亲特別措置 2 名	法		
市長公約     主要施策   ( 1 現状把握の部(1)事務事業	)		立川市廃業	-	旦理及び冉	利用促進	条例			
1 現状に性の即(1)事務事業					1104 左座	D0 左连	DO 左连	D4左连	DE F F	DO F E
焼却炉内、電気計装設備、ク	⑤対象			里江	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
レーン等の設備に関する保守 点検等の維持管理業務を行う。	ア燃や	せるご	みの焼却量	トン	28,522	29,234	28,669	28,669		
また、焼却炉の稼働に伴い発生	イ 焼却	残さのタ	年間搬出量	トン	3,452	3,542	3,099	3,099		
する各種物質について、関係法令に基づき、調査・測定・分析を	ウ									
行い、安全で安定した焼却設備	6活動 <sup>2</sup>	北上西		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
の運転に努める。				甲四	実績	実績	実績	計画	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア燃や	せるご	みの焼却量	トン	28,522	29,234	28,669	28,669		
清掃工場の良好な運営により、 燃やせるごみを安全かつ安定	イ 焼却	残さの名	年間搬出量	トン	3,452	3,542	3,099	3,099		
然やせるこみを安全がう安定 的に焼却処理する。	ウ									
	⑦成果	上 上 上 世		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	_		ダイオキシン類測		実績	実績	実績	計画	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア  定値(	(1号炉)	)	ng	_	_	_	_		
リサイクルを推進し、ごみを減量 する。また、安全で安定した施	1   定値(	(2号炉)	ダイオキシン類測 )	ng	0.080	0.055	0.090	0.090		
設の稼働により、ごみを適正に		ス中の <i>/</i> (3号炉)	ダイオキシン類測	ng	0.001	0.005	0.006	0.006		
処理する。				<b></b>	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	(2)事美	₹のコ	<u>۸۲</u>	単位	実績	実績	実績	計画	計画	計画
④令和3年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
施設・設備の保守点検等、設備の維持管理を行うとともに、ごみ		財源	都支出金	千円	0	0	0	0	0	0
焼却により生じるダイオキシン類	1	内	地方債	千円			0	0	0	0
等各種物質の環境測定を行い、環境其準値な下回。な	事業	訳	その他	千円	· ·		174,364		0	0
い、環境基準値を下回った。	費	-	一般財源				407,160			0
			系業費計(A)	千円		544,746	581,524	567,801	0	0
			予算額(B) .行率(A)/(B)	千円 %	525,758 97.2%	573,567 95.0%	608,481			
			.1 ] <del>(</del>	人			95.6% 1.95 2.30 0.00	1 80 2 30 0 00	0 00 0 00 0 00	0 00 0 00 0 00
	2		E規職員分	千円		17,550	17,550	16,200	0	0
	件					9,660	9,660	9,660	0	0
	費		、件費計(C)	千円		27,210	27,210	25,860	0	0
	3		美費(A)+(C)	千円		571,956		593,661	0	0
2 評価の部										
(1)全体総括(①事業の成果・②	②改革·改	(善・③	課題・反省点)		✔ 改善	きや見直しを図	<b>図った</b>	(2)事業	の方針	
※課題の有無 (課題がある場合にと)	イ:有	勃性	ウ:効率性		工:公平性	オ:そ	の他			スト ++ 1 ## +n
(事業の成果) 焼却炉・設備の計画的な保守点	<b>全学</b> 继世	5年1111	<b>業数の実装 業</b>	※女一・	マル及:	716份(本十)	上の改美に	向	削減(維	持 増加
継続して取り組むことにより、安全						0、然况7月12	の以音に	上		
(改革・改善)	:: w <del>ar</del> 28	+ n c	0.0日にの投係	≑िल्लाको ।		<u> </u>	J.	成 維果 持		
3号炉主体でごみの焼却処理を行	「ソ业安か	めり、2	2,3号炉の稼働	計画に	ころいて、草	英 討 を 付つ	/C <sub>0</sub>	低低		_
								下	11.1 011 4	L=1\
(0) 人名内古罗马士力州(7)	***	<i>t</i> -t- \						(廃止・	木止の場合に	は記人不要)
(3)今後の事業の方向性(改革			いかがと かへっ	<b>生生</b> 1	トナブハか	走土⊓ /m /m →	ý业/土1 ーア/	ティアハノ	プニいルン	_+
焼却炉・設備の状態に応じて、保 らの技術的提案・助言や外部機関										

令和 4 年度 事務事業マネジメントシート 令和 4 年 6 月作成

令和

にも努め、現清掃工場の移転までの間、ごみ処理の安全性・安定性を確保していく。

	13.1H	4 年度 事務	争未	<u> </u>	<u> ノメン</u>	トノー	<b>卜</b> 令	和 4 年 6	5 月作成
事務事業名 ごみ埋立・エコセン	ント化事	<b>業</b>		所属部	環境下水	道部	課長名	鎌田純	文
政策名 環境・安全				所属課	清掃事務	所	係名	管理係	
施策名 ごみ減量とリサイク	ルの推進			予算科目	会計 1	款 4	項 2	目 2	事業 番号 2
基本事業名 安定したごみ処理		(2	ミ施形態 <sub>複数選択可)</sub>		『委託	一部委託	補助・	助成	連携•協働
事業期間 単年度繰返	te ric			び清掃に		<u> </u>			
平成9 年度~ 市長公約 主要施策 (	年度 〇	ま令等	上丛坝真	源循環組	台規約				
1 現状把握の部 (1)事務事業		目的·結果·活動·	成果						
①事業概要 東京たま広域資源循環組合規	<b>⑤</b> 対象	数の推移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
約に基づき、焼却残さを資源化	ア焼却	 残さの年間搬出量	トン	3,452	3,542	3,099	3,099		
するエコセメント化事業等への 負担金を組合に拠出する。本市		残さの年間搬出量	m³	0	0		0		
では、埋立処理を行わずに、焼	ウ	7AC -> 1 11944A							
却灰のエコセメント化に努める。			,,, ,,	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	⑥活動	指標	単位	実績	実績	実績	計画	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア焼却	残さの年間搬出量	トン	3,452	3,542	3,099	3,099		
焼却残さをエコセメント化事業に より資源化するとともに、不燃残	イ不燃	残さの年間搬出量	m³	0	0	0	0		
さの埋め立てをなくし、二ツ塚廃	ウ								
棄物広域処分場の延命化と環境保全を図る。	⑦成果	 指標	単位	H31年度	R2年度 宝績	R3年度 宝績	R4年度	R5年度	R6年度
③結果(どのような結果に結び付けるか)	<b>一</b> 搬入	実績量/搬入配分量(		<b>実績</b> 93.7	<b>実績</b> 96.5	<b>実績</b> 85.0	<u>計画</u> 85.7	計画	計画
リサイクルを推進し、ごみを減量	却残	実績量/搬入配分量(							
する。また、安全で安定した施	1 燃残	さ)	70	0.0	0.0	0.0	0.0		
設の稼働により、ごみを適正に 処理する。	ウ								
	(2)事美	業のコスト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)		国庫支出会	全 千円		0	0	0	0	0
焼却残さ3,099トンをエコセメント		財都支出金	千円	0	0	0	0	0	0
として資源化し、不燃残さの年 間排出量ゼロを維持した。	1	源地方債	千円	0	0	0	0	0	0
		M							0
	事	内訳その他	千円		Ů	Ŭ	0	0	
		訳 その他 一般財源	千円	462,484	425,617	377,308	384,396	0	0
	事業	訳     その他       一般財源       事業費計(A)	千円	462,484 462,484	425,617 425,617	377,308 377,308			0
	事業	訳 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B)	千円 千円 千円	462,484 462,484 462,616	425,617 425,617 425,617	377,308 377,308 377,437	384,396	0	0
	事業費	訳     その他       一般財源       事業費計(A)	千円 千円 千円 %	462,484 462,484 462,616 100.0%	425,617 425,617 425,617 100.0%	377,308 377,308	384,396 384,396 —	0 0	0 0 - -
	事業	訳 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B)	千円 千円 千円 %	462,484 462,484 462,616 100.0% 0.45 0.00 0.00	425,617 425,617 425,617 100.0%	377,308 377,308 377,437 100.0%	384,396 384,396 —	0 0	0 0 - -
	事業費    ②人件	訳 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 職員数(E規   月給   時	千円 千円 千円 % 約 人 千円	462,484 462,484 462,616 100.0% 0.45 0.00 0.00 4,050	425,617 425,617 425,617 100.0% 0.45 0.00 0.00	377,308 377,308 377,437 100.0% 0.45 0.00 0.00	384,396 384,396 — 0.45 0.00 0.00	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0  0.00 0.00 0.00 0.00
	事業費   ②人件費	訳 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 職員数(正規   月給   時 正規職員分 会計年度任用職員 人件費計(C)	千円 千円 % % (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A)	462,484 462,484 462,616 100.0% 0.45 0.00 0.00 4,050 0	425,617 425,617 425,617 100.0% 0.45 0.00 0.00 4,050 0 4,050	377,308 377,308 377,437 100.0% 0.45 0.00 0.00 4,050 0 4,050	384,396 384,396 — 0.45 0.00 0.00 4,050 0 4,050	0 0 0 0 0.00 0.00 0.00 0 0	0 0 - 0.00 0.00 0.00 0.00 0
2種の部	事業費   ②人件費	訳 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 職員数(正規   月給   時 正規職員分 会計年度任用職員	千円 千円 % % (A) 人 千円 千円	462,484 462,484 462,616 100.0% 0.45 0.00 0.00 4,050 0	425,617 425,617 425,617 100.0% 0.45 0.00 0.00 4,050 0	377,308 377,308 377,437 100.0% 0.45 0.00 0.00 4,050 0	384,396 384,396 — 0.45 0.00 0.00 4,050 0	0 0 0 0 0.00 0.00 0.00 0	0 0 - 0.00 0.00 0.00 0.00 0
2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・	事業費 ②人件費 ③	訳 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 職員数(正規   月給   時 正規職員分 会計年度任用職員 人件費計(C) 総事業費(A)+(C)	千円         千円         4円         %         人         千円         千円         千円	462,484 462,484 462,616 100.0% 0.45 0.00 0.00 4,050 0 4,050 466,534	425,617 425,617 425,617 100.0% 0.45 0.00 0.00 4,050 0 4,050	377,308 377,308 377,437 100.0% 0.45 0.00 0.00 4,050 0 4,050 381,358	384,396 384,396 — 0.45 0.00 0.00 4,050 0 4,050 388,446	0 0 0 0 0.00 0.00 0.00 0 0	0 0 - 0.00 0.00 0.00 0.00 0
(1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 ストロケッドは	事業費 ②人件費 ③ ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ③ ② ② ② ② ② ③ ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ②	訳 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 職員数(E規   月給   時 正規職員分 会計年度任用職員 人件費計(C) 総事業費(A)+(C) でき・③課題・反省の	千円         千円         %         A         千円         千円         千円         千円	462,484 462,484 462,616 100.0% 0.45 0.00 0.00 4,050 0 4,050 466,534	425,617 425,617 425,617 100.0% 0.45 0.00 0.00 4,050 0 429,667	377,308 377,308 377,437 100.0% 0.45 0.00 0.00 4,050 0 4,050 381,358	384,396 384,396 — 0.45 0.00 0.00 4,050 0 4,050 388,446	0 0 0 0.00 0.00 0.00 0 0	0 0 0 0.00 0.00 0.00 0.00 0 0
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合によ) (事業の成果)	事業費 2人件費 3 d イ: 有	訳 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 職員数(正規   月給   時 正規職員分会計年度任用職員 人件費計(C) 総事業費(A)+(C) でき・③課題・反省の対策 つ:効率	千円       千円         千円       %         糸       千円         千円       千円         千円       千円         京       上	462,484 462,484 462,616 100.0% 0.45 0.00 0.00 4,050 0 466,534 本:公平性	425,617 425,617 425,617 100.0% 0.45 0.00 0.00 4,050 0 429,667 幸や見直しを図 オ:そ	377,308 377,308 377,437 100.0% 0.45 0.00 0.00 4,050 0 4,050 381,358	384,396 384,396 — 0.45 0.00 0.00 4,050 0 4,050 388,446	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合にメ) (事業の成果) 東京たま広域資源循環組合を通	事業費 ②人件費 ③ · 改 有 だ	訳 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 職員数(正規   月給   時 正規職員分 会計年度任用職員 人件費計(C) 総事業費(A)+(C) でき、③課題・反省の対策では、でき、3に対策を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	千円       千円         千円       %         糸       千円         千円       千円         千円       千円         京       上	462,484 462,484 462,616 100.0% 0.45 0.00 0.00 4,050 0 466,534 本:公平性	425,617 425,617 425,617 100.0% 0.45 0.00 0.00 4,050 0 429,667 幸や見直しを図 オ:そ	377,308 377,308 377,437 100.0% 0.45 0.00 0.00 4,050 0 4,050 381,358	384,396 384,396 — 0.45 0.00 0.00 4,050 0 4,050 388,446	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0.00 0.00 0.00 0.00 0 0
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合にマ) (事業の成果) 東京たま広域資源循環組合を通 有効活用、廃棄物の適正処理及 (課題・反省点)	事業費   ②人件費     ③   され     で環     は     た     た     た     た     た     た     た     た     た     た     た     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で         で     で         で <td< td=""><td>訳 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 職員数(正規   月給   時 正規職員分 会計年度任用職員 人件費計(C) 総事業費(A)+(C) でき、③課題・反省に対する。 できる3,099トンをエニ全が図られた。</td><td>千円         千円         %         A         千円         千円         千円         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         2         2         3         4         4         5         6         7         8         9         1         1         1         1         2         2         3         4         4         5         6         7         8         8         9         1         1         1         1         1         1         2         2</td><td>462,484 462,484 462,616 100.0% 0.45 0.00 0.00 4,050 4,050 466,534 立き エ:公平性</td><td>425,617 425,617 425,617 100.0% 0.45 0.00 0.00 4,050 0 429,667 幸や見直しを図 オ:そ</td><td>377,308 377,308 377,437 100.0% 0.45 0.00 0.00 4,050 0 4,050 381,358</td><td>384,396 384,396 </td><td>0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1 1 1 1</td><td>0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0</td></td<>	訳 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 職員数(正規   月給   時 正規職員分 会計年度任用職員 人件費計(C) 総事業費(A)+(C) でき、③課題・反省に対する。 できる3,099トンをエニ全が図られた。	千円         千円         %         A         千円         千円         千円         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         2         2         3         4         4         5         6         7         8         9         1         1         1         1         2         2         3         4         4         5         6         7         8         8         9         1         1         1         1         1         1         2         2	462,484 462,484 462,616 100.0% 0.45 0.00 0.00 4,050 4,050 466,534 立き エ:公平性	425,617 425,617 425,617 100.0% 0.45 0.00 0.00 4,050 0 429,667 幸や見直しを図 オ:そ	377,308 377,308 377,437 100.0% 0.45 0.00 0.00 4,050 0 4,050 381,358	384,396 384,396 	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1 1 1 1	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合にマ) (事業の成果) 東京たま広域資源循環組合を通 有効活用、廃棄物の適正処理及	事業費   ②人件費     ③   され     で環     は     た     た     た     た     た     た     た     た     た     た     た     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で         で     で         で <td< td=""><td>訳 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 職員数(正規   月給   時 正規職員分 会計年度任用職員 人件費計(C) 総事業費(A)+(C) でき、③課題・反省に対する。 できる3,099トンをエニ全が図られた。</td><td>千円         千円         %         A         千円         千円         千円         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         2         2         3         4         4         5         6         7         8         9         1         1         1         1         2         2         3         4         4         5         6         7         8         8         9         1         1         1         1         1         1         2         2</td><td>462,484 462,484 462,616 100.0% 0.45 0.00 0.00 4,050 4,050 466,534 立き エ:公平性</td><td>425,617 425,617 425,617 100.0% 0.45 0.00 0.00 4,050 0 429,667 幸や見直しを図 オ:そ</td><td>377,308 377,308 377,437 100.0% 0.45 0.00 0.00 4,050 0 4,050 381,358</td><td>384,396 384,396 — 0.45 0.00 0.00 4,050 0 4,050 388,446</td><td>0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1 1 1 1</td><td>0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0</td></td<>	訳 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 職員数(正規   月給   時 正規職員分 会計年度任用職員 人件費計(C) 総事業費(A)+(C) でき、③課題・反省に対する。 できる3,099トンをエニ全が図られた。	千円         千円         %         A         千円         千円         千円         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         2         2         3         4         4         5         6         7         8         9         1         1         1         1         2         2         3         4         4         5         6         7         8         8         9         1         1         1         1         1         1         2         2	462,484 462,484 462,616 100.0% 0.45 0.00 0.00 4,050 4,050 466,534 立き エ:公平性	425,617 425,617 425,617 100.0% 0.45 0.00 0.00 4,050 0 429,667 幸や見直しを図 オ:そ	377,308 377,308 377,437 100.0% 0.45 0.00 0.00 4,050 0 4,050 381,358	384,396 384,396 — 0.45 0.00 0.00 4,050 0 4,050 388,446	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1 1 1 1	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合にマ) (事業の成果) 東京たま広域資源循環組合を通 有効活用、廃棄物の適正処理及 (課題・反省点)	事業費   ②人件費     ③   され     で環     は     た     た     た     た     た     た     た     た     た     た     た     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で     で         で     で         で <td< td=""><td>訳 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 職員数(正規   月給   時 正規職員分 会計年度任用職員 人件費計(C) 総事業費(A)+(C) でき、③課題・反省に対する。 できる3,099トンをエニ全が図られた。</td><td>千円         千円         %         A         千円         千円         千円         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         2         2         3         4         4         5         6         7         8         9         1         1         1         1         2         2         3         4         4         5         6         7         8         8         9         1         1         1         1         1         1         2         2</td><td>462,484 462,484 462,616 100.0% 0.45 0.00 0.00 4,050 4,050 466,534 立き エ:公平性</td><td>425,617 425,617 425,617 100.0% 0.45 0.00 0.00 4,050 0 429,667 幸や見直しを図 オ:そ</td><td>377,308 377,308 377,437 100.0% 0.45 0.00 0.00 4,050 0 4,050 381,358</td><td>384,396 384,396 </td><td>0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1 1 1 1 1 1</td><td>0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 7 7 7 7 7 7 7 7 8 7 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9</td></td<>	訳 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 職員数(正規   月給   時 正規職員分 会計年度任用職員 人件費計(C) 総事業費(A)+(C) でき、③課題・反省に対する。 できる3,099トンをエニ全が図られた。	千円         千円         %         A         千円         千円         千円         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         2         2         3         4         4         5         6         7         8         9         1         1         1         1         2         2         3         4         4         5         6         7         8         8         9         1         1         1         1         1         1         2         2	462,484 462,484 462,616 100.0% 0.45 0.00 0.00 4,050 4,050 466,534 立き エ:公平性	425,617 425,617 425,617 100.0% 0.45 0.00 0.00 4,050 0 429,667 幸や見直しを図 オ:そ	377,308 377,308 377,437 100.0% 0.45 0.00 0.00 4,050 0 4,050 381,358	384,396 384,396 	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1 1 1 1 1 1	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 7 7 7 7 7 7 7 7 8 7 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合にマ) (事業の成果) 東京たま広域資源循環組合を通 有効活用、廃棄物の適正処理及 (課題・反省点) 燃やせるごみの減量及びごみの	事業費     ②人件費     ③     さずれ       じび 分別・     ・改善・     株	訳 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 職員数 正規職員分会計年度任用職員 人件費計(C) 総事業費(A)+(C) でき・③課題・反省系 対性 ウ:効率 中残さ3,099トンをエニ全が図られた。	千円         千円         %         A         千円         千円         千円         千円         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         2         2         2         3         3         4         4         5         6         7         8         9         1         1         1         1         2         2         3         4         4         5         6         7         8         8         9         1         1         1         1         1         1         2         2	462,484 462,484 462,616 100.0% 0.45 0.00 0.00 4,050 4,050 466,534 立き エ:公平性	425,617 425,617 425,617 100.0% 0.45 0.00 0.00 4,050 0 429,667 幸や見直しを図 オ:そ	377,308 377,308 377,437 100.0% 0.45 0.00 0.00 4,050 0 4,050 381,358	384,396 384,396 	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1 1 1 1	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 7 7 7 7 7 7 7 7 8 7 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合にマ) (事業の成果) 東京たま広域資源循環組合を通 有効活用、廃棄物の適正処理及 (課題・反省点)	事業費     ②人件費     ③     じび 分       ・ 改 年     ・ 焼 保 出     素	訳 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 職員数(正規   月給   時 正規職員分 会計年度任用職員 人件費計(C) 総事業費(A)+(C) できず図られた。 は抑制の更なる推進等)	千円       千円         4円       9%         4十       千円         4       千円         5       千円         1       1         1       1         2       1         2       1         3       1         4       1         5       2         6       1         7       2         8       2         9       3         1       2         1       3         1       3         2       3         3       4         4       4         5       4         6       4         7       4         8       4         9       4         1       4         1       4         1       4         1       4         1       4         1       4         1       4         1       4         1       4         1       4         1       4	462,484 462,484 462,616 100.0% 0.45 0.00 0.00 4,050 4,050 466,534 エ:公平性 として資源 要がある。	425,617 425,617 425,617 100.0% 0.45 0.00 0.00 4,050 4,050 429,667 まや見直しを図 オ:そ	377,308 377,308 377,308 377,437 100.0% 4,050 4,050 381,358	384,396 384,396 	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1 1 1 1 1 1	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 7 大持 増加

令和 3 年度事後評価	<u> </u>	<u> </u>	<del>!</del> 牛児	<del> 事務                                   </del>	事 耒	マイン	<u> ノメン</u>	トンー	<b>卜</b> 令	和 4 年 (	6 月作成
事務事業名清掃工場周辺環境	整備	崩対領	等事業			所属部	環境下水	道部	課長名	鎌田純	文
政策名 環境・安全						所属課	清掃事務	所	係名	管理係	
施策名 ごみ減量とリサイク	ルの	推進				予算科目	会計 1	款 4	項 2	目 2	事業 3番号 3
基本事業名 安定したごみ処理					地形態 「選択可)	全音	『委託 ▶	/ 一部委託	補助・	助成	連携・協働
事業期間 単年度繰返			根拠	環境基本流	去		L most N.I.				
平成9 年度~	年度 O		去令等	ダイオキシ 周辺自治:							
川東公利   1   1   主要地東   1   1   現状把握の部 (1)事務事業	-	要•	日的•結			励止°見音	<del>节</del>				
①事業概要			数の推移		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
周辺自治会との協定に基づき、環境調査測定、ダイオキシン類				ン類測定回		1			4		
測定、受信障害解消対策、集会		数			□	4	4	4	4		
施設(グリーンセンター)の管理、 給湯等の環境整備対策事業を	1	集会加	施設開館	日数 —————	日	309	307	308	308		
行う。	ウ										
	6	活動	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア	周辺タ 数	ダイオキシ	ン類測定回	回	4	4	4	4	#11	#1 11
清掃工場周辺の良好な生活環			施設開館	 ∃数	日	309	307	308	308		
境を確保し、周辺住民から理解と協力を得て、清掃工場の円滑	ゥ			- 294							
な運営を図る。		成果	 指標		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
③結果(どのような結果に結び付けるか)	7	周辺を		ン類測定回	□	<b>実績</b>	<b>実績</b> 4	<b>実績</b>	計画	計画	計画
安全で安定した施設の稼働によ		数生命	施設開館	□ <del>*/.</del>	日	309	307		308		
り、ごみを適正に処理する。		果云』	也政用貼「	口	Р	309	307	308	308	<u> </u>	
	ウ										
	(2	)事業	美のコスト		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)				国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
周辺環境調査、周辺ダイオキシ			財源	都支出金	千円	0	0	0	0	0	0
ン類測定を行い、環境基準値を 下回った。また、受信障害解消		1	源 —	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
対策、集会施設の管理等を行っ		事	訳	その他	千円		Ū	•		Ŭ	
た。		業費		一般財源	千円	13,971	14,129			0	_
		,		費計(A)	千円	13,971	14,129	13,580	14,787	0	0
				算額(B)  率(A)/(B)	千円 %	15,108 92.5%	15,345 92.1%	14,820 91.6%			
				<del>ギ</del> (A <i>)/</i> (D <i>)</i>  E規 月給 時給)			0.40 0.09 0.00		0.40 0.09 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
		② 人		職員分	千円		3,600		3,600	0	0
		件		E任用職員等		315	378	378	378	0	0
		費	人件	費計(C)	千円	3,915	3,978	3,978	3,978	0	0
		3	総事業費	(A)+(C)	千円	17,886	18,107	17,558	18,765	0	0
2 評価の部		·	* O.						/ - \ <del>+</del> - 1	14 <b>~</b> -1- A I	
(1)全体総括(①事業の成果・②							きや見直しを図 		【(2) <del>事</del> 第	美の方針 	<del>7</del> 1
※課題の有無 (課題がある場合によ) (恵世の日間)		イ∶有	'効性	ウ:効率性		工:公平性	オ:そ	の他	4		スト :持 増加
(事業の成果) 周辺環境測定及び周辺ダイオキ:	シン类	領測定	どの結果は	さ、全て環境	基準	直を遵守で	きた。		向	111111111111111111111111111111111111111	.33
									上   上   推		
									成維果持		
									低下		
										休止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革											
周辺の良好な生活環境を確保すして実施していく。	るたる	め、居	]辺環境詞	間査、周辺ダ	イオキ	シン類測別	定、受信障	害解消対策	<b>策及び集会</b>	施設の管理	理を継続

令和 3	年度事後評価	节1	<u>^                                    </u>	<u> </u>	<u> </u>	<del>事</del> 录	<u> マネン</u>	<u> ノメン</u>	<u>トンニ</u>	<b>卜</b>	和 4 年 6	5 <u>月作成</u>
						_		環境下水			大須賀 -	
政策名	環境•安全						所属課	ごみ対策	課	係名	リサイクルセン	
施策名	ごみ減量とリサイク	フレの	推進				予算科目	会計 1	款 4	項 2	目 2	事業 7 番号 7
基本事業名	安定したごみ処理					施形態		『委託 ▶	一部委託	補助・	助成	連携•協働
事業期間	単年度繰返	ter etc		根拠	廃棄物の	処理及	とび清掃に					
市長公約		年度 <b>〇</b>		去令等		<b>美物</b> %	1理及び再	利用促進的	条例			
1 現状把握	の部 (1)事務事業	)		目的	·結果·活動·原	戈果						
①事業概要	出事業者から排出	<b>⑤</b>	対象	数の	性移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
される資源や	ごみから、不純物	ア	搬入量	<b>量</b>		t	9,327	10,287	9,815	10,171		
を除去し、再建を行う。	資源化等の適正処	1				+	,	<u> </u>	,	,		
生で1170		-										
		ウ					H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
			活動技		· · · · · · · · / -	単位	実績	実績	実績	計画	計画	計画
	どのような状態にしたいのか)	ア	総合り 場棟)	リサイ? ) <u>稼働</u>	ケルセンター(工 日数	日	259	245	256	259		
資源と燃やせ 処理し、焼却	けないごみを選別・	1		<del></del>								
処理し、畑和	里で似りょ。	ウ										
		7	成果	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
3結果(どのよ	うな結果に結び付けるか)	ア	資源化	化量		t	6,263		7,518			H. E.
リサイクルの向 処理	向上と安定したごみ	1	総合り源化率	リサイク 玄	クルセンター内資	%	67.1	73.3	76.6	68.2		
处垤			埋立如		<u>1</u> .	t	0	0	0	0		
							1101年中	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		(2	:)事業	業の=	コスト	単位	H31年度 実績					
④令和3年度	度実績(事業活動)	(2   	)事第	業の= 	国庫支出金		実績	実績 0	実績 12,000	計画 59,355	計画	計画
・搬入資源の		(2	() 事美	財			<b>実績</b> 0	実績	実績	計画	計画	計画
<ul><li>搬入資源の</li><li>再資源化</li></ul>	選別	(2	(1)		国庫支出金	: 千円	<b>実績</b> 0 0	<b>実績</b> 0	<b>実績</b> 12,000	計画 59,355	計画 ()	計画 0
<ul><li>・搬入資源の</li><li>・再資源化</li><li>・機器設備保</li><li>・設備長寿命</li></ul>	選別		① 事	財源	国庫支出金 都支出金 地方債 その他	<ul><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	<b>実績</b> 0 0 0 0 46,099	<b>実績</b> 0 0 0 51,665	<b>実績</b> 12,000 0 16,000 43,498	計画 59,355 80,600 0 98,000	計画 0 0 0 0	計画 0 0 0 0
・搬入資源の ・再資源化 ・機器設備保	選別		①事業	財源内訳	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源	<ul><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	<b>実績</b> 0 0 0 46,099 328,028	<b>実績</b> 0 0 0 51,665 328,424	<b>実績</b> 12,000 0 16,000 43,498 334,499	計画 59,355 80,600 0 98,000 322,232	計画 0 0 0 0 0	計画 0 0 0 0 0
<ul><li>・搬入資源の</li><li>・再資源化</li><li>・機器設備保</li><li>・設備長寿命</li></ul>	選別		① 事	財源内訳	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A)	千円 千円 千円 千円 千円	<b>実績</b> 0 0 46,099 328,028 374,127	<b>実績</b> 0 0 0 51,665 328,424 380,089	実績 12,000 0 16,000 43,498 334,499 405,997	計画 59,355 80,600 0 98,000	計画 0 0 0 0	計画 0 0 0 0
・搬入資源の ・再資源化 ・機器設備保 ・設備長寿命	選別		①事業	財源内訳	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B)	<ul><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	<b>実績</b> 0 0 46,099 328,028 374,127 376,906	<b>実績</b> 0 0 0 51,665 328,424 380,089 382,052	実績 12,000 0 16,000 43,498 334,499 405,997 426,850	計画 59,355 80,600 0 98,000 322,232	計画 0 0 0 0 0	計画 0 0 0 0
<ul><li>・搬入資源の</li><li>・再資源化</li><li>・機器設備保</li><li>・設備長寿命</li></ul>	選別		①事業費	財源内訳	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 気行率(A)/(B)	<ul><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>4円</li><li>4円</li><li>4円</li><li>4円</li></ul>	実績       0       0       0       46,099       328,028       374,127       376,906       99.3%	<b>実績</b> 0 0 0 51,665 328,424 380,089 382,052 99.5%	実績 12,000 0 16,000 43,498 334,499 405,997 426,850 95.1%	計画 59,355 80,600 0 98,000 322,232 560,187 —	計画 0 0 0 0 0	計画 0 0 0 0 0 0 
<ul><li>・搬入資源の</li><li>・再資源化</li><li>・機器設備保</li><li>・設備長寿命</li></ul>	選別		①事業	財源内訳 華員	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B)	<ul><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>4円</li><li>4円</li><li>4円</li><li>4円</li></ul>	実績       0       0       46,099       328,028       374,127       376,906       99.3%       2.50     0.00       0.00	<b>実績</b> 0 0 0 51,665 328,424 380,089 382,052 99.5%	実績 12,000 0 16,000 43,498 334,499 405,997 426,850 95.1%	計画 59,355 80,600 0 98,000 322,232 560,187 —	計画 0 0 0 0 0 0 —	計画 0 0 0 0 0 0 
<ul><li>・搬入資源の</li><li>・再資源化</li><li>・機器設備保</li><li>・設備長寿命</li></ul>	選別		①事業費 ②人件	財源内訳 華員	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) な行率(A)/(B) 数(正規   月給   時格	<ul><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>八</li><li>千円</li></ul>	実績       0       0       46,099       328,028       374,127       376,906       99.3%       2.50     0.00     0.00       22,500	実績       0       0       51,665       328,424       380,089       382,052       99.5%       2.50     0.00     0.00	実績       12,000       0       16,000       43,498       334,499       405,997       426,850       95.1%       2.50     0.00     0.00	計画 59,355 80,600 0 98,000 322,232 560,187 — 2.50 0.00 0.00	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	計画 0 0 0 0 0 0 0 
・搬入資源の ・再資源化 ・機器設備保 ・設備長寿命	選別		①事業費 ②人件費	財源内訳 職 会計	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時間 正規職員分 年度任用職員等	<ul> <li>千円</li> <li>千円</li> <li>千円</li> <li>千円</li> <li>千円</li> <li>千円</li> <li>千円</li> <li>千円</li> <li>千円</li> </ul>	実績       0       0       46,099       328,028       374,127       376,906       99.3%       2.50     0.00       0     0       22,500       0     22,500	実績       0       0       51,665       328,424       380,089       382,052       99.5%       2.50     0.00       0       22,500       0       22,500	実績       12,000       0       16,000       43,498       334,499       405,997       426,850       95.1%       2.50     0.00       0       22,500       0       22,500	計画 59,355 80,600 0 98,000 322,232 560,187 — 2.50 0.00 0.00 22,500 0 22,500	計画	計画 0 0 0 0 0 0 
・搬入資源の ・再資源化 ・機器設備保 ・設備長寿注	選別 :全 :化計画に基づいた		①事業費 ②人件費	財源内訳 職 会計	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時格 正規職員分 年度任用職員等	<ul><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>5</li><li>人</li><li>千円</li></ul>	実績       0       0       46,099       328,028       374,127       376,906       99.3%       2.50     0.00       0     0       22,500       0     22,500	実績       0       0       51,665       328,424       380,089       382,052       99.5%       2.50     0.00       0       0	### 12,000 0 16,000 43,498 334,499 405,997 426,850 95.1% 2.50 0.00 0.00 22,500	計画 59,355 80,600 0 98,000 322,232 560,187 — 2.50 0.00 0.00 22,500 0	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	計画 0 0 0 0 0 0 
・搬入資源の ・再資源化 ・機器最長 ・設備長寿 ・設備及発注	選別 全 化計画に基づいた		①事業費 ②人件費 ③	財源内訳 華員 計	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時報 正規職員分 年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C)	千円円       千円円         千円円       千円円         千円円       千円円円         千千円円       千円円	実績       0       0       46,099       328,028       374,127       376,906       99.3%       25,500       0       22,500       396,627	### (### (### (### (### (### (### (###	### 12,000	計画 59,355 80,600 0 98,000 322,232 560,187 — 22,500 0 22,500 582,687	計画	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
・搬入資源の ・再資源化 ・機器設備保 ・設備長寿 工事の発注	選別 全 化計画に基づいた る (1)事業の成果・②	2改章	①事業費 ②人件費 ③ 改	財源内訳 華員 計	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時 正規職員分 年度任用職員 人件費計(C) 業費(A)+(C)	<ul> <li>千円</li> <li>千円</li> <li>千円</li> <li>千円</li> <li>千円</li> <li>千円</li> <li>千円</li> <li>千円</li> </ul>	実績       0       0       46,099       328,028       374,127       376,906       99.3%       25,500       0       22,500       396,627	実績 0 0 51,665 328,424 380,089 382,052 99.5% 2.50 0.00 0.00 22,500 402,589	### 12,000	計画 59,355 80,600 0 98,000 322,232 560,187 — 22,500 0 22,500 582,687	計画	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
・搬入資源の・機合の ・機合の ・機合の ・機合の ・機合の ・機合の ・機合の ・機合の	選別 :全 :化計画に基づいた <b>括(①事業の成果・② 大</b> ) ア:目的妥当性 [ ) 老朽化した設備の(	② <b>改基</b>	①事業費 ②人件費 ③ 改 有 修	財源内訳 戦 会 善 強 一 変 一 変 一 変 一 変 一 変 一 変 一 変 一 変 一 変 一	国庫支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時報 正規職員分 年度任用職員会 人件費計(C) 業費(A)+(C) 3)課題・反省点 レカラの安定	<ul><li>・ 円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円</li></ul>	実績 0 0 46,099 328,028 374,127 376,906 99.3% 2.50 0.00 0.00 22,500 0 22,500 396,627 ・ 改善性	実績 0 0 51,665 328,424 380,089 382,052 99.5% 2.50 0.00 0.00 22,500 402,589 ず:そ	実績 12,000 0 16,000 43,498 334,499 405,997 426,850 95.1% 250 0.00 0.00 22,500 0 22,500 428,497	計画 59,355 80,600 0 98,000 322,232 560,187 — 22,500 0 22,500 582,687	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
・搬入資源の・機合の ・機合の ・機合の ・機の ・機の ・設事の ・機の ・設事の ・機の ・設事の ・機 ・設事の ・機 ・設事の ・機 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	選別 ・全 ・化計画に基づいた  括(①事業の成果・② ・ア:目的妥当性[ ・)老朽化した設備の份設備長寿命化計画	② <b>改基</b>	①事業費 ②人件費 ③ 改 有 修	財源内訳 戦 会 善 強 一 変 一 変 一 変 一 変 一 変 一 変 一 変 一 変 一 変 一	国庫支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時報 正規職員分 年度任用職員会 人件費計(C) 業費(A)+(C) 3)課題・反省点 レカラの安定	<ul><li>・ 円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円</li></ul>	実績 0 0 46,099 328,028 374,127 376,906 99.3% 2.50 0.00 0.00 22,500 0 22,500 396,627 ・ 改善性	実績 0 0 51,665 328,424 380,089 382,052 99.5% 2.50 0.00 0.00 22,500 402,589 ず:そ	実績 12,000 0 16,000 43,498 334,499 405,997 426,850 95.1% 250 0.00 0.00 22,500 0 22,500 428,497	計画 59,355 80,600 0 98,000 322,232 560,187 — 22,500 0 22,500 582,687	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	選別 全 (化計画に基づいた を <b>活(①事業の成果・②</b> を <b>活(①事業の成果・②</b> と お が で に は た に た お に に た に た の に に た に に に に に に に に に に に	<b>②改立</b> 保全・ に基:	①事業費 ②人件費 ③ ・ は 有 修 が 設	財源内訳 戦 会 巻 竹を工 の	国庫支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時間 正規職員分 年度任用職員 人件費計(C) 業費(A)+(C) 3課題・反省点 レーが設率に ど朽化が顕著	<ul><li>・</li></ul>	実績	実績	実績 12,000 0 16,000 43,498 334,499 405,997 426,850 95.1% 250 000 0.00 22,500 0 22,500 428,497	計画 59,355 80,600 0 98,000 322,232 560,187 — 22,500 0 22,500 582,687 (2)事業	計画	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	選別 :全 :化計画に基づいた <b>括(①事業の成果・② 大</b> : 下:目的妥当性 [ :) 老朽化した設備の代表 ( :) 設備長寿命化計画 ( -) 化を図った。	<b>②改立</b> 保全・ に基:	①事業費 ②人件費 ③ ・ は 有 修 が 設	財源内訳 戦 会 巻 竹を工 の	国庫支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時間 正規職員分 年度任用職員 人件費計(C) 業費(A)+(C) 3課題・反省点 レーが設率に ど朽化が顕著	<ul><li>・</li></ul>	実績	実績	実績 12,000 0 16,000 43,498 334,499 405,997 426,850 95.1% 250 000 0.00 22,500 0 22,500 428,497	計画	計画	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
・搬兵では、 ・機・ ・機・ ・機・ ・機・ ・機・ ・機・ ・機・ ・機・ ・機・ ・機	選別 全 (化計画に基づいた を <b>活(①事業の成果・②</b> を <b>活(①事業の成果・②</b> と お が で に は た に た お に に た に た の に に た に に に に に に に に に に に	<b>②改立</b> 保全・ に基:	①事業費 ②人件費 ③ ・ は 有 修 が 設	財源内訳 戦 会 巻 竹を工 の	国庫支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時間 正規職員分 年度任用職員 人件費計(C) 業費(A)+(C) 3課題・反省点 レーが設率に ど朽化が顕著	<ul><li>・</li></ul>	実績	実績	実績 12,000 0 16,000 43,498 334,499 405,997 426,850 95.1% 250 000 0.00 22,500 0 22,500 428,497	計画	計画	計画
・搬再機設事の (1) 課題をの (4) では、 (2) では、 (4) では、 (4) では、 (5) では、 (5) では、 (6) では、 (6) では、 (7)	選別 全 (化計画に基づいた を <b>活(①事業の成果・②</b> を <b>活(①事業の成果・②</b> と お が で に は た に た お に に た に た の に に た に に に に に に に に に に に	<b>②改立</b> (宋に * 1 を	① 事業費 ② 人件費 ③ されずでででする。 では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	財源内訳 職 会 総 善 効 をた 備必	国庫支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時間 正規職員分 年度任用職員 人件費計(C) 業費(A)+(C) 3課題・反省点 レーが設率に ど朽化が顕著	<ul><li>・ 円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円</li></ul>	実績	実績	実績 12,000 0 16,000 43,498 334,499 405,997 426,850 95.1% 250 000 0.00 22,500 0 22,500 428,497	計画	計画	計画

た、「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」への対応に必要な施設の改修等について検討していく。

令和 3 年度事後評価	<u> 节1</u>	<u>NJ 2</u>	<del> </del>	<u>F                                    </u>	<u> 争伪</u>	<u> </u>	マイン	<u> ノメ ン</u>	トンー	<u> </u>	令和	11 4 年 6	6 月作成
事務事業名 せん定枝資源化事	業						所属部	環境下水	道部	課長	名	大須賀 -	一夫
政策名 環境·安全							所属課	ごみ対策	課	係名	古	計画推進	
施策名 ごみ減量とリサイク	ルの	推進					予算科目	会計 1	款 4	項	2	目 2	事業 番号 10
基本事業名 安定したごみ処理						<b>も形態</b>	✓ 全部	<b>『委託</b>	一部委託	補	助•	助成	連携∙協働
事業期間 単年度繰返			根拠					関する法律					
平成15 年度~	年度 <b>つ</b>		去令等		立川市廃業	乗物火	1理及び再	利用促進約	条例				
1 現状把握の部(1)事務事業	_	班要•	目的	<u> </u>	·活動·成	果							
①事業概要 家庭及び事業所から排出された	<b>⑤</b>	対象	数の排	推移		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年/	度	R5年度	R6年度
せん定枝に、大山団地や学校	ア	せん気	 定枝収	集量		t	201	216	177		177		
給食等の生ごみの1次処理物を 配合し、たい肥の素を製造・配			定枝持			t	281	314	273		273		
布する。	-				物搬入量	t	44				43		
				.火e上±1%	加以八里		山の4左南	R2年度	R3年度	R4年J		R5年度	R6年度
		活動				単位	実績	実績	実績	計画		計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア	<b>ア</b> せん定枝収集日数 <b>イ</b>				目	51	53	52		52		
ごみとして焼却せずに、たい肥 の素として、市内で有効利用す	1											l	
5.	ウ											 	
	7)	⑦成果指標				単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年月 計画		R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア	たい朋		の配布	ī量	t	<b>三人</b> 版 577		<b>- 天順</b> 441		441		BI E
燃やせるごみ量の減量と資源化	1												
率の向上	ウ												
											-		
	(2	)事業	業のコ	スト		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年月 計画		R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)				国原	車支出金	千円	0	0	0		0	0	0
せん定枝等のたい肥化とたい肥 の素の配布			財源		支出金	千円	0	0	0		0	0	Ů
		1	内	_	也方債	千円	0	-	, and the second		0	0	, i
		事業	訳		その他	千円					10	0	Ů
		費	ਭ	1	·般財源 	千円	20,337	21,705 21,968	21,503 21,717	22,5		0	
			7	予算客 予算客		千円					10	_	_
			朝		(A)/(B)	%	97.8%	93.7%	95.1%			_	_
	Ī	2	職員	数(正規	月給  時給	人	0.25 0.00 0.00	0.15 0.00 0.00	0.15 0.00 0.00	0.15 0.00	0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
		人		正規聙		千円	2,250	1,350	1,350	1,3	50	0	
		件 費			E用職員等		0	0	0		0	0	
	ŀ				計(C)	千円		1,350	1,350	1,3		0	
[	L	3)1	総争え	<b>美賀(</b> /	A)+(C)	千円	23,071	23,318	23,067	24,1	95	0	0
(1)全体総括(①事業の成果・②	2)改章	革•改	善.	3)課題	•反省点)		改善改善	きや見直しを図	図った	(2)	事業	きの方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性 [課題がある場合によ)		イ∶有	効性		ウ:効率性		エ:公平性	オ:そ	の他				スト
(事業の成果)令和3年度せん定根										1_	向	削減 維	持 増加
へたい肥の素として441tを頒布す さを啓発するとともに、燃やせるご							で地域にお	ける資源値	1環の大切		上		
	•					0				成果	維持		<b>O</b>
											低		_
										(	下	休止の場合は	+記 1 不更)
L (3)今後の事業の方向性(改革	- 改	善案	等)							()9E.	- LLL	下亚。>>	よ記/ペータ/
燃やせるごみの減量と資源化率の				  き続き	 :実施してい	l ハく。た	よお、破砕	幾の老朽化	ムに伴い、ヲ	可の交換	負が	必要となっ	している。
							,		_ ,, ,		-		

令和 3 年度事後評価	<u>令和 ′</u>	<u>4 年度</u>	<u>事務事</u>	<u>業マネシ</u>	<u> フメン</u>	<u>トシー</u>	<b>卜</b> 令	10 4 年 6	<u>月作成</u>
事務事業名 総合リサイクルセン	ター管理	<b>里</b> 選営		所属部	環境下水	道部	課長名	大須賀 -	一夫
政策名 環境・安全				所属課	ごみ対策	課	係名	計画推進係り	サイクルセンター係
施策名 ごみ減量とリサイク	ルの推進	<u> </u>		予算科目	会計 1	款 4	項 2	目 2	事業 番号 11
基本事業名 安定したごみ処理			実施刑		\$\$季託 ▶	一部委託	補助・	助成	連携・協働
事業期間 単年度繰返		根拠	廃棄物の処理	理及び清掃に					
平成8 年度~	年度 ;	法令等	立川市廃棄物	物処理及び再	利用促進約	条例			
巾長公利   1   土要施束   1 現状把握の部 (1)事務事業	<u></u> の概要・	· 目的·結果	<u>.</u> - 活動 • 成果						
①事業概要		数の推移		<b>並</b> H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
総合リサイクルセンターの用地・ 建物(ごみ処理にかかる部分を		すべき樹木		本 536		536	513		
除く)の管理		<ul><li>・草刈りを要</li></ul>		m <sup>2</sup> 6,442		6,442	6,442		
		* 早/リソでみ	9 3 1.45	III 0,T12	0,112	U,TT2	U,TT2		
	ウ			4 / H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	⑥活動	指標	単	单位	実績	実績	計画	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア樹木	の剪定等	1	回 2	2	2	2		
周辺の市民から総合リサイクル	イ 除草	•草刈り	]	回 4	4	4	4		
センターに対する理解を得る	ウ施設	周辺の清掃	1	回 51	44	50	51		
	⑦成果	指標	単	单位 H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
③結果(どのような結果に結び付けるか)	<b>元</b> 総合	リサイクルセン	ンター発働	<b>実績</b> 日 259	<b>実績</b> 259	<b>実績</b> 260	計画 259	計画	計画
安定した施設運営を継続する。	ア一日数			Π Δυυ	200	200	400		
女化の心臓灰土日で症が / 50	1								
	ウ								
	(2)事	業のコスト	12	位 H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	. ,	7,00	+	実績	実績	実績	計画	計画	計画
④令和3年度実績(事業活動)		国		<b>生性</b> 実績 0		<b>実績</b> 0	計画 ()	計画 ()	計画 0
・総合リサイクルセンター建物等		財者	庫支出金 千	<b>夫</b> 領	0				
・総合リサイクルセンター建物等 の維持保全管理 ・施設周辺の清掃	1	財富	庫支出金       千         ボ支出金       千         地方債       千	子門     0       -円     0       -円     0	0 0	9,561 0	0 0	0 0	0 0
<ul><li>・総合リサイクルセンター建物等の維持保全管理</li><li>・施設周辺の清掃</li><li>・国有財産借受に関する事務</li></ul>	1 事	財易	庫支出金 千 『支出金 千 地方債 千 その他 千	美額       -円     0       -円     0       -円     0       -円     9,100	0 0 0 43,881	0 9,561 0 28	0 0 0 158	0 0 0	0 0 0
・総合リサイクルセンター建物等 の維持保全管理 ・施設周辺の清掃	1	財源内訳	庫支出金 千 R支出金 千 地方債 千 その他 千 一般財源 千	<ul><li>手稿</li><li>一円</li><li>一円</li><li>0</li><li>一円</li><li>0</li><li>一円</li><li>9,100</li><li>一円</li><li>82,349</li></ul>	0 0 0 43,881 96,669	9,561 0 28 101,369	0 0 0 158 92,654	0 0 0 0	0 0 0 0
<ul><li>・総合リサイクルセンター建物等の維持保全管理</li><li>・施設周辺の清掃</li><li>・国有財産借受に関する事務</li></ul>	① 事 業	財源内訳事業費	庫支出金 千 『支出金 千 地方債 千 その他 千 一般財源 千 計(A) 千	美額 三円 0 三円 0 三円 9,100 三円 82,349 三円 91,449	0 0 0 43,881 96,669 140,550	9,561 0 28 101,369 110,958	0 0 0 158	0 0 0	0 0 0
<ul><li>・総合リサイクルセンター建物等の維持保全管理</li><li>・施設周辺の清掃</li><li>・国有財産借受に関する事務</li></ul>	① 事 業	財源内訳事業費予算	庫支出金 千 郡支出金 千 地方債 千 その他 千 一般財源 千 計(A) 千 額(B) 千	<ul> <li>手欄</li> <li>一円</li> <li>一円</li> <li>一円</li> <li>一円</li> <li>9,100</li> <li>一円</li> <li>82,349</li> <li>一円</li> <li>91,449</li> <li>-円</li> <li>148,067</li> </ul>	0 0 0 43,881 96,669 140,550 160,008	9,561 0 28 101,369 110,958 131,799	0 0 0 158 92,654	0 0 0 0	0 0 0 0
<ul><li>・総合リサイクルセンター建物等の維持保全管理</li><li>・施設周辺の清掃</li><li>・国有財産借受に関する事務</li></ul>	①事業費	財源内訳事業費予算執行率	庫支出金 千 『支出金 千 地方債 千 その他 千 一般財源 千 蟄計(A) 千 額(B) 千 (A)/(B)	<ul> <li>美額</li> <li>一円 0</li> <li>一円 0</li> <li>一円 9,100</li> <li>一円 82,349</li> <li>一円 91,449</li> <li>二円 148,067</li> <li>% 61.8%</li> </ul>	0 0 0 43,881 96,669 140,550 160,008	9,561 0 28 101,369 110,958 131,799 84.2%	0 0 0 158 92,654 92,812 —	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0
<ul><li>・総合リサイクルセンター建物等の維持保全管理</li><li>・施設周辺の清掃</li><li>・国有財産借受に関する事務</li></ul>	① 事 業	財源内訳 事業費 予第 執行率 職員数(正)	庫支出金 千 ・ 下支出金 千 ・ 地方債 千 ・ その他 千 ・ 般財源 千 を計(A) 千 額(B) 千 (A)/(B) (A)/(B) (A)/(B)	<ul> <li>美額</li> <li>一円 0</li> <li>一円 0</li> <li>一円 9,100</li> <li>一円 82,349</li> <li>一円 91,449</li> <li>二円 148,067</li> <li>% 61.8%</li> </ul>	0 0 43,881 96,669 140,550 160,008 87.8%	9,561 0 28 101,369 110,958 131,799 84.2%	0 0 0 158 92,654 92,812 —	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0
<ul><li>・総合リサイクルセンター建物等の維持保全管理</li><li>・施設周辺の清掃</li><li>・国有財産借受に関する事務</li></ul>	①事業費    ②人件	財源内訳 一事業費 教行率 職員数四期 正規罪	庫支出金 千 ・ 下支出金 千 ・ 地方債 千 ・ その他 千 ・ 般財源 千 を計(A) 千 額(B) 千 (A)/(B) (A)/(B) (A)/(B)	<ul> <li>美額</li> <li>一円 0</li> <li>一円 0</li> <li>一円 9,100</li> <li>一円 82,349</li> <li>一円 91,449</li> <li>二円 148,067</li> <li>% 61.8%</li> <li>人 1.20 0.00 0.00</li> <li>二円 10,800</li> </ul>	0 0 43,881 96,669 140,550 160,008 87.8% 1.35 0.00 0.00 12,150	9,561 0 28 101,369 110,958 131,799 84.2% 2.10 0.00 0.00	0 0 0 158 92,654 92,812 — — 2.10 0.00 0.00	0 0 0 0 0 0 0 	0 0 0 0 0 0 0 
<ul><li>・総合リサイクルセンター建物等の維持保全管理</li><li>・施設周辺の清掃</li><li>・国有財産借受に関する事務</li></ul>	①事業費   ②人	財源内訳 事業費 予行率 職員 正規 会計年度	庫支出金 千	<ul> <li>美額</li> <li>一円 0</li> <li>一円 0</li> <li>一円 9,100</li> <li>一円 82,349</li> <li>一円 91,449</li> <li>二円 148,067</li> <li>% 61.8%</li> <li>人 1.20 0.00 0.00</li> <li>二円 10,800</li> </ul>	0 0 43,881 96,669 140,550 160,008 87.8% 1.35 0.00 0.00 12,150	0 9,561 0 28 101,369 110,958 131,799 84.2% 2.10 0.00 0.00 18,900	0 0 0 158 92,654 92,812 — 2.10 0.00 0.00 18,900	0 0 0 0 0 0 0 	0 0 0 0 0 0 0 
・総合リサイクルセンター建物等 の維持保全管理 ・施設周辺の清掃 ・国有財産借受に関する事務 ・照明設備の更新	①事業費  ②人件費	財源内訳 事業費 予行率 職員 正規 会計年度	庫支出金 千 地方債 千 その他 千 一般財源 千 蟄計(A) 千 額(B) 千 (A)/(B) 6 思   月給   時給 2 武員分 千 壬用職員等 千 費計(C) 千	<ul> <li>美額</li> <li>一円 0</li> <li>一円 0</li> <li>一円 9,100</li> <li>一円 82,349</li> <li>一円 91,449</li> <li>一円 148,067</li> <li>% 61.8%</li> <li>人 1.20 0.00 0.00</li> <li>二円 10,800</li> <li>二円 0</li> </ul>	0 0 0 43,881 96,669 140,550 160,008 87.8% 1.35 0.00 0.00 12,150	0 9,561 0 28 101,369 110,958 131,799 84.2% 2.10 0.00 0.00 18,900	0 0 158 92,654 92,812 — 2.10 0.00 0.00 18,900	0 0 0 0 0 0 0 	0 0 0 0 0 0 
・総合リサイクルセンター建物等の維持保全管理 ・施設周辺の清掃 ・国有財産借受に関する事務 ・照明設備の更新	①事業費 ②人件費 ③	財源内訳 事 予行 職員 正年 件費 総事	庫支出金 千	美額 一円 0 一円 9,100 一円 9,100 一円 82,349 一円 148,067 % 61.8% 人 1.20 0.00 0.00 一円 10,800 一円 10,800 一円 102,249	0 0 43,881 96,669 140,550 160,008 87.8% 1.35 0.00 0.00 12,150 0 12,150 152,700	9,561 0 28 101,369 110,958 131,799 84.2% 2.10 0.00 0.00 18,900 0 18,900 129,858	0 0 0 158 92,654 92,812 	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 
・総合リサイクルセンター建物等の維持保全管理・施設周辺の清掃・国有財産借受に関する事務・照明設備の更新  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無	①事業費 ②人件費 ③ 立 3	財源内訳 事 予行 職員正年度 人業 上年 件費 (本書・3)課題	庫支出金 千	美術 一円 0 一円 9,100 一円 9,100 一円 82,349 一円 148,067 % 61.8% 人 1.20 0.00 0.00 一円 10,800 一円 10,800 一円 102,249	0 0 43,881 96,669 140,550 160,008 87.8% 1.35 0.00 0.00 12,150 0 152,700	0 9,561 0 28 101,369 110,958 131,799 84.2% 2.10 0.00 0.00 18,900 0 18,900 129,858	0 0 0 158 92,654 92,812 ————————————————————————————————————	0 0 0 0 0 0 0   0.00 0.00 0.00 0 0	0 0 0 0 0 0 0 
・総合リサイクルセンター建物等の維持保全管理・施設周辺の清掃・国有財産借受に関する事務・照明設備の更新  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 ア:目的妥当性 [課題がある場合にア)	①事業費 ②人件費 ③ 改革・イ: 本	財源内訳 事 予行 職 会計 人業 会計 人業 課題 会計 人業 課題	庫支出金 千 地方債 千 その他 千 般財源 千 額(B) 千 額(B) 第 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	美術 一円 0 一円 9,100 一円 9,100 一円 82,349 一円 148,067 % 61.8% 人 1.20 0.00 0.00 一円 10,800 一円 102,249 レ 改善 レ 改善	0 0 43,881 96,669 140,550 160,008 87.8% 1.35 0.00 0.00 12,150 0 152,700 きや見直しを図	0 9,561 0 28 101,369 110,958 131,799 84.2% 2.10 0.00 0.00 18,900 129,858	0 0 0 158 92,654 92,812 ————————————————————————————————————	0 0 0 0 0 0 0 - - 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0.00 0.00 0.00 0 0
・総合リサイクルセンター建物等の維持保全管理・施設周辺の清掃・国有財産借受に関する事務・照明設備の更新  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 ア:目的妥当性 [課題がある場合によ) (事業の成果)建物等の維持管理を1回開催している地元自治会との	① 事業費 ② 人件費 ③ では を を を を を を を を を を を を を を り た り た り た	財源內訳 事 予行 证	庫支出金 千	美術 一円 0 一円 9,100 一円 9,100 一円 82,349 一円 148,067 % 61.8% 人 1.20 0.00 0.00 一円 10,800 一円 102,249 レ なき レ なき レ なき	0 0 43,881 96,669 140,550 160,008 87.8% 1.35 0.00 0.00 12,150 0 152,700 きや見直しを図 オ:そ	0 9,561 0 28 101,369 110,958 131,799 84.2% 2.10 0.00 0.00 18,900 0 129,858	0 0 0 158 92,654 92,812 ————————————————————————————————————	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
・総合リサイクルセンター建物等の維持保全管理・施設周辺の清掃・国有財産借受に関する事務・照明設備の更新  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 ア:目的妥当性 [課題がある場合にマ) (事業の成果)建物等の維持管理を	①事業費 ②人件費 ③ ・さ イ:お を行談	財源内訳 事 予行 正規 会計 人業 課 会計 人業 課 別で は で で で で で で で で で で で で で で で で で	庫支出金 千 千 その他 千 千 を の 他	美術 一円 0 一円 0 一円 9,100 一円 9,100 一円 82,349 一円 148,067 % 61.8% 人 1.20 0.00 0.00 一円 10,800 一円 102,249 レ なき レ なき レ なき レ ス感染症	0 0 43,881 96,669 140,550 160,008 87.8% 1.35 0.00 0.00 12,150 0 152,700 きや見直しを図 オ:そ	0 9,561 0 28 101,369 110,958 131,799 84.2% 2.10 0.00 0.00 18,900 0 129,858	0 0 0 158 92,654 92,812 ————————————————————————————————————	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 7 7 8 7 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9
・総合リサイクルセンター建物等の維持保全管理・施設周辺の清掃・国有財産借受に関する事務・照明設備の更新  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無(課題がある場合に)ア:目的妥当性 [事業の成果)建物等の維持管理を1回開催している地元自治会との送り、書面でご意見をいただいた。(改革・改善)水銀灯をLED照明(課題・反省点)計画的な建物の維	① 事業費 ② 人件費 ③ さ イ:す を を 多。 に 更 が で り に り に り に り に り に り に り に り に り に り	財源内訳事予行の課を対して、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書ので	庫支出金 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千	美術 一円 0 一円 0 一円 9,100 一円 9,100 一円 82,349 一円 148,067 % 61.8% 人 1.20 0.00 0.00 一円 10,800 一円 102,249 レースを レースを 上こく で、植栽・花 イルス感染症 た。	0 0 0 43,881 96,669 140,550 160,008 87.8% 1.35 0.00 0.00 12,150 0 152,700 まや見直しを図 オ:そ	0 9,561 0 28 101,369 110,958 131,799 84.2% 2.10 0.00 0.00 18,900 0 18,900 129,858	0 0 158 92,654 92,812 	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 7 7 7 8 7 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9
・総合リサイクルセンター建物等の維持保全管理 ・施設周辺の清掃 ・国有財産借受に関する事務 ・照明設備の更新  (1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合によ) (事業の成果)建物等の維持管理。 1回開催している地元自治会との。 送り、書面でご意見をいただいた。 (改革・改善)水銀灯をLED照明	① 事業費 ② 人件費 ③ さ イ:す を を 多。 に 更 が で り に り に り に り に り に り に り に り に り に り	財源内訳事予行の課を対して、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書のでは、本書ので	庫支出金 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千	美術 一円 0 一円 0 一円 9,100 一円 9,100 一円 82,349 一円 148,067 % 61.8% 人 1.20 0.00 0.00 一円 10,800 一円 102,249 レースを レースを 上こく で、植栽・花 イルス感染症 た。	0 0 0 43,881 96,669 140,550 160,008 87.8% 1.35 0.00 0.00 12,150 0 152,700 まや見直しを図 オ:そ	0 9,561 0 28 101,369 110,958 131,799 84.2% 2.10 0.00 0.00 18,900 0 18,900 129,858	0 0 158 92,654 92,812 	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1 1 1 1	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 7 7 7 8 7 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9
・総合リサイクルセンター建物等の維持保全管理・施設周辺の清掃・国有財産借受に関する事務・照明設備の更新  (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 ア:目的妥当性 [課題がある場合により]・事業の成果)建物等の維持管理を1回開催している地元自治会との送り、書面でご意見をいただいた。(改革・改善)水銀灯をLED照明には関・反省点)計画的な建物の維して実施する必要がある。	① <b>事業費</b> ② <b>人件費</b> ③ されている。 こますでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	財源内訳 事 予行 職 会	庫支出金 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千	美術 一円 0 一円 0 一円 9,100 一円 9,100 一円 82,349 一円 148,067 % 61.8% 人 1.20 0.00 0.00 一円 10,800 一円 102,249 レースを レースを 上こく で、植栽・花 イルス感染症 た。	0 0 0 43,881 96,669 140,550 160,008 87.8% 1.35 0.00 0.00 12,150 0 152,700 まや見直しを図 オ:そ	0 9,561 0 28 101,369 110,958 131,799 84.2% 2.10 0.00 0.00 18,900 0 18,900 129,858	0 0 158 92,654 92,812 	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 7 7 7 8 7 8
・総合リサイクルセンター建物等の維持保全管理・施設周辺の清掃・国有財産借受に関する事務・照明設備の更新  (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無(課題がある場合に)ア:目的妥当性 [(事業の成果)建物等の維持管理を1回開催している地元自治会との送り、書面でご意見をいただいた。(改革・改善)水銀灯をLED照明(課題・反省点)計画的な建物の維して実施する必要がある。	① 事業費 ② 人件費 ③ さ イ:まかに ・ 改 要管 ・ 改 要管 ・ 改 要管	財源内訳 事 予行 正規 会計 人業 課 一	庫支出金 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千	美額 一円 0 一円 0 一円 9,100 一円 82,349 一円 148,067 % 61.8% 人 120 0.00 0.00 一円 10,800 一円 102,249 レ なき レ なき レ なき と ボーン に 放来性 して、 植栽・花 イルス感染症 た。 大態を維持し	0 0 0 43,881 96,669 140,550 160,008 87.8% 1.35 0.00 0.00 12,150 0 152,700 まや見直しを図 オ:そ	0 9,561 0 28 101,369 110,958 131,799 84.2% 2.10 0.00 0.00 18,900 0 18,900 129,858	0 0 158 92,654 92,812 	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1 1 1 1	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 7 7 7 8 7 8
・総合リサイクルセンター建物等の維持保全管理・施設周辺の清掃・国有財産借受に関する事務・照明設備の更新  (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 ア:目的妥当性 [課題がある場合により]・事業の成果)建物等の維持管理を1回開催している地元自治会との送り、書面でご意見をいただいた。(改革・改善)水銀灯をLED照明には関・反省点)計画的な建物の維して実施する必要がある。	① 事業費 ② 人件費 ③ さ イ:まかに ・ 改 要管 ・ 改 要管 ・ 改 要管	財源内訳 事 予行 正規 会計 人業 課 一	庫支出金 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千	美額 一円 0 一円 0 一円 9,100 一円 82,349 一円 148,067 % 61.8% 人 120 0.00 0.00 一円 10,800 一円 102,249 レ なき レ なき レ なき と ボーン に 放来性 して、 植栽・花 イルス感染症 た。 大態を維持し	0 0 0 43,881 96,669 140,550 160,008 87.8% 1.35 0.00 0.00 12,150 0 152,700 まや見直しを図 オ:そ	0 9,561 0 28 101,369 110,958 131,799 84.2% 2.10 0.00 0.00 18,900 0 18,900 129,858	0 0 158 92,654 92,812 	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1 1 1 1	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 7 7 7 8 7 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9

令和 3 年度事後評価	令和	4	· 年度	事務	事業	マネシ	ジメン	トシー	ト <sub>令利</sub>	11 4 年 (	6 月作成
事務事業名 清掃工場焼却炉整	<b>全備補何</b>	<b>多等</b>	÷			所属部	環境下水	道部		鎌田純二	
政策名 環境・安全		-				所属課	清掃事務	<u></u> 所	係名	管理係	
施策名 ごみ減量とリサイク	ルの推	進_				予算科目	会計 1	款 4	項 2	目 2	事業 番号 14
基本事業名 安定したごみ処理					<b>も形態</b>	全音	18委託	一部委託	補助・	助成	連携・協働
事業期間 単年度繰返		1	根拠		136.1						
平成9年度~	年度		令等								
1 現状把握の部(1)事務事業	)	<u></u> 要・E	 目的·結果	 ·活動·成	果						
①事業概要 老朽化や機能維持・回復の対			数の推移		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
応として、燃焼部の空冷壁レン ガ・耐火物の整備補修、煙道と	ア焼	却炉	□稼働時間		時間	9,213	9,600	9,500	9,500		
煙突の点検・清掃等を行う。ま	イ燃	やせ	せるごみの焼	—————	トン	28,522	29,234	28,669	28,669	 	
た、クレーン設備整備、破砕機 設備補修等を行う。	ウ									<del></del>	
双軍性で生ごし	⑥活:	動指	旨標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア焼	 :却炉			時間	9,213		<b>天</b> 根 9,500	9,500	可凹	前凹
焼却炉・設備は、その状態に応			とるごみの焼		トン	28,522		,	,		
じて、必要な整備補修・設備更 新工事を実施し、安全で安定し	ウ				1 ~	20,022	20,201	20,000	20,000		<del> </del>
たごみの焼却処理をする。		田北	F. J.III		** (±	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	⑦成:				単位	実績	実績	実績	計画	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア <sup>3長</sup>	<del></del>	稼働率		%	72.6	67.2	49.5	49.5		
安全で安定したごみ処理施設 により、ごみを適正に処理する。	11.	2号炸	炉稼働率		%	27.4	32.8	50.5	50.5		
	ウ									 	
	(2) -	事業	のコスト		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)			国	庫支出金	千円			<del>夫</del> 棋 ()	<u>計画</u> 0	11四 ()	
老朽化や機能維持・回復の対			財制	下文出 <u>业</u> 『支出金	千円		0	145,620	0	0	
応として、各種工事(焼却炉整 備補修、クレーン設備整備、破				地方債	千円	0	0	0	0	0	0
砕機設備補修、公害対策装置	事	事	訳	その他	千円				_	0	
点検整備)を行った。		業 費 <b>-</b>		-般財源	千円	· ·	· ·	· ·	· ·	0	
		-		計(A)	千円		·		60,085	0	0
				額(B) (A)/(B)	千円 %	184,539 97.5%	·	168,052 96.4%	_		
				.(A)/(D)  見 月給 時給)			1.20 0.60 0.00			0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
		2) <u> </u>		<sub></sub>	千円			10,800	7,650	0	
	14	4	会計年度作	壬用職員等		· ·	2,520	2,520	2,520	0	0
		<b>費</b>		貴計(C)	千円	· ·	13,320	13,320	10,170	0	
		3#	総事業費(	A)+(C)	千円	192,846	181,270	175,405	70,255	0	0
2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②	加力	- 75 =	美・② 理想	重• 反名占)		改善	善り 見直しを図	ıı⊓	(2)事業	の方針	
※課題の有無 ア・日的妥当性 [			対性	_		  エ:公平性			(2) 3-51		スト
(課題がある場合によ) (事業の成果)			9312	7				-	<b>-</b>	削減維	持増加
外部機関による技術支援の成果 補修を行い、焼却処理の安全性・					J提案 <sup>2</sup>	や助言を路	<b>当まえて、設</b>	備の整備		ı	
(課題・反省点)									成維果持	(	
引き続き、清掃工場移転までの間却設備の運転に努める必要がある		計画	<b>町に基づき</b>	、効率的な	`整備	補修を行い	、安全で多	安定した焼	果 <u>  持  </u>   低		
一	<b>v</b> ₀								下		
(2) 4.2 0 東米の士白州(改革	・ル羊	安与	<del>/-</del> \						(廃止•1	木止の場合に	は記人小要)
(3) 今後の事業の方向性(改革 外部機関による技術支援の成果・				この技術的	坦宏	・助言を欧	<b>エ</b> ラスレレむ	た 今和9	年度に重新	41 た労縒	(計画)と其
づき 整備補修を行うことにより							よんること	.(⊂、T) /TH∠	十戊に又ん	州レ/こ台 府	可凹に坐

令和 3	年度事後評価	<u> </u>	和 4	<b>4</b>	F度 事務 <del>。</del>	事業	マネシ	ノメン	<u>トシー</u>	<b>卜</b> 令	11 4 年 (	3 月作成
事務事業名	新清掃工場整備運	[営	事業				所属部	環境下水	道部	課長名	白坂 浩	<del>_</del>
政策名	環境•安全						所属課	新清掃工	場準備室	係名	調整係	
施策名	ごみ減量とリサイク	ルの	)推進				予算科目	会計 1	款 4	項 2	目 2	事業 番号 15
基本事業名	安定したごみ処理					<b>も形態</b>	全部	<b>『委託</b>	一部委託	補助・	助成	連携・協働
事業期間	期間限定複数年度			根拠	廃棄物処理	理及し	バ清掃に関					
	平成24 年度~ 令和24			去令等	生   単川 印発		理及び再			1 A T/ - L W	N# <del></del> / 1	는/ L 교육/101
市長公約	┃ ○ ┃主要施策┃ ( 屋の部(1)事務事業	O ≜മാ	脚亜•	日的			早建設に関	する脇疋書	를•循環型袖	工会形成推	:進父竹金	父何安緔
①事業概要			対象			単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	に基づき、設計、準の工事及び法会手	9	周辺位		IE19		1101千皮	八乙十尺	110千茂	八十八人	113千皮	110千皮
	受工事及び法令手 り、令和5年3月から	ア			場建設用地】	件	2	2	2	2		
立川市クリー	・ンセンターの運営	1	周辺位	主民以	以外の市民	件	1	1	1	1		
	する。また、建設地 市民に事業の説明	ゥ										
を行う。		6	) 活動:	<b>指</b> 煙		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
@ F # L					 への説明会		実績	実績。	実績	計画。	計画	計画
	どのような状態にしたいのか)	<i>y</i>	【新清	掃工:	場建設用地】	口	3	0	0	3		
	市民の理解が得ら や防災機能を備えた	イ			で貝との話合い 場建設用地】	口	5	4	5	5		
新清掃工場の	の建設が完了して	ウ	<b>ウ</b> 移転問題対策本部会議				2	2	4	3		
円滑に稼働す	する。	7	<b>⑦成果指標</b>				H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
3結果(どのよ	ような結果に結び付けるか)	ア	⑦成果指標 ア 施設整備の進捗				1.66		31.77	100.00	пш	пш
安心・安全で	で安定した施設で適	1										
	理を行うことにより、 環境が保全される。	ゥ										
また、循環型	社会の形成に寄与	')										
し、防災拠点たす。	にとしての役割も果	(2	2)事業	€の=	スト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
	度実績(事業活動)				国庫支出金	千円	70,945	52,710	877,959	1,974,646	0	0
	策本部会議開催			財源	都支出金	千円	0	0	0	0	0	0
(3回) •緩衝帯等基	基本設計の完了(1		1	源内	地方債	千円	107,900	,	1,357,000		0	0
月)			事	訳	その他	千円	0	100,000	200,000	700,000	0	0
· 新盾掃 上場 計委託業務(	楊緩衝帯等実施設 の契約(3月)		業費		一般財源	千円					0	0
·新清掃工場	島の施設名称の決		,	=	事業費計(A)	千円	· ·		2,654,383	7,652,597	0	0
定(6月)  ・☆川市クリー	ーンセンターの施設				予算額(B)	千円	233,878		2,656,807			
愛称を募集し	、決定(2月)				执行率(A)/(B)	人	81.1%	99.9%	99.9% 5.10 0.00 0.00	6 00 0 00 0 00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
・周辺自治会  い(5回)	等役員との話し合		2		数 <sup>征規   月給   時給)</sup> 正規職員分	十円	45,900	45,900	45,900	54,000	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
• 井水利用施	<b>西設整備工事の契</b>		人件		正祝峨貝刀 年度任用職員等		45,900	45,900	45,900	04,000	0	0
約(3月)			費		<u> </u>	千円	45,900	45,900	Ü	ŭ	0	0
			(3)		* (A) + (C)	千円			2,700,283	-	0	0
2 評価の剖	ß							,	, 11,230	, 11,001	3	ŭ,
	括①事業の成果・②	2)改	革∙改	善(	3課題・反省点)		改善	きや見直しを図	図った	(2)事業	きの方針	
※課題の有無 (課題がある場合に			イ∶有	効性	ウ:効率性		エ:公平性	オ:そ	の他			スト 持 I 増加
(事業の成果) 新港場工場	:) 整備運営事業につい	17	△和-	元年6	:日に締結〕を其	一十切	ぬ学に 其ぐ	さ 協設東	文借 丁 重 た	向	削減維	付
	定備連呂事業にうなる。 こ、緩衝帯等基本設									.       上		
定するとともり	こ、愛称を募集し、決	·定l	った。美	建設地	也周辺住民との話	し合い	へを継続し	て行った。		成 維果持		
										低		
										(域上)	朱山の担 へき	+記えて悪\
(2) 全然の言	車業の士向性/ユーキ	; , ;:h	* 宇安	笙)						(発止・	休止の場合は	よ配八个安)
	事業 <b>の方向性(改革</b> 令和5年2月の工事5				目から海労業数	を シェナ	>盟 <i>h</i> 41 #	お設のエー	タルング業系	タを行う せ	ナ 経術世	生生の敕
備についてに	は、令和4年度に実施	6設計	計を完	了し、	令和5年度より想	整備工	事に着手	する。施設	の運営にあ			
辺住民はもと	より市民に対し、前年	丰度	の事業	<b>美報告</b>	らと当該年度の事	業計	画について	説明を行	ō.			

令和 3 年度事後	評価 70/	<u> የሀ 4</u>	· +-/	支 事務等	尹未	<u> </u>	<u> </u>	<u> トンー</u>	<b>卜</b> 令和	11 4 年 6	3 月作成
事務事業名ごみ処理	基本計画推過	進事業				所属部	環境下水	道部	課長名	大須賀 -	一夫
政策名 環境・安全	Ę					所属課	ごみ対策	課	係名	計画推進	
	とリサイクルの	推進				予算科目	会計 1	款 4	項 2	目 2	事業 番号 16
基本事業名安定したご				(複数	<b>地形態</b>		『委託 ・	11-2410	補助・	助成	連携•協働
事業期間 単年度繰		<b> </b>	艮拠	廃棄物の対							
	<ul><li>☆ 令和2 年度</li><li><b>長施策</b> ○</li></ul>		令等	立川市廃事立川市一般				余例			
1 現状把握の部(1)		L 既要・E	目的∙紀			八八八五五	YT III EA				
①事業概要	5 (5)	対象数	め推和	多	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
令和2年6月に改定した 一般廃棄物処理基本計	一画」に	市民(1	0月1日	 時点)	人	184,148	184,439	185,120			
ついて、各種施策の取組 や目標値等を検証し、進	组状況	事業所			所	7,522	9,905	9,905			
を行う。		7 70	·		121	1,022	3,300	3,300			
	ウ					H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	6	活動指	<b>i</b> 標		単位	実績	実績	実績	計画	計画	計画
②目的(対象をどのような状態に				会の開催	回	5	1	1	2		
計画に掲げた目標の達けて、市民・事業者等が		一会の開催				6	0	0			
れの役割に基づき、協働	動でごみしっ	会の開催   ウ 印刷製本部数				0	45	0	0		
減量とリサイクルに取り約ができるようにする。	且むこと   ⑦	成果指	 f標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び	が付けるか) ア	ごみ排	出量		t	<b>大根</b> 40,748			可凹	川凹	
市民、事業者、市の協働		燃やせ	るごみ	<b>量</b>	t	25,505	25,956	26,413	23,491		
ごみの減量と分別・リサー取り組みが進み、適正な	イクルの 📗					•	,				
確保される。						· · · · · <b></b>					
	(2	2)事業	のコス	٢	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業	業活動)			国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
ごみ市民委員会を設置			財源	都支出金	千円	0	0	0	0	0	0
回ごみ市民委員会を開	惟した。	1	源一内	地方債	千円	0	0	0	0	0	_
		事	訳	その他	千円		Ů	0	0	0	
		業費		一般財源	千円	0	6,382	121	281	0	_
		^		美費計(A)	千円	0	6,382	121	281	0	0
		-		算額(B) 	千円 %	0	0,000	333			_
		_		· 率 (A)/(B) (正規   月給   時給)		1 10 0 00 0 00	100.0%	36.3% 0.08 0.00 0.00	0.08 0.00 0.00	0 00 0 00 0 00	0.00 0.00 0.00
		② 人		<sup>[正規   月給   時給)</sup> <b>児職員分</b>	イチ円	9,900	9,270	720	720	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
		件			十円	0,300	0	0	0	0	0
		費		‡費計(C)	千円	9,900	9,270	720	720	0	ŭ
		3 彩	8事業3	費(A)+(C)	千円	9,900	15,652	841	1,001	0	0
2 評価の部		보고	¥. Ø=	明明 . 二少上\		74. 2	ᆂᄊᄝᅔᆝᆂᄧ		(2) 审判	≛∩±A	
(1)全体総括(①事業の ※課題の有無							きや見直しを図 ・・・・ z		(乙)事录	美の方針 っこ	スト
(課題がある場合にと) (事業の成果) 平成31年		<b>イ:有</b> 変		ウ:効率性 量会委員の任事		<b>エ:公平性</b>       マロ たこレ		*の他 か			<u>├</u> 持 増加
嘱し、ごみ市民委員会を	と設置した。ご	み処理	基本計	画(改定)の治	進捗管	理等につ	いては、ご	み減量化担			
当部事務連絡会の中でで定める目標値に対する									上 		
画の概要及び令和2年								2. 生基平司	果 持		
									低下		
										休止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向	]性(改革•改	善案等	<b>)</b>								
ごみ処理基本計画(改定)											
数値目標や施策の取組 す。	1円谷を報告す	つとと	ひにこ语	見兄といたたき	、必多	安に心して	肥東の見り	且しど仃りこ	とじ数個目	は保の達成	を目指

令和 3 年度事後評価	<u>令和</u>	<u>4                                    </u>	丰度 事務	事業	マネシ	<b>ジメン</b>	トシー	<b>卜</b> 令和	和 4 年 6	3 月作成
事務事業名 清掃工場解体事業	É				所属部	環境下水	道部	課長名	鎌田 純二	文
政策名 環境・安全					所属課	清掃事務	所	係名	管理係	
施策名 ごみ減量とリサイク	ルの推進				予算科目	会計 1	款 4	項 2	目 2	事業 番号 17
基本事業名 安定したごみ処理				地形態 「選択可)	全部	『委託 ▶	一部委託	補助・	助成	連携•協働
事業期間 期間限定複数年度 令和3 年度~	在庇	根拠 去令等	<u> </u>							
市長公約 主要施策										
1 現状把握の部 (1)事務事業 ①事業概要		-								
現清掃工場の解体に向け、令	⑤対象	剱())	推移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
和3年度から4年度に調査・設 計等を行う。令和5年3月の立川	ア解体	施設数	数	施設	_	_	_	_		
市クリーンセンター稼働後に、	1									
土壌汚染調査を経て現清掃工 場の解体を行う。	ウ									
	⑥活動	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア委託	件数		件	_	-	1	1		
清掃工場移転後に現清掃工場を解体する。	イ工事	件数		件	_	-	0	0		
	ウ									
	⑦成果	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア委託	進捗署	ži – martini i dina dina dina dina dina dina dina	%	_	_	30	100		
現清掃工場を速やかに解体することで、周辺住民が安心でき	イ工事	進捗署	Ž.	%	_	_	0	0		
る。 る。	ウ									
	(2)事	業の=	コスト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
現地調査や有害物質の事前調本な行うとは、無機は大工事		財源	都支出金	千円	0	0	0	0	0	0
査を行うとともに、解体撤去工事 の基本事項をまとめた解体基本	1		地方債	千円	0	0	0	0	0	
計画書の作成を進めた。	事業	訳	その他	千円	0					
	費		一般財源	千円	0	0	6,600	15,631	0	0
		=	事業費計(A)  	千円	0	0	6,600 6,699	15,631 —	0	
		<b></b>	执行率(A)/(B)	%	0	O O	98.5%	_	_	_
	2	職員	数(正規   月給   時給)	人	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.70 0.00 0.00	0.70 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	人		正規職員分	千円	0	0	6,300	6,300	0	0
	件 費		年度任用職員等	千円	0	0	0	0	0	0
			人件費計(C)	千円	0	0	6,300	6,300	0	0
2 評価の部	3	総争	業費(A)+(C)	千円	0	0	12,900	21,931	0	0
(1)全体総括(①事業の成果・②	②改革・改	(善・(	③課題·反省点)		一改善	きや見直しを図	回った	(2)事業	美の方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性 [	マーイ: 律	勃性	ウ:効率性		工:公平性	オ:そ	の他		コス	
(事業の成果)	ha Hatt	L. 31 7		2 1	1=1.10 = ==	상년 구 IP :	5 tu II.	向	削減 維	
汚染物等状況調査を行うとともにながった。	、解体基/	4計世	<b>則書の作成を進め</b>	)7 <b>C</b> C &	ににより、現	清掃上場(	ク解体へつ	上		0
(課題・反省点) 解体工法などについて、検討をす	トスル画も	なる						成 集 持		
	の必安は	* <i>W)</i> (J <sub>C</sub>	)					低		
								(廃止・	休止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革	- 改善案	等)						.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	22 11 15	
現清掃工場の解体に向け、解体を	撤去工事	の基準		基本語	計画書など	を作成する	5。令和5年	3月の新清	· 持 掃 工 場 稼	働後に、
土壌汚染調査を含め、現清掃工	場の解体	に着き	<b>まする。</b>							

令和 3 年度事後評価	令和	<u>4</u>	年度 事務	事業	マネシ	<b>ジメン</b>	トシー	<b>卜</b> 令	和 4 年 6	<u> 3 月作成</u>
事務事業名 清掃工場移転問題	対策事	務			所属部	環境下水	道部	課長名	鎌田 純二	文
政策名 環境・安全					所属課	清掃事務	所	係名	管理係	
施策名 ごみ減量とリサイク	ルの推進				予算科目	会計 1	款 4	項 2	目 2	事業 _ 番号
基本事業名 安定したごみ処理			実施	形態 選択可)	全部	<b>『委託</b>	一部委託	補助・	助成	連携·協働
事業期間 単年度繰返 平成4年度~	年度	根拠法令等								
	)		清掃工場均		建設に関	する協定書	i i			
1 現状把握の部 (1)事務事業 ①事業概要										
現清掃工場の早期移転に取り	⑤対象	一致の	推移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
組み、移転までの間の清掃工場 運営について、周辺住民の理			7.38 中国第	件	1	1	1	1		
解を得るため、話し合いを行うと ともに、現清掃工場焼却炉の負 担軽減のために、再資源化施	イ 単質 取り対	源化系 組み	施設実証導入への	件	1	1	1	1		
担軽減のために、再資源化施設実証導入に向けた情報収集を行う。	<u>/</u> ⑥活動	指標		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア移転	ア 移転問題対策本部会議 現清掃工場周辺住民との話			<b>実績</b> 2	<b>実績</b> 2	<b>実績</b> 3	計画 3	計画	計画
清掃工場の移転問題につい	, 現清	掃工場		回回	7	2	0	0		
て、周辺住民との話し合いを進 め、移転までの間の清掃工場に		い 源化加	布設開発メーカー		1	3		0		
の、移転までの間の信押工場に ついて、周辺住民の理解を得 る。					0 <b>H31年度</b>	0 <b>R2年度</b>	0 <b>R3年度</b>	0 <b>R4年度</b>	R5年度	R6年度
			 句性の提示	<b>単位</b> 件	<b>実績</b> ()	実績	実績	計画 ()	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか) 周辺住民の理解を得ることによ						0	0			
り、現清掃工場で燃やせるごみの焼却処理をすることができる。	イ杉野ウ	の枠剤	且への理解・協力	件	1	1	1	1		
	(2)事	業の=	コスト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)		п.	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
周辺自治会への対応として、立 川市5自治会、旭自治会、虹ヶ		財源	都支出金	千円	0	0	0	0	0	0
丘ハイツ自治会及び小平連合 自治会との話し合いについて	1	内	地方債その他	千円 千円	0	0	0	0	0	
は、新型コロナウイルス感染拡	事業	訳	一般財源	千円	0	0	0	0	0	
大防止の観点から、協議の結果、開催を見送ったが、各自治	費	3	事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0	0
会長へ資料を配布し、情報提供			予算額(B)	千円	0	0	0	_	—	
を行った。また、再資源化施設 実証導入については、開発メー		+	执行率(A)/(B)	%				_	_	_
カーが取り組んでいる事業展開について、情報収集に努めた。	2		数(正規   月給   時給) 正規職員分	人	9,000	9,000	9,000	7,200	0.00 0.00 0.00	
にういて、旧版状況で分りた。	人   件		正况城員力 ·年度任用職員等	千円	0	0	0	0	0	_
	費		人件費計(C)	千円	9,000	9,000	9,000	7,200	0	
	3	総事	業費(A)+(C)	千円	9,000	9,000	9,000	7,200	0	0
2 評価の部 (1) 合体 (4) 東巻の 中里 (6)		h 羊	②無時 ⊏少上\		776 **	<u> </u>		(0) 車型	±∩±≥L	
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 ア:目的妥当性					工:公平性	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		(乙)事录	美の方針   っっっっっっっっっっっっっっっっっっっっっっっっっっっっっっっっっっっっ	スト
(課題がある場合にと) 日刊安当任 (事業の成果)	<u> </u>	月刈江	リン別学性		工:公干压	れ:て				持 増加
現清掃工場の周辺自治会と継続								丁可		
に努めた。また、再資源化施設実 努めた。	:訨导人(	こつい	て、メーカーか取	り組ん	/でいる事	<b>兼展開の</b> 情	f報収集に	成 維 持		
(課題・反省点) 清掃工場の移転問題について、3	泪涛揭丁	埋のほ	割辺自治会に対っ	トス信	却提供な紅	   終続   てい。	/心亜があ	果 <u>  持</u>   低		
る。	)[1] H ][]	. <i>=)))</i> ]	可应自由五亿分;	אוף, נ	TKINE IN CIN	MINICO CV	(紀安は)	下		
(2) 今後の車業のナウ州 (3) 女	. 과美安	'华\						(廃止・	休止の場合は	は記入不要)
(3) 今後の事業の方向性(改革 現清掃工場の周辺自治会に対し			「おおおう」 「おおおき」 新書	掃工均	暴整備運営	事業の准集	ま状況 や清	掃工場の	解体に向い	ナた取組
状況に係る情報提供を行うととも 設実証導入に向けては、開発メー	こ、移転し	こ伴い	整理すべき課題	につい	っては、話し	_合い等の	場で調整を	行ってい		

	13.1H	<del></del>		于木	177		トンー	1	11 4 年 6	) HTFIX
事務事業名し尿収集事業					所属部	環境下水	道部	課長名	大須賀 -	一夫
<b>政策名</b> 環境·安全					所属課	ごみ対策	課	係名	計画推進	係
施策名 下水道の管理					予算科目	会計 1	款 4	項 2	目 3	事業 番号 1
基本事業名公共用水域の水質	向上			地形態 (選択可)	全部	『委託 6	一部委託	補助・		連携·協働
事業期間 単年度繰返		根拠				関する法律				
昭和29 年度~	年度	法令等	立川市廃	棄物処	上理及び再	利用促進	条例			
市長公約     主要施策   1 現状把握の部(1)事務事業	*の概要・	日的。	<u> </u>	里						
1事業概要		数の推		単位	H31年度	R2年度	DO左曲	R4年度	R5年度	DC左曲
下水道に接続されていない家					H31年及	RZ平及	R3年度	K4平皮	RO平皮	R6年度
庭のし尿を、申込みに応じて収 集し、生活環境の保全を図る。	アレ尿ぐ	くみ取りせ	世帯数	世帯	105	100	94	94		
NO ( TITON) TO THE CET OF	1									
	ウ									
	6 活動	 指煙		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
<b>②日的</b> (((2)			₩.	回	実績	実績	実績	計画	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか) 生活環境の保全を図る。		、尿くみ取り件数			605	505	313	313		
上1口が光ツ  不土で凶る。	イ									
	ウ									
	⑦成果	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)			(頼数に対する	%	100.0	100.0	100.0	100.0	пЩ	
・衛生的な生活環境の確保	<b>大</b> 肥		女料収納率	%	100.0	100.0	100.0	100.0		
・公共用水域の汚濁負荷の軽		で 生 十 労	(474)(24)(24)	70	100.0	100.0	100.0	100.0		
減	ウ									
	(2)事	業のコス	スト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	) ()	0	0	0	0	0
・し尿収集		財	都支出金	千円	0	0	0	0	0	0
・し尿処理券の交付	1	源一	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
・し尿処理券の交付 ・下水道担当課との台帳整理や 住民基本台帳との照合等実情	① 事	内	地方債 その他		·		0 119	220		_
・下水道担当課との台帳整理や	事業			千円 千円 千円	0 206 19,951		119	_		_
<ul><li>・下水道担当課との台帳整理や 住民基本台帳との照合等実情</li></ul>	事	内訳	その他	千円	206	144	119	220	0	0
<ul><li>・下水道担当課との台帳整理や 住民基本台帳との照合等実情</li></ul>	事業	内 訳 事	その他	千円 千円	206 19,951	144 20,542 20,686	119 20,277 20,396 21,193	220 19,528	0	0
<ul><li>・下水道担当課との台帳整理や 住民基本台帳との照合等実情</li></ul>	事業	事	その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 行率(A)/(B)	千円 千円 千円 千円 %	206 19,951 20,157 21,515 93.7%	144 20,542 20,686 21,652 95.5%	119 20,277 20,396 21,193 96.2%	220 19,528 19,748 —	0 0 0 -	0 0 0
<ul><li>・下水道担当課との台帳整理や 住民基本台帳との照合等実情</li></ul>	事業	事	その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 行率(A)/(B) が(正規   月給   時給)	千円 千円 千円 % 人	206 19,951 20,157 21,515 93.7% 0.43 0.00 0.05	144 20,542 20,686 21,652 95.5% 0.40 0.00 0.00	119 20,277 20,396 21,193 96.2% 0.50 0.00 0.00	220 19,528 19,748 — — 0.50 0.00 0.00	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0
<ul><li>・下水道担当課との台帳整理や 住民基本台帳との照合等実情</li></ul>	事業費   ②人	事: 執行 職員数正	その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 行率(A)/(B) 対(正規   月給   時給) 規職員分	千円 千円 千円 6 % 人 千円	206 19,951 20,157 21,515 93.7% 0.43 0.00 0.05 3,870	144 20,542 20,686 21,652 95.5% 0.40 0.00 0.00 3,600	119 20,277 20,396 21,193 96.2% 0.50 0.00 0.00 4,500	220 19,528 19,748 0.50 0.00 0.00 4,500	0 0 0  0.00 0.00 0.00	0 0 0 0 
<ul><li>・下水道担当課との台帳整理や 住民基本台帳との照合等実情</li></ul>	事業費 ②	事: 執 報員 数 正 会計年	その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 行率(A)/(B) 対(正規   月給   時給) 規職員分 主度任用職員等	千円 千円 千円 % 人 千円	206 19,951 20,157 21,515 93.7% 0.43 0.00 0.05 3,870 75	144 20,542 20,686 21,652 95.5% 0.40 0.00 0.00 3,600	119 20,277 20,396 21,193 96.2% 0.50 0.00 0.00 4,500	220 19,528 19,748 — 0.50 0.00 0.00 4,500 0	0 0 0 0 0 0 0.00 0.00 0.00 0	0 0 0 0  0.00 0.00 0.00 0.00
<ul><li>・下水道担当課との台帳整理や 住民基本台帳との照合等実情</li></ul>	事業費②人件費	事	その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 行率(A)/(B) 対(正規   月給   時給) 規職員分 度任用職員等 件費計(C)	千円 千円 千円 % 人 千円 千円	206 19,951 20,157 21,515 93.7% 0.43 0.00 0.05 3,870 75 3,945	144 20,542 20,686 21,652 95.5% 0.40 0.00 0.00 3,600	119 20,277 20,396 21,193 96.2% 0.50 0.00 0.00 4,500	220 19,528 19,748 — - 0.50 0.00 0.00 4,500 0 4,500	0 0 0 	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
・下水道担当課との台帳整理や 住民基本台帳との照合等実情 把握	事業費②人件費	事	その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 行率(A)/(B) 対(正規   月給   時給) 規職員分 主度任用職員等	千円 千円 千円 % 人 千円	206 19,951 20,157 21,515 93.7% 0.43 0.00 0.05 3,870 75	144 20,542 20,686 21,652 95.5% 0.40 0.00 0.00 3,600	119 20,277 20,396 21,193 96.2% 0.50 0.00 0.00 4,500	220 19,528 19,748 — 0.50 0.00 0.00 4,500 0	0 0 0 0 0 0 0.00 0.00 0.00 0	0 0 0  0.00 0.00 0.00 0.00
・下水道担当課との台帳整理や 住民基本台帳との照合等実情 把握	事業費 ②人件費 ③	内訳 事	その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 行率(A)/(B) 対(正規   月給   時給) 規職員分 達度任用職員等 件費計(C) 費(A)+(C)	千円 千円 千円 % 人 千円 千円	206 19,951 20,157 21,515 93.7% 0.43 0.00 0.05 3,870 75 3,945 24,102	144 20,542 20,686 21,652 95.5% 0.40 0.00 0.00 3,600	119 20,277 20,396 21,193 96.2% 0.50 0.00 0.00 4,500 0 4,500 24,896	220 19,528 19,748 0.50 0.00 0.00 4,500 0,4500 24,248	0 0 0 	0 0 0  0.00 0.00 0.00 0.00
・下水道担当課との台帳整理や 住民基本台帳との照合等実情 把握  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無	事業費 ②人件費 ③ · 改 革· 改	内訳 事 執 執 職員数正 会計年 《 参 本 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 行率(A)/(B) 位正規   月給   時給) 規職員分 度任用職員等 件費計(C) 費(A)+(C)	千円 千円 % 人 千円 千円 千円	206 19,951 20,157 21,515 93.7% 0.43 0.00 0.05 3,870 75 3,945 24,102	144 20,542 20,686 21,652 95.5% 0.40 0.00 0.00 3,600 24,286	119 20,277 20,396 21,193 96.2% 0.50 0.00 0.00 4,500 0 4,500 24,896	220 19,528 19,748 0.50 0.00 0.00 4,500 0,4500 24,248	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
・下水道担当課との台帳整理や住民基本台帳との照合等実情 把握  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 (課題がある場合に))ア:目的妥当性 (事業の成果)下水道未接続世帯	事業費 2人件費 3 む f i k i k i k i k i k i k i k i k i k i	内訳 事 う	その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 行率(A)/(B) 対(正規   月給   時給) 規職員分 主度任用職員等 件費計(C) 費(A)+(C) 課題・反省点) 一般廃棄物収	千円         千円         千円         %         人円         千円         千円         千円         集運搬	206 19,951 20,157 21,515 93.7% 0.43 0.00 0.05 3,870 75 3,945 24,102	144 20,542 20,686 21,652 95.5% 0.40 0.00 0.00 3,600 0 3,600 24,286 オ:そ 後者により収	119 20,277 20,396 21,193 96.2% 0.50 0.00 0.00 4,500 0 4,500 24,896	220 19,528 19,748 — 0.50 0.00 0.00 4,500 0 4,500 24,248	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
・下水道担当課との台帳整理や住民基本台帳との照合等実情 把握  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・(※課題の有無 (課題がある場合に)・ア:目的妥当性 (事業の成果)下水道未接続世帯 ベントや工事現場の仮設トイレの	事業費 ② 人件費 ③ む ず れ で に	内訳事うれる。本の対象に対象を表する。本の対象に対象を表する。というないでは、対象を表する。というないでは、対象を表する。というないでは、対象を表する。というないでは、対象を表する。というないでは、対象を表する。	その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 行率(A)/(B) 対(正規   月給   時給) 法規職員分 主度任用職員等 件費計(C) 費(A)+(C) 課題・反省点) 一般廃棄物収境	千円         千円         千円         %         人円         千円         千円         千円         集運搬	206 19,951 20,157 21,515 93.7% 0.43 0.00 0.05 3,870 75 3,945 24,102 改善 エ:公平性 股業許可業 全を図った	144 20,542 20,686 21,652 95.5% 0.40 0.00 0.00 3,600 24,286 す:そ き 者により収。また、錦	119 20,277 20,396 21,193 96.2% 0.50 0.00 0.00 4,500 0 4,500 24,896	220 19,528 19,748 ————————————————————————————————————	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
・下水道担当課との台帳整理や住民基本台帳との照合等実情 把握  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・(※課題の有無 (課題がある場合にメ) ア:目的妥当性 (事業の成果)下水道未接続世帯 ベントや工事現場の仮設トイレの 場の流域編入に伴い、し尿処理) 度からの湖南衛生組合への加入	事業費②人件費③びよ イ: をいるこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのした<	内訳事うれる。本語のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学	その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 行率(A)/(B) 対(正規   月給   時給) 規職員分 主度任用職員等 件費計(C) 費(A)+(C) 課題・反省点) 中般廃生新たな。 単地が、表対にある。	千円千円千円%千円千円千円千円集のけ入	206 19,951 20,157 21,515 93.7% 0.43 0.00 0.05 3,870 75 3,945 24,102	144 20,542 20,686 21,652 95.5% 0.40 0.00 0.00 3,600 24,286 すった。また、錦にしたいで調整	119 20,277 20,396 21,193 96.2% 0.50 0.00 0.00 4,500 0 4,500 24,896  るった で他レン な集されたへ 町下水処理し、令和5年	220 19,528 19,748 — 0.50 0.00 0.00 4,500 0 4,500 24,248 (2)事業	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1 1 1 1 1 1	000000000000000000000000000000000000
・下水道担当課との台帳整理や住民基本台帳との照合等実情 把握  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・(※課題の有無 (課題がある場合にメ) ア:目的妥当性 (事業の成果)下水道未接続世帯 ベントや工事現場の仮設トイレの 場の流域編入に伴い、し尿処理) 度からの湖南衛生組合への加入 (課題・反省点)収集対象世帯は一	事業費②人件費③ではをみしししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししし </td <td>内訳事うれる。本語のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学</td> <td>その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 行率(A)/(B) 対応規   月給   時給) 規職員分 注度任用職員等 件費計(C) 費(A)+(C) 課題・反省点) 中般 疾病たならいました。 が70%を占めて</td> <td>千円千円千円%千円千円集のける次</td> <td>206 19,951 20,157 21,515 93.7% 0.43 0.00 0.05 3,870 75 3,945 24,102 は と と と と と と い に い に い に い に い に い に い に</td> <td>144 20,542 20,686 21,652 95.5% 0.40 0.00 0.00 3,600 24,286 まや見直しを駆けていて調整 を者により収しまた、錦崎のいて調整</td> <td>119 20,277 20,396 21,193 96.2% 0.50 0.00 0.00 4,500 0 4,500 24,896  るった での他 レンス集されたへい 町下水処理し、令和5年</td> <td>220 19,528 19,748 ————————————————————————————————————</td> <td>0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1 1 1 1 1 1</td> <td>0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0</td>	内訳事うれる。本語のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学	その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 行率(A)/(B) 対応規   月給   時給) 規職員分 注度任用職員等 件費計(C) 費(A)+(C) 課題・反省点) 中般 疾病たならいました。 が70%を占めて	千円千円千円%千円千円集のける次	206 19,951 20,157 21,515 93.7% 0.43 0.00 0.05 3,870 75 3,945 24,102 は と と と と と と い に い に い に い に い に い に い に	144 20,542 20,686 21,652 95.5% 0.40 0.00 0.00 3,600 24,286 まや見直しを駆けていて調整 を者により収しまた、錦崎のいて調整	119 20,277 20,396 21,193 96.2% 0.50 0.00 0.00 4,500 0 4,500 24,896  るった での他 レンス集されたへい 町下水処理し、令和5年	220 19,528 19,748 ————————————————————————————————————	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1 1 1 1 1 1	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
・下水道担当課との台帳整理や住民基本台帳との照合等実情 把握  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・(※課題の有無 (課題がある場合にメ) ア:目的妥当性 (事業の成果)下水道未接続世帯 ベントや工事現場の仮設トイレの 場の流域編入に伴い、し尿処理) 度からの湖南衛生組合への加入	事業費②人件費③ではをみしししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししししし </td <td>内訳事うれる。本語のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学</td> <td>その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 行率(A)/(B) 対応規   月給   時給) 規職員分 注度任用職員等 件費計(C) 費(A)+(C) 課題・反省点) 中般 疾病たならいました。 が70%を占めて</td> <td>千円千円千円%千円千円集のける次</td> <td>206 19,951 20,157 21,515 93.7% 0.43 0.00 0.05 3,870 75 3,945 24,102 は と と と と と と い に い に い に い に い に い に い に</td> <td>144 20,542 20,686 21,652 95.5% 0.40 0.00 0.00 3,600 24,286 まや見直しを駆けていて調整 を者により収しまた、錦崎のいて調整</td> <td>119 20,277 20,396 21,193 96.2% 0.50 0.00 0.00 4,500 0 4,500 24,896  るった での他 レンス集されたへい 町下水処理し、令和5年</td> <td>220 19,528 19,748 </td> <td>0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1 1 1 1 1</td> <td>000000000000000000000000000000000000</td>	内訳事うれる。本語のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学	その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 行率(A)/(B) 対応規   月給   時給) 規職員分 注度任用職員等 件費計(C) 費(A)+(C) 課題・反省点) 中般 疾病たならいました。 が70%を占めて	千円千円千円%千円千円集のける次	206 19,951 20,157 21,515 93.7% 0.43 0.00 0.05 3,870 75 3,945 24,102 は と と と と と と い に い に い に い に い に い に い に	144 20,542 20,686 21,652 95.5% 0.40 0.00 0.00 3,600 24,286 まや見直しを駆けていて調整 を者により収しまた、錦崎のいて調整	119 20,277 20,396 21,193 96.2% 0.50 0.00 0.00 4,500 0 4,500 24,896  るった での他 レンス集されたへい 町下水処理し、令和5年	220 19,528 19,748 	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1 1 1 1 1	000000000000000000000000000000000000
・下水道担当課との台帳整理や住民基本台帳との照合等実情把握  (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 ア:目的妥当性(事業の成果)下水道未接続世帯ベントや工事現場の仮設トイレの場の流域編入に伴い、し尿処理がある場合にが、以外の流域編入に伴い、しなりに、しなりに、しなりに、しなりに、しなりに、しなりに、しなりに、しなりに	事業費②人件費③・3キ・4をこのし施に一対よ・4をこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのしたこのした	内訳事うれ、強量を対し、処なるでが、独立のは、と、一般では、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人業の対象には、人験には、人験には、人類には、人類には、人類には、人類には、人類には、人類には、人類には、人類	その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 行率(A)/(B) 対応規   月給   時給) 規職員分 注度任用職員等 件費計(C) 費(A)+(C) 課題・反省点) 中般 疾病たならいました。 が70%を占めて	千円千円千円%千円千円集のける次	206 19,951 20,157 21,515 93.7% 0.43 0.00 0.05 3,870 75 3,945 24,102 は と と と と と と い に い に い に い に い に い に い に	144 20,542 20,686 21,652 95.5% 0.40 0.00 0.00 3,600 24,286 まや見直しを駆けていて調整 を者により収しまた、錦崎のいて調整	119 20,277 20,396 21,193 96.2% 0.50 0.00 0.00 4,500 0 4,500 24,896  るった での他 レンス集されたへい 町下水処理し、令和5年	220 19,528 19,748 	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1 1 1 1 1 1	000000000000000000000000000000000000
・下水道担当課との台帳整理や住民基本台帳との照合等実情把握  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・(※課題の有無(課題がある場合によ))下水道未接続世帯ベントや工事現場の仮設トイレの場の流域編入に伴い、し尿処理は度からの湖南衛生組合への加入(課題・反省点)収集対象世帯はの働きかけを行っているが、収集 (3)今後の事業の方向性(改革	事業費     ②人件費     ③     ・3     ・4     を必     上     ・3     ・4     を必     ・4     を必     ・2     ・3     ・4     を必     ・4     を必     ・4     を必     ・4     を必     ・4     を必     ・4     を     を     ・4     を     ・4     を     ・4     を     を     を     を     を     を     を     を     を     を     を     を     を     を     を     を     を	内訳 事 うれ 職 会 本 対 又も止協り数 等) はははなるをが、	その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 行率(A)/(B) 対に規   月給   時給) 規度任用職員分 性費計(C) 費(A)+(C) 課題・反 3 率性 一理しめましたらいでしためましたよう70%留まってい	千円千円千円%千円千円集のける次本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人本の大人	206 19,951 20,157 21,515 93.7% 0.43 0.00 0.05 3,870 75 3,945 24,102	144 20,542 20,686 21,652 95.5% 0.40 0.00 0.00 3,600 24,286 まや見直しを駆けていて調整 さまた、錦崎のいて調整	119 20,277 20,396 21,193 96.2% 0.50 0.00 0.00 4,500 0 4,500 24,896  るった で他 ダ 集されたへ 町下水処理し、令和5年	220 19,528 19,748 — 0.50 0.00 0.00 4,500 24,248 (2)事業 (EEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEEE	の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	000000000000000000000000000000000000
・下水道担当課との台帳整理や住民基本台帳との照合等実情把握  (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 ア:目的妥当性(事業の成果)下水道未接続世帯ベントや工事現場の仮設トイレの場の流域編入に伴い、し尿処理がある場合にが、以外の流域編入に伴い、しなりに、しなりに、しなりに、しなりに、しなりに、しなりに、しなりに、しなりに	事業費     ②人件費     ③     ・は、すいとのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	内訳 事 うれ	その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 行率(A)/(B) 対に規   月給   時給) 規度任 計(C) 理	千円円4千円円第4445455667778787979710101110121013101410151016101710181019101010101010101010101010101010101010101010101010101010101010101010101010101010101010101010101010101010101010101010101010101010101010101010101010101010101010101010101010101010101010	206 19,951 20,157 21,515 93.7% 0.43 0.00 0.05 3,870 75 3,945 24,102	144 20,542 20,686 21,652 95.5% 0.40 0.00 0.00 3,600 24,286 まや見直しを駆ける。また、錦崎のは、また、錦崎のは、また、錦崎のは、また、錦崎のは、また、親野のは、またの課題と	119 20,277 20,396 21,193 96.2% 0.50 0.00 0.00 4,500 24,896 24,896 3つた で他レンス集されたへいででいた。 必要な調整	220 19,528 19,748 - 0.50 0.00 0.00 4,500 24,248 (2)事業 に廃止・	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	000000000000000000000000000000000000

令和 3 年度事後評価	令和	4 左	F度 事務	事業	マネシ	ジメン	トシー	ト <sub>令和</sub>	11 4 年 6	3 月作成
事務事業名 水質規制事務					所属部	環境下水	道部	課長名	高木 康	77
政策名 環境・安全					所属課	下水道管	理課	係名	排水設備	係
施策名 下水道の管理					予算科目	会計 4	款 1	項 1	目 1	事業 _ 番号
基本事業名公共用水域の水質に	句上			<b>も形態</b>	✓ 全部	委託	一部委託	補助・	助成	連携•協働
事業期間 単年度繰返		根拠	下水道法、	、立川	市下水道의	条例				
昭和52 年度~	年度	法令等	水質汚濁		、	ヶ明十2は	中中			
市長公約     主要施策   1 現状把握の部(1)事務事業	の概要	·目的			共同実施	に関りるか	<b>上音</b>			
①事業概要 「特定事業場・除害施設から公	<b>⑤</b> 対象			単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
共下水道に排除される下水」、	ア特定	事業場		件	76	76	71	87		
「公共下水道から流域下水道への接続点での下水」の水質検査を行うことにより、各施設の管理体制の強化・徹底を促し、下水	イ流域ウ	(下水道	<b>幹線の接続点</b>	箇所	10	10	10	10		
道施設の適正管理や水環境の 保全に寄与する。	<b>⑥活</b> 動	<b></b> 指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)		事業場	、除害施設の水	□	240	180	222	239		н. д.
水質検査を実施し、施設管理者に対象施設の水質を把握させ、	イ施戸	指導・3	現場確認等の実	□	511	384	402	432		
状況により改善等を指導するこ	_   流域	<u>〒</u> 水道 下水道 全数	[幹線接続点の水	口	28	13	23	28		
とで、適正な下水の排除の徹底 を促す。	⑦成果	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア  改善  施回		・現場確認の実	口	511	384	402	432		
下水道施設の適正管理により、 安定した下水道経営を持続す		事業場	の改善等指導数	件	33	24	23	27		
る。また、水環境の保全に寄与 する。	ウ									
	(2)事	業の⊐	スト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
水質検査の現場立会い及び行 政指導・改善指導を行った。		財	都支出金	千円	0	0	0	0	0	0
コロナの影響により、水質検査	1		地方債	千円	0	0	0	0	0	0
の実施不可能な箇所が存在し た。	事業	訳	その他	千円		0	0	5,000	0	0
下水道法及び下水道条例に基	費		一般財源 事業費計(A)	千円	3,171 3,171	3,210 3,210	3,150 3,150	5,969 5,969	0	0
づく水質関連の届出事務を行った。		-	予算額(B)	千円	5,271	5,787	5,981		_	— ·
		朝	 ≒行率(A)/(B)	%	60.2%	55.5%	52.7%	_	_	_
	2	職員	数(正規   月給   時給)	人	0.45 0.10 0.00	0.50 0.00 0.00	0.51 0.00 0.00	0.51 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	人		正規職員分	千円	4,050	4,500	4,590	4,590	0	0
	件		年度任用職員等	_	350	0	0	0	0	0
			人件費計(C) #弗(A) L (C)	千円	4,400	4,500	4,590 7,740	4,590	0	0
L 2 評価の部	(3)	が手え	業費(A)+(C)	千円	7,571	7,710	7,740	10,559	U	Ü
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合によ)ア:目的妥当性[		汝善・③ 有効性			武: 公平性	・や見直しを図		(2)事業	の方針コス	
(事業の成果) 下水道法に定める特定事業場等 環境の保全に寄与した。	でを行って	ハ、下水道	施設の適፤	E管理や水	上 成 維 果 持	削減維	<b>持 増加</b>			
								低下		
(a) A (4 a = # a + + 1) (a + +	1	a kde \						(廃止・作	木止の場合は	は記入不要)
(3) 今後の事業の方向性(改革 下水道施設の適正管理や水環境			するためにも、特	定施	設•除外施	設の設置者	がに排除す	る下水のオ	く質保全を	継続して
促していく。										

令和 3 年度事後評価	<u> </u>	4 年度	事務-	事 兼	マネン	ノメン	トシー	<u> </u>	- 令和	11 4 年	6 月作成
事務事業名 下水道施設指導事	務				所属部	環境下水	道部	課	長名	高木 康	引 
政策名 環境・安全					所属課	下水道管	理課	仔	系名	排水設備	
施策名 下水道の管理					予算科目	会計 4	款 1	項	1	目 3,4	事業 _ 番号
基本事業名公共用水域の水質	向上			<b>地形態</b>	全部	『委託	一部委託		補助•	助成	連携∙協働
事業期間単年度繰返		根拠	下水道法、				-				
昭和42 年度~	年度 ;	去令等	立川市宅地	地開発	答いまちづく	くり指導要約	淄				
1 現状把握の部(1)事務事業	<u> </u>	目的・結果	<u> </u>	果							
①事業概要		数の推移		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4:	年度	R5年度	R6年度
下水道条例等に基づき、指定 下水道工事店や開発事業者等		設備設置届		件	597	676	736		670		
への排水設備の構造や公共下			山口奴								
水道への接続方法等の指導を 行うとともに、公共桝の設置に関		指導件数		件	41	35	46		41		
する指導を行う。また、公共桝の	ウ										
設置に伴い関係機関との協議 や事務手続きを行う。	⑥活動	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績		年度	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア公設	桝設置件数	(都道部除	件	15	3	5		8		
市民等の下水道使用者が快適	イ都道	公設桝設置	· 件数	件	0	0	1		0		
に下水道を使用できるよう、排 水設備の適切な設置、公共下	ウ			'							
水道への適切な接続について 指導を行う。	⑦成果	 圪堙		単位	H31年度	R2年度	R3年度		年度	R5年度	R6年度
3結果(どのような結果に結び付けるか)		<b>州設置件数</b>		件	<b>実績</b> 15	<b>実績</b> 3	<b>実績</b> 6	計	画   8	計画	計画
下水道施設の適正な維持管理		浸透桝設置		件	560	599			602		
に寄与し、安定した下水道経営	-	文 / 2017年以 巨	. IT 奴	IT	300	099	047		002		
を持続する。	ウ			lacksquare							
	(2)事	業のコスト		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績		年度   画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)			庫支出金	千円	0	0	0		0	C	0
排水設備新設等計画届出受 付、公設汚水桝の設置、宅地開		財源	邹支出金	千円	0	0	Ü		0	C	0
発等まちづくり指導要綱に基づ	1	内	地方債	千円	9,100	8,200	3,000	7	7,200	C	0
く下水道関連の指導を行った。	事業		その他	千円	0				0		
	費		ー般財源 <u></u> 費計(A)	千円	4,753 13,853	8,305	2,303 5,303	-	0 7,200	0	ů
			[額(B)	千円	27,143	22,615		<u>'</u>	,200		_
			☑(A)/(B)	%	51.0%	36.7%	26.2%	_		_	_
	2	職員数征	規 月給 時給)	人	2.43 0.70 0.00	2.13 0.75 0.00	2.13 0.75 0.00	2.88 0	.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	Ž	正規	職員分	千円	21,870	19,170	19,170	25	5,920	C	0
	件   費		任用職員等	千円	2,450	3,150			0	C	-
			費計(C)	千円	24,320	22,320			5,920	C	
2 評価の部	(3)	総事業費	(A)+(C)	千円	38,173	30,625	27,623	33	3,120	0	0
(1)全体総括(①事業の成果・②	②改革・改	(善・3課題	題•反省点)		改善	きや見直しを図	図った	(2	!)事業	美の方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性[	イ:有	前効性 二	ウ:効率性		エ:公平性	オ:そ	の他				スト
(事業の成果)		2.12.24	- 1 - 1 - 2/61	/ . <del></del>	fafa area > stell.			٦,	向	削減	持 増加
申請者や設置者に対する適切が	な指導等(	こより、適山	上なり水迫が	色設の	管埋に繋	がった。			上		
								J.	龙 維 果 持	(	
									低		_
									下	休止の担合	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革	▶改姜安	笙)							· 年止•1	小正の場合	は記八个安)
下水道施設の適正な維持管理			を排水設備7	支び公	共下水道	への接続の	)指導を行	ってい	/\<_		
周辺自治体の状況を踏まえて「					, , , , , ,				••		

政策名   下水道管整備事業(汚水処理)   所属部   環境下水道正移課   保名   設計工事係   表本事業名   下水道小移理   子葉相目   全部実施   「大流道下移課   子葉相目   全部実施   「大流道下移課   子葉相目   日   3・4   子葉   日   3・4   子葉   日   1   日   3・4   子葉   日   日   日   日   日   日   日   日   日
施業名   下水道の管理   「水道が   「水道
・
・
事業期間   単年度接近
市長公約   主要施家
現状把握の部 (1) 事務事業の概要・目的・結果・活動・成果   1 (5)対象数の推移
予算機関   単位   H31年度   R2年度   R3年度   R4年度   R5年度   R6年度   R4年度   R3年度   R4年度   R4度   R4年度
本学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学
日的(対象をどのような機関にしたいのか)   日的(対象をどのような機関にしたいのか)   日的(対象をどのような機関にしたいのか)   日内にの快適な生活環境を確保   日内にの状適な生活環境を確保   日内にの状適な性活環境を確保   日内にの状変をとのような機関に極び付けるか)   日本の主意を関する行う。   2,173   2,173   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,
ウ
ウ
1日的(対象をどのような映画にしたいのか)   下水道管整備面積(果計)   ha 2,173 2,175 2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,175   2,17
P 下水道管整備面積(累計)
古民の快適な生活環境を確保
大名。単独処理区の組入により、公共用   大城の水質保全、効率的かつ   記様果(とのような結果に結び付けるか)   で、道経営を持続し市民に   公平に下水道経営を持続し市民に   公平に下水道がサービスを提供できる。   で、道経管を持続し市民に   公平に下水道がサービスを提供できる。   で、道経管を持続し市民に   公平に下水道がサービスを提供できる。   で、道経管を持続し市民に   公平に下水道がサービスを提供できる。   で、道経管を持続し市民に   公平に下水道がサービスを提供できる。   で、道経管を持続し市民に   公平に下水道がサービスを提供できる。   で、道経でを持続し市民に   公平に下水道がサービスを提供できる。   で、道経でを持続し市民に   公平に下水道がサービスを提供できる。   で、道経でを持続し市民に   公平に下水道がサービスを提供できる。   で、道経でを持続し市民に   公本に下水道での整備に向けて土壌調査等の要能に向けて土壌調査等の要素能を行った。下水道管   を確に保る各種計画や設計積度   本の他 千円 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
***   **   **   **   **   **   **
定定した事業運営を行う。   一部
公共用水域の水質向上や安定 たた下水道経営を持続し市民に 公平に下水道サービスを提供できる。  (2)事業のコスト 単位 H31年度 実績 R3年度 実績 R4年度 計画
た下水道経営を持続し市民に 公平に下水道サービスを提供できる。  (2) 事業のコスト 単位 H31年度 実績 R3年度 実績 R4年度 計画 R6年度 R7年度 R7年度 R7年度 R7年度 R7年度 R7年度 R7年度 R7
****
(2)事業のコスト 単位 H31年度 <sub>実績</sub> R3年度 <sub>実績</sub> R4年度 <sub>計画</sub> R6年度 <sub>計画</sub> R6年度 <sub>計画</sub> R5年度 <sub>計画</sub> R6年度 <sub>計画</sub> R5年度 <sub>1</sub>
大学   大学   大学   大学   大学   大学   大学   大学
左川基地跡地西側地区(留保地)に公共下水道管の整備に向けて土壌調査等の委託を行った。不明水の浸入水対策等、枝泉改築工事を行った。下水道管整備に係る各種計画や設計積算の図書購入、作業に必要な消耗品の購入などを行った。 事業費計(A) 千円 6,192 34,017 115,641 255,578 0 0 0 10,513 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
世)に公共下水道管の整備に向けて土壌調査等の委託を行った。不明水の浸入水対策等、枝線改築工事を行った。下水道管整備に係る各種計画や設計積算の図書購入、作業に必要な当耗品の購入などを行った。
サマ土壌調査等の委託を行った。不明水の浸入水対策等、枝 泉改築工事を行った。下水道管 整備に係る各種計画や設計積 草の図書購入、作業に必要な 肖耗品の購入などを行った。 本費 大作業に必要な 自、作業に必要な 自、作業に必要な 自、作業に必要な 自、作業に必要な 自、作業に必要な 自、作業に必要な 自、作業に必要な 自、作業に必要な 自、作業に必要な 自、作業に必要な 自、作業に必要な 自、作業に必要な 自、作業に必要な 自、作業に必要な 自、作業に必要な 自、作業に必要な 自、作業に必要な 自、作業に必要な 自、作業に必要な 自、作業に必要な 自、作業に必要な 自、作業に必要な 自、作業に必要な 自、作業に必要な 自、作業に必要な 自、作業に必要な 自、作業に必要な 自、作業に必要な 自、作業に必要な 自、作業に必要な 自、作業に必要な 自、作業に必要な 自、作業に必要な 自、作業に必要な 自、作業に必要な 自、作業に必要な 自、作業に必要な 自、作業に必要な 自、作業に必要な 自、作業に必要な 自、作業に必要な 自、作業に必要な 自、行業にの。 一 本行率(A)/(B) 96 30.1% 71.5% 48.0% — — — — — — — — — — — — — — — — — — —
こ。不明水の浸入水対策等、枝 泉改築工事を行った。下水道管 整備に係る各種計画や設計積 草の図書購入、作業に必要な 肖耗品の購入などを行った。 予算額(B) 千円 20,575 47,574 240,794
整備に係る各種計画や設計積 算の図書購入、作業に必要な 肖耗品の購入などを行った。 <b>事業費計(A)</b> 千円 6,192 34,017 115,641 255,578 0 0 <b>予算額(B)</b> 千円 20,575 47,574 240,794 — — — 執行率(A)/(B) % 30.1% 71.5% 48.0% — — — — — — — — — — — — — — — — — — —
等の図書購入、作業に必要な 肖耗品の購入などを行った。 事業費計(A) 十円 6,192 34,017 115,641 255,578 0 0 0 予算額(B) 千円 20,575 47,574 240,794 — — — — 執行率(A)/(B) % 30.1% 71.5% 48.0% — — — — 職員数(正規   月給   時給) 人 0.45 0.00 0.00 1.33 0.00 0.00 1.91 0.00 0.00 1.15 0.00 0.00 0.00 0.00 0.0
執行率(A)/(B) 96 30.1% 71.5% 48.0% — — — — — — — — — — — — — — — — — — —
②       職員数(正規   月給   時給)       人       0.45       0.00       0.00       1.91       0.00       0.00       1.15       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00       0.00
正規職員分千円4,05011,97017,19010,35000会計年度任用職員等千円00000人件費計(C)千円4,05011,97017,19010,3500
件費計(C)     千円     0     0     0     0     0     0       人件費計(C)     千円     4,050     11,970     17,190     10,350     0     0
費 人件費計(C) 千円 4,050 11,970 17,190 10,350 0 0
③総事業費(A)+(C)  千円 10,242   45,987   132,831   265,928   0 0 0
2 評価の部
1)全体総括(①事業の成果・②改革・改善・③課題・反省点)                  (2)事業の方針
《課題の有無 ア:目的妥当性 イ:有効性 ウ:効率性 エ:公平性 オ:その他 コスト 環題がある場合にマンカ 川其地跡地西側地区 (紹保地)に公共下水道管の敷備に向けて土壌調本等の季託を 削減   維持   増加
ディングスクエバエもの。12日の12日の12日で12日で12日で12日で12日で12日で12日で12日で12日で12日で
1 2/に。11切が22人が対象等、仅称以来エヨと目 2/に。また、効干的よーが追す来と過ぐるだが、
公安公事伤用的公捐代为佣儿、议州囚督等少解八色门、、事条少别门。他们一个人,必安任仓捐且
公安な事務用品が相称力補允(技術図音等の解入を行い、事業の執行にめたうでは、必安任を相互   成 維
た要な事務が高い行れたが構造して使用図書等の解入を行び、事業の教行であたりでは、必要性を相重し成業を出さない努力を行った。  「成業 持 低 低
が、また、からないが、またのものは、からないが、は、からないが、は、からないが、は、からないが、は、からないが、は、からないが、は、ないが、は、ないが、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は
上無駄を出さない努力を行った。  「成 雑 上 版 本
金銭・事務が開いて行われたが構造して行いて、事業の教行であった。 無駄を出さない努力を行った。 は、近くは、必要性を相互 様は、下 (廃止・休止の場合は記入不要)
上無駄を出さない努力を行った。  「成 雑 上 版 本

令和 3 年度事後評価	令和	4 1	年度 事務	事業	マネシ	ジメン	トシー	<b>卜</b> 令	和 4 年 6	8 月作成
事務事業名 流域編入事業					所属部	環境下水	道部	課長名	尾崎 正	尃
政策名 環境・安全					所属課	下水道工	務課	係名	流域編入	<u>.</u> .係
施策名 下水道の管理					予算科目	会計 4	款 1	項 1	目 4.7	事業 番号
基本事業名公共用水域の水質	向上			<b>も形態</b>	全音	『委託 6	✓ 一部委託	補助・	助成	連携•協働
事業期間 期間限定複数年月 平成27 年度~	在由	根拠 法令等	下水道法		流域別下ス	<b>水道整備総</b>	合計画			
市長公約 ○ 主要施策	0		北多摩2号		区への錦門	叮処理区編	<b>Aに関す</b>	る基本協定	:•実施協定	Ē
1 現状把握の部 (1)事務事 ①事業概要		-								
単独処理区の流域下水道北多	⑤対象	数の	推移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
摩2号処理区への編入に向けて、平成27年度から10年間で行	ア計画	処理面	面積	ha	1,135	1,135	1,135	1,135		
う予定である同流域構成市への	1									
建設費等負担金の清算を継続するとともに編入するために必	ウ									
要な施設の整備を行う。		,+ヒ+西		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
<b></b> ::	⑥活動 過程		受負担金等の清算		実績	実績	実績	計画	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア額(男	<b>表</b> 計)	∧ハー业 寸 */ 旧 <i>开</i>	千円	1,155,146	1,386,175	1,617,205	1,848,234		
流域下水道北多摩2号処理区 へ編入することで、錦町下水処	イ錦幹	:線の雪	整備延長(累計)	m	0	0	0	3,400		
理場の老朽化、経費の縮減、安	ウ									
定した下水道経営、下水処理の 高度化への対応を図る。	⑦成果	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア編入	事業0		%	<del>天順</del> 44.4	<del>天</del> 稹 72.2	<b>天</b> 根 83.3			前四
下水道経営の安定化、下水処		. 1. 210	2 11 11 12 12 17	70	1111			0 11 1		
理の高度化の推進に寄与する。	1									
	ウ									
	(2)事	業の=	コスト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	688,000	784,000	975,880	1,196,140	0	C
編入に必要な施設の建設に向け、日本下水道事業団(JS)と錦		財	都支出金	千円	34,400	39,200	48,794	·	0	_
幹線及び下水送水施設建設に	1	内	地方債	千円	· ·		1,089,000		0	-
関する協定を平成29年度に締結した。30年度から建設を開始	事業	訳	その他	千円			,	•		
し、35年度に完了する予定であ	費	<u> </u>	一般財源	千円	84,774 1,633,662					
る。令和3年度は錦幹線及び下 水送水施設の建設、27年度に		+	事業費計(A) 予算額(B)		1,770,230				0	(
開始した過年度の建設費等負		<b>±</b>	)	%	92.3%	100.0%	91.0%	_		_
担金の清算を行った。		_	<b>数</b> (正規   月給   時給)					1.90 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.0
	②   人	_	正規職員分	千円	24,750	19,350	16,200	17,100	0	C
	件	会計	十年度任用職員等	千円	0	0	0	0	0	C
	費		人件費計(C)	千円		19,350	·	·	0	C
2 評価の部	3	総事	業費(A)+(C)	千円	1,658,412	1,821,919	2,246,919	2,936,457	0	(
2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・(	2)改革•2	女善•○	3)課題•反省占)		改善	きや見直しを図	図った	(2)事業	美の方針	
※課題の有無 マ.日的平当性		入口 有効性			エ:公平性			1		スト
(課題がある場合にと) 流域下水道編入(								<b>'</b>	削減維	持 増加
工を設置し、下水送水施設は建 してくる下水を下水送水施設に設					<i>、</i> た。また、	処理区域[	内から流入			
レスターかと「小坯小旭取にを	<u>_</u> ~1_0,10,	ついしへき	水ツ彩坦に有力し	∠1∟ <sub>0</sub>				成維		
								果 持 低		
								一下		
(0) 人络の本世の士士県 /=++	+ ¬ <b>∟</b> <u>+</u> -+	1/2/e \						(廃止・	休止の場合は	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革流域下水道編入に向けた施設整			: 庶の母訟名田ム	、空の、	き管1ァトロ	短 1 車 光	ニアナナマー	<b>▶</b> 夕麻一口	加细豆块	武士の理
流域下水垣編入に回りた施設型解が得られる。	三川で11つ	。迥年	一皮の建取貝担金	:守(グ)	月昇により	、柵八爭業	:v-XJ 9 つイ	□夕) 一万	观生区傳	双川の理

令和 3 年度事後評価	<u>令和</u>	4 年度	<b>事務</b> 事	<u>事業</u>	<u>マネシ</u>	<u> ジメン</u>	トシ <u>ー</u>	ト <sub>令利</sub>	和 4 年 6	3 <u>月作成</u>
事務事業名 下水道管整備事業 理区)(雨水処理)	ぎ(単独・1	上多摩1号	・北多摩2号	<b></b>	所属部	環境下水	<u></u> 道部		尾﨑 正博	
政策名 環境·安全					所属課	下水道工	 務課	係名	設計工事	係
施策名 下水道の管理					予算科目	会計 4	款 1	項 1	目 3・4	事業 番号
基本事業名 雨水対策			実施	・ 形態 選択可)	全部	『委託 ✔	/ 一部委託	補助・		連携・協働
事業期間 単年度繰返		根拠	下水道法				<u></u>			
昭和30 年度~	年度	法令等	都市計画法							
市長公約     主要施策   1 現状把握の部(1)事務事業		日的•結集	社会資本整果·活動·成長		点計画法					
①事業概要		数の推移		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
降雨時における宅地内への浸水被害や道路冠水などを防ぎ、		計画面積		ha	1,752		1,752	1,752		
市民の快適な生活環境を確保		TI PU PU A		114	1,	1,.02	1,	1,.02		
するため、下水道管(雨水)整備を行う。	1				ı		ı			
	ウ							<del></del>		- > <del>-</del> - ptr
	⑥活動	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア下水	道管整備面	i積(累計)	ha	1,699	1,699	1,699	1,699		
浸水の防除により市民の快適な		改善事後評		件		_		_		
生活環境を確保する。	ウ	<u> </u>	Щ11 »х	'						
	⑦成果	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)		道管整備率	Š	%	<del>夫</del> 稹 97.0		<b>夫</b> 根 97.0	97.0		司四
浸水の防除や安定した下水道		改善対策率		%	100.0	100.0	100.0	100.0		
経営を持続し市民に公平に下 水道サービスを提供できる。	カロがい	以音小水子	(土川)	/0	100.0	100.0	100.0	100.0		
					H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	(2)事	業のコスト		単位	実績	実績	実績 実績	計画	計画	計画
④令和3年度実績(事業活動)		I		千円	0	0	0	0	0	0
不明水の浸入水対策等、枝線 改築工事を行った。下水道管整		財		千円	0	Ŭ	0	0	0	0
備に係る各種計画や設計積算	1	内		千円	4,350	0	45,947	64,095	0	0
の図書購入、作業に必要な消 耗品の購入などを行った。	事業	訳		千円		6,209	742	75	0	0
TUHH -> ATT > OCC C   4 · · · -0	費			千円	6,192	6,209	46,689	64,170	0	0
				千円	13,524	16,651	71,423	— UT,110	_	
			本(A)/(B)	%	45.8%	37.3%	65.4%	_	_	_
	2		規 月給 時給)	人		0.72 0.00 0.00		0.40 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	人	正規	職員分	千円	3,150	6,480	3,150	3,600	0	0
	件費		任用職員等		0	0	0	0	0	0
				千円	3,150	6,480	3,150	3,600	0	0
○□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	(3)	総事業費	(A)+(C)	千円	9,342	12,689	49,839	67,770	0	0
2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②	点: : : : : :	7 盖• ③ 課!	珥• 反劣占)		改善	きや見直しを図	11-t-	(2)事業	上の方針	
※課題の有無 アーロ的 ジュル性 [	<u> </u>	有効性			エ:公平性		·の他	(2/5)	コフ	スト
(課題がある場合によ) (事業の成果)不明水の浸入水対策					-					持増加
要な事務用品の消耗分補充や技									<u> </u>	
無駄を出さない努力を行った。								成維		
								果 持 低		
								下		
								(廃止・作	休止の場合に	‡記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革										
未整備の都市計画道路事業に関 計画道路3・3・30号線、3・2・10-										
公共下水道整備の事業化に向け	ク/感、 <u>・・</u> 。 で検討す	べる。整備な	冰、5 4 10	)	常にコスト約	万脉及しる 縮減を意識	し計画的!	こ事業を実	施する。	1久/がいよこ

令和 3 年度事後評価	<u>令和</u>	4 4	年度 事務	<u>事業</u>	マネシ	<u> ジメン</u>	トシー	ト <sub>令利</sub>	和 4 年 6	6 月作成
事務事業名 雨水浸透施設助成	事業				所属部	環境下水	道部	課長名	高木 康	払
政策名 環境・安全					所属課	下水道管	理課	係名	排水設備	係
施策名 下水道の管理					予算科目	会計 4	款 1	項 1	目 4	事業 _
基本事業名 雨水対策				<b>を形態</b>	全部	<b>『委託</b>	一部委託	✓ 補助・	助成	連携・協働
事業期間 単年度繰返		根拠	立川市雨2		施設設置	補助金交付	寸要綱			
平成22 年度~	年度	法令等								
市長公約   主要施策   1 現状把握の部(1)事務事業	●●	一目的		果						
①事業概要		象数の		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
地下水のかん養を促し、健全な水環境の保全及び雨水の流出		字家屋数		棟	46,700		47,400	47,400		
抑制を図るために、既存住宅を		<b>上</b>	<u> </u>	1本	40,700	41,400	41,400	41,400		<del> </del>
対象として雨水浸透施設の設置 者に対して助成を行う。	1									
1 74 5 1919/1-1111	ウ									
	<b>⑥活</b> 動	勆指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア補具	 力金交f	——————— 付事務数	業務	7		32	25		
雨水浸透施設の未設置家屋に	<b>イ</b> 啓	発活動数	<del></del> 数	件	1,150	0	0	450		
雨水浸透施設を設置する。	ウ									
		Ŧ +ヒ+亜		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
c =		果指標			実績	実績	実績	計画	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア設置	量件数		件	7	29	30	25		<u> </u>
地下水、湧水が豊かになり、ヒートアイランド化の防止に役立	イ浸透	秀施設記	分置数 	基	24	105	110	67		l
ち、下水道施設の負担軽減に	ウ									
つながる。	(の)重	業業の=	 ¬フト	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	(Z/ <del>T</del>	·未い-			実績	実績	実績	計画	計画	計画
④令和3年度実績(事業活動)		財	国庫支出金	千円			9 661	1,600	0	_
助成を適正に行うために設置条件および設置個所の確認を		源	都支出金	千円	620	2,504	2,661	2,043	0	_
行った。また、国及び都の補助 金を適正に充当するための事	1		地方債	千円	_	2,504	0	0		
務を行った。	事業	ŧ	一般財源	千円			2,805	1,357	0	
コロナの影響によるイベント中止により、広報のみでの啓発となっ	費	} ——	事業費計(A)	千円	1,381	5,565	5,915	5,000	0	
た。			予算額(B)	千円	5,002	6,002	6,000			
			執行率(A)/(B)	%	27.6%	92.7%	98.6%	_	_	_
	2	/	数(正規   月給   時給)			0.56 0.10 0.00		0.66 0.00 0.00		
	人	` —	正規職員分	千円			5,040	5,940	0	Ŭ
	件	ا	+年度任用職員等 人件費計(C)	十円	350 4,040	420 5,460	420 5,460	5,940	0	_
			ス件食計(C) 業費(A)+(C)	千円		11,025	11,375	10,940	0	
2 評価の部		グルいナ	未良(/// T (G/	1 -1	0,121	11,020	11,010	10,010		
(1)全体総括(①事業の成果・②	改革・	改善•	③課題・反省点)		✓ 改善	きや見直しを図	lった	(2)事業	きの方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性 [課題がある場合によ)	1:	有効性	ウ:効率性		エ:公平性	オ:そ	の他			スト
(事業の成果) 雨水を地下に浸透させることで、	+#1 12 Jk	~\$>涌→	レのかと差を促し		一一	※図わる>	しめ 沂年	向	削減維	持 増加
の集中豪雨などによる下水道施設				、小垛	児の本土	は図れるので	こで、近十			
(改革・改善) 新たな国の補助金として社会資	<b>未</b> 救借	<b>公会</b>	≤仕会 新冊代下え	ト洋寺	怪重紫制	毎ん活 田门	+ <del>-</del>	成維持		<b>O</b>
ガル(4国V/間が)型(して144 g	平正 JHI	心口人	[]] 亚 [M] 臣[V] [V]	八旦人	1万平木115元	芝で1日/11 い	/_0	低		
								(廃止・	休止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革	- 改善	<b>室等</b> )							,,,,,,,	AHD2 - 1 2 - 1
国や都の補助金の充当を確保し			的に本事業を進め	める。						

令和 3 年度事後評価	令和	4 4	年度	事務	事業	マネシ	<b>ジメン</b>	トシー	<b>卜</b> 令	和 4 年 6	6 月作成
事務事業名 下水道管整備事業 区)(雨水処理)	纟(流域处	理区	・多摩	川上流処	理	所属部	環境下水	道部	課長名	尾﨑 正恒	尃
政策名 環境・安全						所属課	下水道工	務課	係名	設計工事	係
施策名 下水道の管理						予算科目	会計 4	款 1	項 1	目 4	事業 番号
基本事業名 雨水対策				実が	地形態 選択可)	全部	『委託 レ	一部委託	補助・	助成	連携•協働
事業期間 単年度繰返		根拠	ι	下水道法							
<b>ず</b>	年度	法令		都市計画流社会資本學		计与计画法					
1 現状把握の部(1)事務事業	<u>)</u> 〔の概要	·目的	 ]·結果			<b>基本日面位</b>					
①事業概要	<b>⑤</b> 対象	製の	推移		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
降雨時における宅地内への浸水被害や道路冠水などを防ぎ、	ア事業	計画信	面積		ha	274	274	274	274		
市民の快適な生活環境を確保するため、処理区内の下水道管				唐	ha	526	526	526	526		
(雨水)整備を行う。		1日四亿	人足山1	· 	Ha	520	520	520	520		
	ウ					H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	⑥活重	<b>力指標</b>			単位	実績	実績	実績	計画	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア下水	道管團	整備面積	債(累計)	ha	151	152	165	169		
浸水の防除により処理区内に住む市民の快適な生活環境を確	1										
保する。	ウ										
	7成果	!指標			単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
③結果(どのような結果に結び付けるか)			整備率		%	<b>実績</b> 28.7	<b>実績</b> 28.9	<b>実績</b> 31.4	計画 32.1	計画	計画
浸水の防除や安定した下水道		<b>У</b> Д Б т	EMT		70	20.1	20.3	01.1	02.1		
経営を持続し市民に公平に下	1										
水道サービスを提供できる。	ウ										
	(2)事	業の:	コスト		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)			国	庫支出金	千円	0	6,160	0	54,280	0	0
残堀川流域では、立川市道2級		財	都	<b>『支出金</b>	千円	0	308	0	2,714	0	0
21号線で雨水枝線埋設工事に 着手した。空堀川流域では、3	1	源内		地方債	千円	0	21,900	0	155,421	0	0
市(立川市、東大和市、武蔵村 山市)にまたがる広域雨水幹線	事業	訳		その他	千円	0	0	0		0	0
の整備に向け、都と3市により土	費			-般財源 	千円	24,095 24,095	3,995	5,921	2,868 215,283	0	0
質調査及び実施設計を実施した他、既存浸透施設の清掃を実		+		量計(A) 額(B)	千円	40,481	32,363 48,955	5,921 10,000	<u></u>	0	0
施し、浸透能力を確保する暫定		- ₹		(A)/(B)	%	59.5%	66.1%	59.2%	_	_	_
的な雨水対策を行った。	2	職員	<b>数</b> (正規	見   月給   時給)	人	1.75 0.00 0.00	2.05 0.00 0.00	2.05 0.00 0.00	2.25 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	人		正規聯	00000000000000000000000000000000000000	千円	15,750	18,450	18,450	20,250	0	0
	件   費					0	0	0	0	0	0
				計(C)	千円	15,750	18,450	18,450	20,250	0	0
2 評価の部		が手	未貨	A)+(C)	千円	39,845	50,813	24,371	235,533	0	0
(1)全体総括(①事業の成果・②	②改革・	<b>汝善•</b> (	3課題	夏•反省点)		改善	や見直しを図	つた	(2)事業	美の方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性 [	イ:	有効性		ウ:効率性		工:公平性	オ:そ	の他		コス	
(事業の成果)残堀川流域では、立									一向	削減 維	持 増加
は、3市(立川市、東大和市、武福調査及び実施設計を実施し、着領											
確保し、浸水被害の軽減につなり	げた。								成 集 持		
									低		
									<b>下</b> (廃止・	休止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革	- 改善家	(等)									
近年、局地的集中豪雨による道路	各冠水等	が増力	加する何	頃向にある	ため、	被害箇所の	の軽減を優	先した対策	きを図ってい	くとともに	面的な対
策の検討を進める。残堀川流域ではある。	では、西荷	沙川第	打排水	区雨水枝絲	泉埋設	江事を進る	める。また、	空堀川流	域では、関	係各課と連	理携し地下

令和 3 年度事後評価	<u> </u>	Ц 4	+ 4	·	<del>手</del> 未	・イイン	ノメン	トンー	<b>卜</b> 令	和 4 年	6 月作成
事務事業名 下水道管路維持管	建					所属部	環境下水	道部	課長名	高木 康	34
政策名 環境・安全						所属課	下水道管	理課	係名	維持係	
施策名 下水道の管理						予算科目	会計 4	款 1	項 1	目 1	事業 _
基本事業名適正な施設管理と多	安定し	た下	水道網		形態 選択可)	✓ 全部	<b>『委託</b>	一部委託	補助・	助成	連携•協働
事業期間 単年度繰返			根拠			市下水道多	<b></b> 例				
昭和37 年度~	年度		长令等								
□ 市長公約   主要施策   ① 1 現状把握の部(1)事務事業	〇 L Eの概	要•	目的∙	 結果・活動・成	果						
①事業概要			数の推		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
市民の安全で快適な生活環境を維持するため、下水道施設の											1.01/2
適切な維持管理を行う。	ア	下水儿	首管渠列	些長	m	494,725	496,786	497,320	498,789	-	
	1										
	ウ										
	<b>⑥</b> 清	舌動拮	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	アダ	 年間コ	 下水道 <sup>2</sup>	 管調査延長	m	98,945	99,357		92,000		ш
市民の安全で快適な生活環境				情掃延長	m	4,185	4,416		6,354		
を維持するため、下水道管渠等		十月月月	3 米守(	月 市 進 文	111	4,100	4,410	10,402	0,354		
を計画的に調査し、清掃や補修 を行うことで下水道の機能を維	ウ					H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
持する。	_	<b>戊果</b> 扌			単位	実績	実績	実績	計画	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)		過去5 延長	年間の	管渠調査済み	m	490,812	493,136	486,993	480,726		
下水道施設の機能を維持し、安	1										
定した下水道経営を持続しま す。	ウ										
						山の4左南	DO左座	DO左座	D4左座	DE C E	DC F E
	(2)	事業	美のコス	スト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)				国庫支出金	千円	0	0	20,555	13,240	0	0
下水道施設調査、管渠等清掃、 管渠等維持補修工事、下水道			財源	都支出金	千円	660	0	1,130	662	0	0
台帳の補正をそれぞれ行った。		1	内	地方債	千円	0	0	0	0	0	
		事業	訳	その他	千円		824		559		
		費	車	一般財源 業費計(A)	千円		385,330 386,154	340,268 362,359	574,422 588,883	0	
		-		予算額(B)	千円	397,846	480,767			_	
				う <u>年版 (</u> 2) 行率 (A)/(B)	%	86.6%	80.3%	60.8%	_	_	_
		2	• • •	<b>枚</b> (正規   月給   時給)	人	3.60 3.00 0.00			5.20 3.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
		人	II	規職員分	千円	32,400	39,600	46,800	46,800	0	0
		件出	会計年	F度任用職員等	千円	10,500	12,600	12,600	12,600	0	0
		費	人	件費計(C)	千円		52,200	59,400	59,400	0	0
0. 証件の知		31	総事業	養(A)+(C)	千円	387,532	438,354	421,759	648,283	0	0
2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②	おから	小	盖•③	理題•反名占)		改善	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	¶⊃ <i>t</i> -	(2)事業	美の方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性			効性「	ウ:効率性		エ:公平性		の他	(=///-		スト
(課題がある場合にと) (事業の成果)			,,,, <u>,</u> _	7 . 7 . 1			,		I	削減 維	持 増加
不明水対策など管きょ等の適正	な維持	持管	理を行	い、下水道の機	後能を	維持し、快	適な生活理	環境を維持	向		
することができた。									成 維 持	(	
									果  <u>持</u>   低		
									下		
		-							(廃止・	休止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革				→ 4.77mm (☆ × ×	)h . F=	5 A A 3 3 3	# > 1 . [ -1	٠, برکید	1. 244 (pt 3)4	o de rue e ?	
現在、下水道総合計画の基本に め・効果的な維持管理を行うとと									K. 担 経 宮 」	<b>の</b> 表現のた	こめ、計画

令和 3 年度事後評価	<del>介</del> 和	和 4	<u> 1</u>	年度 事務	<u>事業</u>	マネシ	<b>ジメン</b>	トシー	<b>卜</b> 令?	和 4 年 6	<u> 6 月作成</u>
事務事業名 下水道長寿命化事	業		_		_	所属部	環境下水	道部	課長名	尾﨑 正恒	尃
政策名 環境・安全						所属課	下水道工	 務課	係名	設計工事	
施策名 下水道の管理						予算科目	会計 4	款 1	項 1	目 2	事業 番号
基本事業名適正な施設管理と安	安定し	た下	水道		<b>も形態</b>	全部	『委託 レ	/ 一部委託	補助・	助成	連携・協働
事業期間 単年度繰返			根拠	下水道法							
平成23 年度~	年度 O		去令等		••	ート計画法	,				
一市長公約   1至要施策   (       1 現状把握の部 (1)事務事業	•	 班要·	目的			<u>【</u>					
①事業概要		対象数	-		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
本市の下水道は、昭和30年度 より整備を行っており標準耐用		改築領			km	0.228		0.380			
年数50年を超過する管路施設		以木。	そからへ		Viii	V.223	0.201	0.000	V. 12.5	<del>                                     </del>	
が増加する中、今後も市民に対 し安定した下水道サービスを提	1										
供するよう、ライフサイクルコスト の最小化や事業費の平準化を	ウ							- <del> </del>	- 左南		
の最小化や事業質の平準化を 考慮した老朽化対策を行う。	6	活動技	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア	改築語	計画致	 延長	km	1.3		1.3			
ライフサイクルコストの最小化や	1			-							
事業費の平準化を考慮した管 路施設の長寿命化を計画的に	ゥ				+				<b> </b>		
行い、老朽化に伴う被害を未然			+15-1年		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
に防止し流下機能を確保する。		成果技				実績	実績	実績	計画	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)		改築率	<u>率</u>		%	17.5	22.6	29.2	32.7	<u> </u>	
計画的に下水道施設の老朽化対策を進め、適正な施設管理と	1						l		l'		
安定した下水道経営を持続でき	ウ	 							  '		
る。	(2	1事3	<u></u> 巻の:	コスト	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	\ 	/ <del>Tr</del> ~	EU.			実績	実績	実績	計画	計画	計画
④令和3年度実績(事業活動) 下水道ストックマネジメント計画			   財	国庫支出金 都支出金	千円	112,460 5,623		123,160	180,427 9,021	0	
に基づき、老朽化が進んでいる	1		源		千円			6,158 248,700	· ·		
緑川幹線の改築工事を行う。	1	① 事	内訳	til	千円					_	
	1	業	D/\	一般財源	千円						
	1	費	·	事業費計(A)	千円			· ·			
	1			予算額(B)	千円		612,106	492,251			_
]	1		_	執行率(A)/(B)	%	72.9%		78.8%	_		_
	1	2		<b>員数</b> (正規   月給   時給)	1 ' '		2.55 0.00 0.00				
	1	人		正規職員分	千円	26,100	,	18,720	23,850		, ,
	1	件 費		+年度任用職員等 人件費計(C)	十円	26,100	_	18,720	23,850	0	_
ļ	1	(3);		入件負計(C) 禁費(A)+(C)	千円				,		
2 評価の部	_		VC	<b>不</b> 良(),	1 1 1	001,0	000,0	100,0_			
(1)全体総括(①事業の成果・②	2)改革	草·改	善(	③課題・反省点)		改善	きや見直しを図 	つた	(2)事業	美の方針 しゅうしん	
(課題かめる場合に)				ウ:効率性		•	オ:そ		'		スト は 一角 加
(事業の成果)下水道長寿命化事だ。緑川幹線改築(更新)工事は、									一向	削減 維	持 増加
事を実施した。	Mo,	別上。	手でノ	天旭し、ハホイノ・ロŦにハンダ	以木、	<b>艾</b> 为 时 口 /	リ水ノユテぃ	ナ <i>、7</i> 77 エノソュー	门丨【上	<del>                                     </del>	
									成 集 持		)
									低		
									<b>  下</b> (廃止・	 休止の場合に	は記入不要)
1											
(3)今後の事業の方向性(改革	改	善案	等)								
(3)今後の事業の方向性(改革下水道ストックマネジメント計画に				幹線の改築工事を	進め	ていく。					

令和 3 年度事後評価	令和 4	4 年	度 事務	事業	マネシ	<b>ジメン</b>	トシー	<b>卜</b> 令和	11 4 年 (	3 月作成
事務事業名下水道ポンプ場維	持管理				所属部	環境下水	道部	課長名	市村 健-	<u> </u>
政策名 環境・安全					所属課	下水処理	場	係名	施設係	
施策名 下水道の管理					予算科目	会計 4	款 2	項 1	目 1	事業 2 番号 2
基本事業名適正な施設管理と知	安定した下	水道経		<b>も形態</b>	全部	『委託 ▶	一部委託	補助・	助成	連携•協働
事業期間 単年度繰返		根拠	下水道法、	、環境	確保条例					
S51 年度 ~	年度	去令等								
1 現状把握の部(1)事務事業	 Eの概要・	目的·絲	<u></u> 洁果・活動・成	果						
①事業概要 下水を直接排水できない地域	⑤対象	数の推	<del></del> 移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
の汚水、雨水を排水するため、	ア各ポン	 /プ場施	 i設	施設	6	6	6	6		
ポンプ施設を適正に管理することで、安全で安定した排水処理	イ年間	医水	島水 量	∸m³	882	880	848	848		
を行う。	ウ	3/11/47/20	7/1/至	1 111	002	000	010	010		
					H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	⑥活動	指標		単位	実績	実績	実績	計画	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア年間	汚水等揚	易水量	∓m³	882	880	848	848		
汚水及び雨水を常時適切に排 水できる状態に維持し、市民の	イ修繕	及び補修	下工事件数	件	7	10	7	7		
安全・安心な生活環境を維持す	ウ									
る。	7成果	指標		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア安定	た汚水	の揚水	%	<b>実績</b> 100	<b>実績</b> 100	<b>実績</b> 100	計画 100	計画	計画
適切な施設管理と安定した下水	1	2721371	> 19371.	70	100	100	100	100		
道経営										
	ウ									
	(2)事第	業のコス	<b>K</b> F	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	0	0	577	1,460	0	0
柏町汚水中継ポンプ場、上砂		財	都支出金	千円	0	0	28	73	0	0
町雨水ポンプ場及びマンホー ルポンプ場などの維持管理を行	1	源一内一	地方債	千円	89,100	0	880	1,387	0	0
い、下水道へ直接排水できない地域について、安定した排水処	事	訳_	その他	千円						
理を行った。	業費	- Te :	一般財源	千円		45,075	·		0	
			業費計(A) - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	千円	134,674 142,106	45,075 49,472	56,807 65,337	107,532	0	0
		_	· <del>弄</del>	%	94.8%	91.1%	86.9%	_	_	_
	2	** **	【(正規   月給   時給)	人			2.80 0.50 0.00	3.10 0.50 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	人	正	規職員分	千円	27,900	25,200	25,200	27,900	0	0
	件費		度任用職員等		1,400	2,100	2,100	2,100	0	0
			件費計(C)	千円	29,300	27,300	27,300	30,000	0	0
2 評価の部	(3)	総事業	費(A)+(C)	千円	163,974	72,375	84,107	137,532	0	0
(1)全体総括(①事業の成果・②	2 改革・改	(善・③	課題・反省点)		改善	きや見直しを図	回った	(2)事業	の方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性					工:公平性	オ:そ	-の他			スト
(事業の成果)設備の適切な維持							Mb - 6 - Hb	向	削減 維	持 増加
(課題・反省点)今後の空堀川排を減らせる方向で事業を進めれる				設流	人不明水を	が解明し、設	が備の負荷			
			<b>,,,,,</b>					成 維 果 持		
								低		
								(廃止・	木止の場合に	∤記 λ 不悪\
 (3)今後の事業の方向性(改革	■ 改善室	等)						の光里・	/・ユニヘンクの口(	→ F□/ / ( ) 女 /
流域編入され錦町下水処理場			も使用する施	設のた	こめ、保全語	計画を基本	とし設備の	維持を図り	)、不明水に	こ対し関
係部署と連携し調査や指導を行いて検討していく。										
v C1尺p1 C V '\。										

数策名   下水道の管型	令和 3 年度事後評価	ן אין ו	+ +	又 于	力于木	: Y 1 /	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	和 4 年 (	6 月作成	
本来語の管理	事務事業名処理場管理運営					所属部	環境下水	道部	課長名	市村 健		
本集本業名   正本政治学型と安定した下水道語言   大変に、	政策名 環境・安全					所属課	下水処理	場	係名	施設係		
事業期間   日平度経区	施策名 下水道の管理					予算科目	会計 4	款 2	項 2	目 1	事業 番号 1	
接換数	基本事業名 適正な施設管理と劣	安定した下	水道経	営		全部	『委託 6	一部委託	補助・	補助・助成 連携・協働		
(3) 年末の   1 現状形理の部(1) 年春年末の成長   目的・結果・活動・成果   1 現状形理の部(1) 年春年度   日の 結果・活動・成果   1 現状形理の部(1) 年春年度   日の 結果・活動・成果   1 日の			根拠	下水道	道法、環境	基本法、水	く質汚濁防	止法、環境	確保条例			
現状把握の部 (1) 事務事業の概要・目的・結果・活動・成果	S42 年度~			<u> </u>								
1)		<u> </u> の概要・	目的・結	 ·果·活動	•成果							
大きの地の地域が保守がいたの。	①事業概要					H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
正は、安産した下水を埋めている。												
2回的(対策をとのおうな火船にしたいのの)	果的・効率的な管理運営を実施											
6	ි ව ර		処埋水重		+m	21,876	20,290	18,019	18,019			
20日的情報をどのような歌にたいのか  2016年   201876   201876   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019   18,019		ウ					20 to the	20/20	5 . le et		50 to the	
商正に安定した下水処理を行った。放流水で黄基徳を遵守するとしたにより、環境保全を図ととも、このでは、また。		<b>⑥活動</b> :	指標		単位							
***   **   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***   ***	②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア年間を	処理水量		≠m³	21,876	20,290	18,019	18,019			
古田の安全・安心な生活環境と維持する。   本質素を重要性   大質素を重要性   大質素を重要を使用   大質素を重要性   大質素を使用   大変素を使用   大変素を使用	適正に安定した下水処理を行い、技法水水質其準な遵守する	イ修繕	及び補修	工事件数	件	66	44	37	37			
正前民の安全・安心な生活環境と維持する。   3 結果でありが最黒に縦が付きから	ことにより、環境保全を図るととも	ウ										
大田産産産金年度   大田産産産金   大田産産金   大田産産産金   大田産産産金   大田産産産金   大田産産産金   大田産産産金   大田産産産金   大田産産金   大田産産産金   大田産産金   大田産産産金   大田産産産金   大田産産産金   大田産産産金   大田産産産金   大田産産産金   大田産産金   大田産産産金   大田産産産産産産産   大田産産産産産産   大田産産産産産産産産産産産産	に市民の安全・安心な生活環境		<b>上上</b>		畄位							
数を基準とした割合    100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   100   1		_		·率(基準項							計画	
1		数を基	<b>基準とした</b>	:割合)	%	100	100	100	100			
(2)事業のコスト 単位 H31年度 R2年度 実績 R3年度 計画 R5年度 R6年度 R5年度 R6年度 R6年度 R6年度 R6年度 R6年度 R6年度 R6年度 R6	道経営											
②令和3年度実績(事業活動)  至年劣化した設備の質理、補修 正事により設備の変命化を図 力、放流水の水質基準を遵守するよう努め、安全で安定した運 営ができた。  「事業の成果・②改革・改善・③課題・反省点) 「主義の変化」を図った。  「1)全体総括(①事業の成果・②改革・改善・③課題・反省点) 「1)全体総括(①事業の成果・②改革・改善・③課題・反省点) 「1)全体総括(①事業の成果・②改革・改善・③課題・反省点) 「1)全体総括(①事業の成果・②改革・改善・③課題・反省点) 「1)会計を見直しを図った。  「2)では、一般対策 「1)会計を見直しを図った。  「2)では、一般対策 「1)のでは、12、1651 22,652 22,652 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		ウ										
② 中田の部		(2)事業	業のコス	۸.	単位	H31年度 宝績						
選年劣化した設備の管理、補修 工事により設備の延命化を図 入放流水の水質基準を遵守するよう努め、安全で安定した運 者ができた。    1	④ ④令和3年度実績(事業活動)			国庫支出	金千円							
① 大流ボルの水質基準を遵守するよう努め、安全で安定した運営を作った。    1	経年劣化した設備の管理、補修		財			0	0	0	0	0	0	
本学校のできた。				地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
事業費計(A) 干円 823,174 789,515 852,096 880,992 0 0 0 0 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	るよう努め、安全で安定した運	事		その他	千円	21,767	21,651	22,652	22,652	0	0	
事業資計(A) 十円 823,174 789,515 852,096 880,992 0 0 97,484 956,074	営ができた。	業										
執行率(A)/(B)   96   85.6%   80.8%   89.1%		<b>A</b>	-						*	0	0	
でいます   19歳						•		·				
正規職員分 千円 70,200 68,400 68,400 65,700 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0									7.30 1.30 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	
###					F-3-19417						0	
2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②改革・改善・③課題・反省点) ※課題の有無 ア:目的妥当性 ウ:効率性 エ:公平性 オ:その他 コスト 削減 維持 増加 持するよう努め、安全で安定した運営をした。 (改革・改善)流域編入計画が大筋固まったことにより、下水処理場の先を見据えた効率的な運営とする (2)事業の方針 (3)事業の方針 (3)事業の方向性(改革・改善案等) (6)事業の方向性(改革・改善案等) (6)事業の方向性(改革・改善案等) (6)事業の方向性(改革・改善案等) (6)事業の方向性(改革・改善案等) (6)事業の方向性(改革・改善案等) (6)事業の方向性(改革・改善案等) (6)事業の方向性(改革・改善案等)		件							*	0	0	
2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②改革・改善・③課題・反省点) ※課題の有無 ア:目的妥当性 イ:有効性 ウ:効率性 エ:公平性 オ:その他   コスト 削減 維持 増加 字するよう努め、安全で安定した運営をした。 (改革・改善)流域編入計画が大筋固まったことにより、下水処理場の先を見据えた効率的な運営とする ため、今後の整備計画の見直しを図った。 (3)今後の事業の方向性(改革・改善案等) 下水処理場廃止までの間、経年劣化した設備の管理、補修工事により設備の維持を図り、放流水の水質基準を遵守するよう努め、安全で安定した運営を行い、流域編入の進行過程で見直しの必要が生じた際には、その都度対応していく。また、流域編入後の施設の		_ 費	人作	件費計(C)	千円	74,400	73,860	73,860	71,160	0	0	
(1)全体総括(①事業の成果・②改革・改善・③課題・反省点)  ※課題の有無  (ア:目的妥当性		3	総事業	費(A)+(d	C) 千円	897,574	863,375	925,956	952,152	0	0	
※課題の有無 ア:目的妥当性 イ:有効性 ウ:効率性 エ:公平性 オ:その他   コスト   削減 維持 増加   京するよう努め、安全で安定した運営をした。 (改革・改善)流域編入計画が大筋固まったことにより、下水処理場の先を見据えた効率的な運営とする にめ、今後の整備計画の見直しを図った。 (3)今後の事業の方向性(改革・改善案等)   下水処理場の発を図り、放流水の水質基準を遵守するよう努め、安全で安定した運営をした。 (本・休止の場合は記入不要)   (廃止・休止の場合は記入不要)   (原企・休止の場合は記入不要)   (原企・休止の場合は記入を見かる   (原企・休止の場合は記入を見かる   (原企・休止・休止の場合は記入を見かる   (原企・休止の場合は記入を見かる   (原企・休止のるのるのは定かる   (原企・休止のるのるのるのなる   (原企・休止のるのるのるのなるのなる   (原企・休止のるのるのるのるのなるのなる   (原企・休止のるのるのなるのなるのなるのなるのなるのなるのなるのなるのなるのなるのなるのなる		かま - か	*善.②=	里野. 巨少	占)	<b>√</b> 3h ≚	長わ目古! た▽	710t-	(2) 車署	きの古針		
(事業の成果)経年劣化した設備の管理、補修工事により設備の延命化を図り、放流水の水質基準を遵守するよう努め、安全で安定した運営をした。 (改革・改善)流域編入計画が大筋固まったことにより、下水処理場の先を見据えた効率的な運営とする ため、今後の整備計画の見直しを図った。 (3)今後の事業の方向性(改革・改善案等) 下水処理場廃止までの間、経年劣化した設備の管理、補修工事により設備の維持を図り、放流水の水質基準を遵守するよう努め、安全で安定した運営を行い、流域編入の進行過程で見直しの必要が生じた際には、その都度対応していく。また、流域編入後の施設の	W== = - + #								( <b>乙</b> /尹オ		スト	
守するよう努め、安全で安定した運営をした。 (改革・改善)流域編入計画が大筋固まったことにより、下水処理場の先を見据えた効率的な運営とする とめ、今後の整備計画の見直しを図った。 (改革・改善・改善・改善・改善・改善・改善・改善・改善・改善・改善・改善・改善・改善・	(課題がある場合に)								· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
は、今後の整備計画の見直しを図った。  (3) 今後の事業の方向性(改革・改善案等)  下水処理場廃止までの間、経年劣化した設備の管理、補修工事により設備の維持を図り、放流水の水質基準を遵守するよう努め、安全で安定した運営を行い、流域編入の進行過程で見直しの必要が生じた際には、その都度対応していく。また、流域編入後の施設の	守するよう努め、安全で安定した	運営をした	<u>-</u> -0									
(3) 今後の事業の方向性(改革・改善案等) 下水処理場廃止までの間、経年劣化した設備の管理、補修工事により設備の維持を図り、放流水の水質基準を遵守するよう努め、安全で安定した運営を行い、流域編入の進行過程で見直しの必要が生じた際には、その都度対応していく。また、流域編入後の施設の			こことによ	い、ト水気	心埋場の先	にを見据え	た効率的な	¢運宮とする	成 維			
下   (廃止・休止の場合は記入不要) (3) 今後の事業の方向性(改革・改善案等) 下水処理場廃止までの間、経年劣化した設備の管理、補修工事により設備の維持を図り、放流水の水質基準を遵守するよう努め、安全で安定した運営を行い、流域編入の進行過程で見直しの必要が生じた際には、その都度対応していく。また、流域編入後の施設の	. , , ,								果 持			
(3) <b>今後の事業の方向性(改革・改善案等)</b> 下水処理場廃止までの間、経年劣化した設備の管理、補修工事により設備の維持を図り、放流水の水質基準を遵守するよう努め、安全で安定した運営を行い、流域編入の進行過程で見直しの必要が生じた際には、その都度対応していく。また、流域編入後の施設の												
下水処理場廃止までの間、経年劣化した設備の管理、補修工事により設備の維持を図り、放流水の水質基準を遵守するよう努め、安全で安定した運営を行い、流域編入の進行過程で見直しの必要が生じた際には、その都度対応していく。また、流域編入後の施設の									(廃止・	休止の場合に	は記入不要)	
全で安定した運営を行い、流域編入の進行過程で見直しの必要が生じた際には、その都度対応していく。また、流域編入後の施設の				en thu			<b>4.2.</b> :	t New t	EE +4 M	Weeks 2 1 - 2 2	e dere	
のサカバ (C ) V · C ( ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	あり方について検討していく。								, .			

令和 3 年度事後評価	<u>令和</u>	4 4	年度 事務	<u>事業</u>	マネシ	<u> ジメン</u>	<u>トシー</u>	<b>卜</b> 令和	10 4 年 6	3 月作成
事務事業名 下水道使用料収納	- !等事務			_	所属部	環境下水	_ 道部	課長名	高木 康引	IZ.
政策名 環境・安全					所属課	下水道管	理課	係名	庶務係	
施策名 下水道の管理					予算科目	会計 4	款 1	項 1	目 4	事業 _ 番号
基本事業名 適正な施設管理と安	を定した	下水道	(複数	<b>地形態</b>	LU-"	『委託	一部委託	<b>✓</b> 補助・	助成	連携∙協働
事業期間 単年度繰返	٠ . ساب	根拠	下水道注意		一条、国土2	交通省令				
年度~ 主要施策	年度	法令								
1 現状把握の部(1)事務事業	の概要	・目的	]∙結果∙活動∙成	果						
①事業概要 公共下水道使用者から下水道	⑤対象	数の	推移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
使用料の徴収を行い、公平・公	ア下水	(道使月	 用料	千円	2,422,415	2,409,497	2,223,720	2,318,276		
正に使用料を徴収する。 下水道協会、下水道事業団、流	イ下か	 (道関)	車団体負担金	千円	564		564	563		
域下水道協議会等の関連事務	ウ		<u></u>							
を行う。		よる		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	⑥活動				実績	実績	実績	計画	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア収入	·率 ———		%	90.0	91.2	90.1	91.0		
公共下水道の使用者から、受益 者負担の原則に立ち公平・公正	1									
に使用料を徴収する。	ウ									
	⑦成果	·指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア収入	率		%	90.0		90.1	91.0		
下水道施設の機能を維持し、安	1									
定した下水道経営を持続する。	ゥ									
					H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	(2)事	業の:	コスト	単位	H31年度 実績		R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	計画
	-				夫禎	実績	天祖	前凹	可凹	
④令和3年度実績(事業活動)				千円	0	0	0	0	0	0
事務委託している東京都水道		財源	都支出金	千円	0	0	0	0	0	0
事務委託している東京都水道 局において下水道使用料の賦 課・徴収、技術研修や情報提	① 車	源内	都支出金 地方債	千円 千円	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
事務委託している東京都水道 局において下水道使用料の賦	事業	源内訳	都支出金 地方債	千円 千円 千円	0 0 0 67	0 0 0 103	0 0 0 16	0 0 0 15	0 0	0 0
事務委託している東京都水道 局において下水道使用料の賦 課・徴収、技術研修や情報提 供、指定工事店の責任技術者	事	源内訳	都支出金 地方債 その他	千円 千円	0 0 0 67 321,853	0 0 0 103 254,074	0 0	0 0	0 0 0	0 0 0
事務委託している東京都水道 局において下水道使用料の賦 課・徴収、技術研修や情報提 供、指定工事店の責任技術者	事業	源内訳	都支出金 地方債 その他 一般財源	千円 千円 千円	0 0 0 67 321,853 321,920	0 0 0 103 254,074 254,177	0 0 0 16 271,609	0 0 0 15 297,793	0 0 0	0 0 0 0
事務委託している東京都水道 局において下水道使用料の賦 課・徴収、技術研修や情報提 供、指定工事店の責任技術者	事業	源内訳	都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B)	千円 千円 千円 千円 千円	0 0 0 67 321,853 321,920 368,792 87.3%	0 0 0 103 254,074 254,177 306,754 82.9%	0 0 0 16 271,609 271,625 307,612 88.3%	0 0 0 15 297,793 297,808 —	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0
事務委託している東京都水道 局において下水道使用料の賦 課・徴収、技術研修や情報提 供、指定工事店の責任技術者	事業費	源内訳	都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B)	千円 千円 千円 千円 千円 千円	0 0 0 67 321,853 321,920 368,792 87.3% 0.29 0.00 0.00	0 0 103 254,074 254,177 306,754 82.9% 0.29 0.00 0.00	0 0 16 271,609 271,625 307,612 88.3% 0.36 0.50 0.00	0 0 0 15 297,793 297,808 — — 0.36 0.50 0.00	0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0
事務委託している東京都水道 局において下水道使用料の賦 課・徴収、技術研修や情報提 供、指定工事店の責任技術者	事業費   ②人	源内訳 環境	都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分	千円 千円 千円 千円 千円 千円 % 人	0 0 0 67 321,853 321,920 368,792 87.3% 0.29 0.00 0.00 2,610	0 0 0 103 254,074 254,177 306,754 82.9% 0.29 0.00 0.00 2,610	0 0 0 16 271,609 271,625 307,612 88.3% 0.36 0.50 0.00 3,240	0 0 0 15 297,793 297,808 — — 0.36 0.50 0.00 3,240	0 0 0 0 0 0 0 	0 0 0 0 0 0 
事務委託している東京都水道 局において下水道使用料の賦 課・徴収、技術研修や情報提 供、指定工事店の責任技術者	事業費	源内訳 職 会計	都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B)	千円 千円 千円 千円 千円 千円 % 人	0 0 67 321,853 321,920 368,792 87.3% 0.29 0.00 0.00 2,610 0	0 0 103 254,074 254,177 306,754 82.9% 0.29 0.00 0.00 2,610 0	0 0 16 271,609 271,625 307,612 88.3% 0.36 0.50 0.00	0 0 0 15 297,793 297,808 — — 0.36 0.50 0.00	0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 
事務委託している東京都水道 局において下水道使用料の賦 課・徴収、技術研修や情報提 供、指定工事店の責任技術者 の講習会等を行った。	事業費②人件費	源内訳 職 会計	都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C)	千円 千円 千円 千円 千円 4 千円 千円	0 0 0 67 321,853 321,920 368,792 87.3% 0.29 0.00 0.00 2,610 0	0 0 103 254,074 254,177 306,754 82.9% 0.29 0.00 0.00 2,610 0	0 0 16 271,609 271,625 307,612 88.3% 0.36 0.50 0.00 3,240 2,100	0 0 0 15 297,793 297,808 — 0.36 0.50 0.00 3,240 2,100	0 0 0 0 0 0 0 	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
事務委託している東京都水道局において下水道使用料の賦課・徴収、技術研修や情報提供、指定工事店の責任技術者の講習会等を行った。	事業費  ②人件費  ③	源内訳 職 会計	都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 動数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C)	千円千円千円千円%千円千円	0 0 67 321,853 321,920 368,792 87.3% 0.29 0.00 0.00 2,610 0 2,610 324,530	0 0 103 254,074 254,177 306,754 82.9% 0.29 0.00 0.00 2,610 0 256,787	0 0 16 271,609 271,625 307,612 88.3% 0.36 0.50 0.00 3,240 2,100 5,340 276,965	0 0 0 15 297,793 297,808  0.36 0.50 0.00 3,240 2,100 5,340 303,148	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
事務委託している東京都水道 局において下水道使用料の賦課・徴収、技術研修や情報提供、指定工事店の責任技術者 の講習会等を行った。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②	事業費 ②人件費 ③ 改革・ご	源内訳 職 会 総 善・	都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C)	千円       千円         千円       千円         千円       千円         千円       千円	0 0 0 67 321,853 321,920 368,792 87.3% 0.29 0.00 0.00 2,610 0 2,610 324,530	0 0 103 254,074 254,177 306,754 82.9% 0.29 0.00 0.00 2,610 0 256,787	0 0 0 16 271,609 271,625 307,612 88.3% 0.36 0.50 0.00 3,240 2,100 5,340 276,965	0 0 0 15 297,793 297,808  0.36 0.50 0.00 3,240 2,100 5,340 303,148	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
事務委託している東京都水道局において下水道使用料の賦課・徴収、技術研修や情報提供、指定工事店の責任技術者の講習会等を行った。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 ア:目的妥当性 [課題がある場合にア)	事業費  ②人件費  ③	源内訳 職 会 総 善・	都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C)	千円       千円         千円       千円         千円       千円         千円       千円	0 0 67 321,853 321,920 368,792 87.3% 0.29 0.00 0.00 2,610 0 2,610 324,530	0 0 103 254,074 254,177 306,754 82.9% 0.29 0.00 0.00 2,610 0 256,787	0 0 0 16 271,609 271,625 307,612 88.3% 0.36 0.50 0.00 3,240 2,100 5,340 276,965	0 0 0 15 297,793 297,808  0.36 0.50 0.00 3,240 2,100 5,340 303,148	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
事務委託している東京都水道 局において下水道使用料の賦課・徴収、技術研修や情報提供、指定工事店の責任技術者 の講習会等を行った。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②	事業費 ②人件費 ③ 改革・ご	源内訳    職 会 総善善・性	都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C)	千円       千円         千円       千円         千円       千円         千円       千円	0 0 0 67 321,853 321,920 368,792 87.3% 0.29 0.00 0.00 2,610 0 2,610 324,530	0 0 103 254,074 254,177 306,754 82.9% 0.29 0.00 0.00 2,610 0 256,787	0 0 0 16 271,609 271,625 307,612 88.3% 0.36 0.50 0.00 3,240 2,100 5,340 276,965	0 0 0 15 297,793 297,808  0.36 0.50 0.00 3,240 2,100 5,340 303,148	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
事務委託している東京都水道局において下水道使用料の賦課・徴収、技術研修や情報提供、指定工事店の責任技術者の講習会等を行った。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 ア:目的妥当性 [環題がある場合によ) (事業の成果)	事業費 ②人件費 ③ 改革・ご	源内訳    職 会 総善善・性	都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C)	千円       千円         千円       千円         千円       千円         千円       千円	0 0 0 67 321,853 321,920 368,792 87.3% 0.29 0.00 0.00 2,610 0 2,610 324,530	0 0 103 254,074 254,177 306,754 82.9% 0.29 0.00 0.00 2,610 0 256,787	0 0 0 16 271,609 271,625 307,612 88.3% 0.36 0.50 0.00 3,240 2,100 5,340 276,965	0 0 15 297,793 297,808 ———————————————————————————————————	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00
事務委託している東京都水道局において下水道使用料の賦課・徴収、技術研修や情報提供、指定工事店の責任技術者の講習会等を行った。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 ア:目的妥当性 [環題がある場合によ) (事業の成果)	事業費 ②人件費 ③ 改革・ご	源内訳    職 会 総善善・性	都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C)	千円       千円         千円       千円         千円       千円         千円       千円	0 0 0 67 321,853 321,920 368,792 87.3% 0.29 0.00 0.00 2,610 0 2,610 324,530	0 0 103 254,074 254,177 306,754 82.9% 0.29 0.00 0.00 2,610 0 256,787	0 0 0 16 271,609 271,625 307,612 88.3% 0.36 0.50 0.00 3,240 2,100 5,340 276,965	0 0 15 297,793 297,808  0.36 0.50 0.00 3,240 2,100 5,340 303,148 (2)事業   [九 維持	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00
事務委託している東京都水道局において下水道使用料の賦課・徴収、技術研修や情報提供、指定工事店の責任技術者の講習会等を行った。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 ア:目的妥当性 [環題がある場合によ) (事業の成果)	事業費 ②人件費 ③ 改革・ご	源内訳    職 会 総善善・性	都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C)	千円       千円         千円       千円         千円       千円         千円       千円	0 0 0 67 321,853 321,920 368,792 87.3% 0.29 0.00 0.00 2,610 0 2,610 324,530	0 0 103 254,074 254,177 306,754 82.9% 0.29 0.00 0.00 2,610 0 256,787	0 0 0 16 271,609 271,625 307,612 88.3% 0.36 0.50 0.00 3,240 2,100 5,340 276,965	0 0 15 297,793 297,808 ———————————————————————————————————	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00
事務委託している東京都水道局において下水道使用料の賦課・徴収、技術研修や情報提供、指定工事店の責任技術者の講習会等を行った。  (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 ア:目的妥当性 [課題がある場合によ) (事業の成果)下水道使用料の効率的な徴収に	事業費②人件費③ ・ごった 繋がった	源内訳 職 会 総 善 効	都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C)	千円       千円         千円       千円         千円       千円         千円       千円	0 0 0 67 321,853 321,920 368,792 87.3% 0.29 0.00 0.00 2,610 0 2,610 324,530	0 0 103 254,074 254,177 306,754 82.9% 0.29 0.00 0.00 2,610 0 256,787	0 0 0 16 271,609 271,625 307,612 88.3% 0.36 0.50 0.00 3,240 2,100 5,340 276,965	0 0 0 15 297,793 297,808 	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	の の の の の の の の の の の の の の
事務委託している東京都水道局において下水道使用料の賦課・徴収、技術研修や情報提供、指定工事店の責任技術者の講習会等を行った。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無課題がある場合により)で:目的妥当性[事業の成果)下水道使用料の効率的な徴収に (3)今後の事業の方向性(改革	事業費②人件費③革イン・改善案	源内訳 職 会 総 善 効 等 )	都支出金地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 政(正規   月給   時給) 中度任用職員等人件費計(C) で業費(A)+(C) ③課題・反省点) ウ:効率性	千千千 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	0 0 0 67 321,853 321,920 368,792 87.3% 0.29 0.00 0.00 2,610 0 2,610 324,530 改善	0 0 103 254,074 254,177 306,754 82.9% 0.29 0.00 0.00 2,610 0 256,787	0 0 0 16 271,609 271,625 307,612 88.3% 0.36 0.50 0.00 3,240 2,100 5,340 276,965	0 0 0 15 297,793 297,808 	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
事務委託している東京都水道局において下水道使用料の賦課・徴収、技術研修や情報提供、指定工事店の責任技術者の講習会等を行った。  (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 ア:目的妥当性 [課題がある場合によ) (事業の成果)下水道使用料の効率的な徴収に	事業費②人件費③革イン・改善案	源内訳 職 会 総 善 効 等 )	都支出金地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 政(正規   月給   時給) 中度任用職員等人件費計(C) で業費(A)+(C) ③課題・反省点) ウ:効率性	千千千 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	0 0 0 67 321,853 321,920 368,792 87.3% 0.29 0.00 0.00 2,610 0 2,610 324,530 改善	0 0 103 254,074 254,177 306,754 82.9% 0.29 0.00 0.00 2,610 0 256,787	0 0 0 16 271,609 271,625 307,612 88.3% 0.36 0.50 0.00 3,240 2,100 5,340 276,965	0 0 0 15 297,793 297,808 	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

令和 3 年度事後評価	<u> 市和</u>	4 1	年度 事務	<u> 尹 未</u>	<u> </u>	<u> </u>	<u> アンニ</u>	<b>卜</b> 令和	1 4 年 6	<u> 月作成</u>
事務事業名 流域下水道処理費	-  負担金	:		_	所属部	環境下水	_ 道部	課長名	高木 康弘	7
政策名 環境・安全					所属課	下水道管	理課	係名	庶務係	
施策名 下水道の管理					予算科目	会計 4	款 1	項 1	目 5	事業 _ 番号
基本事業名 適正な施設管理と安	で定した	下水道	(複数	他形態 (選択可)		<b>『委託</b>	一部委託	補助・	助成	連携∙協働
事業期間 単年度繰返	fee rita	根拠	下水道法第	第31多	条の二					
年度~ 主要施策	年度	法令								
1 現状把握の部(1)事務事業	の概要	·目的	」·結果·活動·成	果						
①事業概要 流域下水道の水再生センター	<b>⑤</b> 対象	き数の	推移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
の維持管理費等を構成市町で	ア流力	、水量(	北1)	m³	918,915	904,086	827,450	868,000		
負担する。	イ流力	、水量(	北2)	m³	6,262,963	6,123,698	6,058,023	5,954,000		
	<b>ウ</b> 流 <i>フ</i>			m³	4,602,593	4,672,998	4,420,846	4,576,000		. <u></u>
	<ul><li>⑥活重</li></ul>			単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)			<u></u> 担金(北1)	千円	<b>実績</b> 29,267	<b>実績</b> 34,986	<b>実績</b> 32,021	計画 33,590	計画	計画
流域下水道の水再生センター			世金(北1) 担金(北2)	千円	29,207		234,433	230,408		<u></u>
において、適正に水処理を行い 公共用水域の水質保全を図る。			担金(4L2) 担金(多摩上)	千円	132,179			177,082		
公共用小機ツ小貝外土で四回。					, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	180,836 <b>R2年度</b>	171,078 <b>R3年度</b>	177,082 <b>R4年度</b>	R5年度	R6年度
- · · -	⑦成果 — 文川		水排水処理率(北	単位	実績	実績	実績	計画	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア <sub>1)</sub>		水排水処理率(北	%	100.0		100.0	100.0		
下水道の管理の質を高め、安定した下水道経営を持続する。	<b>1</b>   2)			%	100.0	100.0	100.0	100.0		ļ
	ウ摩上	市汚/ <u>:</u> )	水排水処理率(多	%	100.0	100.0	100.0	100.0		<u></u>
	(2)事	業のコ	コスト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円			0	0	0	0
北多摩1号、2号及び多摩川上 流処理区における処理費用を		財源	都支出金	千円		0	0	0	0	0
流処理区にわける処理資用を 負担。	1	内	地方債	千円			0	0	0	0
	事業	訳		千円				_	0	0
	費		一般財源 事業費計(A)	千円		452,797 452,797	437,532 437,532	441,080 441,080	0	0
					302.040				- ()	-
•			予算額(B)	千円		,	437,714	—	_	
		<b>‡</b>				459,526	· ·	— —	— —	_ 
	2	職員	予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給)	千円 % 人	468,012 77.5%	459,526 98.5% 0.04 0.00 0.00	437,714 100.0% 0.03 0.00 0.00	0.03 0.00 0.00	_ _	
	人	職員	予算額(B) 執行率(A)/(B) 到数(正規   月給   時給) 正規職員分	千円 % 人 千円	468,012 77.5% 0.04 0.00 0.00 360	459,526 98.5% 0.04 0.00 0.00 360	437,714 100.0%	0.03 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0
		職員会計	予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等	千円 % 人 千円 千円	468,012 77.5% 0.04 0.00 0.00 360 0	459,526 98.5% 0.04 0.00 0.00 360 0	437,714 100.0% 0.03 0.00 0.00 270 0	0.03 0.00 0.00 270	0.00 0.00 0.00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0
	人 件 费 ——————————————————————————————————	会計	予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C)	千円 % 人 千円	468,012 77.5% 0.04 0.00 0.00 360 0	459,526 98.5% 0.04 0.00 0.00 360 0 360	437,714 100.0% 0.03 0.00 0.00	0.03 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	
2 評価の部	人件費	会計	予算額(B) 執行率(A)/(B) 動物(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C)	千円 % 人 千円 千円 千円	468,012 77.5% 0.04 0.00 0.00 360 360 363,005	459,526 98.5% 0.04 0.00 0.00 360 0 360 453,157	437,714 100.0% 0.03 0.00 0.00 270 0 270 437,802	0.03 0.00 0.00 270 0 270 441,350	0.00 0.00 0.00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0
(1)全体総括(①事業の成果・②	人件費 ②改革·证	会計分級事	予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C)	千円 % 人 千円 千円 千円	468,012 77.5% 0.04 0.00 0.00 360 0 363,005	459,526 98.5% 0.04 0.00 0.00 360 0 360 453,157	437,714 100.0% 0.03 0.00 0.00 270 0 270 437,802	0.03 0.00 0.00 270 0 270 441,350		0 0 0 0
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合によ)ア:目的妥当性[	人件費	会計分級事	予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C)	千円 % 人 千円 千円 千円	468,012 77.5% 0.04 0.00 0.00 360 360 363,005	459,526 98.5% 0.04 0.00 0.00 360 0 360 453,157	437,714 100.0% 0.03 0.00 0.00 270 0 270 437,802	0.03 0.00 0.00 270 0 270 441,350	- 0.00 0.00 0.00 0.00 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 マ・日 ぬ 平 ※ ## 「	人件費 ②改革・で	会計 / 公善・( 有効性	予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C)	<ul><li>千円</li><li>%</li><li>人</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	468,012 77.5% 0.04 0.00 0.00 360 363,005 改善 工:公平性	459,526 98.5% 0.04 0.00 0.00 360 0 360 453,157 幸や見直しを図 オ:そ	437,714 100.0% 0.03 0.00 0.00 270 0 270 437,802	0.03 0.00 0.00 270 0 270 441,350	- 0.00 0.00 0.00 0.00 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合によ) (事業の成果)	人件費 ②改革・で	会計 / 公善・( 有効性	予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C)	<ul><li>千円</li><li>%</li><li>人</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	468,012 77.5% 0.04 0.00 0.00 360 363,005 改善 工:公平性	459,526 98.5% 0.04 0.00 0.00 360 0 360 453,157 幸や見直しを図 オ:そ	437,714 100.0% 0.03 0.00 0.00 270 0 270 437,802	0.03 0.00 0.00 270 0 270 441,350		0 0 0 0 0 スト 持 増加
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合によ) (事業の成果)	人件費 ②改革・で	会計 / 公善・( 有効性	予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C)	<ul><li>千円</li><li>%</li><li>人</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	468,012 77.5% 0.04 0.00 0.00 360 363,005 改善 工:公平性	459,526 98.5% 0.04 0.00 0.00 360 0 360 453,157 幸や見直しを図 オ:そ	437,714 100.0% 0.03 0.00 0.00 270 0 270 437,802	0.03 0.00 0.00 270 270 441,350 (2)事業 向上 採持		0 0 0 0 0 スト 持 増加
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合によ) (事業の成果)	人件費 ②改革・で	会計 / 公善・( 有効性	予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C)	<ul><li>千円</li><li>%</li><li>人</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	468,012 77.5% 0.04 0.00 0.00 360 363,005 改善 工:公平性	459,526 98.5% 0.04 0.00 0.00 360 0 360 453,157 幸や見直しを図 オ:そ	437,714 100.0% 0.03 0.00 0.00 270 0 270 437,802	270 270 270 441,350 (2)事業 成果 持低下		0 0 0 0 3 スト 持 増加
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合によ) (事業の成果) 排水基準を遵守し適切な汚水処	人件費 ②改革・i 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	職員会計の金融を表する。	予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C)	<ul><li>千円</li><li>%</li><li>人</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	468,012 77.5% 0.04 0.00 0.00 360 363,005 改善 工:公平性	459,526 98.5% 0.04 0.00 0.00 360 0 360 453,157 幸や見直しを図 オ:そ	437,714 100.0% 0.03 0.00 0.00 270 0 270 437,802	270 270 270 441,350 (2)事業 成果 持低下		0 0 0 0 3 スト 持 増加
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合にマン) (事業の成果) 排水基準を遵守し適切な汚水処 (3)今後の事業の方向性(改革	人件費 で で で で で で で き ず	職員会計が事を対する。	予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) ③課題・反省点) ・ウ:効率性 公共用水域の水	千円       %       人       千円       千円       千円       千円       千円       ()       質保全	468,012 77.5% 0.04 0.00 0.00 360 363,005 立き エ:公平性	459,526 98.5% 0.04 0.00 0.00 360 0 360 453,157 幸や見直しを図 オ:そ	437,714 100.0% 0.03 0.00 0.00 270 270 437,802	270 270 270 441,350 (2)事業 成果 持低下		0 0 0 0 3 スト 持 増加
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合によ) (事業の成果) 排水基準を遵守し適切な汚水処	人件費 で で で で で で で き ず	職員会計が事を対する。	予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) ③課題・反省点) ・ウ:効率性 公共用水域の水	千円       %       人       千円       千円       千円       千円       千円       ()       質保全	468,012 77.5% 0.04 0.00 0.00 360 363,005 立き エ:公平性	459,526 98.5% 0.04 0.00 0.00 360 0 360 453,157 幸や見直しを図 オ:そ	437,714 100.0% 0.03 0.00 0.00 270 270 437,802	270 270 270 441,350 (2)事業 成果 持低下		0 0 0 0 スト 持 増加

令和 3 年度事後評価	<u>令和</u>	<u>4</u> 4	F度 事務 <del>-</del>	事業	マネシ	<u> </u>	<u>トシー</u>	<b>卜</b> 令	和 4 年	6 月作成
事務事業名環境学習支援事業	É				所属部	環境下水	道部	課長名	横塚浩	_
政策名 環境・安全					所属課	環境対策	課	係名	環境推進	係
施策名 豊かな水と緑の保	<b>全</b>				予算科目	会計 1	款 4	項 1	目 6	事業 3番号 3
基本事業名 自然とのふれあいの	創出			地形態 「選択可)	全部	<b>『委託</b>	一部委託	補助・	助成	連携・協働
事業期間 単年度繰返		根拠	環 倍 保 全 注		環境教育基	表本法				
平成19 年度~	年度	法令等		竟基本	条例					
市長公約   主要施策   ( 1 現状把握の部(1)事務事業				<b>=</b>						
1 現仏に経の部(1)事務争ま					1104 F F	D0 / T	D0 / T	D4/F#	DE 45 #5	D0/F #
小中学校や保育園等に環境	<b>⑤</b> 対象	え致り	性移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
リーダー等を派遣し、体験型の 環境学習プログラムを提供す			日現在)	人	184,090	184,577	185,124			
る。また、自ら環境配慮行動を	イ中学	₽校児童 ₽校生徒	重数(5.1現在) E数(5.1現在)	人	12,379	12,375	12,410			
実践するとともに、周囲にも広めていく人材の養成のための環境			(4.1現在)	人	1,501	1,527	1,513			
学習講座を開催する。	⑥活重	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア年間	講座回		□	4	0	0	ш	ш	ш
市民や児童・生徒が環境に関	イ環境	ぎリーダ	 一派遣回数	口	46	21	38			
する学習を行うことで、身近な環境に興味を持ち、環境に配慮し	ウ									
た行動をとることができる。	⑦成果	!指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア講座	至 講者	 f数(延べ人数)	人	<del>天</del> 根 60					
環境学習を通じて、自然とのふ			で援受講者(延べ	人	2,877	609	2,469			
れあいの創出を目指す。	ュ ウ	<u>(</u> )		, ,	_,					
	(2)事	業の=	スト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
小学校全校対象のヤゴの救出		財源	都支出金	千円	0	0	0	0	0	0
作戦や、小学校・保育園の要請に応じて実施する自然観察プロ	1	源内	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
グラムなどに対して、環境リー	事	訳	その他	千円	100	60	100	100	0	0
ダーの講師派遣を行った。市民 向けの環境学習講座について、	業費		一般財源	千円	341	96	158	505	0	0
新型コロナウイルス感染症の感	7	1	事業費計(A)	千円	441	156	258	605	0	0
染拡大防止の観点から中止し た。		<b>—</b>	予算額(B)	千円	644	644	582		_	
/			执行率(A)/(B) **	%	68.5%	24.2%	0.44 0.00 0.00			
	2		.数 <sup>征規   月給   時給)</sup> 正規職員分	人 千円	2,700	3,960	3,960	3,960		0.00 0.00 0.00
	人   件		正况啷貝刀 年度任用職員等		2,700	3,900	3,900	3,900	0	
	費		<u> </u>	千円	2,700	3,960	3,960	3,960	0	
	(3		<u>くい負明(0)</u> 業費(A)+(C)	千円	3,141	4,116	4,218	4,565		+
2 評価の部		) (100 <del>- )</del>	<b>火</b> 桑()() 1 (3)	1 1 3	0,111	1,110	1,210	1,000		
(1)全体総括(①事業の成果・②	2)改革・2	汝善∙〔	③課題・反省点)		改善	きや見直しを図	引った	(2)事第	美の方針	
※課題の有無 (課題がある場合によ)ア:目的妥当性	<b>イ</b> :	有効性	ウ:効率性	~	工:公平性	オ:そ	の他	1		スト
(事業の成果)	<b>□</b> 0 .a.								削減 維	排 増加
環境関連団体と連携し、環境学習の環境学習プログラムを実施する										
(課題・反省点)								成維	(	0
新型コロナウイルスの対応により、 座が多数できなかった。	当初予定	定してい	ハた体験型の環境	覚学習	『支援のプ	ログラム、野	<b>录</b> 境学習講	低		

## (3)今後の事業の方向性(改革・改善案等)

小学校等への環境学習支援は、市民・環境関連団体と協働して取り組んでいく。市民向けの環境関連講座について、市民団体等が行っている講座等の活動を考慮しつつ、時宜に合わせたテーマ性のある単発講座を企画する。また、新型コロナウイルスへの対応を考慮して、開催回数および開催方法を検討する。

(廃止・休止の場合は記入不要)

令和 3 年度事後評価	<u>ገን ጥ</u>	<u> </u>	<u>+ +</u>	<u> </u>	<u> 尹 未</u>	ミマイン	<u> </u>	トンー	<b>卜</b> 令	和 4 年 6	<u> 月作成</u>
事務事業名生物多様性推進事	事業					所属部	環境下水	道部	課長名	横塚 浩-	_
政策名 環境・安全						所属課	環境対策	課	係名	環境推進	係
施策名 豊かな水と緑の保	全					予算科目	会計 1	款 4	項 1	目 6	事業 8番号 8
基本事業名 自然とのふれあいの	の創出				<b>も形態</b>	全部	『委託 ●	一部委託	補助•	助成	連携•協働
事業期間 単年度繰返	f - a - de		根拠	生物多様							
平成27 年度~ 市長公約 主要施策	年度		去令等		<b>克</b> 基本	条例					
1 現状把握の部 (1)事務事業	_	要・	目的	 ·結果·活動·成	果						
①事業概要 生物多様性の考え方を周知啓	⑤対	象数	数の	推移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
発するための講演会・学習会の	ア市	·王(	1月1	日現在)	人	184,090	184,577	185,124			
実施。環境市民団体等と連携した生き	1			. , , ,			,	,			
もの状況把握の実施。	<u> </u>										
	ウ					H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	<b>⑥活</b>				単位	実績	実績	実績	計画	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)		江川V 『数	いきもの	のデータベース投	件	5,796	8,132	10,275			
市民の生物多様性への理解が深まる。			会・イイ	ベント開催回数	□	3	0	0			
市内の生物の状況を把握する。	ウ										
	7成	果‡	指標		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
③結果(どのような結果に結び付けるか)	マダ	<u>:</u> ]  \		のデータベース掲		<b>実績</b> 4,422	<b>実績</b> 6,420	<b>実績</b> 8,181	計画	計画	計画
生物多様性の考え方を周知啓	車	数	<u>۸</u> ,	2) 1 <del>2) 10 20</del> 20		,	0,420	0,101			
発し、生物多様性の理解が深ま		<b>手便</b> 包	営•1✓	ベント参加者数	人	37					
る。	ウ										
	(2)	事業	€の=	スト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)	1 🗆			国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
				ロゲス田並		U	U	U	U	0	O
環境市民団体に「立川いきもの			財源	都支出金	千円	0	0	0	0	0	0
		<b>1</b>	源内	都支出金 地方債	千円 千円	0	0	0	0	0	0
環境市民団体に「立川いきもの	3	事	源	都支出金 地方債 その他	千円 千円 千円	0 0	0 0	0 0 450	0 0 500	0 0	0 0
環境市民団体に「立川いきもの	1		源内訳	都支出金 地方債 その他 一般財源	千円 千円 千円	0 0 0 0 604	0 0 0 0 619	0 0 450 119	0 0 500 176	0 0 0	0 0 0
環境市民団体に「立川いきもの	1	事業	源内訳	都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A)	千円 千円 千円 千円	0 0 0 604 604	0 0	0 0 450 119 569	0 0 500	0 0	0 0
環境市民団体に「立川いきもの	1	事業	源 内 訳	都支出金 地方債 その他 一般財源	千円 千円 千円	0 0 0 0 604	0 0 0 619 619	0 0 450 119	0 0 500 176	0 0 0	0 0 0
環境市民団体に「立川いきもの	Late state and	事業費	源内訳	都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B)	千円 千円 千円 千円 千円	0 0 0 604 604 605	0 0 0 619 619 687 90.1%	0 0 450 119 569 637	0 0 500 176 676 —	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0
環境市民団体に「立川いきもの	Lan star star	事業費 ②人:	源内訳	都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	0 0 0 604 604 605 99.8%	0 0 0 619 619 687 90.1%	0 0 450 119 569 637 89.3%	0 0 500 176 676 —	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 
環境市民団体に「立川いきもの		事業費 ②人件	源内訳 報員 計	都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	0 0 0 604 605 99.8% 0.17 0.00 0.00 1,530	0 0 0 619 619 687 90.1% 0.17 0.00 0.00 1,530	0 0 450 119 569 637 89.3% 0.14 0.00 0.00 1,260	0 500 176 676 — 0.14 0.00 0.00 1,260	0 0 0 0 0 0  0.00 0.00 0.00	0 0 0 0 0 0 
環境市民団体に「立川いきもの	( ) 1 111	事業費 ②人件費	源内訳 報 会	都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給 正規職員分 年度任用職員等	千円       千円         千円       千円         千円       千円         千円       千円         千円       千円	0 0 0 604 605 99.8% 0.17 0.00 0.00 1,530	0 0 0 619 687 90.1% 0.17 0.00 0.00 1,530	0 0 450 119 569 637 89.3% 0.14 0.00 0.00 1,260	0 0 500 176 676 — — 0.14 0.00 0.00 1,260	0 0 0 0 0  0.00 0.00 0.00	0 0 0 0 0   0.00 0.00 0.00 0.00
環境市民団体に「立川いきもの データベース」の運営を委託	( ) 1 111	事業費 ②人件費	源内訳 報 会	都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	0 0 0 604 605 99.8% 0.17 0.00 0.00 1,530	0 0 0 619 619 687 90.1% 0.17 0.00 0.00 1,530	0 0 450 119 569 637 89.3% 0.14 0.00 0.00 1,260	0 500 176 676 — 0.14 0.00 0.00 1,260	0 0 0 0 0 0  0.00 0.00 0.00	0 0 0 0 0 0 
環境市民団体に「立川いきもの	( ) de la contract.	事業費②人件費③	源内訳	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給 正規職員分 年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C)	千円       千円         千円       千円         千円       千円         千円       千円         千円       千円	0 0 0 604 605 99.8% 0.17 0.00 0.00 1,530 0 1,530 2,134	0 0 0 619 687 90.1% 0.17 0.00 0.00 1,530	0 0 450 119 569 637 89.3% 0.14 0.00 0.00 1,260 0 1,260 1,829	0 0 500 176 676 — 0.14 0.00 0.00 1,260 0 1,936	0 0 0 0 0  0.00 0.00 0.00	0 0 0 0 0   0.00 0.00 0.00 0.00
環境市民団体に「立川いきものデータベース」の運営を委託  2 評価の部	2改革	事業費 ②人件費 ③ 改	源内訳 報 会 総 善・	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給 正規職員分 年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C)	千円円円円 千円千円	0 0 0 604 605 99.8% 0.17 0.00 0.00 1,530 0 1,530 2,134	0 0 619 619 687 90.1% 0.17 0.00 0.00 1,530 0 2,149	0 0 450 119 569 637 89.3% 0.14 0.00 0.00 1,260 0 1,260 1,829	0 0 500 176 676 — 0.14 0.00 0.00 1,260 0 1,936	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
環境市民団体に「立川いきものデータベース」の運営を委託  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・(課題がある場合に)/(事業の成果)	②改革	事業費 ②人件費 ③ 一改 介	源内訳 華員 計 事 作性	都支出金地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給 正規職員分 年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) ③課題・反省点 レウ:効率性	千円 千一 千一 千一 千一 千一 千一 十一	0 0 0 604 605 99.8% 0.17 0.00 0.00 1,530 0 1,530 2,134	0 0 0 619 619 687 90.1% 0.17 0.00 0.00 1,530 0 1,530 2,149	0 0 450 119 569 637 89.3% 0.14 0.00 0.00 1,260 0 1,260 1,829	0 0 500 176 676 — 0.14 0.00 0.00 1,260 1,936	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 
環境市民団体に「立川いきものデータベース」の運営を委託  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・(課題がある場合により) 市民団体と協働して作成した「立類・両生類の6項目の投稿を継続	2 2 2 2 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	事業費 ②人件費 ③ 一・ 1: もを値	源内訳 戦 会 総 善 効 デン	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給 正規職員分 年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) 3課題・反省点 レーウ:効率性	千千円 千円	0 0 0 604 605 99.8% 0.17 0.00 0.00 1,530 0 1,530 2,134 草、野鳥、/	0 0 619 619 687 90.1% 0.17 0.00 0.00 1,530 0 1,530 2,149 まや見直しを図 オ:そ	0 0 450 119 569 637 89.3% 0.14 0.00 0.00 1,260 0 1,260 1,829	0 0 500 176 676 — 0.14 0.00 0.00 1,260 0 1,936 (2)事業	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
環境市民団体に「立川いきものデータベース」の運営を委託  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・(※課題の有無 (課題がある場合により) 市民団体と協働して作成した「立類・両生類の6項目の投稿を継続立川いきものデータベースにつた。		事業費 ②人件費 ③ 改有 の施が	源内訳 戦 会 総 善 効 デてで	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給 正規職員分 年度任用職員分 年度任制(C) 業費(A)+(C) 3課題・反省点) レーク・効率性 ウ・効率性 かた。生物多様性	千千千円 千円 千円 千千円 千千円 50 人 千千千円 野境要	0 0 0 604 605 99.8% 0.17 0.00 0.00 1,530 0 1,530 2,134 草、野鳥、い	0 0 0 619 687 90.1% 0.17 0.00 0.00 1,530 0 1,530 2,149 いまや見直しを図 オ:そ	0 0 450 119 569 637 89.3% 0.14 0.00 0.00 1,260 0 1,829 Gote	0 0 500 176 676 ———————————————————————————————	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
環境市民団体に「立川いきものデータベース」の運営を委託  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・(※課題の有無 (課題がある場合により) 市民団体と協働して作成した「立類・両生類の6項目の投稿を継続立川いきものデータベースにつたさっかけづくりのための自然観察の観点から中止とした。		事業費 ②人件費 ③ 改有 の施が	源内訳 戦 会 総 善 効 デてで	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給 正規職員分 年度任用職員分 年度任制(C) 業費(A)+(C) 3課題・反省点) レーク・効率性 ウ・効率性 かた。生物多様性	千千千円 千円 千円 千千円 千千円 50 人 千千千円 野境要	0 0 0 604 605 99.8% 0.17 0.00 0.00 1,530 0 1,530 2,134 草、野鳥、い	0 0 0 619 687 90.1% 0.17 0.00 0.00 1,530 0 1,530 2,149 いまや見直しを図 オ:そ	0 0 450 119 569 637 89.3% 0.14 0.00 0.00 1,260 0 1,829 Gote	0 0 500 176 676 ———————————————————————————————	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1 1 1 1	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
環境市民団体に「立川いきものデータベース」の運営を委託  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・(※課題の有無 (課題がある場合に少) (事業の成果) 市民団体と協働して作成した「立類・両生類の6項目の投稿を継約立川いきものデータベースにつたきっかけづくりのための自然観察	2000 本 1 に で で で で で で で で で で で で で	事業費 ②人件費 ③ · ひ 有 の 心が会	源内訳	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給 正規職員分 年度母計(C) 業費(A)+(C) 3課題・反省点) レース学多様型 かた。生かが、新型に た。生かが、新型に	千千千千9人千千千 まながらなっています。	0 0 0 604 605 99.8% 0.17 0.00 0.00 1,530 0 1,530 2,134 エ:公平性 草、野鳥、い 環境学習で生きな	0 0 619 619 687 90.1% 0.17 0.00 0.00 1,530 0 1,530 2,149 きや見直しを駆 オ:そ ま乳類、魚調 ものの感染	0 0 450 119 569 637 89.3% 0.14 0.00 0.00 1,260 0 1,829 Gote	0 0 500 176 676 ———————————————————————————————	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1 1 1 1	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

環境市民団体と交流する場を設け、市民が生きものに触れる機会の創出を行う。平成28年度から開始した「立川いきものデータベース」は、平成28年度昆虫、平成29年度は野草、野鳥、平成30年度はほ乳類、魚貝、は虫類・両生類に投稿対象を広げた。平成31年度より委託事業として実施しており、今後も生物多様性地域戦略作成への基礎資料の収集として「立川いきものデータベース」を継続していく。また、生物多様性の必要性や生きものの多様性を考えるきっかけづくりとなる自然観察会・学習会を、新型コロナウイルス感染症対策を考慮したうえで実施する。

令和 3 年度事後評価	令和 4	4 年度 事務	事業	マネシ	<b>ジメン</b>	トシー	<b>卜</b> 令和	和 4 年 6	3 月作成
事務事業名 民間緑化推進				所属部	まちづくり	部	課長名	渕上 俊志	<u> </u>
政策名 環境・安全				所属課	公園緑地	 課	係名	緑化推進	係
施策名 豊かな水と緑の保	全			予算科目	会計 1	款 8	項 3	目 4	事業 3 番号
基本事業名 自然とのふれあいる	の創出		<b>も形態</b>	全部	逐託	一部委託	✓ 補助・	助成	連携・協働
事業期間 単年度繰返	for the	立川市緑	化推進			net Alest			
平成6 年度~ 市長公約 <b>主要施策</b>				生協力員会					
1 現状把握の部(1)事務事業	業の概要・			加延手术	1110分亚人1	1 2/10			
①事業概要 市民組織である緑化推進協力	⑤対象数	数の推移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
員会が行う花苗育成や公園等 への花苗植付け・管理活動を支	ア会員数	效(2年任期)	人	105	101	101			
援する。	<b>イ</b> 団体()	支部)数	団体	7	7	7	7		
	ウ								
	 ⑥活動 <b>抖</b>	 指標	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度 計画	R5年度	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア花苗音	育成·植付回数	口	<b>実績</b> 3	<b>実績</b> 3	<b>実績</b> 3	<b>計画</b> 3	計画	計画
市民が、花苗の育成・植付け活		育成・植付株数(年間)	本	9,480	8,480	8,560	9,000		
動を通じて、緑を大切にする意識が向上する。公園等で花が増	りた曲り	ョ/从 1座171小数(十円)	/ <del>*</del>	3,400	0,400	0,000	3,000		
えることで、市民が花と緑でうる	⑦成果技	七+亜	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
おいや安らぎを感じる。				実績	実績	実績	計画	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか) 地域で花や緑を大切にする意		花壇等植付箇所数	箇所	20	20	20	20		
識が高まり、うるおいとやすらぎ	1								
のある街並みが形成される。	ウ								
	(2)事業	美のコスト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
花苗の植替え(2寸から3.5寸ポットへ 5月 職員のみで対応)		財 都支出金	千円	0	0	0	0	0	0
花苗の育成(水やり、花がら摘	1	内型力值	千円	0	0	0	0	0	0
み等 3回 1ヶ月) 花壇等への植付け(6月、9月、	事	訳 その他 一般財源	千円	1,249	1,243	1,263	1,378		0
11月)	費	事業費計(A)	千円	1,249	1,243	1,263	1,378	0	0
花壇等の管理 (1年間)		予算額(B)	千円	1,251	1,261	1,281	_	_	
		執行率(A)/(B)	%	99.8%	98.6%	98.6%	_	_	_
	2	職員数(正規   月給   時給)						0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	人     件	正規職員分 会計年度任用職員等	千円	3,420	3,420	3,600	3,150	0	0
	費し	大件費計(C)	千円	3,420	3,420	3,600	3,150	_	0
	3	総事業費(A)+(C)	千円	4,669	4,663	4,863	4,528		0
2 評価の部		# @=F==			. = :		/ c > ·''	4 o d- A1	
(1)全体総括(①事業の成果・( ※課題の有無 フェロのエッ性					や見直しを図		(2)事業	美の方針 コス	7 L
※課題の有無 (課題がある場合にと) (事業の成果) (改革・改善)花苗を		<b>効性 ウ:効率性</b> ラ付けることによって		エ:公平性		· <b>の他 </b> がみの形成			<u> </u>
に寄与した。また、地域コミュニラ	「イ組織の酢	醸成に寄与した。第1期	朝の2-	寸から3.5~	ナポットへの	花苗の植			
替え(予定及び実施株数3,160株 た。第2・3期は、ポット植替えを省									
昇し、当初予定の第2・3期各3,1 (課題・反省点)緑化推進協力員(	60株から各	₹2,700株に減少した。					果  <u>持</u>   低		
園へ移動することが負担となって			TI I F	E07/C07(C	工冶地	427111里田	下		
(2) 今後の東娄の十白牌 (3)	生. 小羊安全	<b>本</b> )					(廃止・	休止の場合は	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革 緑化や園芸に関心のある人材を			動を推	作進する組織	畿の継続を	·図っていく	。ポット植え		いては
協力員の負担軽減と事業費増のに変更し、1期あたりの株数を3,1	軽減のバラ	ランスを協力員会と調	整した	結果、令和	口4年度から	らポット植替	え省略の	ため3.5寸2	ポット納品

事務事業名操化まつり事業						所属部	まちづくり	部	課長名	渕上 俊之	<u> </u>
政策名 環境・安全						所属課	公園緑地	課	係名	緑化推進	係
施策名 豊かな水と緑の保金	全					予算科目	会計 1	款 8	項 3	目 4	事業 4
基本事業名 自然とのふれあいの	創出				を ・ 選択可)	✓ 全部	<b>『委託</b>	一部委託	✓ 補助・	助成 🗸	連携•協働
事業期間 単年度繰返			根拠	立川市緑化	匕推進						
平成5 年度~	年度		<b>长令等</b>	立川グリー							
□ 市長公約 □ □   主要施策 □ 1 現状把握の部(1)事務事業	を かった	要•	日的	<ul><li>・結果・活動・成・</li></ul>		ーク争業を	<b>夹</b> 仃安貝会	安綱			
①事業概要			数の打			H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
緑化まつりを市内緑化関係団体等で構成するグリーンウィーク実	ア参			<b>L</b> 12	団体	26	~~ · · ~	~ 1 ~	· · · · · ·	~ ~	~ ~
行委員会で開催する。	7 //	>/JHC	11/14		平四	20					
	1										
	ウ										
	<b>⑥</b> 活	動	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	アク	リー 引催	ンウィ	ーク実行委員会	回	4	2	4	I	111	III
市民の緑化推進への意識向上	J开		草の無	料配布数	本	1,080	_	_			
を促す。みの一れ立川北側広 場で開催することで、市民にみ	ウ					1,000					
一の一れ立川を周知する。 の一れ立川を周知する。						H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	(7)成	7成果指標			単位	実績	実績	実績	計画	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア原	<b>⑦成果指標</b> ア 園芸教室参加者				240	_	_			
公有地や民有地の緑化推進と 保全に対する意識が向上する。	イ絹	その募	享金(全	会場内)	円	11,590	_	_			
実行委員会により、市民連携が	ウォ	で場る	皆数		人	2,500	_	_			
促進され、緑化や保全への市民 理解が広がる。	(0)	中 4	± 0 =	71	*** / 1	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
-±/11/4 /24/4 &0	(2)	争才	€のコ	<b>△</b> Γ	単位	実績	実績	実績	計画	計画	計画
④令和3年度実績(事業活動)			□⊥	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
立川グリーンウィーク実行委員 会 (11月、2月(2回)、3月)			財源	都支出金	千円	0	0	0	0	0	0
		1	内	地方債	千円	0	0	0	7.7.7	0	0
		事業	訳	その他 一般財源	千円	286 1,214	0	0	757 743	0	0
		費		     業費計(A)	十円	1,500	0	0	1,500	0	0
				<u> </u>	千円	1,500	1,500	1,500	_	_	_
			封	1.行率(A)/(B)	%	100.0%	0.0%	0.0%	_	_	_
	(	2	職員	数(正規   月給   時給)	人	0.73 0.00 0.00	0.25 0.00 0.00	0.33 0.00 0.00	0.73 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
		人		E規職員分	千円	6,570	2,250	2,970	6,570	0	0
		件   費				0	0	0	0	0	0
				(件費計(C)	千円	6,570	2,250	2,970	6,570	0	0
			総事ま	業費(A)+(C)	千円	8,070	2,250	2,970	8,070	0	0
2 評価の部		(3)f				<u> </u>	<u> </u>				
2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②	②改革		善.(3	②課題・反省点)		改善改善	きや見直しを図	回った	(2)事業	の方針	
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 マ・目的妥当性 [		•改				本: 公平性		つたの他	(2)事業	<b>ミの方針</b> コス	スト
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合に) (事業の成果)グリーンウィーク実行		• 改 ſ:有	効性	✓ ウ:効率性		工:公平性	オ:そ	の他		コス	スト 増加
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合によ) (事業の成果)グリーンウィーク実行 2021緑化まつりを中止した。	丁委員	•改 イ:有 会で	<b>効性</b> *検討	レ ウ:効率性 した結果、新型=	コロナ	エ: <b>公平性</b> ウイルス感	<b>オ:そ</b> 染症予防の	- <b>の他</b> D観点から	向上	コス	
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合にと) (事業の成果)グリーンウィーク実行 2021緑化まつりを中止した。 (課題・反省点)来場により緑化に に繋ぐためには、まず、多数の方	丁委員 関心を に来場	・改 イ: 有 会 ・持い	<b>効性</b> が検討ってもに	<ul><li>✓ ウ:効率性</li><li>した結果、新型=</li><li>らい、会場で植オ必要がある。また</li></ul>	コロナ マや花 こ、緑 (	エ:公平性  ウイルス感  を購入して  とまつり(約	<b>オ:そ</b> 染症予防の に自宅で緑 な化啓発)に	<b>の他</b>	向 上 成 服	コス	持 増加
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合によ) (事業の成果)グリーンウィーク実行 2021緑化まつりを中止した。 (課題・反省点)来場により緑化に に繋ぐためには、まず、多数の方 通省の「春季における都市緑化哲	〒委員 関心を に来場 進進運	· ひ 有 て 持いが	<b>効性</b> 検討 でもく に連重	<ul><li>✓ ウ:効率性</li><li>した結果、新型=</li><li>らい、会場で植オ必要がある。まためして、緑の存在</li></ul>	コロナ マや花 こ、緑 ( こ、新 こが新	<b>エ:公平性</b>   ウイルス感 を購入して でまつり(約 緑や色とり。	<b>オ:そ</b> 染症予防の (自宅で緑 な化啓発)に どりの花々	での他	向上維持	削減 維	持 増加
(1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 ア:目的妥当性 [課題がある場合に义] (事業の成果)グリーンウィーク実行 2021緑化まつりを中止した。 (課題・反省点)来場により緑化に「に繋ぐためには、まず、多数の方通省の「春季における都市緑化搭やかに意識される春季に実施してか、規模縮小や開催時季変更で	丁委員 関心を に来場 に来場	· 改 有 て	効性 検討 でもくだ連ュロ	<ul><li></li></ul>	コロナ マや花 た、緑 が新 症が影	エ:公平性  ウイルス感  を購入して  とまつり( 緑や色とりる 係念される場	オ:そ 染症予防の に自宅で緑水化啓発)に めの花々 場合は、感	の他	向上維持低下	削減 維	持増加
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合にと) (事業の成果)グリーンウィーク実行 2021緑化まつりを中止した。 (課題・反省点)来場により緑化にに繋ぐためには、まず、多数の方 通省の「春季における都市緑化指 やかに意識される春季に実施して	丁委員 関心を場 に進進でる。 緑化啓	· 改 有 て 持い 新発 ( )	<b>効性</b> 検討 てもく に 連 ロ 効 男	<ul><li></li></ul>	コロナ マや花 た、緑 が新 症が影	エ:公平性  ウイルス感  を購入して  とまつり( 緑や色とりる 係念される場	オ:そ 染症予防の に自宅で緑水化啓発)に めの花々 場合は、感	の他	向上維持低下	削減 維	持増加

令和 4 年度 事務事業マネジメントシート 令和 4 年 6 月作成

令和 3 年度事後評価

411

に緑化まつりの開始時間を遅らせて交通渋滞の緩和を図る。

令和 3 年度事後	<b>後評価</b>	<u>令和</u>	4	<u></u> 左	<u>F度事</u>	務導	業	マネシ	ジメン	トシー	<b> </b>	令	和 4	年	6 月作成
事務事業名 公園管理	里運営							所属部	まちづくり	)部	課:	長名	渕上	俊	さ
政策名 環境・安	全							所属課	公園緑地	課	係	名	公園	係	
施策名 豊かな水	くと緑の保全	全						予算科目	会計 1	款 8	項	3	目	3	事業 1番号
基本事業名公園の維	ŧ持·管理						形態	全部	<b>『委託</b>	✓ 一部委託		補助・	助成		連携•協働
事業期間単年度組織		年度		根拠				市公園法	施行規則	立川市公	園条例	Î			<del>-</del>
	要施策	1/2	法	令等	<b>F</b>										
1 現状把握の部(1	)事務事業	の概要	Ę•[	目的	·結果·活動	か 成り	果								
①事業概要 公園を安全で快適に系	川田子ス	⑤対	象数	数の打	准移		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R44	丰度	R5年	F度	R6年度
ため、公園施設を適切 施設運営を図る事業で	に管理し	ア管	理公	園総	面積		m²	674,842	675,078	675,384	67	5,384			
設の修繕、清掃、樹木	管理等を	イ管	理グ	園総	数		箇所	284	285	286		286			
行うとともに、公園施設 命化計画に基づく改修				(園数 (園)	((公園台帳作	作成	箇所	99	99	99		99			
工事、維持整備工事を た、公園台帳整備を行	行う。ま	⑥活	•			-	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年 計		R5年 計i		R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態	にしたいのか)	ア管	理グ	園総	 淡数		箇所	284	285			286			
公園施設の日常的な編 を行うことで、公園利用		イ都	市公	園台	帳作成数		箇所	1	3	2		3			
全を確保するとともに、	公園台	ウ公	園台	帳作	成数累計		箇所	48	51	53		56			
帳を活用し、効率的なを図る。	維持官理	⑦成:	ウ 公園台帳作成数累計 <b>⑦成果指標</b>				単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4 <sup>4</sup> 計		R5年 計i		R6年度 計画
③結果(どのような結果に結	び付けるか)	ア単	位あ	たりこ	コスト		円/ m²	520	517	550		602			
市民が公園を安全かて利用できるとともに、管		イ苦	情•	要望	等件数		件	1,799	2,141	2,478					
係る事務の省力化を図		ウ公	園台	帳作	成進捗率		%	48.5	51.5	53.5		56.6			
		(2)	<b>事業</b>	€の⊐	スト		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4 <sup>4</sup> 計		R5年 計i		R6年度 計画
④令和3年度実績(事	業活動)				国庫支出	出金	千円	0	0	0		0		0	0
公園利用者の安全や 図るため、211件の施記				財源	都支出	金 :	千円	0	0	0		0		0	0
252か所の施設清掃を		(1		源内	地方值	責	千円	0	0	0		0		0	0
園維持整備工事として	舗装、	事	<b>∓</b>	訳	その他	也 :	千円	3,008	4,323	4,383	4	,314		0	0
フェンス改修、遊具設置 手摺の設置や緑道の		第一			一般財	·源	千円	309,794	305,698	327,982	363	,003		0	0
速度を抑制するために		]	Į	틕	事業費計(A	4)	千円	312,802	310,021	332,365	367	,317		0	0
示を設置し、公園施設	改修等整				予算額(B)		千円	355,573	387,568	375,469	_	_	_	-	_
備工事として3基(3公  具更新を行った。また、				幇	\行率(A)/(E	3)	%	88.0%	80.0%	88.5%	_	-	_	-	_
公園台帳を整備し、70		(2		職員	数(正規   月給	時給)	人	3.48 2.00 0.00	3.41 2.00 0.00	3.41 2.00 0.00	3.41 2.0	0.00	0.00 0.0	0.00	0.00 0.00 0.00
具について点検を実施	色した。	رّ		]	正規職員分	}	千円	31,320	30,690	30,690	30	,690		0	0
		作		会計	年度任用職	員等·	千円	7,000	8,400	8,400	8	,400		0	0
		事	[	J	人件費計(C	(3)	千円	38,320	39,090	39,090	39	,090		0	0
		(	3米	総事詞	業費(A)+(	(C)	千円	351,122	349,111	371,455	406	,407		0	0
2 評価の部															
(1)全体総括(①事業	(の成果・②	②改革·	改	善•③	3)課題·反省	<b>当点)</b> _		✓ 改善	きや見直しを図	図った 	(2	)事第	ドの方		
※課題の有無 ア:目	目的妥当性	1	:有:	効性	┏ つ :効	率性		工:公平性	オ: そ	その他			3/2/1 3-4		スト
(事業の成果)(改革・改				危険	と診断され	た遊り	具にて	ついては、ク	少数であっ	たが、迅速		一向	削減	組	持 増加
に対応を実施して、安 (課題・反省点) 多様(				/취다	こと伴い、塩		押ルマド	関する両草	が名く生ょ	けらわてむ		向上			
り、特に公園の近隣住									ニル・タヽ可し	C 5/40 (40	厄	<b>划</b>		(	
												<u>持</u> 低			
												予			

## (3)今後の事業の方向性(改革・改善案等)

多様化・高度化する市民ニーズに対応するため、公園の安全かつ快適性を確保する目的から、樹木剪定については、越境枝等の応急的な剪定に対応し、今後、樹木診断等の結果を踏まえながら、危険な樹木や老木化した樹木にも対応していく。また、公園の管理については、市民や事業者との協働の取り組みについて検討する。

(廃止・休止の場合は記入不要)

令和 3 年度事後評価	令和 4	4	丰度 事務	事業	マネシ	ジメン	トシー	<b>卜</b> 令和	11 4 年 6	<u> 3 月作成</u>
事務事業名 公園等管理協力員	事業				所属部	まちづくり	部	課長名	渕上 俊之	<b>さ</b>
政策名 環境・安全					所属課	公園緑地	課	係名	公園係	
施策名 豊かな水と緑の保	全				予算科目	会計 1	款 8	項 3	目 3	事業 2番号 2
基本事業名 公園の維持・管理				<b>も形態</b>	全部	<b>『委託</b>	一部委託	<b>✓</b> 補助・		連携・協働
事業期間 単年度繰返		根拠	都市 小園 》		川市公園	条例 立川	市公園等領	管理協力員	要綱	
昭和46 年度~		去令等								
1 現状把握の部(1)事務事業	■   ● ●	目的		果						
①事業概要	<b>⑤</b> 対象	_			H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
公園を安全で快適に利用する ため、市民と協働で公園を適正	ア委嘱			公園	64		64	64		
に管理する事業である。市民自		N) 3K Z	1.图 奴	五图	04	04	04	04		
らの参加により、公園の巡回、ゴミ清掃、遊具・施設等の点検を	1									
実施し、市は謝礼金を支払う。	ウ									
	<b>⑥活動</b> :	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア委嘱	公園数	<u></u>	公園	45		42	42		
地域の市民が活動する事で美	イ委嘱	人数		人	38	35	37	37		
化意識の向上を図るとともに、利用者の安全を確保する。	ウ			, .						
THE PERK TOO	⑦成果:	北井西		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
@ 44 <b>E</b>	<del> </del>		公園数に対する委		実績	実績	実績	計画	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア場所			%	70.3	62.5	65.6	65.6		
地域の公園として親しみが湧き、良好な維持管理が図れると	1									
ともに利用者の安全確保に繋が	ウ									
る。	(2)事業	<b>⊭</b> ω−	17 K	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	(2) 77	K V / -			実績	実績	実績	計画	計画	計画
④令和3年度実績(事業活動)		財	国庫支出金	千円	0	Ü	0	0	0	_
公園等清掃美化協力員会制度への移行を図るため、公園等管		源	都支出金	千円	0	0	0	0	0	
理協力員の新規の受付をしていないが、休止していた2公園	1	内	地方債 その他	千円	Ü		0		0	
について協力員の復帰があった	事業	訳	一般財源	千円		720	756	774	0	
ため、委嘱公園が42公園となった。	費	3	 事業費計(A)	千円	810	720	756	774	0	
/_0			予算額(B)	千円	828	810	774	_	_	_
		<b>‡</b>	执行率(A)/(B)	%	97.8%	88.9%	97.7%	_	_	_
	2		数(正規   月給   時給)	_ ` `					0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	人		正規職員分	千円	1,440	1,890	1,890	1,890	0	_
	件   費				1 440	1,000	1 000	1 000	0	0
	3:		人件費計(C) 業費(A)+(C)	千円	1,440 2,250	1,890 2,610	1,890 2,646	1,890 2,664	0	
		心于:	未貞(A)干(U)	T 1 J	2,230	2,010	2,040	2,004	0	0
(1)全体総括(①事業の成果・②	2 改革·改	善(	③課題・反省点)		✓ 改善	善や見直しを図	回った	(2)事業	美の方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性	イ:有	効性	✓ ウ:効率性	<b>v</b>	工:公平性	オ:そ	の他		コス	
(事業の成果)(改革・改善) 市目	民との協働	により	)公園を管理して	いくこ	とで、公園	に対しての	美化意識	向	削減 維	持 増加
の向上が図られた。 (課題・反省点) 管理協力員事業	について	は個。	人の活動であるた	きめ、	より多くの市	5民との協信	動及び実質	.     <u> </u>		
的な日常管理に寄与して、経費の	の節減につ	つなが	る公園等清掃美	化協;	力員会制度	をへの移行	を図る必要			
がある。また、公園等管理協力員 容の広報等への掲載や自治会等						るため、制力	支や活動と	低		
	,—		/		ŭ			(肉止,	休止の場合に	ナ記スで悪い
 (3)今後の事業の方向性(改革	1. 改姜安	笙)						()充工. •1	小皿の場合に	ま記八个安)
公園等清掃美化協力員会制度は			民の公園に対する	る美化	意識の向	上を図るた	め、清掃美	化協力員会	会制度への	)移行の
促進を目的としており、より効果的				- / ~ 1 L				.,		12 14 -

令和 3 年度事後評価	<u> </u>	4 1	年度 事務	<u>事業</u>	マネシ	<u> </u>	<u>トシー</u>	<b>卜</b> 令和	和 4 年 (	6 月作成
事務事業名 公園等清掃美化協	岛力員会	事業			所属部	まちづくり	部	課長名	渕上 俊之	Ż
政策名 環境・安全					所属課	公園緑地	課	係名	公園係	
施策名 豊かな水と緑の保	全				予算科目	会計 1	款 8	項 3	目 3	事業 3番号 3
基本事業名 公園の維持・管理				形態	全部	<b>『委託</b>	一部委託	<b>✓</b> 補助・	助成 🗸	連携・協働
事業期間 単年度繰返		根拠	都市公園	去						
平成12 年度~	年度	法令	<b>≠</b>   □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		-	七旦人面	<u>√</u>			
市長公約     主要施策   1 現状把握の部(1)事務事業		- 目的	<sup>→</sup> 立川市公[  •結果•活動•成		押夫化品	刀貝宏要和	<b>问</b>			
①事業概要		象数の			H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
市民が公園を安全で快適に利用するため、市民団体と協働で	_		ループ 開美化協力員会管	公園						
公園を適正に管理する事業で	理	の公園数		公園	75	76	76	76		76
ある。市民自らが参加した団体 により、公園の巡回、ゴミ清掃、	1									
除草、落葉清掃と遊具・施設等	ウ									
の点検を実施し、市は活動費を 支払う。	<b>⑥活</b>	動指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)			· · · · · · · · · · · · · ·	公園	73	71	72	<b>- 田岡</b> 72		76
地域の団体に委嘱する事で、地		の公園数	図 帚美化協力員会数	団体	61	60	61	61		
域の公園としての意識を高め、		双 4.141	一	四件	01	00	01	01		
市民との協働により、公園を良好な状態に維持するため、委嘱	ウ				H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
公園数を増やしていく。	_	果指標		単位	実績	実績	実績	計画	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)		園等清排 の公園道	帚美化協力員会管 <sup>幸成率</sup>	%	97.3	93.4	94.7			100.0
地域の公園として親しみが湧	1									
き、良好な維持管理に繋がる。	ウ									
						50 <del>/</del> #	DO左连	D4左连	DE F E	50 F F
	(2)身	業の	コスト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)	(2) 事		国庫支出金	千円						
協力員会数、委嘱公園数が1公	(2)	財	国庫支出金都支出金	千円 千円	<b>実績</b> 0 0	<b>実績</b> 0 0	<b>実績</b> 0 0	計画 0 0	計画 0 0	計画 0 0
		財源入	国庫支出金 都支出金 地方債	千円 千円 千円	<b>実績</b> 0 0 0	<b>実績</b> 0 0 0	<b>実績</b> 0 0 0	計画 0 0	計画 0 0 0	計画 0 0 0
協力員会数、委嘱公園数が1公	1	財源内訳	国庫支出金 都支出金 地方債 その他	千円 千円 千円 千円	<b>実績</b> 0 0 0 0 0	実績       0       0       0       0       0       0	実績       0       0       0       0       0	計画 0 0 0 0	計画 0 0 0 0	計画 0 0 0 0
協力員会数、委嘱公園数が1公		財源内訳	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源	千円 千円 千円 千円	<b>実績</b> 0 0 0 0 4,851	<b>実績</b> 0 0 0 0 4,820	<b>実績</b> 0 0 0 0 4,835	計画 0 0 0 0 0 4,991	計画 0 0 0 0 0	計画 0 0 0 0 0
協力員会数、委嘱公園数が1公	(1) 事	財源内訳	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A)	千円 千円 千円 千円 千円	<b>実績</b> 0 0 0 0 4,851 4,851	実績 0 0 0 0 4,820 4,820	<b>実績</b> 0 0 0 4,835 4,835	計画 0 0 0 0	計画 0 0 0 0	計画 0 0 0 0 0
協力員会数、委嘱公園数が1公	(1) 事	財源内訳	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B)	千円 千円 千円 千円 千円	<b>実績</b> 0 0 0 4,851 4,851 4,851	<b>実績</b> 0 0 0 4,820 4,820 4,976	<b>実績</b> 0 0 0 4,835 4,835 4,991	計画 0 0 0 0 4,991 4,991 —	計画 0 0 0 0 0	計画 0 0 0 0 0
協力員会数、委嘱公園数が1公	( <u>1</u> 事業 費	財源内訳	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B)	千円 千円 千円 千円 千円 千円	<b>実績</b> 0 0 0 4,851 4,851 100.0%	実績 0 0 0 0 4,820 4,820	実績 0 0 0 4,835 4,835 4,991 96.9%	計画 0 0 0 0 4,991 4,991 —	計画 0 0 0 0 0	計画 0 0 0 0 0 0
協力員会数、委嘱公園数が1公	(1) 事業費	財源内訳	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B)	千円 千円 千円 千円 千円 千円	<b>実績</b> 0 0 0 4,851 4,851 100.0%	### Company of the c	実績       0       0       0       4,835       4,835       4,991       96.9%       0.31     0.00     0.00	計画 0 0 0 4,991 4,991 	計画 0 0 0 0 0 	計画 0 0 0 0 0 0
協力員会数、委嘱公園数が1公	(1)事業費	財源内訳 職 会	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B)	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	実績       0       0       0       0       4,851       4,851       100.0%       0.26     0.00     0.00	実績 0 0 0 4,820 4,820 4,976 96.9%	実績 0 0 0 4,835 4,835 4,991 96.9%	計画 0 0 0 0 4,991 4,991 —	計画 0 0 0 0 0 0 	計画 0 0 0 0 0 0
協力員会数、委嘱公園数が1公	(1) 事業費	財源内訳 職 会	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	実績       0       0       0       4,851       4,851       100.0%       0.26     0.00       2,340	実績       0       0       0       4,820       4,976       96.9%       0.31     0.00       2,790	### Second Seco	# 画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	計画 0 0 0 0 0 0 	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
協力員会数、委嘱公園数が1公園増加した。	(1)事業費	財源内訳職会	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 致(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	実績       0       0       0       0       4,851       4,851       100.0%       0.26     0.00     0.00       2,340       0	実績       0       0       0       4,820       4,876       96.9%       0.31     0.00       2,790       0	実績 0 0 0 4,835 4,835 4,991 96.9% 0.31 0.00 0.00 2,790 0	計画 0 0 0 4,991 4,991 — 0.31 0.00 0.00 2,790 0	計画 0 0 0 0 0 0 	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
協力員会数、委嘱公園数が1公 園増加した。 2 評価の部	(1事業費	財源内訳 職 会 総	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 致(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C)	千円       千円         千円       千円         千円       千円         千円       千円         千円       千円	実績       0       0       0       0       4,851       4,851       100.0%       0,26     0.00       0,23     0.00       2,340     7,191	実績       0       0       0       0       4,820       4,876       96.9%       0.31     0.00       2,790       0       2,790       7,610	実績       0       0       0       4,835       4,835       4,991       96.9%       0.31     0.00       2,790       0       2,790       7,625	#画 0 0 0 4,991 4,991 	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
協力員会数、委嘱公園数が1公園増加した。 2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②	①事業費 ②人件費 ○ 改革・	財源内訳 職 会 参	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 政(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C)	千円       千円         千円       千円         千円       千円         千円       千円         千円       千円	実績	実績 0 0 0 4,820 4,820 4,976 96.9% 0.31 0.00 0.00 2,790 0 7,610	実績	#画 0 0 0 4,991 4,991 	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
協力員会数、委嘱公園数が1公園増加した。 ② 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合に・) ア:目的妥当性	(1事業費 (2人件費 (2) (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	財源内訳 職 会 総 善 効 性	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 強数に規1月給1時給) 正規職員分 年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C)	千円       千円         千円       千円         千円       千円         千円       千円         千円       千円	実績	実績	実績	計画 0 0 0 4,991 4,991 0.31 0.00 0.00 2,790 0 2,790 7,781	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	計画
協力員会数、委嘱公園数が1公園増加した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 (課題がある場合にマンア:目的妥当性 (事業の成果)(改革・改善)市民 識の向上がより一層図られた。	(1事業費 (2)件費 (1) (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	財源内訳 職 会 総 善 効働	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 強数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) 3)課題・反省点) レウ:効率性 により公園を管理	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	実績 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	実績	実績	計画 0 0 0 4,991 4,991 0.31 0.00 0.00 2,790 0 2,790 7,781	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
協力員会数、委嘱公園数が1公園増加した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 (課題がある場合にマン) ア:目的妥当性 (事業の成果)(改革・改善) 市民 識の向上がより一層図られた。 (課題・反省点) 構成員の高齢化	(1事業費 (2)人件費 (で) 本 イ と な	財源内訳 職 会 総 善 対 働 力	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 強数证規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) 3)課題・反省点) により公園を管理	千千千千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千	実績	実績	実績	計画	計画	計画
協力員会数、委嘱公園数が1公園増加した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 (課題がある場合にマンア:目的妥当性 (事業の成果)(改革・改善)市民 識の向上がより一層図られた。	(1事業費 (2)人件費 (では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	財源内訳	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 強数证規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) 3)課題・反省点) により公園を管理	千千千千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千	実績	実績	実績	The state of th	計画	計画
協力員会数、委嘱公園数が1公園増加した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 (課題がある場合にン)ア:目的妥当性 (事業の成果)(改革・改善)市民 識の向上がより一層図られた。 (課題・反省点)構成員の高齢化 ついて新規登録があり、委嘱公園	(1事業費 (2)人件費 (では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	財源内訳	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 強数证規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) 3)課題・反省点) により公園を管理	千千千千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千	実績	実績	実績	The state of th	計画	計画
協力員会数、委嘱公園数が1公園増加した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 (課題がある場合にン)ア:目的妥当性 (事業の成果)(改革・改善)市民 識の向上がより一層図られた。 (課題・反省点)構成員の高齢化 ついて新規登録があり、委嘱公園	(1事業費 (2)人件費 (では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	財源内訳	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 強数证規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) 3)課題・反省点) により公園を管理	千千千千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千	実績	実績	実績	The state of th	計画	計画
協力員会数、委嘱公園数が1公園増加した。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 (課題がある場合に) ア:目的妥当性 (事業の成果)(改革・改善) 市民識の向上がより一層図られた。(課題・反省点) 構成員の高齢化ついて新規登録があり、委嘱公園・公工のでは、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、	① <b>す</b> 著 <b>② 人</b> 件 <b>書</b> ( ② <b>人</b> 件 <b>書</b> ( ② <b>人</b> 件 <b>書</b> ( ② <b>し</b> が 数 を を が 3 が 2 が 3 が 4 と の な 3 が 4 と の な 3 が 5 で	<b>財源内訳</b>   <b>職</b>   <b>会</b>   総	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 強数证規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) 3)課題・反省点) により公園を管理	千千千千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千	実績	実績	実績	The state of th	計画	計画

動について広報等に掲載しPRを行う。

令和 3 年度事後評価	<u>令和 4</u>	4 年度	事務	事業	マネシ	<u> ジメン</u>	<u>トシー</u>	<b>卜</b> 令和	11 4 年 6	6 月作成
事務事業名 立川公園整備					所属部	まちづくり	部	課長名	渕上 俊志	さ
政策名 環境・安全					所属課	公園緑地	課	係名	緑化推進	
施策名 豊かな水と緑の保	全				予算科目	会計 1	款 8	項 3	目 3	事業 4番号 4
基本事業名公園の維持・管理			(複数	<b>西形態</b> <sub>選択可)</sub>		『委託 ●		補助・	助成	連携•協働
事業期間 期間限定複数年度 平成8 年度~		根拠	都市計画活立川市公園					口温ルの甘	*淮1ヶ間十、	フタ 周
市長公約 主要施策	年度	去令等	五川山公園	<b>副采り</b>	17、五川田3	公園にわり	の修期寺!	5.何化の基	等に関する	の采例
1 現状把握の部 (1)事務事業	美の概要・	目的·結果	·活動·成:	果						
①事業概要 豊かな自然、多目的に利用でき	<b>⑤</b> 対象	数の推移		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
るスポーツ施設等、市を代表す	ア用地球	 取得残面積		m²	2,452	1,845	1,401	1,401		
る総合公園として事業を進め る。根川緑道のせせらぎを存続	イ整備を	対象残面積		m²	2,740	2,740	2,740	2,740		
させる。事業認可区域の用地管	ウ				,	,	,	,		
理を行う。		+比+而		** / <b>T</b>	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	⑥活動			単位	実績	実績	実績	計画	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア用地			m²	288	607	444	0		
立川公園内を崖線の緑や湧水、柴崎用水路を活かした保全		アショップ 説明会開催		□	0	0	0			
と整備を行い、豊かな水と緑を	ウ整備	面積		m²	0	0	0	0		
次世代に継承する。	⑦成果:	 指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア用地球	 取得面積(累	(計)	m²	2,356		3,407	3,407	- 11 11	1111
公園整備により、安全安心でや	イ整備	対象面積(累	(計)	m²	15,454	15,454	15,454	15,454		
すらぎを感じることができる憩い の場所となる。	ウ									
3,3,7,1,2, 3, 3, 3, 3, 3, 3, 3, 3, 3, 3, 3, 3, 3,						D0/F#	50左击	D.4 5 5	DE #= #	D0/F #
	(2)事業	業のコスト		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)			庫支出金	千円	9,000	22,900	22,640	9,900	0	0
・土地鑑定(6~8月) ・用地買収(10月)		酒	#支出金	千円	17,000	35,016	17,777	0	0	_
·事業用地管理委託(12~1月、	1	内	地方債	千円	0	0	0	0	0	
1~3月)   ·根川緑道改修工事設計委託	事業	н ч	その他 - 般財源	千円			0 81,547	102,410	0	
(令和2年10月~令和3年12月)	費			<u>'''</u> 千円		·	121,964	112,310	0	
•価格等特別調査委託(12~3 月)			額(B)	千円	67,208		124,768	_	_	_
		執行率	(A)/(B)	%	95.9%	88.3%	97.8%	_		
	2		規 月給 時給)	, ,		0.44 0.00 0.00				
	人件		職員分 (5円職品等	千円	4,860	3,960	5,580	5,580	0	_
	費		任用職員等 費計(C)	千円	4,860	3,960	5,580	5,580	0	0
	(3) <sub>i</sub>	総事業費の		<u>- ' ' '</u> 千円	69,314	116,826	127,544	117,890	0	
2 評価の部						,==0	, 1	,		
(1)全体総括(①事業の成果・②			_			きや見直しを図 		(2)事業	きの方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性					エ:公平性					スト 持 増加
(事業の成果)平成30年度に立川 の買戻しを完了した。未整備区域								、	17.1//5 小正	10 200
共下水道立川単独処理区の編別め、循環式によるせせらぎ水の供								`  <u> </u> 上  成 維		
ん定の要望があり、高木4本をせ		C JV·C取	.pl で11つ/こ	。ず未	ミ/口 エピマン 19年	女地圧以ん	コンロントで	成維果持		
								低下		
								(廃止・	休止の場合は	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革			-1 =1 > 1 - 1	[++ →×/· ·	. Z=> != ::	1 & =		,	A T = -	<del>-</del> - 1.111
水田管理に必要な施設について 市公共下水道立川単独処理区の										
等設置工事を行う。	- Artines			, .	_ 2. , 3. 4	. ,	1			

令和 3 年度事後評価	<u>令和 </u>	4 年[	度 事務	<u>事業</u>	マネシ	ジメン	<u>トシー</u>	<u>ト</u> 令和	11 4 年 6	月作成
事務事業名川越道緑地整備					所属部	まちづくり	部	課長名	渕上 俊之	<u></u>
政策名 環境・安全					所属課	公園緑地	課	係名	緑化推進	
施策名 豊かな水と緑の保	<u>全</u>				予算科目	会計 1	款 8	項 3	目 3	事業 番号 5
基本事業名公園の維持・管理			実施	地形態 (選択可)	全部	『委託	一部委託	補助・	助成	連携•協働
事業期間 期間限定複数年度		根拠				都市緑地			· \45 \ - FF \ 5 \	- # Fel
平成23 年度~ 市長公約 主要施策		去令等	立川市公園	園条例	1、立川市4	公園におけ	る移動等円	引滑化の基	準に関する	5条例
	 Eの概要・	目的・結	<u></u> 果·活動·成﹕	 果						J
①事業概要		数の推利		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
国分寺崖線上に都市計画決定された緑地の用地確保を進め		取得残面		m²	807					
る。優先整備区域の変更と事業		以守/ <b>次</b> 山	種	III	001	2,647	2,147	2,147		
認可変更により用地取得を進める。	イ									
, o	ウ									
	<b>⑥活動</b> :	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア用地理	<b>上</b>		m²	<b>大</b> 根		500	<u> </u>		пы
樹林地を保全し市民に親しまれ		17.17		111	Ĭ					
る緑地とする。災害時等のオー	1									
プンスペースとして活用する。	ウ									
	⑦成果:	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア用地	取得面積	(累計)	m²	1,653		2,153	2,153		n E
緑地整備により、身近に緑を感		1/1.1	() (    1 / 1	-	-,	=,	=,	-,		
じることができる憩いの場所とな	1									
<b>්</b>	ウ		_							
	(2)事業	業のコス	-  -	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
					一大市	一天市	一大水道			
④令和3年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	<b>夫</b> 根 ()	<b>天</b> 根 ()	24,640	0	0	0
·土地鑑定(6~8月)		財	国庫支出金都支出金	千円						
・土地鑑定(6~8月) ・事業用地管理委託(5月、8月、		財源			0	0	24,640	0	0	0
·土地鑑定(6~8月)	① 事	財	都支出金	千円	0 0	0 0	24,640 28,300 0	0	0 0	0
・土地鑑定(6~8月) ・事業用地管理委託(5月、8月、 10月、2~3月)	事業	財源一内	都支出金 地方債	千円 千円	0 0 0	0 0	24,640 28,300 0	0 0	0 0	0 0
・土地鑑定(6~8月) ・事業用地管理委託(5月、8月、 10月、2~3月)	事	財 源 内 訳	都支出金 地方債 その他	千円 千円 千円	0 0 0	0 0 0	24,640 28,300 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0
・土地鑑定(6~8月) ・事業用地管理委託(5月、8月、 10月、2~3月)	事業	財源内訳事業	都支出金 地方債 その他 一般財源	千円 千円 千円 千円	0 0 0 0 0 277	0 0 0 0 3,129	24,640 28,300 0 0 40,538	0 0 0 0 790	0 0 0 0	0 0 0 0
・土地鑑定(6~8月) ・事業用地管理委託(5月、8月、 10月、2~3月)	事業	財源内訳事業予	都支出金 地方債 その他 一般財源 養費計(A) 算額(B) 下率(A)/(B)	千円 千円 千円 千円 千円	0 0 0 0 277 277 325 85.2%	0 0 0 0 3,129 3,129 3,489 89.7%	24,640 28,300 0 0 40,538 93,478 93,480 100.0%	0 0 0 0 790 790 —	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0
・土地鑑定(6~8月) ・事業用地管理委託(5月、8月、 10月、2~3月)	事業	財源内訳事業予執行職員数	都支出金 地方債 その他 一般財源 養費計(A) 算額(B) 事率(A)/(B)	千円 千円 千円 千円 千円 千円	0 0 0 0 277 277 325 85.2%	0 0 0 3,129 3,129 3,489 89.7%	24,640 28,300 0 0 40,538 93,478 93,480 100.0%	0 0 0 790 790 — 0.12 0.00 0.00	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 
・土地鑑定(6~8月) ・事業用地管理委託(5月、8月、 10月、2~3月)	事業費    ②人	財源内訳事予執行職員数に正規	都支出金 地方債 その他 一般財源 養費計(A) 算額(B) 下率(A)/(B) (正規   月給   時給) 現職員分	千円 千円 千円 千円 千円 千円 % 人	0 0 0 0 277 277 325 85.2% 0.07 0.00 0.00	0 0 0 0 3,129 3,129 3,489 89.7% 0.17 0.00 0.00 1,530	24,640 28,300 0 0 40,538 93,478 93,480 100.0% 0.26 0.00 0.00 2,340	0 0 0 790 790 — 0.12 0.00 0.00	0 0 0 0 0 0 0 	0 0 0 0 0 0 
・土地鑑定(6~8月) ・事業用地管理委託(5月、8月、 10月、2~3月)	事業費    ②人件	財源内訳事業予執行職員工具会計年	都支出金 地方債 その他 一般財源 養費計(A) 算額(B) 事率(A)/(B) (正規   月給   時給) 現職員分 度任用職員等	千円 千円 千円 千円 千円 4 千円 千円 千円	0 0 0 277 277 325 85.2% 0.07 0.00 0.00 630	0 0 0 3,129 3,129 3,489 89.7% 0.17 0.00 0.00 1,530	24,640 28,300 0 0 40,538 93,478 93,480 100.0% 0.26 0.00 0.00 2,340	0 0 0 790 790 — 0.12 0.00 0.00 1,080	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 
・土地鑑定(6~8月) ・事業用地管理委託(5月、8月、 10月、2~3月)	事業費②人件費	財源内訳事予行職員工法会計年月	都支出金 地方債 その他 一般財源 養費計(A) 算額(B) (薬(A)/(B) (正規   月給   時給) 現職員分 度任用職員等 井費計(C)	千円 千円 千円 千円 % 人 千円 千円	0 0 0 0 277 277 325 85.2% 0.07 0.00 0.00 630 0	0 0 0 3,129 3,129 3,489 89.7% 0.17 0.00 0.00 1,530 0	24,640 28,300 0 0 40,538 93,478 93,480 100.0% 0.26 0.00 0.00 2,340 0 2,340	0 0 0 790 790 — 0.12 0.00 0.00 1,080	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0  0.00 0.00 0.00 0.00
•土地鑑定(6~8月) •事業用地管理委託(5月、8月、 10月、2~3月) •用地買収(10月)	事業費②人件費	財源内訳事予行職員工法会計年月	都支出金 地方債 その他 一般財源 養費計(A) 算額(B) 事率(A)/(B) (正規   月給   時給) 現職員分 度任用職員等	千円 千円 千円 千円 千円 4 千円 千円 千円	0 0 0 277 277 325 85.2% 0.07 0.00 0.00 630	0 0 0 3,129 3,129 3,489 89.7% 0.17 0.00 0.00 1,530	24,640 28,300 0 0 40,538 93,478 93,480 100.0% 0.26 0.00 0.00 2,340	0 0 0 790 790 — 0.12 0.00 0.00 1,080	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 
・土地鑑定(6~8月) ・事業用地管理委託(5月、8月、 10月、2~3月)	事業費   ②人件費  ③	財源内訳事予執数正年所会計年所後	都支出金 地方債 その他 一般財源 養費計(A) 算額(B) 事率(A)/(B) (正規   月給   時給) 現職員分 度任用職員等 +費計(C) 費(A)+(C)	千円         千円         千円         千円         %         人円         千円         千円	0 0 0 277 277 325 85.2% 0.07 0.00 0.00 630 0 907	0 0 0 3,129 3,129 3,489 89.7% 0.17 0.00 0.00 1,530 0	24,640 28,300 0 40,538 93,478 93,480 100.0% 0.26 0.00 0.00 2,340 0 2,340 95,818	0 0 0 790 790 — 0.12 0.00 0.00 1,080 0 1,870	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0  0.00 0.00 0.00 0.00
・土地鑑定(6~8月) ・事業用地管理委託(5月、8月、 10月、2~3月) ・用地買収(10月)	事業費 ②人件費 ③ 改革・改	財源内訳 事 予 行 職員 正年 作 人業 書・③ 調	都支出金 地方債 その他 一般財源 養計(A) 算額(B) 率(A)/(B) (正規   月給   時給) 現職員分 度任用職員等 ‡費計(C) 費(A)+(C)	千円       千円         千円       千円         千円       千円         千円       千円	0 0 0 277 277 325 85.2% 0.07 0.00 0.00 630 0 907	0 0 0 3,129 3,129 3,489 89.7% 0.17 0.00 0.00 1,530 0 4,659	24,640 28,300 0 40,538 93,478 93,480 100.0% 0.26 0.00 0.00 2,340 0 2,340 95,818	0 0 0 790 790 — 0.12 0.00 0.00 1,080 0 1,870	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
<ul> <li>・土地鑑定(6~8月)</li> <li>・事業用地管理委託(5月、8月、10月、2~3月)</li> <li>・用地買収(10月)</li> </ul> 2 評価の部	事業費 ②人件費 ③ 改 本・イ: 右 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で	財源内訳事予行職員計年任代書	都支出金 地方債 その他 一般財源 養費計(A) 算額(B) 「率(A)/(B) に理規   月給   時給) 現職員分 度任用職員等 ‡費計(C) 費(A)+(C)	千円 千円 千円 千円 % 人 千千円 千円	0 0 0 277 277 325 85.2% 0.07 0.00 0.00 630 907 改善	0 0 0 3,129 3,129 3,489 89.7% 0.17 0.00 0.00 1,530 0 1,530 4,659	24,640 28,300 0 0 40,538 93,478 93,480 100.0% 0.26 0.00 0.00 2,340 0 2,340 95,818	0 0 0 790 790 ——————————————————————————	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 
・土地鑑定(6~8月) ・事業用地管理委託(5月、8月、10月、2~3月) ・用地買収(10月)  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 ア:目的妥当性 (課題がある場合にマ)	事業費     ②人件費       ③       され       市土地開	財源內訳 事 予 行 職 計 上 年 代 書 ・	都支出金 地方債 その他 一般財源 費計(A) 算額(B) 言率(A)/(B) 促規   月給   時給) 現職員分 度任用職員等 ‡費計(C) 費(A)+(C) 課題・反省点) で、効率性 び、先行取得した	千円 千円 千円 千円 % 人 千千円 千円	0 0 0 277 277 325 85.2% 0.07 0.00 0.00 630 907 改善	0 0 0 3,129 3,129 3,489 89.7% 0.17 0.00 0.00 1,530 0 1,530 4,659	24,640 28,300 0 0 40,538 93,478 93,480 100.0% 0.26 0.00 0.00 2,340 0 2,340 95,818	0 0 0 790 790 ——————————————————————————	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 
・土地鑑定(6~8月) ・事業用地管理委託(5月、8月、10月、2~3月) ・用地買収(10月)  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 (課題がある場合に)・ア:目的妥当性 (事業の成果)平成28年度に立川	事業費     ②人件費       ③       され       市土地開	財源內訳 事 予 行 職 計 上 年 代 書 ・	都支出金 地方債 その他 一般財源 費計(A) 算額(B) 言率(A)/(B) 促規   月給   時給) 現職員分 度任用職員等 ‡費計(C) 費(A)+(C) 課題・反省点) で、効率性 び、先行取得した	千円 千円 千円 千円 % 人 千千円 千円	0 0 0 277 277 325 85.2% 0.07 0.00 0.00 630 907 改善	0 0 0 3,129 3,129 3,489 89.7% 0.17 0.00 0.00 1,530 0 1,530 4,659	24,640 28,300 0 0 40,538 93,478 93,480 100.0% 0.26 0.00 0.00 2,340 0 2,340 95,818	0 0 0 790 790 	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
・土地鑑定(6~8月) ・事業用地管理委託(5月、8月、10月、2~3月) ・用地買収(10月)  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 ア:目的妥当性 (事業の成果)平成28年度に立川	事業費     ②人件費       ③       され       市土地開	財源內訳 事 予 行 職 計 上 年 代 書 ・	都支出金 地方債 その他 一般財源 費計(A) 算額(B) 言率(A)/(B) 促規   月給   時給) 現職員分 度任用職員等 ‡費計(C) 費(A)+(C) 課題・反省点) で、効率性 び、先行取得した	千円 千円 千円 千円 % 人 千千円 千円	0 0 0 277 277 325 85.2% 0.07 0.00 0.00 630 907 改善	0 0 0 3,129 3,129 3,489 89.7% 0.17 0.00 0.00 1,530 0 1,530 4,659	24,640 28,300 0 0 40,538 93,478 93,480 100.0% 0.26 0.00 0.00 2,340 0 2,340 95,818	0 0 0 790 790 790 1,080 0 1,080 1,870	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
・土地鑑定(6~8月) ・事業用地管理委託(5月、8月、10月、2~3月) ・用地買収(10月)  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 ア:目的妥当性 (事業の成果)平成28年度に立川	事業費     ②人件費       ③       され       市土地開	財源內訳 事 予 行 職 計 上 年 代 書 ・	都支出金 地方債 その他 一般財源 費計(A) 算額(B) 言率(A)/(B) 促規   月給   時給) 現職員分 度任用職員等 ‡費計(C) 費(A)+(C) 課題・反省点) で、効率性 び、先行取得した	千円 千円 千円 千円 % 人 千千円 千円	0 0 0 277 277 325 85.2% 0.07 0.00 0.00 630 907 改善	0 0 0 3,129 3,129 3,489 89.7% 0.17 0.00 0.00 1,530 0 1,530 4,659	24,640 28,300 0 0 40,538 93,478 93,480 100.0% 0.26 0.00 0.00 2,340 0 2,340 95,818	0 0 0 790 790 	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
・土地鑑定(6~8月) ・事業用地管理委託(5月、8月、10月、2~3月) ・用地買収(10月)  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 ア:目的妥当性 (事業の成果)平成28年度に立川	事業費     ②人件費       ③       され       市土地開	財源內訳 事 予 行 職 計 上 年 代 書 ・	都支出金 地方債 その他 一般財源 費計(A) 算額(B) 言率(A)/(B) 促規   月給   時給) 現職員分 度任用職員等 ‡費計(C) 費(A)+(C) 課題・反省点) で、効率性 び、先行取得した	千円 千円 千円 千円 % 人 千千円 千円	0 0 0 277 277 325 85.2% 0.07 0.00 0.00 630 907 改善	0 0 0 3,129 3,129 3,489 89.7% 0.17 0.00 0.00 1,530 0 1,530 4,659	24,640 28,300 0 0 40,538 93,478 93,480 100.0% 0.26 0.00 0.00 2,340 0 2,340 95,818	0 0 0 790 790  0.12 0.00 0.00 1,080 1,080 1,870 (2)事業   (2)事業	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
・土地鑑定(6~8月) ・事業用地管理委託(5月、8月、10月、2~3月) ・用地買収(10月)  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 (課題がある場合に)・ア:目的妥当性 (事業の成果)平成28年度に立川	事業費 ②人件費 ③i む オ: 市土地を行い は 対 りを 行い は 対 り を 行い は 対 は 対 は 対 は 対 は 対 は 対 は 対 は 対 は 対 は	財源内訳 事 予 行 職 会 事 ・ ③ L 社正 を	都支出金 地方債 その他 一般財源 費計(A) 算額(B) 言率(A)/(B) 促規   月給   時給) 現職員分 度任用職員等 ‡費計(C) 費(A)+(C) 課題・反省点) で、効率性 び、先行取得した	千円 千円 千円 千円 % 人 千千円 千円	0 0 0 277 277 325 85.2% 0.07 0.00 0.00 630 907 改善	0 0 0 3,129 3,129 3,489 89.7% 0.17 0.00 0.00 1,530 0 1,530 4,659	24,640 28,300 0 0 40,538 93,478 93,480 100.0% 0.26 0.00 0.00 2,340 0 2,340 95,818	0 0 0 790 790  0.12 0.00 0.00 1,080 1,080 1,870 (2)事業   (2)事業	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
<ul> <li>・土地鑑定(6~8月)</li> <li>・事業用地管理委託(5月、8月、10月、2~3月)</li> <li>・用地買収(10月)</li> <li>(1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 (課題がある場合に))</li> <li>(事業の成果)平成28年度に立川整備区域の樹木のせん定及び草</li> <li>(3)今後の事業の方向性(改革国分寺崖線上に都市計画決定さ</li> </ul>	事業費     ②人件費     ③       立     立     立       本・イ・地行     ・       を     本・イ・地行       本・イ・地行     ・       会     本・イ・地行       本・イ・地行     ・       本・イ・地行     ・       会     ・       本・イ・地行     ・       本・イ・地行     ・       本・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス	財源内訳事予行数は一条である。	都支出金 地方債 その他 一般財源 養費計(A) 算額(B) 下率(A)/(B) (正規   月給   時給) 現 任 開 (C) 提 (A)+(C) 課題・反 効 等性 が 先持した。	千千千千, 千千千千, 千千千千, 十千千千, 十二十, 十二十, 十二十, 十	の の 0 277 277 325 85.2% 0.07 0.00 0.00 630 907 □ 改善 エ:公平性[	0 0 0 3,129 3,129 3,489 89.7% 0.17 0.00 0.00 1,530 0 1,530 4,659 まや見直しを図 オ:そ 買戻しを完	24,640 28,300 0 0 40,538 93,478 93,480 100.0% 0.26 0.00 0.00 2,340 0 2,340 95,818 引った の他	0 0 0 790 790 790 1,080 0 1,080 1,870 (2)事業 (2)事業 (産止・何	の 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	000000000000000000000000000000000000
・土地鑑定(6~8月) ・事業用地管理委託(5月、8月、10月、2~3月) ・用地買収(10月)  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 課題がある場合に) ア:目的妥当性 (事業の成果)平成28年度に立川整備区域の樹木のせん定及び草	事業費     ②人件費     ③       立     立     立       本・イ・地行     ・       を     本・イ・地行       本・イ・地行     ・       会     本・イ・地行       本・イ・地行     ・       本・イ・地行     ・       会     ・       本・イ・地行     ・       本・イ・地行     ・       本・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス	財源内訳事予行数は一条である。	都支出金 地方債 その他 一般財源 養費計(A) 算額(B) 下率(A)/(B) (正規   月給   時給) 現 任 開 (C) 提 (A)+(C) 課題・反 効 等性 が 先持した。	千千千千, 千千千千, 千千千千, 十千千千, 十二十, 十二十, 十二十, 十	の の 0 277 277 325 85.2% 0.07 0.00 0.00 630 907 □ 改善 エ:公平性[	0 0 0 3,129 3,129 3,489 89.7% 0.17 0.00 0.00 1,530 0 1,530 4,659 まや見直しを図 オ:そ 買戻しを完	24,640 28,300 0 0 40,538 93,478 93,480 100.0% 0.26 0.00 0.00 2,340 0 2,340 95,818 引った つの他	0 0 0 790 790 790 1,080 0 1,080 1,870 (2)事業 (2)事業 (産止・何	の 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

令和 3 年度事後評価	<u> 行和</u>	<u> </u>	牛皮	<u> 争務</u>	事業	マイン	<u> ノメン</u>	トンー	<b>卜</b> 令	11 4 年 6	6 月作成
事務事業名 泉町西公園整備						所属部	まちづくり	部	課長名	渕上 俊素	之
政策名 環境・安全						所属課	公園緑地	課	係名	緑化推進	係
施策名 豊かな水と緑の保金	全					予算科目	会計 1	款 8	項 3	目 3	事業 6番号 6
基本事業名公園の維持・管理					<b>も形態</b>	全部	『委託 6	/ 一部委託	補助・	助成	連携・協働
事業期間		±Ε	<del></del> 艮拠	土地区画	整理法			公園法、都			
平成26 年度~	年度		令等	立川市公園	園条例	1、立川市2	公園におけ	る移動等	円滑化の基	準に関する	る条例
市長公約   主要施策   1 現状把握の部(1)事務事業	きの畑.			. 洋動. 武	<b>B</b>						
1 現代に催め品(リ事務事業				- /白 到 - 八八		山红左曲	DO左连	DO左连	D4左连	DE左连	DC左曲
立川基地跡地の4haを公園整	(S) X·]	豕	の推移		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
備し、残堀川憩いの水辺や昭和 記念公園と連携した水と緑の	ア黙	修備対象	象残面積	(立川市)	m²	24,479	24,479	24,479	24,479		
ネットワークを形成する。また、	1										
災害時に活用する防火貯水槽 を設置する。独立行政法人都市	ゥ										
再生機構(UR)が1.5ha、立川市		壬4.+比	.4m		** \T	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
が2.5haを整備する。		動指			単位	実績	実績	実績	計画	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア整	修備面積	積(立川市	i)	m²	0	0	0	0		
泉町西公園を地区公園として、 公園施設の充実を図るとともに	<b>1</b> 7	ークシ	/ョップ又に	 は説明会	口	0	3	3			
豊かな緑を次世代に継承する。	ウ										
	⑦成	果指	標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア整	修備面積	積累計		m²	15,730			15,730		
公園整備により、安全安心でや	1										
すらぎを感じることができる憩い の場所となる。	ゥ										
v)m))になる。	.)										
	(2)	事業の	のコスト		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)				庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
猛禽類調査(令和3年3月から7	-		財者	『支出金	千円	0	0	0	0	0	0
月) 不発弾調査委託(7月から11月)	(		源 ├── <sup>─</sup> 内	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
整備工事(1月から3月)	-	事 ;	訳	その他	千円	0	0	0	0	0	0
		業費	_	-般財源	千円	30,527	31,051	28,176	23,867	0	0
				量計(A)	千円	30,527	31,051	28,176	23,867	0	0
	-			額(B)	千円	40,005		,		_	
		-		(A)/(B)	%	76.3%	90.9%	75.0%	_	_	_
,				見 月給   時給)			0.80 0.00 0.00			0.00 0.00 0.00	
		人   件   <sub>全</sub>		戦員分 エ田聯昌等	千円	7,200	7,200	·	7,560	0	0
		費		壬用職員等 B 計(C)		7 200	7 200	ű	7 560	0	0
				き計(C) (A)+(C)	千円	7,200 37,727	7,200 38,251	6,300 34,476	7,560 31,427	0	0
		心心	中未頁(	A) T (U)	1-4	31,141	30,231	34,470	31,447	U	0
(1)全体総括(①事業の成果・②	②改革	·改善	<b>善③課</b> 是	<b>重·</b> 反省点)		改善	きや見直しを図	図った	(2)事業	美の方針	
※課題の有無 (課題がある場合にマ)	V 1	亻:有效	<b>力性</b>	ウ:効率性		エ:公平性	オ:そ	の他			スト
(事業の成果)不発弾調査を実施し										削減維	持増加
猛禽類調査を実施して、環境への	り影響					よどを実施	し、整備ま	での維持を	·       向     上		
			マツ 金畑(			<u>'</u>	<b>海州</b> 升升	が脚小って	成維		
行った。必要最低限の樹木伐採り	こ留め		施設につ	いて、施設	整備	別に官埋•∶	理呂刀伝を	ど登理りる	120111	(	)
行った。必要最低限の樹木伐採り (課題・反省点)ワークショップで要	こ留め		施設につ	いて、施設	(整備)	則に官埋•	<b>連呂力伝</b> ?	ど登珪りる	成 維 持 任		
行った。必要最低限の樹木伐採り (課題・反省点)ワークショップで要	こ留め		施設につ	いて、施設	(整備)	削に官埋•∶	<b>連</b> 呂刀伝?	ど登理りる	果佐下		
行った。必要最低限の樹木伐採(課題・反省点)ワークショップで要必要がある。	こ留め 望のあ	かった		いて、施設	·整備	明に官理・	<b>理</b> 呂 <i>万伝</i> を	で登垤りる	低   下	木止の場合は	
行った。必要最低限の樹木伐採り(課題・反省点)ワークショップで要必要がある。 (3)今後の事業の方向性(改革整備に向けて樹木伐根やコンクリ	<ul><li>ご望のあ</li><li>□ 改善</li></ul>	条案等	·)						(廃止・	休止の場合は	は記入不要)

令和 3 年度事後評価	令和	和 4	4 <u></u> 左	F度 事務	<u>事業</u>	マネシ	<u> ブメン</u>	トシ <u>ー</u>	<u>ト</u> 令	和 4 年 6	6 <u>月作成</u>
事務事業名 見影橋公園整備						所属部	まちづくり	部	課長名	渕上 俊志	<u>ー</u> さ
政策名 環境・安全						所属課	公園緑地	課	係名	緑化推進	係
施策名 豊かな水と緑の保	:全					予算科目	会計 1	款 8	項 3	目 3	事業 8番号 8
基本事業名公園の維持管理					<b>を形態</b>	全音	耶委託 6	一部委託	補助・	助成	連携·協働
事業期間 期間限定複数年度 令和3年度~	<b></b>		根拠	都市計画流	法、都市		、都市緑地 公園におけ		 円滑化の基	準に関す	る条例
市長公約 主要施策 主要施策 主要施策	<del>#</del> ህ #				<b>=</b>						
1 現状把握の部 (1)事務事業 ①事業概要			<del>日的・</del> 数の扌			H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
都市計画決定された事業用地の確保と整備を進める。			取得残		m²		112712	9,040	9,040		NOTIZ
S Property Calaborate Co. C.			対象残		m²						
		整/////////////////////////////////////	可象/次	‡囬碩	m	_	_	9,040	9,040		
	ウ					H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		活動			単位	実績	実績	実績	計画	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)		用地耳			m²	_	_	0	0		
運動ができる公園として地域に利用され、公園利用者のための	111		クショッ 説明会		口	_	<u> </u>	0	0		
駐車場を整備することで利便性		整備回			m²	_	_	0	0		
を高める。	7	成果	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア	用地」	 取得面		m²	大假 —	<b>大</b> 根	<b>大</b> 根 ()	0		日四
公園整備により、安全安心でや	1	整備	 対象面		m²	_		0	0		
すらぎを感じることができる憩いの場所となる。	ウ		14 24	TIPOZNE IZ							
(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)											
	(2	)事業	業のコ	スト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)	4		-		千円	0		0	0	0	_
・測量委託(4~5月) ・事業認可(5月)			財源	都支出金	千円	0		0	0	0	·
•土地鑑定(5~7月)		1	内	地方債	千円	0			0	0	
		事業	訳		千円	0			_		
		費	E	一般財源	千円	0		-,	·		Ŭ
				事業費計(A)	千円	0		1,810	2,795	0	0
				予算額(B) + 行來(A)/(B)	千円	0	0	-,			
			-	执行率(A)/(B) .数(正規   月給   時給)	% 人 (	2 00 0 00 0 00	0.00 0.00 0.00	100.0%	0.17 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	2 00 00 0 0
		2		·数(正規   月給   時給) 正規職員分	千円	0.00 0.00 0.00		2,430	1,530	0.00 0.00 0.00	
		人件		正况概員力 年度任用職員等		0	0	2,430	1,550	0	0
		費		大件費計(C)	千円	0	_	2,430	1,530	0	
		(3)			千円	0		4,240	4,325	0	
2 評価の部	, r										
(1)全体総括(①事業の成果・(※課題の有無 マストロのボンド				<u></u>			唇や見直しを図 ┏━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━		(2)事業	美の方針 「一つっっっっっっっっっっっっっっっっっっっっっっっっっっっっっっっっっっっっ	スト
※課題の有無 ア:目的妥当性							オ:そ 7得〕た	の他	4		<u>へに</u> 持 増加
	01-0	ハニナ		北第1年/パケール・コマー	) (ボリロ	1.33Na∵ 4x	は付した。		向	111/1/24	13   1
(事業の成果)事業認可面積約0	).9ha6	のうち	V, <u>Т</u> .Д								
	).9ha¢	のうち	) <b>、</b> 上月						上		_
	).9ha6	のうち	о <b>、</b>						上 成 排 果		
	).9ha¢	のうち	O、 <u>↓</u>	E//1/12 24 (2.1.1.4.6.6.7.)					果 <u> 持</u>  低	(	)
	).9ha¢	のうち	O、 H	E////2 24   E1(=& >					果 <u> 持</u> 低 下	休止の場合に	
				2000					果 <u> 持</u> 低 下		

|用地管理のための草刈り等を行う。

事務事業名 曙三東第二公園(化		<u> </u>	年度 事務	尹未	: \ <u>1 \</u>	/ <u>/                                  </u>	ト <u>ン</u> 一	<b>卜</b>	和 4 年 6	6 月 <u>作成</u>
尹份尹未石  喏二凩另一公風(1	 反称)整(	—— 浦			所属部	まちづくり	部		渕上 俊素	
政策名 環境·安全					所属課	公園緑地	課	係名	緑化推進	係
施策名 豊かな水と緑の保金	<del>全</del>				予算科目	会計 1	款 8	項 3	目 3	事業 7 番号 7
基本事業名公園の維持・管理				<b>も形態</b>	全音	『委託 6	/ 一部委託	補助・		連携・協働
事業期間期間限定複数年度	年度	根拠	都市計画			・ 新市緑地 公園におけ	━ 法 トる移動等P	 日滑化の基	準に関する	る条例
市長公約 主要施策		法令	寺	, , , , ,				*	* * * *	<b>9</b>
1 現状把握の部(1)事務事業										
① <b>事業概要</b> 曙三第二公園は、下水道用地	<b>⑤</b> 対象	き数の	)推移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
を上部利用し、都市公園以外の 公園として市民に利用されてき	ア整備	対象	残面積(第1期)	m²			1,029	0		
た。下水道工事(長寿命化)の進	1									
渉に伴い、上部利用ができなく なるため、代替え地を確保し曙	ウ									
三東第二公園(仮称)として整備	<b>⑥活</b> 重	九指標	<u> </u>	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
する。 ②目的(対象をどのような状態にしたいのか)			<b>を</b> 者ヒアリング	口口	実績	実績	<b>実績</b> 6	計画 ()	計画	計画
下水道事業によって利用できな				쁘						
くなる曙三第二公園の代替とし		加惧	(第1期)			_	0	1,029		
て、公園を整備する。	ウ				H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	⑦成果			単位	実績	実績	実績	計画	計画	計画
3結果(どのような結果に結び付けるか)	ア整備	插積	(第1期累計)	m²	_	_	0	1,029		
地域の公園として、曙三第二公園の代替え公園を確保できる。	1									
M. 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ウ									
	(2)事	業の	コスト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
設計委託(7~12月)		財源		千円	0	0	0	0	0	0
	1	内	地方領	千円	0	0	0	0	0	0
	事	一訳		千円	0	0	0	0	0	0
							t			Λ.
	業		一般財源	千円	0	0	3,960	50,396	0	
	費		事業費計(A)	千円	0	0	3,960	50,396 50,396	0	0
	費		事業費計(A) 予算額(B)	千円	-	0	3,960 6,287	•		
	費	田本1: 5	事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B)	千円 千円 %	0	0	3,960 6,287 63.0%	50,396 — —	0 	
		職員	事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 員数(正規   月給   時給	千円 千円 % 人	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	3,960 6,287 63.0% 0.40 0.00 0.00	50,396	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	<b>費</b> ② 人	職員	事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 員数(正規   月給   時給	千円 千円 % 人 千円	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	3,960 6,287 63.0% 0.40 0.00 0.00 3,600	50,396 — 0.41 0.00 0.00 3,690	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
		職員会記	事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 員数(正規   月給   時給) 正規職員分 計年度任用職員等	千円 千円 % 人 千円	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	3,960 6,287 63.0% 0.40 0.00 0.00 3,600	50,396 — — 0.41 0.00 0.00 3,690	0.00 0.00 0.00	
	費②人件費	職員会言	事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 員数(正規   月給   時給	千円 千円 % 人 千円	000 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00 0 0	3,960 6,287 63.0% 0.40 0.00 0.00 3,600	50,396 — 0.41 0.00 0.00 3,690	0 .00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.	0.00 0.00 0.00 0.00
	費②人件費	会記念事	事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 員数(正規 月給 時給) 正規職員分 計年度任用職員等 人件費計(C)	千円 % 人 千円 千円 千円	000000000000000000000000000000000000000	0.00 0.00 0.00	3,960 6,287 63.0% 0.40 0.00 0.00 3,600 0,7,560	50,396  0.41 0.00 0.00 3,690 0 3,690 54,086	0.00 0.00 0.00 0 0 0 0 0 0	0.00 0.00 0.00 0.00 0 0 0
(1)全体総括(①事業の成果・②	費 ②人件費 ③ ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ③ ② ③ ② ③ ② ③	会言	事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 員数(正規 月給 時給) 正規職員分 計年度任用職員等 人件費計(C)	千円 % 人 千円 千円 千円	000000000000000000000000000000000000000	0 0 0.00 0.00 0.00 0 0 0 0 e s や見直しを図	3,960 6,287 63.0% 0.40 0.00 0.00 3,600 0,7,560	50,396  0.41 0.00 0.00 3,690 0 3,690 54,086	0  0.00 0.00 0.00 0 0 0 0 0	0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.0
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合によ) (事業の成果)曙三第二公園よりも	費 ②人件費 ③ 本・に ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	職 会言 総 事 対 有 効性	事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 員数(正規   月給   時給) 正規職員分 計年度任用職員等 人件費計(C) 事業費(A)+(C) ③課題・反省点) は ウ:効率性	千円 % 人 千円 千円 千円	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.00 0.00 0.00 0 0 0 0 0 0 0 0 7: そ	3,960 6,287 63.0% 0.40 0.00 0.00 3,600 7,560	50,396 0.41 0.00 0.00 3,690 0 3,690 54,086	0  0.00 0.00 0.00 0 0 0 0 0	0.00 0.00 0.00 0.00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合によ)ア:目的妥当性 [	費 ②人件費 ③ 本・に ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	職 会言 総 事 対 有 効性	事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 員数(正規   月給   時給) 正規職員分 計年度任用職員等 人件費計(C) 事業費(A)+(C) ③課題・反省点) は ウ:効率性	千円 % 人 千円 千円 千円	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.00 0.00 0.00 0 0 0 0 0 0 0 0 7: そ	3,960 6,287 63.0% 0.40 0.00 0.00 3,600 7,560	50,396 0.41 0.00 0.00 3,690 0 3,690 54,086	0  0.00 0.00 0.00 0 0 0 0 0	0.00 0.00 0.00 0.00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合によ) (事業の成果)曙三第二公園よりも	費 ②人件費 ③ 本・に ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	職 会言 総 事 対 有 効性	事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 員数(正規   月給   時給) 正規職員分 計年度任用職員等 人件費計(C) 事業費(A)+(C) ③課題・反省点) は ウ:効率性	千円 % 人 千円 千円 千円	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.00 0.00 0.00 0 0 0 0 0 0 0 0 7: そ	3,960 6,287 63.0% 0.40 0.00 0.00 3,600 7,560	50,396 0.41 0.00 0.00 3,690 54,086 (2)事業	0  0.00 0.00 0.00 0 0 0 0 0	0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.0
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合によ) (事業の成果)曙三第二公園よりも	費 ②人件費 ③ 本・に ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	職 会言 総 事 対 有 効性	事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 員数(正規   月給   時給) 正規職員分 計年度任用職員等 人件費計(C) 事業費(A)+(C) ③課題・反省点) は ウ:効率性	千円 % 人 千円 千円 千円	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.00 0.00 0.00 0 0 0 0 0 0 0 0 7: そ	3,960 6,287 63.0% 0.40 0.00 0.00 3,600 7,560	50,396 	0   0.00 0.00 0.00 0 0 0 0 *の方針	0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.0
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合によ) (事業の成果)曙三第二公園よりも	費 ②人件費 ③ 本・に ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	職 会言 総 事 対 有 効性	事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 員数(正規   月給   時給) 正規職員分 計年度任用職員等 人件費計(C) 事業費(A)+(C) ③課題・反省点) は ウ:効率性	千円 % 人 千円 千円 千円	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.00 0.00 0.00 0 0 0 0 0 0 0 0 7: そ	3,960 6,287 63.0% 0.40 0.00 0.00 3,600 7,560	50,396 	0   0.00 0.00 0.00 0 0 0 *の方針 コン 削減 維	000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   000   00
※課題の有無 (課題がある場合により) (事業の成果)曙三第二公園よりも	費 ②人件費 ③ 本・で は確 に た。	職会の対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 員数(正規   月給   時給) 正規職員分 計年度任用職員等 人件費計(C) 事業費(A)+(C) ③課題・反省点) は ウ:効率性	千円 % 人 千円 千円 千円	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0.00 0.00 0.00 0 0 0 0 0 0 0 0 7: そ	3,960 6,287 63.0% 0.40 0.00 0.00 3,600 7,560	50,396 	0   0.00 0.00 0.00 0 0 0 0 *の方針	000 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0 0 0 0 0

都市計画道路の計画高が決まっていないことから、令和4年度は、曙保育園跡地部分(第1期)を整備し、都市計画道路の整備とあわせて都市計画道路隣接部分(第2期)を公園整備する。第1期では、トイレを設置し利便性を確保するとともに夏祭り利用等の用途についても曙三第二公園と同様に整備する。令和3年度の下水道緑川幹線改築(更新)工事の場所(旧市営緑川第4駐車場)が、競輪選手の駐車場となる。4年度に駐車場を移設した後、第1期を整備する。

令和 3	年度事後評価	令和	Π 4	1 左	丰度	事	務事第	(マラ	<b>木</b> :	ジメン	,	トシー	<b> </b>	令和	和 4 年	6 月作成
事務事業名								所属	属部	まちづく	(ŋ:	部	課		渕上 俊	
 政策名	環境•安全							所属	<b>属課</b>	公園緑:	地	課	係	名	緑化推注	 進係
施策名	豊かな水と緑の保	全						予算	科目	会計 1		款 8	項	3	目 4	事業 1番号
基本事業名	水と緑の環境の向_	上と継ば	承				実施形態		全台	8季託	V	一部委託		補助•	助成	
事業期間	単年度繰返 年度~	年度		根拠			录地法		等保:	全ボランプ	ティ	ィア団体支	援要約	岡		
市長公約	主要施策	* A HIII				3 77 #1										
1 現状把握	の部 (1)事務事業					₹*活製			- #	D0/F #	_	D0 47 f5	D4 <i>t</i>	- #	DE F G	D0.45 m
玉川上水緑道	道•立川崖線樹林			数の				H31年	-	R2年度	٤	R3年度	R4±	F. 医	R5年度	R6年度
	・残堀川遊歩道な 樹木剪定等を行い	ア	尌林±	也等仍	R全箇	所数	箇所		12	]	12	12				
緑地の保全を	と行う。また、野火	1														
	対策協議会などに 自治体との広域連	ウ														
携による緑の	保全を図る。	<b>⑥</b> 清	5動	指標			単位	H31年 実統		R2年度 実績	Ę	R3年度 実績	R4年 計		R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をと	ごのような状態にしたいのか)			等回袭			回		15	1	13	11				
場として豊か その水と緑に	也を市民の憩いの な水と緑を保全し、 触れあえる場とし			ト水管ペトロー	管理用 ール	地	口		20	ę	32	43				
て快適に利用状態に保つ。	月できるよう良好な		<b></b> 大果技	指標			単位	. H31年 実糸		R2年度 実績	F	R3年度 実績	R4年 計		R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのよ	うな結果に結び付けるか)	アス	ドラン	ティブ	ア活動	団体	団体		5		5	5		5		
	た貴重な緑を保全	イス	ドラン	ティブ	ア団体	活動箇	所 箇所		11	]	11	11		11		
できる。		ウ														
			事業	<b></b> きの=	コスト		単位	H31年		R2年度	F.	R3年度	R4年		R5年度	R6年度
<b>小</b> 会和2年度	生中结/声类活動)					庫支出		天作	<u></u> ()	実績	0	<b>実績</b> ()	計	画 ()	計画	計画 0 0
	<b>生実績(事業活動)</b> モによるせん定・草			財		那支出			791	13,70	ŭ	13,954	14	,774		0 0
刈り等(種苗	園、残堀川、矢川			源		地方侵			0		0	0		0		0 0
保至緑地、±  線)4月~3月	三川上水、立川崖		① 事	内訳	-	その他			31		32	27		27		0 0
ボランティア	舌動団体(5団体)		業	ш		一般財			967	7,28	36	3,615	4	,897		0 0
玉川上水に関回)	関連する会議等(3		費	1	事業費	貴計(A	) 千円	19,	789	21,02	26	17,596	19	,698		0 0
野火止用水り (3回)	こ関連する会議等					額(B)	千円	21,	958	-	_	19,708	_		_	_
	車する会議等(5回)					(A)/(E			0.1%	89.9	_	89.3%	_	_	_	_
			2			規 月給			0.00							0.00 0.00 0.00
			人 件			職員分 任田職	<ul><li>千円</li><li>員等</li><li>千円</li></ul>		$\frac{630}{0}$		0	5,850	5	,850 0		0 0
			費			世州戦 貴計(C			630		Ŭ	5,850	5	,850		0 0
			(3) <sub>f</sub>			(A)十(		_	419		-	23,446		,548		0 0
2 評価の部											_					
※課題の有無	舌(①事業の成果・② た。ア:目的妥当性					題・反省 Tゥ:効		 エ:公 <sup>:</sup>		等や見直しる   オー		oた の他	(2)	事業	美の方針 =	スト
(課題がある場合に	,, 一/ / · 日							4					٦_			推持 増加
れ合える場と	して快適に利用でき	る良好	子なれ	犬態を	を保ち	、市民	が楽しめ	る緑地の	の保	全につな	はけ	でた。協議会		白上		
	国、都、周辺自治体 は境局・建設局・水道										れ	について	月	は維		0
		C IF	, IN/	, 11 0	- 1 /11/	1/1/14		- 44.0 TE	ΛE:	.,, ., r_0			月	<del>持</del> 低		
														下		
													()	廃止•∕	休止の場合	は記入不要)
	事業の方向性(改革															
	マットワーク」の構築 も市民が緑を身近に															
「緑地・樹林」	也保全ボランティア国	団体支	援制	度」を	を活用	し、市	民との協	動による	5保:	全管理を	継	続する。令	和2年	F度に	こ改定した	-緑の基本
計画をもとに	事業を進める。緑地	の樹オ	トが、	高木	化・ネ	老木化1	しており、	台風な	どの	強風で材	扩	fれや倒木	などの	)対応	ぶが必要と	なる。

令和 3 年度事後評価	令和	1 4	4 年	F度	事務	事業	マネ	ジメン	<b>/</b>	・シー	<b>卜</b> 令	和 4 年	6 月作成
事務事業名樹木の保全							所属部	まちづく	り部	ß	課長名	渕上 俊	之
政策名 環境・安全							所属課	公園緑:	地課	Ę	係名	緑化推進	進係
施策名 豊かな水と緑の保	全						予算科目	会計 1	1	款 8	項 3	目 4	事業 5番号 5
基本事業名水と緑の環境の向よ	上と継	承				地形態 (選択可)	全	部委託	~	一部委託	✔ 補助・	·助成	連携・協働
事業期間 単年度繰返			根拠	都			を維持す	るための	樹木	の保存に	こ関する法	·律	
昭和51 年度~	年度		低拠 去令等	立	川市緑	化推進	条例						
市長公約   主要施策   1 現状把握の部(1)事務事業	単の相	4 声 .	日的.	<b>,</b>	千勈. 成	里							
1 現仏に住め品(1)事務事事					古		山の4左座	DO左曲	Ι,	DO左连	D4左曲	DE左座	DC左连
高さ10m、地上1.5mの幹周り			数の推			単位	H31年度	R2年度	-   '	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
1.5m以上等の要件を満たした 樹木を保存樹木として指定し、	ア	新規打	指定本	:数		本	10	)	0	0			
標識を設置することで市民に周	1	解除和	本数			本	7	7	17	5			
知する。また、管理費用の一部として1本につき年額4,500円の	ウ												
補助金を交付するとともに賠償責任保険に加入する。		活動	指標			単位	H31年度 実績	R2年度 実績	F	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア	 総指定	定本数	 :(年度初	)	本	478		31	464	459		пш
基準以上の樹木について、所			大沢確		,			1	1	101	103		
有者の同意を得て市が保存樹	-	官理礼	人犯帷	祁		口		ł	4	4			
木に指定し、維持管理に要する経費の一部を助成し、次世代に	ウ												
わたって樹木を保全する。	7)	成果!	指標			単位	H31年度 実績	R2年度 実績	.   '	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア	総指定	定本数	(年度末	)	本	48		64	459			483
樹木を保護することで、市民の				度末)	. 1 . 1 . 1(1)	%	96.2	2 96	. 1	95.0			100.0
健康な生活環境を確保し、緑の保全につなげる。	ゥ	(指定	本数/	/目標指	定本数)	, 0				0010			1000
		/ 車 4	<b>*</b> のコ	7 h		出上	H31年度	R2年度	F	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		)事業	業の⊐			単位	H31年度 実績	R2年度 実績	: F	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	計画
④令和3年度実績(事業活動)		)事業		国庫	支出金	千円	実績	実績	0	<b>実績</b> 0	計画 0	計画(	計画 0
保存樹木の施設賠償責任保険		)事業	財	国庫	出金	千円 千円	<b>実績</b> (	実績	0	<b>実績</b> 0 0	計画 0 0	計画 ( (	計画 0 0 0
保存樹木の施設賠償責任保険 料の契約(4月) 保存樹木のパトロール及び新規	(2	1	財源内	国庫 都支 地	大出金 方債	千円 千円 千円	実績 ( (	実績	0 0 0	<b>実績</b> 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	計画 0 0	計画 ( (	計画 0 0 0 0 0
保存樹木の施設賠償責任保険料の契約(4月) 保存樹木のパトロール及び新規指定等の調査(6月、10月、12	(2	① 事	財源	国庫都支地	定出金 方債 の他	千円 千円 千円 千円	実績 ( ( (	実績	0 0 0 0	<b>実績</b> 0 0 0 0	計画 0 0 0	計画 ( ( (	計画 0 0 0 0 0 0 0 0
保存樹木の施設賠償責任保険 料の契約(4月) 保存樹木のパトロール及び新規	(2	1	財源内訳	国庫都支地で	を出金 方債 の他 段財源	千円 千円 千円 千円	<b>実績</b> ((((((((((((((((((((((((((((((((((((	実績 ) ) ) ) (2 1,78	0 0 0 0	<b>実績</b> 0 0 0 0 1,720	計画 0 0 0 0 0 1,819	計画 ( ( ( (	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
保存樹木の施設賠償責任保険料の契約(4月) 保存樹木のパトロール及び新規指定等の調査(6月、10月、12	(2	① 事 業	財源内訳事	国庫 都支 地 そ 一般 事業費言	z出金 方債 の他 g財源 +(A)	千円 千円 千円 千円 千円	実績 (( (( (1,792 1,792	<b>実績</b> 1,78  1,78	0 0 0 0 0 66	<b>実績</b> 0 0 0 0 1,720 1,720	計画 0 0 0	計画 ( ( ( (	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
保存樹木の施設賠償責任保険料の契約(4月) 保存樹木のパトロール及び新規指定等の調査(6月、10月、12	(2	① 事 業	財源内訳事	国庫都支地で	大 方債 の他 段財源 +(A) (B)	千円 千円 千円 千円	<b>実績</b> ((((((((((((((((((((((((((((((((((((	<b>実績</b> 1,78 1,78 1,88	0 0 0 0 0 66 66	<b>実績</b> 0 0 0 0 1,720	計画 0 0 0 0 0 1,819	計画 ( ( ( (	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
保存樹木の施設賠償責任保険料の契約(4月) 保存樹木のパトロール及び新規指定等の調査(6月、10月、12	(2	①事業費	財源内訳	国庫 都支 地 その 一般 事業費額 予算額	大 方債 の他 段財源 +(A) (B)	千円 千円 千円 千円 千円 千円	実績 ((((((((((((((((((((((((((((((((((((	<b>実績</b> 1,78 1,78 1,88	0 0 0 0 0 66 86	<b>実績</b> 0 0 0 1,720 1,864 92.3%	計画 0 0 0 0 1,819 1,819 —	計画 () () () () ()	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
保存樹木の施設賠償責任保険料の契約(4月) 保存樹木のパトロール及び新規指定等の調査(6月、10月、12	(2	①事業費 ②人	財源内訳事執員	国庫 都支 地 その 一般 事業費額 予算額	を出金 方債 の他 段財源 †(A) (B) 。)/(B)	千円 千円 千円 千円 千円 千円	実績 ((((((((((((((((((((((((((((((((((((	実績 1,78 1,78 1,88 94.9 0,015 0,000 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	<b>実績</b> 0 0 0 1,720 1,864 92.3%	計画 0 0 0 0 1,819 1,819 —	計画 () () () () () () () () () () () () ()	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
保存樹木の施設賠償責任保険料の契約(4月) 保存樹木のパトロール及び新規指定等の調査(6月、10月、12	(2	①事業費 ②人件	財源内訳 事 執員	国庫 おせん そん では できます おいま できます おいま できます おいま おいま できます おいま はい	を出金 方債 の他 段財源 †(A) (B) 。)/(B)	千円 千円 千円 千円 千円 千円 % 人	実績 ((((((((((((((((((((((((((((((((((((	実績 1,78 1,78 1,88 94.9 0,015 0,00 0 1,35	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	実績       0       0       0       0       1,720       1,864       92.3%       16     0.00       0.00	計画 0 0 0 0 1,819 1,819 — —	計画 () () () () () () () () () () () () ()	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
保存樹木の施設賠償責任保険料の契約(4月) 保存樹木のパトロール及び新規指定等の調査(6月、10月、12	(2	①事業費 ②人件費	財源内訳 報員 計	国庫 オ地 そ 州 書 第 予 行 征 規 限 任 書 第 平 集 期 ほ 任 費 語	大田金 方債 の他 以財源 †(A) (B) (B) 月給   時給) 員分 用職員等 †(C)	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	実績 ((((((((((((((((((((((((((((((((((((	実績 1,78 1,88 1,88 94.9 0,0.15 0,000 0 1,35	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	実績       0       0       0       0       1,720       1,864       92.3%       16 0.00 0.00       1,440       0       1,440	計画 0 0 0 1,819 1,819 — 0.16 0.00 0.00 1,440 0 1,440	計画 () () () () () () () () () () ()	計画
保存樹木の施設賠償責任保険料の契約(4月) 保存樹木のパトロール及び新規指定等の調査(6月、10月、12月、2月)	(2	①事業費 ②人件費	財源内訳 報員 計	国都	大田金 方債 の他 以財源 †(A) (B) (B) 月給   時給) 員分 用職員等 †(C)	千円 千円 千円 千円 千円 千円 % 人 千円	実績 ((((((((((((((((((((((((((((((((((((	実績 1,78 1,88 1,88 94.9 0,0.15 0,000 0 1,35	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	実績       0       0       0       0       1,720       1,864       92.3%       16 0.00 0.00       1,440       0	計画 0 0 0 1,819 1,819 — 0.16 0.00 0.00 1,440	計画 () () () () () () () () () () ()	計画
保存樹木の施設賠償責任保険料の契約(4月) 保存樹木のパトロール及び新規指定等の調査(6月、10月、12月、2月)	(2	①事業費 ②人件費 ③	財源内訳事執員「計人事	国都地 そ 般語 第 予 行 数 E 年 体 費 (A ) 上 年 体 費 (A )	を出金 方債 の他 B財源 †(A) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (C) (C) (C)	千円千円千円千円4千円千円千円	実績 ((((((((((((((((((((((((((((((((((((	実績 1,78 1,78 1,88 94.5 94.5 0 0.15 0.00 0 1,35 2 3,13	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	実績       0       0       0       0       1,720       1,864       92.3%       16 0.00 0.00       1,440       0       1,440       3,160	計画 0 0 0 1,819 1,819  0.16 0.00 0.00 1,440 0 1,440 3,259	計画 () () () () () () () () () () ()	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
保存樹木の施設賠償責任保険料の契約(4月) 保存樹木のパトロール及び新規指定等の調査(6月、10月、12月、2月)	(2	①事業費 ②人件費 ③ 改	財源内訳 事 執員 二 会 本 等 ・ ③	国都地 そ 船 書 予 行 数 E 年 件 費 は 展 年 件 費 は 見 手 件 費 は 見 手 件 費 は 見 手 件 費 は 見 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	だ出金 方債 の他 以財源 †(A) (B) ハ/(B) 月給   時給 員分 目職員等 †(C)	千円 千円 千円 千円 <b>八</b> 千円 千円	実績 ((((((((((((((((((((((((((((((((((((	実績 1,78 1,78 1,88 1,88 94.9 0,0.15 0,00 0 1,35 3,13  善や見直しる	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	実績	計画 0 0 0 1,819 1,819  0.16 0.00 0.00 1,440 0 1,440 3,259	計画 ((((((((((((((((((((((((((((((((((((	計画
保存樹木の施設賠償責任保険料の契約(4月)保存樹木のパトロール及び新規指定等の調査(6月、10月、12月、2月)  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・(課題がある場合にアン) ア:目的妥当性	(2)	①事業費 ②人件費 ③ 改 右	財源内訳事執員「計人事を対し、善うない。」	国都地 そ 船 言 第 予 行 数 圧 年 件 費 課 レーサ 報 ( A 川 ・ 順 任 費 ( A ) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	大出金 方債 の他 以財源 (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (C) (C) (C) (C) (C) (C)	千円 千円 千円 千円 4 千円 千円 千円 千円	実績 ((((((((((((((((((((((((((((((((((((	実績 1,78 1,78 1,88 94.9 0,0.15 0.00 0 1,35 3,13  善や見直しる  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	00 00 00 00 66 66 60 00 00 60 60 60 60 6	実績	計画 0 0 0 1,819 1,819 0.16 0.00 0.00 1,440 0 1,440 3,259	計画 ((((((((((((((((((((((((((((((((((((	計画
保存樹木の施設賠償責任保険料の契約(4月)保存樹木のパトロール及び新規指定等の調査(6月、10月、12月、2月)  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・(※課題の有無(課題がある場合に・)ア:目的妥当性(事業の成果)保存樹木に指定すな生活環境の確保に寄与した。	(2 (2 <u>2</u> ること	①事業費  ②人件費   ・ で、 で、 なん 有 糸	財源内訳 事 執員 計・人 第 一	国都地 そ 解言 解 と 用 ま で と ま 第 事 で は 規 度 件 費 ( A ) し に 大 ま で よ で よ で よ で よ で ま で よ で ま で ま で ま で	世金 方債 の他 以 (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C)	千円 千円 千円 千円 4 千円 千円 千円 千円 千円	実績 ((((((((((((((((((((((((((((((((((((	実績 1,78 1,78 1,88 1,88 94.9 1,35 3,13  善や見直しる が定着し	0 0 0 0 0 0 6 6 32 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	実績	計画  0 0 0 1,819 1,819 - 0.16 0.00 0.00 1,440 0 1,440 3,259	計画 ((((((((((((((((((((((((((((((((((((	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
保存樹木の施設賠償責任保険料の契約(4月) 保存樹木のパトロール及び新規指定等の調査(6月、10月、12月、2月) (1)全体総括(①事業の成果・(※課題の有無(課題がある場合に・)ア:目的妥当性(事業の成果)保存樹木に指定すな生活環境の確保に寄与した。(改革・改善)(課題・反省点)要件:	(2) (2) (2) (3) (3) (3) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	①事業費 ②人件費 ③ 改有系でして	財源内訳 事 執員 計・人 第 一	国都地で制力を対して、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、まれば、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、まればればればればればればればればればればればればればればればればればればれば	出債 の財源 +(A) (B) )/(B) 月齢 (C) +(C) 一大(C) 一大(C) 一大(C)	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	実績 ((((((((((((((((((((((((((((((((((((	実績 1,78 1,78 1,88 1,88 94.9 1,35 3,13  善や見直しる が定着し	0 0 0 0 0 0 6 6 32 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	実績	計画  0 0 0 1,819 1,819 - 0.16 0.00 0.00 1,440 0 1,440 3,259	計画 ((((((((((((((((((((((((((((((((((((	計画
保存樹木の施設賠償責任保険料の契約(4月) 保存樹木のパトロール及び新規指定等の調査(6月、10月、12月、2月) 2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・(※課題の有無 (課題がある場合によ) (事業の成果)保存樹木に指定すな生活環境の確保に寄与した。	(2) (2) (2) (3) (3) (3) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	①事業費 ②人件費 ③ 改有系でして	財源内訳 事 執員 計・人 第 一	国都地で制力を対して、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、まれば、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、まればればればればればればればればればればればればればればればればればればれば	出債 の財源 +(A) (B) )/(B) 月齢 (C) +(C) 一大(C) 一大(C) 一大(C)	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	実績 ((((((((((((((((((((((((((((((((((((	実績 1,78 1,78 1,88 1,88 94.9 1,35 3,13  善や見直しる が定着し	0 0 0 0 0 0 6 6 32 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	実績	計画 0 0 0 1,819 1,819 - 0.16 0.00 0.00 1,440 0 1,440 3,259 (2)事業	計画 ((((((((((((((((((((((((((((((((((((	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
保存樹木の施設賠償責任保険料の契約(4月) 保存樹木のパトロール及び新規指定等の調査(6月、10月、12月、2月) (1)全体総括(①事業の成果・(※課題の有無(課題がある場合に・)ア:目的妥当性(事業の成果)保存樹木に指定すな生活環境の確保に寄与した。(改革・改善)(課題・反省点)要件:	(2) (2) (2) (3) (3) (3) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	①事業費 ②人件費 ③ 改有系でして	財源内訳 事 執員 計・人 第 一	国都地で制力を対して、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、まれば、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、まればればればればればればればればればればればればればればればればればればれば	出債 の財源 +(A) (B) )/(B) 月齢 (C) +(C) 一大(C) 一大(C) 一大(C)	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	実績 ((((((((((((((((((((((((((((((((((((	実績 1,78 1,78 1,88 1,88 94.9 1,35 3,13  善や見直しる が定着し	0 0 0 0 0 0 6 6 32 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	実績	計画  0 0 0 1,819 1,819 - 0.16 0.00 0.00 1,440 0 1,440 3,259	計画 ((((((((((((((((((((((((((((((((((((	計画

市街地の貴重な緑を保全するため、事業の必要性は増大している。緑の基本計画(令和2年12月)で令和6年度目標を483本にしたことから、基準を満たす樹木の指定拡大を進めるため、広報などで制度の周知を行う。

令和 3 年度事後評価	<u>令和</u>	<u>4                                    </u>	丰度 事務	<u>事業</u>	マネシ	ジメン	<u>トシー</u>	<b>卜</b> 令	和 4 年 6	6 月作成
事務事業名樹林の保全					所属部	まちづくり	部	課長名	渕上 俊之	さ
政策名 環境・安全					所属課	公園緑地	課	係名	緑化推進	
施策名 豊かな水と緑の係	全				予算科目	会計 1	款 8	項 3	目 4	事業 番号 6
基本事業名水と緑の環境の向	上と継承			地形態 (選択可)	全部	『委託 €	✓ 一部委託	補助・	助成 🗸	連携∙協働
事業期間 単年度繰返 昭和51 年度~	年度	根拠				るための樹	木の保存に	こ関する法	律	
市長公約 主要施策		法令等	立川市緑地	也、樹		全ボランティ	ィア団体支	援要綱		
1 現状把握の部 (1)事務事 ①事業概要										
○ 事業概要 都市の美観風致を維持するた	<b>⑤対象</b>	数の	推移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
め、市内に現存する一定基準以上の樹林について、所有者の同		樹林配	面積	m²	17,578	17,578	15,504			17,578
意を得て市が保護樹林地に指	1									
定し、使用貸借契約により市が 樹林地の保全管理を行い、次	ウ									
世代にわたって貴重な樹林地を保全する。		指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか	ア高木	:剪定本	 <数	本	37	37	18		II I	нтш
市内の貴重な緑を保全するた		樹林均		団体	2	2	2	2		
め、武蔵野の面影を残す雑木 林等を保護樹林地に指定し、市		ンナイ)	ア活動団体							
が管理することで次世代にわたって樹林地を保全する。	7成果	<b>华</b>		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	17只 章推				実績	実績	実績	計画	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか) 樹林を保護することで、市民の	が(指定		/目標指定面積)	%	98.8	100.0	88.2			100.0
健康な生活環境を確保し、緑の										
保全につなげる。	ウ									
				•						
	(2)事	業の=	コスト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)			コスト	千円					計画	
保護樹林の施設賠償責任保険		財	国庫支出金都支出金	千円	<b>実績</b> 0 0	<b>実績</b> 0 0	<b>実績</b> 0 0	計画 0 0	計画 0 0	計画 0 0
保護樹林の施設賠償責任保険 料の契約(4月) 保護樹林地管理委託 5件(4月		財源内	国庫支出金 都支出金 地方債	千円 千円 千円	実績       0       0       0	<b>実績</b> 0 0 0	<b>実績</b> 0 0 0	計画 0 0 0	計画 0 0 0	計画 0 0 0
保護樹林の施設賠償責任保険 料の契約(4月)	1 1 3	財源	国庫支出金 都支出金 地方債 その他	千円 千円 千円	実績       0       0       0       0       0	<b>実績</b> 0 0 0 0 0	実績       0       0       0       0       0	計画 0 0 0 0	計画 0 0 0 0	計画 0 0 0 0
保護樹林の施設賠償責任保険 料の契約(4月) 保護樹林地管理委託 5件(4月		財源内訳	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源	千円 千円 千円 千円	<b>実績</b> 0 0 0 0 2,495	<b>実績</b> 0 0 0 0 2,484	<b>実績</b> 0 0 0 0 2,788	計画 0 0 0 0 0 3,550	計画 0 0 0 0 0	計画 0 0 0 0 0
保護樹林の施設賠償責任保険 料の契約(4月) 保護樹林地管理委託 5件(4月	① 事 業	財源内訳	国庫支出金 都支出金 地方債 その他	千円 千円 千円	実績       0       0       0       0       0	<b>実績</b> 0 0 0 0 0	実績       0       0       0       0       0	計画 0 0 0 0	計画 0 0 0 0	計画 0 0 0 0
保護樹林の施設賠償責任保険 料の契約(4月) 保護樹林地管理委託 5件(4月	① 事 業	財源内訳	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A)	千円 千円 千円 千円 千円	<b>実績</b> 0 0 0 0 2,495 2,495	<b>実績</b> 0 0 0 0 2,484 2,484	<b>実績</b> 0 0 0 0 2,788 2,788	計画 0 0 0 0 0 3,550	計画 0 0 0 0 0	計画 0 0 0 0 0
保護樹林の施設賠償責任保険 料の契約(4月) 保護樹林地管理委託 5件(4月	① 事業費	財源内訳	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 丸行率(A)/(B)	千円 千円 千円 千円 千円 千円	実績 0 0 0 0 2,495 2,495 2,664	実績 0 0 0 0 2,484 2,484 3,053 81.4%	実績 0 0 0 0 2,788 2,788 3,050	計画 0 0 0 3,550 3,550 — 0.20 0.00 0.00	計画 0 0 0 0 0	計画 0 0 0 0 0 0
保護樹林の施設賠償責任保険 料の契約(4月) 保護樹林地管理委託 5件(4月	①事業費	財源内訳 職員	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 執行率(A)/(B)	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	実績 0 0 0 2,495 2,495 2,664 93.7% 0.20 0.00 0.00 1,800	実績       0       0       0       0       2,484       3,053       81.4%       0.20 0.00 0.00       1,800	実績       0       0       0       0       2,788       2,788       3,050       91.4%       0.22     0.00       1,980	計画 0 0 0 3,550 3,550 — 0.20 0.00 0.00	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	計画 0 0 0 0 0 0 
保護樹林の施設賠償責任保険 料の契約(4月) 保護樹林地管理委託 5件(4月	①事業費 ②人件	財源内訳 華員 会計	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 対行率(A)/(B) 対行率(A)/(B) 対行率(B) 対行率(B) 対策に対策員分	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	実績 0 0 0 2,495 2,495 2,664 93.7% 0.20 0.00 0.00 1,800 0	実績 0 0 0 0 2,484 2,484 3,053 81.4% 0.20 0.00 0.00 1,800 0	実績 0 0 0 2,788 2,788 3,050 91.4% 0.22 0.00 0.00 1,980 0	計画 0 0 0 3,550 3,550 — 0.20 0.00 0.00 1,800	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
保護樹林の施設賠償責任保険 料の契約(4月) 保護樹林地管理委託 5件(4月	①事業費 ②人件費	財源内訳職会計	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 域で取り月給(時給) 正規職員分 年度任用職員等 人件費計(C)	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	実績       0       0       0       2,495       2,664       93.7%       0.20     0.00       1,800       1,800	実績       0       0       0       0       2,484       3,053       81.4%       0.20     0.00       1,800       0	実績       0       0       0       2,788       2,788       3,050       91.4%       0.22     0.00       1,980       1,980	計画 0 0 0 3,550 3,550 — 0.20 0.00 0.00 1,800 0 1,800	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
保護樹林の施設賠償責任保険 料の契約(4月) 保護樹林地管理委託 5件(4月 ~3月)	①事業費 ②人件費	財源内訳職会計	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 対行率(A)/(B) 対行率(A)/(B) 対行率(B) 対行率(B) 対策に対策員分	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	実績 0 0 0 2,495 2,495 2,664 93.7% 0.20 0.00 0.00 1,800 0	実績 0 0 0 0 2,484 2,484 3,053 81.4% 0.20 0.00 0.00 1,800 0	実績 0 0 0 2,788 2,788 3,050 91.4% 0.22 0.00 0.00 1,980 0	計画 0 0 0 3,550 3,550 — 0.20 0.00 0.00 1,800	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
保護樹林の施設賠償責任保険 料の契約(4月) 保護樹林地管理委託 5件(4月	①事業費 ②人件費 ③	財源内訳 華員 治	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 協大で(A)/(B) は数に規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C)	千円       千円         千円       千円         千円       千円         千円       %         千円       千円         千円       千円         千円       千円	実績 0 0 0 2,495 2,495 2,664 93.7% 0.20 0.00 0.00 1,800 4,295	実績       0       0       0       0       2,484       3,053       81.4%       0.20     0.00       1,800       0	<b>実績</b>	計画 0 0 0 3,550 	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
保護樹林の施設賠償責任保険料の契約(4月) 保護樹林地管理委託 5件(4月~3月) 2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・ ※課題の有無	①事業費 ②人件費 ③ ②改革·ひ	財源内訳 華 員 会 総 善・	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 協大で(A)/(B) は数に規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C)	千千千千千 % 人 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千	実績 0 0 0 2,495 2,495 2,664 93.7% 0.20 0.00 0.00 1,800 4,295	実績	<b>実績</b>	計画 0 0 0 3,550 	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	計画
保護樹林の施設賠償責任保険料の契約(4月) 保護樹林地管理委託 5件(4月~3月) 2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・ ※課題の有無 (課題がある場合によ) (事業の成果)一部の樹林地を対	①事業費 ②人件費 ③ では、ディアインディア	財源内訳	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 執行率(A)/(B) 政に規制員分 年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) 3 課題・反省点) 団体と協働で保全	千千千千千千 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	実績 0 0 0 2,495 2,495 2,664 93.7% 0.20 0.00 0.00 1,800 4,295  エ:公平性 を行い、危	実績	実績	計画 0 0 0 3,550 3,550 	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	計画 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
保護樹林の施設賠償責任保険料の契約(4月) 保護樹林地管理委託 5件(4月~3月) 2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・ ※課題の有無 (課題がある場合によ) (事業の成果)一部の樹林地をお等を専門業者に委託して、適正	①事業費 ②人件費 ③ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	財源内訳 華員 計 事・・・ 性 断た	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 地大下率(A)/(B) 地大下車、「大下車」 「本度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) 業費(A)+(C) で保費。 「対応を協働で保全 の可能と協働で保全 の可能とという。	千千千千千千 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	実績 0 0 0 2,495 2,495 2,664 93.7% 0.20 0.00 0.00 1,800 4,295  エ:公平性 を行い、危	実績	実績	計画	計画	計画
保護樹林の施設賠償責任保険料の契約(4月) 保護樹林地管理委託 5件(4月~3月) (1)全体総括(①事業の成果・ ※課題の有無 (課題がある場合にグ) 等を専門業者に委託して、適正公社で買収したことなどにより、(改革・改善)宅地と近接している((改革・改善)宅地と近接している)	①事業費 ②人件費 ③ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	財源内訳   韓員   計   ・ 対 動た合	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 換行率(A)/(B) 換行率(A)/(C) で提供用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) 業費(A)+(C) 3課題・反省点) で保金 の一ので保金 の一のではありではあります。 計面積が減少した。	千千千千千千 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	実績 0 0 0 2,495 2,495 2,664 93.7% 0.20 0.00 0.00 1,800 4,295  エ:公平性 を行い、危	実績	実績	計画	計画	計画
保護樹林の施設賠償責任保険料の契約(4月) 保護樹林地管理委託 5件(4月~3月) 2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・ ※課題の有無 (課題がある場合に・) ア:目的妥当性 (事業の成果)一部の樹林地を対等を専門業者に委託して、適正公社で買収したことなどにより、	①事業費 ②人件費 ③ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	財源内訳   韓員   計   ・ 対 動た合	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 換行率(A)/(B) 換行率(A)/(C) で提供用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) 業費(A)+(C) 3課題・反省点) で保金 の一ので保金 の一のではありではあります。 計面積が減少した。	千千千千千千 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	実績 0 0 0 2,495 2,495 2,664 93.7% 0.20 0.00 0.00 1,800 4,295  エ:公平性 を行い、危	実績	実績	計画	計画	計画
保護樹林の施設賠償責任保険料の契約(4月) 保護樹林地管理委託 5件(4月~3月) (1)全体総括(①事業の成果・ ※課題の有無 (課題がある場合に) ア:目的妥当性 (事業の成果)一部の樹林地を対等を専門業者に委託して、適正公社で買収したことなどにより、(改革・改善)宅地と近接している(改革・改善)宅地と近接している。	①事業費 ②人件費 ③ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	財源内訳   韓員   計   ・ 対 動た合	国庫支出金 都支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 換行率(A)/(B) 換行率(A)/(C) で提供用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) 業費(A)+(C) 3課題・反省点) で保金 の一ので保金 の一のではありではあります。 計面積が減少した。	千千千千千千 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	実績 0 0 0 2,495 2,495 2,664 93.7% 0.20 0.00 0.00 1,800 4,295  エ:公平性 を行い、危	実績	実績	計画	計画	計画

市内に残る樹林地の存在は、ヒートアイランド現象の緩和や生物多様性の観点から重要性が増している。緑の基本計画(令和2年12月)で令和6年度目標面積を現状維持(17,578㎡)にしたことから、適正管理と共に面積の減少に転じないよう、土地所有者との調整・理解を得た上で保護樹林地を確保する。都市計画決定区域内の川越道緑地で令和3年度に補助樹林地を公有化したことに伴い、保護樹林地面積が減少したが、今後は、樹林を活用した整備につなげる。敷地境界に近い樹木は、落葉や枝の越境を考慮してせん定する必要がある。

令和 3 年度事後評価	<u> 令和</u>	1 年度 事務	事業	マネシ	ジメン	トシー	<b>卜</b> 令和	和 4 年 6	6 月作成
事務事業名 常備消防委託				所属部	市民生活	部	課長名	仲沢 克	之
政策名 環境・安全				所属課	防災課		係名	防災推進	係
施策名 防災・災害対策の対	<b></b> 進			予算科目	会計 1	款 9	項 1	目 2	事業 番号 1
基本事業名 防災意識・地域防災	力の向上		を形態 (選択可)	✓ 全部	<b>『委託</b>	一部委託	補助・	助成	連携・協働
事業期間 単年度繰返		消防組織	法						
昭和35 年度~ 市長公約 主要施策		<b>+今等</b> 【立川中地·		き計画 Eに関する	<b>组</b> 約				
1 現状把握の部(1)事務事業	 の概要・				9 <u>c</u> h 1				
①事業概要 火災や水害、地震等の災害に	⑤対象	 数の推移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
対応するため、消防組織法によ	ア 市民(	 1月1日現在)	人	184,090	184,577	185,124			
り市町村は消防本部を設置する こととなっており、立川市では広	1								
域消防本部である東京消防庁	ウ								
に委託して消防事務を実施して いる。		-K-1-m	34 /T	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	⑥活動技		単位	実績	実績	実績	計画	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア火災を	発生件数(年統計)	件	50	57	73	60		
市民の生命、身体及び財産を 水火災又は地震等の災害から	イ救急	出動件数(年統計)	件	11,963	10,717	11,592	12,000		
守るため常備消防の態勢が 整っている。	ウ								
金りている。	⑦成果	指標	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア消防器	署の火災・救急出動率	%	100.0	100.0	100.0	100.0		
災害による被害を最小限に抑え	1								
る。	ウ								
				H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	(2)事第	<b>巻のコスト</b>	単位	実績	実績	実績	計画	計画	計画
④令和3年度実績(事業活動)		国庫支出金	千円		0	0	0	0	0
常備消防委託として東京消防 庁が消防事務を実施しており、		財 都支出金	千円		502,720	612,793	378,027	0	0
内容として消火、救助、救急活	1	内地方恒	千円		0	0	0	0	
動や消防団支援活動、救急普 及活動を行った。また各種訓練	事業	訳 その他 一般財源	-	1,368,640				Ů	0
を実施している。	費	事業費計(A)		1,807,422				0	0
		予算額(B)	千円	1,813,388	1,816,251	1,936,283	_	_	—
		執行率(A)/(B)	%	99.7%	100.0%	100.0%	_	_	_
	2	職員数(正規   月給   時給)	, ,					0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	人   件	正規職員分 会計年度任用職員等	千円	180	180	180	180	0	0
	費	人件費計(C)	千円	180	180	180	180	0	_
	3	総事業費(A)+(C)	-	1,807,602	1,816,431	1,936,463	1,936,463	0	0
2 評価の部 (4) なけがら(3) 東米の (4)	)	<b>美</b> ② 珊 既		74. *	: L = : + :	a +	(0) 吉出	*~+&	
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 ア:目的妥当性		善・③ 課題・反省点 / 効性 □ □ ウ:効率性		<sup> 改善</sup>  エ:公平性	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	の他	(2)事录	美の方針 「一つっ	スト
※課題の有無 (課題がある場合にマ) (事業の成果)	1 1. 符	刘庄 [] 7. 划牟庄		工. 公十庄	7.7		<b>-</b>		持 増加
常備消防委託として東京消防庁が							向上		
団支援活動、救急普及活動を行っ	った。また	合種訓練を美施し、ジ	さ音に	よる傚音を	敢小阪にお	¶えた。	成維		
							果 持 低		
							下	/II. ~ IT ^ :	1513 - T
(3)今後の事業の方向性(改革	. 改美安全	至)					(廃止・	休止の場合は	ス記人不要) 
市が単独で消防本部を設置して過			ごあろう	ため、今後	も東京都へ	の消防事	務委託を糾	続していく	<b>,</b>
東京消防庁と市との連携を強化す	つるために	、平成24年度から東京							
また、災害対応における連携を更	.11年7日1日レ	C v . \ o							

令和 3 年度事後評価	令和 4	4 年月	隻 事務	事業	マネシ	<b>ジメン</b>	トシー	ト <sub>令和</sub>	11 4 年 6	3 月作成
事務事業名 消防団運営					所属部	市民生活	部	課長名	仲沢 克萊	と
政策名 環境・安全					所属課	防災課		係名	防災推進	係
施策名 防災・災害対策の担	推進				予算科目	会計 1	款 9	項 1	目 3	事業 番号 1
基本事業名 防災意識・地域防災	<b>を力の向上</b>	1		地形態 (選択可)	全部	<b>『委託</b>	一部委託	補助・	助成	連携•協働
事業期間 単年度繰返 昭和38 年度~	年度 :	根拠	消防組織 立川市消	去	2000年					
市長公約 主要施策 (	)		立川市地域		(計画					
1 現状把握の部 (1)事務事業 (1)事業概要						<del></del>	20/5		5 = <del>5 = 5</del>	- 0 to the
消防団は、消防組織法に基づ		数の推移		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
いて各市町村に設置される消防 機関であり、一般の市民として			月1日現在)	人	158	155	154	163		
他の職業に就いている消防団	イ 機能	別団員数(	10月1日現	人	82	146	149	150		
員で構成されている。火災や災害が発生した際は、消防署と連	ウ									
携して、市民の生命、財産を守る。	<b>⑥活動</b>	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア出動	 件数		件	461	419	556	· 1四 450	可凹	可凹
消防団が災害時に迅速かつ有	1	•			101			100		
効な活動ができる状態が常に確保されている。	ウ									
WC40CA.20		+ヒ+冊		# <b>/</b> T	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	⑦成果		. visi	単位	実績	実績	実績	計画	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)		火災出動作		件	26	33	31	30		
災害による被害を最小限に抑える。 市民や関係機関等と連携し	イ消防	団員の充足	足率	%	79.0	77.5	76.0	78.5		
て防災体制を強化する。	ウ									
	(2)事	業のコスト	•	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	137	0	20,005	20,000	0	_
立川消防署と連携した火災対 応や実災害を想定した教育訓		財源	都支出金	千円	9,880	6,302	2,899	3,748	0	
練、講習会等を実施した。機能	1	内	地方債	千円	0	6,200	3,600	10,000	0	
別分団は無線訓練を新たに行 い、災害対応力が向上した。	事業	訳	その他 一般財源	千円	419 60,904	754 55,606	148 66,548	380 75,739	0	0
また、第八分団消防ポンプ自動	費	事業		千円	71,340	68,862	93,200	109,867	0	ŭ
車を更新し、活動力を維持した ほか、第四分団詰所外壁改修			算額(B)	千円	77,166	81,579	106,788	_	_	_
及び屋上防水工事により、施設の長寿命化を図った。		執行	率(A)/(B)	%	92.5%	84.4%	87.3%	_	_	
<b>シス</b> カ 間 旧 と 囚 フ/ C <sub>0</sub>	2		E規   月給   時給)						0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	人件		現職員分	千円	12,150	11,700	12,600	13,050	0	0
	費		を任用職員等 ・費計(C)	十円	12,150	11,700	12,600	13,050	0	0
	(3)		(A)+(C)	十円	83,490	80,562	105,800	122,917	0	
2 評価の部					,	,	,			
(1)全体総括(①事業の成果・②			_			きや見直しを図 		(2)事業	美の方針 	21
※課題の有無 ア:目的妥当性 [ (課題がある場合に レ)	イ: 有	前効性     ✓	ウ:効率性		エ:公平性	オ:そ	の他		削減 維	
(事業の成果) 第八分団消防ポンプ自動車の更	新、第四个	分団詰所	外壁改修及(	び屋上	:防水工事	により、消パ	方団が円滑	向	H1//9% WE	111 28111
に活動できる体制を保ち、市民の								成 維		
(改革・改善) 災害時に消防団に求められる役割	割を果たっ	ナべく、機	能別分団の	訓練内	容を充実	し、災害対	応力が向亅	_   果 持		
した。 (課題・反省点)								[低]		
普通団員の減少、高齢化が進ん	でいるため	り、従来り	上に普通団	員確保	呆に注力す	る必要があ	5る。		休止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革										
消防団員と市が協力して積極的に後15年を目途に順次更新している										
	、。 7 夜起	につここと	· 1 ルアンC4 パタ)	<b>、</b> /凡代	:火百(川)//	へ、呼呼べり	ル大、仮刈	v/正胂で1	1.7 (1,/0	

令和 3 年度事後評価	令和 4	<u>4</u>	丰度 事務	事業	マネシ	ジメン	トシー	<b>卜</b> 令	和 4 年	6 月作成
事務事業名 防災対策の推進					所属部	市民生活	部	課長名	仲沢 克	之
政策名 環境・安全					所属課	防災課		係名	防災推進	 係
施策名 防災・災害対策の	推進				予算科目	会計 1	款 9	項 1	目 5	事業 1番号
基本事業名 防災意識・地域防災	災力の向」	Ŀ.		地形態 (選択可)	全音	<b>多</b> 話	/ 一部委託	補助・	助成	連携・協働
事業期間 単年度繰返	£	根拠	災害対策	基本法		70 ~ /0 34		#.m.,	- VI. /h	
年度~	年度 <b>〇</b>	法令等		事態等	*における	国民の保護	ものためのす	音置に関す	る法律	
1 現状把握の部(1)事務事業	•	目的		果						
①事業概要 防災マップ・洪水ハザードマッ	⑤対象	数の	推移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
プ、防災ハンドブックの配布を	ア市民	(世帯・	・1月1日現在)	世帯	92,288	93,435	94,682			
行い、市民、事業者の防災意識の向上を図る。	1									
防災会議、国民保護協議会を 開催し、市及び各機関の防災	ウ									
事業報告、地域防災計画・国民	<b>⑥活動</b>	<b>指</b> 煙		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
保護計画の修正・改定を行う。			の作成部数		<b>実績</b> 0	実績	<b>実績</b>	計画	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか) 市民や事業者の防災意識向上				₩ 		120,000		120,000		
が図られ、発災時の被害を最小	17-la ///		ブックの作成部数 国民保護協議会	#	0	108,000	0	112,000		
限にとどめる。	ウ開催	回数	<b>当</b> 以怀皎 伽峨五	回	1	2	1 20 左座	1	DE E E	DC左连
	⑦成果	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア防災	マップ	の配布部数	₩	9,500	93,500	5,000	96,000		
市民や事業者、関係機関等と連携により、防災体制が強化さ	イハン	ヾブック	)配布部数	₩	9,500	93,500	5,000	96,000		
れ、災害による被害が最小限に		防災診 修正・	十画·国民保護計 改定	口	0	1	0	0		
抑えられる。	(2)事			単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
④令和3年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	<b>実績</b> 680	<b>実績</b> 2,123	<b>実績</b> 667	計画 3,500	計画 ()	計画 0
転入者、希望者に防災マップ・		財	都支出金	千円	730	106	1,906	750	0	_
洪水ハザードマップ等の配布を		源	地方債	千円	0	0	0	0	0	
行った。また、浸水想定区域内 の公共施設4施設に想定浸水	事	内訳	その他	千円	0	0			_	_
深表示板を設置した。	業		一般財源	千円	1,669	16,943	6,144		0	
ブロック塀等撤去助成金を交付し、危険なブロック塀の撤去を推	費	3	事業費計(A)	千円	3,079	19,172	8,717	26,709	0	0
進した。			予算額(B)	千円	14,568	31,394	8,776	_	_	_
令和3年5月の災害対策基本法 一部改正を受け、立川市地域		<b></b>	丸行率(A)/(B)	%	21.1%	61.1%	99.3%	_	_	_
防災計画について避難情報の	2	職員	<b>数</b> (正規 月給 時給)	人	1.26 0.00 0.03	1.33 0.00 0.00	1.70 0.10 0.00	2.10 0.10 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
変更に対応した。	人		正規職員分	千円	11,340	11,970	15,300	18,900	0	0
	件	会計	年度任用職員等	千円	45	0	420	420	0	0
	費		人件費計(C)	千円	11,385	11,970	15,720	19,320	0	0
	3	総事	業費(A)+(C)	千円	14,464	31,142	24,437	46,029	0	0
2 評価の部	075# 75	<del>-</del> <del>*</del> /			17-1-4		2 6	(0) 市业	*~+&	
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 (課題がある場合に) ア:目的妥当性					工:公平性	や見直しを図	の他	( <i>2)</i> <del>事</del>	美の方針 「コープ	スト
(課題がある場合によ) (改革・改善)	1.4	コンルコエ			工. 公十日					<del>/                                    </del>
防災マップ・洪水ハザードマップ	プや防災ノ	<b>、</b> ンド	ブックの配布、想	定浸力	水深表示板	の設置に。	より、防災意	前向		
識の普及啓発に努めた。 ブロック塀等撤去助成金の交付	トルトの在の	会ナコー	ジロックセクタナチ	と批准	1 人 白 ~	の独宝は	止し 取与	[上] 		
車両通行への障害防止を図った	0							成維果持		$\supset$
防災会議を開催し、災害対策基 迅速に地域防災計画に反映し防										
が強化された。	火渕常機	ぼし	月秋六月 りること	C 111	及い的炎	对怀愧)例	ノツノ火14円		休止の場合に	は記入不要)

数年ごとにハンドブックの改定版を発行する。マップも残部数を考慮しながら更新を検討し、その時点での最新情報を反映させる。新 版作成のための情報収集を行い、例年通りの成果の維持を目指す。想定浸水深表示板の更なる設置増加を目指す。

市内の危険なブロック塀の撤去を推進するため、ブロック塀等撤去助成金を交付していく。

防災会議を年1回以上開催し、災害時に発生する新たな課題を洗い出し、定期的に地域防災計画の修正・改定を行っていく。 国民保護協議会に関しては、必要に応じて開催し、国民保護計画の修正・改定などを行っていく。

令和 3 年度事後評価	节和 4	<u>4                                    </u>	<u> </u>	<u>事</u> 耒	ミイイン	ノメン	トンー	<b>卜</b> 令	11 4 年 (	6 月作成
事務事業名防災訓練推進事業	€(総合・坩	也域以	5災訓練の実施	)	所属部	市民生活	部	課長名	仲沢 克	さ
<b>政策名</b> 環境·安全					所属課	防災課		係名	防災推進	
施策名 防災・災害対策の持	<b>推進</b>				予算科目	会計 1	款 9	項 1	目 5	事業 2 番号 2
基本事業名 防災意識・地域防災	&力の向上	<u> </u>	(複数	<b>地形態</b>		『委託 •	一部委託	補助・	助成	連携・協働
事業期間 単年度繰返 昭和47 年度~	<u></u> 年度 ,	根拠								
市長公約 ○ 主要施策	平皮 ;	去令等	李 一	以りり	(司 四					
1 現状把握の部(1)事務事業	 の概要・	目的	·結果·活動·成	果						
①事業概要	⑤対象	数の	 推移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
市民、市民防災組織、防災関係機関、消防団、市職員等が一体	ア市民	1月1日	日現在)	人	184,090	184,577	185,124			
となった防災訓練を通して、協力体制の確保や市職員及び地			1日現在)	人	1,043		1,033			
域住民の防災行動力・防災意		貝(4万	1口先生/	八	1,045	1,052	1,055	1,041		
識の向上を図る。	ウ				11015=	20 to the	20/2	5 · /		50 to to
	⑥活動	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)		防災訓 催回数	練・地域防災訓 	回	13	9	12	14		
市民の防災行動力・防災意識のウェスでは、地間の増生は	/ 総合	防災訓 団体数	∥練への関係機関	団体	39	40	40	40		
の向上及び防災機関の協力体制の確立を図る。 市職員に対し			<u>▼</u> ∥練への出向数	回	29	2	8	30		
ては、災害時における役割の認識と初動対応の習熟を目指す。	⑦成果	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 宝结	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)				人	<del>天</del> 根 713	<b>実績</b> 858	<b> </b>	900	計画	計画
防災関係機関との連携や市職	1地域	防災訓	練参加者数	人	7,559	811	1,732	7,600		
員の初動体制が強化され、市民の防災意識向上につながり、災	ウ起震	車体騎		人	4,690	106	803	4,700		
害による被害が最小限となる。	(2)事	業の=	コスト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
総合防災訓練については、市		財	都支出金	千円	0	0	0	0	0	0
役所と立川第二中学校及びそ の周辺で実施。昨年度同様感	1	源内	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
染症対策を踏まえた避難所開	事	訳	その他	千円	201	245	0	0	0	0
設・運営訓練等を実施し、立川	業		一般財源	千円	4,329	3,569	3,768	4,902	0	0
市消防団機能別分団も医療救護訓練や応急救護訓練の補助	費	<u>۽</u>	事業費計(A)	千円	4,530	3,814	3,768	4,902	0	0
という形で参加している。			予算額(B)	千円	4,654	4,766	4,629			_
地域防災訓練については、新 型コロナウイルス感染症拡大防		幸	丸行率(A)/(B)	%	97.3%	80.0%	81.4%	_	_	_
止対策を背景に1,732人が参加	2		L <b>数</b> (正規 月給 時給)		0.90 0.00 0.11	0.89 0.00 0.00	1.20 0.10 0.00	0.86 0.10 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
した。 起震車については、市民防災	人		正規職員分	千円	8,100	8,010	10,800	7,740	0	0
組織や自治会、事業所主催の	件   費		年度任用職員等		165	0	420	420	0	0
各種防災訓練の要望に応じ出			人件費計(C)	千円	8,265	8,010	11,220	8,160	0	0
向している。 <b>2 評価の</b> 部	(3)	総事	業費(A)+(C)	千円	12,795	11,824	14,988	13,062	0	0
(1)全体総括(①事業の成果・②	5、本本の	(美•(:	3) 課題 • 反省占)		レ改善	きや見直しを図	10t-	(2)事業	きの方針	
※課題の有無 ア・日的妥当性			プラン・対率性		工:公平性			(=) 4-3		スト
(課題がある場合によ) (事業の成果)		1 V/) IT								持 増加
関係機関との連携を目的とする訓	∥練の成界	具は上	がっている。					向		
(改革・改善) 指定避難所になっている立川競	論提生会	<b>浦</b>	雑蒸道訓練を実施	缶1 た				成維		
(課題・反省点)								果持		
地域防災訓練への協力は、地域た個別協議を日々重ねる必要が										
えた避難所開設・運営訓練等、よ						\ 心米ル	ハ水で貼る	`	休止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革	•改善案	等)								
今後もより効果的な訓練を実施す										
総合防災訓練として、帰宅困難者また、広く地域と連携し、訓練に参						訓練を検予	りしていく。			
1			- 22 411							

令和 3 年度事後評価	令	和4	4 左	F度 事務	事業	マネシ	ジメン	トシー	<b> </b>	<u>令和</u>	4 年	6 月作成
事務事業名 市民防災組織支持	爱事美	<b>業(防</b>	火防!	災協会補助金隊	余く)	所属部	市民生活	部	課長	名 但	中沢 克	之
政策名 環境·安全						所属課	防災課		係名	i 坩	也域防災	经係
施策名 防災・災害対策の	推進					予算科目	会計 1	款 9	項 1		目 5	事業 3
基本事業名 防災意識・地域防	災力の	り向上	1		<b>も形態</b>	全部	<b>『委託</b>	一部委託	✔ 補	助•助	]成	連携・協働
事業期間 単年度繰返			根拠	災害対策	基本法	5第5条第2	項					
昭和56 年度~	年度	ž	去令等	₹   立川中地			TD D1					
<ul><li>市長公約 ○   主要施策  </li><li>1 現状把握の部(1)事務事業</li></ul>	O 業の#	坪亜.	日的			《組織助成	規則					
①事業概要			<del>ロロリ</del> 数の打			H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	<b>=</b>	 R5年度	R6年度
災害時には、行政(公助)だけでは対応困難であり、地域と連携									114413	· '	八〇十尺	10年度
(共助)することが重要なため、自				日現在) 	人	184,090	184,577	185,124		_		
主的に防災活動等に取り組む市民の組織化や既結成組織の	1	自治	会数		組織	180	180	179	13	80		
活動を支援する。また、補助金	ウ											
の交付や訓練を行い防災力の 向上を図る。	6	活動	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	Į l	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア	市民	<b></b> 坊災組	l織数	組織	138	139	139	1-	44		
市民防災組織の結成促進及び	1	普通	枚命講	習会	口	2	0	2		2		
活動支援を通して、市民の「共助の意識」を高め、より多くの市	ゥ	訓練( パイン		肖火隊、スタンド	口	2	1	1		2		
民が災害時に適切に行動できるようにする。	7	成果			単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	Ŧ	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア	市民	<b></b> 防災組		%	76.7	77.2	77.6	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	0.0		前四
災害による被害を最小限度に抑	1	普通	<b>枚</b> 命諱	習会受講者数	人	50	0	25		24		
える。市民や事業者、防災関係 機関等と連携して防災体制が強		防災-	十資格		人	3	0	1		3		
化される。											<del>-</del> -	
	(2	:)事美	業の=	スト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	Į	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)				国庫支出金	千円	0	0	0		0	C	0
市民防災組織助成補助金、電源確保事業補助金及び市民防			財源	都支出金	千円	0	0	1,705	3,30	)0	C	0
災組織に所属する1名に防災士		1		地方債	千円	0	0	0		0	C	0
資格取得補助金の交付を実施		事	訳	その他	千円	889	0	954	1,01	14	C	0
した。市民防災組織には、普通救命講習を2回実施した。市民		業		一般財源	千円	5,003	5,703	6,167	5,91	14	C	0
		費	Ę	事業費計(A)	千円	5,892	5,703	8,826	10,22	28	C	0
練を実施した。市民消火隊連絡				予算額(B)	千円	6,624	6,603	9,982	_		_	<u> </u>
会を開催し、可搬ポンプ操作要			载	九行率(A)/(B)	%	88.9%	86.4%	88.4%	_		_	_
領説明や訓練報告などをした。 また市民防災組織の結成促進		2	職員	数(正規   月給   時給	人	0.24 0.00 0.18	0.24 0.00 0.00	0.35 0.00 0.00	0.36 0.00 0	0.00	0.0 0.00 0.0	0.00 0.00 0.00
として、未結成団体宛に案内の		人		正規職員分	千円	2,160	2,160	3,150	3,24	10	C	0
文書を送付した。		件		年度任用職員等		270	, 0	0	,	0	(	
新型コロナウイルス感染症拡大 防止のためスタンドパイプ訓練		費		人件費計(C)	千円	2,430	2,160	3,150	3,24	10	0	
は見送りとなった。		(3)		* 費 (A) + (C)	千円	8,322	7,863	11,976	13,46	_	- (	+
2 評価の部	J	<u> </u>	心于	未良(A) I (U)	111	0,022	1,003	11,970	15,40	)0		<u> </u>
(1)全体総括(①事業の成果・	<b>②</b> 改	革•改	= €	沙課題•反省占`	)	レ改善	きや見直しを図	<b>引った</b>	(2)事	業(	の方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性						エ:公平性		-の他	1 -/ -/			スト
(課題がある場合にと)		*1 ÷1≒	刘芷	・ノ・幼卒性		工. 五十注	カ:て	<b>₩</b>		Ę		ス! 推持   増加
(事業の成果) 市民防災組織は新規1組が結成	たわれ	<i>}-</i> -	れらほ	  体には世帯数	こ広じ	た運営補明	カ金を支出	することで		向	-24.54 43	
地域防災力の安定に寄与した。	市民	消火队	家の 豆	「搬ポンプについ	いては、	1隊の機材	オ更新を行	った。既防	:	上		
災士資格取得者は、地域で開か										維 持		0
(改革・改善)(課題・反省点) 組織率の目標値は70%を達成し	たが	再か	- ス細:	織結成の促進や	結成名	多のフォロ	ーアップもく	継続して行		低		
う必要がある。地域防火の要であ										下		

である。

市民防災組織は「共助の意識」を持つことが肝要であり、地域での講習会や訓練を通じて組織の結成や促進、組織の強化を図っていく

(廃止・休止の場合は記入不要)

く。 防災士については、市民防災組織への助言や提言を行うことができる仕組みづくり(総合防災訓練への参加や連絡会の企画等)や、 活用方法を検討していく。

令和 3 年度事後評価	令和	[] <sub>4</sub>	4 左	F度 事務	事業	マネシ	ジメン	<u>トシー</u>	<b>卜</b> 令	和 4 年 (	6 月作成
事務事業名 市民防災組織支	泛援事業	(防	火防:	災協会補助金)		所属部	市民生活	部	課長名	仲沢 克	之
政策名 環境·安全						所属課	防災課		係名	地域防災	
施策名 防災・災害対策の						予算科目	会計 1	款 9	項 1	目 5	事業 3番号 3
基本事業名 防災意識・地域防	5災力の	向上	1		地形態 (選択可)	全部	<b>『委託</b>	一部委託	✔ 補助・	助成	連携∙協働
<b>事業期間</b> 単年度繰返 年度~	年度	,	根拠								
市長公約   主要施策   1 現状把握の部(1)事務事	業の概		去令等 日 的	立川・国立		防災協会补	甫助金交付	要綱			
①事業概要	<b>5</b> \$		数の		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	   R6年度
立川消防署管内の市民に対して防災知識の普及及び防災意				ー 日現在)	人	184,090	184,577	185,124			
識の高揚を図り、消防機関に協力し災害の未然防止と被害の	3	11 17/1	.1/111	H 2011	7	104,030	104,577	105,124			<u> </u>
軽減に努める立川・国立防火隊	方 <b>【イ</b>									<u> </u>	<u> </u>
災協会に対して補助金を交付 する。							D0 /= #	D0 / T		D= <del>/= /=</del>	D0 # #
) '√o	<b>⑥</b> 清	舌動:	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか	ア	補助[	した団	体	組織	1	1	1	1		
当協会は、立川消防署と連携して、防火・防災に関する専門的		防災!	技術体	<b></b> 上 験 会 実 施 数	口	1	1	1	1		
な立場で活動し、市民への防	ウ										
火・防災知識の周知を図る。	<b>7</b> 5	戊果:	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
	) <b>ア</b>	防災:	技術体	<b>上</b> 上験会参加者数	人	156	127	127	150		пш
災害による被害を最小限に抑える。 市民や関係機関等と連携し		火災	こよる	死者数(年統計)	人	2	1	2	0		
る。市民へ関係機関等と連続して防災体制が強化される。		火災	こよる	傷者数(年統計)	人	6	7	10	0		
	(2)	事訓	業の=	コスト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動	)			国庫支出金	千円	0	0	0	0		
立川・国立防火防災協会による	5		財源	都支出金	千円	0	0	0	0	0	(
防災技術体験会を市民に広く 周知するため、令和3年度も市	.	1	源内	地方債	千円	0	0	0	0	0	(
民消火隊可搬ポンプ訓練と同	- 1	事	訳	その他	千円			0	-		
時に、市役所庁舎北側広場で 開催した。秋(11月9日~)・春		業費		一般財源	千円	697	700	701	704		
(3月1日~)の火災予防運動に		~	-	事業費計(A)	千円		700	701	704		(
は啓発チラシを作成し、市民に配布しポスターも市内に掲示し			±	予算額(B) 九行率(A)/(B)	千円	698 99.9%	700 100.0%	701 100.0%			
た。				<b>**1」~ (A</b> // (D) 						0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.0
		② 人		正規職員分	千円	90	180	450	270		
		件		年度任用職員等		15	0	0	0	0	(
		費		人件費計(C)	千円	105	180	450	270	0	(
		3	総事	業費(A)+(C)	千円	802	880	1,151	974	0	(
<ul><li>2 評価の部</li><li>(1)全体総括(①事業の成果</li></ul>	. ② 과 韋	t.⊒h	羊.(*	の理師・原坐占)		北美	まや見直しを図	70 ts	(2) 車者	美の方針	
※課題の有無 ア・日的妥当物				シ沫越・及省点/ レウ:効率性		<sup>  以                              </sup>			(Z/ <del>T</del> /		スト
(課題がある場合に <b>ノ</b> ) (事業の成果)	- Ш	1.7	1 W) IT	_ · _ / · M + L		<del>-</del>	_ · _ / / / /				持 増加
立川・国立防火防災協会の取り 業における訓練と同時開催する							市民防災組	l織支援事	向		
	o (,	クト	' ^ \ I   1	PUICHDAND SOCI	-14.田	/IC/Co			成 維 果 持	(	Э
(課題・反省点) 技術体験会に関して、その他事	事業との	連携	や白	治会に入ってい	たいま	「民への対	広等につい	って、引き終	7		
き検討が必要である。	, /\C^/.	~==1/5	, , ы	10 41 -7 1 -7 1 1	را بری			~ <b>,</b> JICN	下		1 == = = = = = = = = = = = = = = = = =
(2) 会後の声器の士白牌 /3-	ᅶᇕᆉ	生字	<b>₩</b> \						(廃止・	休止の場合に	は記入不要
(3)今後の事業の方向性(改本市と国立市、立川消防署とか				車推] 古足•₩	最の四	5災力向 5	のためには	片災訓練の	ほか 市日	いった。	お防災行
本川と国立川、立川侗の者と# 事等と立川・国立防火防災協会								J 少く ロバルオマノ	はい、川口	スル゙汐、朱ヨ	~.9h1 <i>h</i> K11

令和 3 年度事後評価	<del>介</del> 和	<u>n</u> 4	1 年度	事務	事業	ミマネシ	ジメン	トシー	ト <sub>令利</sub>	11 4 年 (	3 月作成 3 月作成
事務事業名防災備蓄倉庫の整	<b>£備</b>					所属部	市民生活	部	課長名	仲沢 克	さ
政策名 環境・安全						所属課	防災課		係名	地域防災	係
施策名 防災・災害対策の持	推進					予算科目	会計 1	款 9	項 1	目 5	事業 番号 6
基本事業名 防災意識・地域防災	そ力の	向上			形態 選択可)	全部	『委託 』	一部委託	補助・	助成	連携•協働
事業期間 単年度繰返			根拠	災害対策	基本法		都市公園法	等施行令	第5条		
中央の制制 昭和19 年度~ 市長公約 主要施策	年度		<b>卡</b> 令等	公園内の			準 備蓄倉庫記	2. 置更網			
1 現状把握の部(1)事務事業	の概	要・	目的·結果			Chilling 197 9C		<b>又巨女啊</b>			
①事業概要 一次避難所(小中学校等)から半	<b>⑤</b> \$	対象数	数の推移		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
径500m以上離れている地域の	ア	市民防	5災組織数		箇所	138	139	139	144		
公園等に、地域型防災備蓄倉 庫を設置し救助用資機材等を	1	市民队 要望数	方災組織備 6	蓄倉庫設置	箇所	1	1	1	1		
配備する。市民防災組織からの 要望で順次倉庫を設置する。小	ウ	女主女	Х								
中学校の屋内にある備蓄倉庫		舌動技	上煙		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
は要望で屋外に移設する。				災備蓄倉庫		夫領	実績	実績	計画	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか) 災害時の早急な救助活動の実	7	没置类	文	組織備蓄倉	箇所	0	0	0	0		
施及び被災者支援が出来るよ	1	車設置	量数	性似用 亩 石	箇所	1	0	0	1	<u> </u>	
う、必要な資機材や備蓄品を収 納するための倉庫が整備されて	ウ										
いる。		<b>戊果</b> 扌			単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)		地域型 累計)		倉庫設置数	箇所	10		10	10		
地域での防災活動が充実し、市	1	市民的数(累)	方災組織備	蓄倉庫設置	箇所	22	22	22	23		
民と連携した防災体制の強化につながる。	ウ	奴(糸)	ā1 <i>)</i>								
						H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	(2)	事業	<b>美のコスト</b>		単位	実績	実績	実績	計画	計画	計画
④令和3年度実績(事業活動)				庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
市民防災組織倉庫設置の相談 他、JR高架下の防災備蓄倉庫	- 1		:酒 ——	7支出金	千円		0	0	0	0	0
や多摩広域防災倉庫も有効に	- 1	1	内	地方債	千円		0	0	0	0	0
活用した。	- 1	事業	н ,	その他 -般財源	千円 千円		450	546	1,060	0	0
	- 1	費			千円		450	546	1,060	0	Ű
	- 1			額(B)	千円	1,949	1,449	1,060	_	_	_
			執行率	(A)/(B)	%	48.0%	31.1%	51.5%	_	_	_
	- 1	2		見   月給   時給)		0.11 0.00 0.10		0.06 0.00 0.00		0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	- 1	人件		職員分 5 日職 号 25	千円	990	990	540	1,530	0	0
	- 1	費し		任用職員等 量計(C)	十円	150 1,140	990	540	1,530	0	_
	H	(3) <sub>f</sub>	<u>ハロ</u> 総事業費(		千円		1,440	1,086	2,590	0	Ŭ
2 評価の部		<u> </u>		. , . (=)		_,	_,	_,	_,		
(1)全体総括(①事業の成果・②	改革	≛・改	善•③課題	種・反省点)		改善	きや見直しを図	つた	(2)事業	きの方針	
※課題の有無 (課題がある場合によ)		イ:有	効性 🗸	ウ:効率性		工:公平性	✓ オ:そ	の他			スト :持 ┃ 増加
(事業の成果)  市民防災組織の防災備蓄倉庫設	·置に	つい	て. 数度の	協議や現土	れ調査	がいない。 倉	倉庫設置に	向け調整を	,向	日17/50 小庄	1寸 141/11
図っている。今後も地域防災を考							.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	1 1 7 1 1 1 1 1	L   成 維		
(課題・反省点) 市民防災組織からの要望で設置 <sup>*</sup>	する倉	倉庫に	に関しては	、公園へ設	置をし	ているが、	防災備蓄	倉庫の設置	- │ │果 │ 持 │		
により、公園としての機能に影響だるペースという点でのバランスを考									低下		
必要である。	ル思し	Ç v .\	(元安(1*(8)	"い。ケ/こ、D	、	<i>エンの</i> リハマクド	17/20-12/93	マンHE的Dの1		休止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革	•改善	<b>善案</b> 等	等)								
地域型防災倉庫の維持・管理につ設置を行っていく。	ついて	て、関	係各課と連	車携していく	。市民	民防災備蓄	倉庫につい	ハては、要	望を正確に	-把握し、計	十画的な
IN EでTTフCV No											

令和 3 年度事後評価	令和	] 4	- 年	F度 事	務事業	マネシ	ジメン	トシー	· <b> -</b>	<u>令和</u>	4 年	6	月作成
事務事業名 避難所運営支援事	業					所属部	市民生活	<b></b> 音部	課長	名作	中沢 弓	記之	
政策名 環境・安全						所属課	防災課		係名	<b>当</b>	也域防	災係	
施策名 防災・災害対策の	推進					予算科目	会計 1	款 9	項	1	目 5	事番	·業 号 12
基本事業名 防災意識・地域防災	災力の	向上			実施形態	全部	8番託	✔ 一部委託	補	助•助	]成		携•協働
事業期間 単年度繰返	左曲	7	根拠	立川	市地域防災	(計画							
	年度 <b>〇</b>	法	令等	<del>-</del>									
1 現状把握の部(1)事務事業	)	要・	目的·	·結果·活動	カ・成果								
①事業概要 平成19年度より実施した防災モ			数の扌		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	度	R5年度	F	R6年度
デル地区推進事業にて作成し	ア対	寸象地	地区数	[	地区	12	12	2 12		12			
た避難所運営マニュアルをもと に、避難所運営体制を整えるた	イヌ	寸象過	至難所	運営組織数	組織	30	30	30		30			
め、避難所運営組織の活動を 支援する。また、平成31年度か	ウ												
ら各年3地区の地域版防災マップを更新している。	<b>⑥</b> 活	動排	旨標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年月 計画	支	R5年度 計画	F	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア 支	え援し	た地		地区	3				3			
避難所運営組織が地域における支援者とともに、各一次避難	1 支	え援し	た組織	織数	組織	8	7	7		8			
所で自立した運営ができてい	ウ												
వ <u>ి</u>	⑦成	果扣	旨標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年月 計画	支	R5年度 計画	F	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア自	立涅	動し	ている地区	割合 %	25.0				5.0			
災害による被害を最小限に抑え る。市民や事業者、関係機関等		日立記 刊合	動し	ている運営	組織 %	27.0	23.0	23.0	26	6.0			
と連携して防災体制が強化され	ウ	<u> 1 П</u>											
る。	(2)	事業	のコ	スト	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年原	复	R5年度	F	R6年度
④令和3年度実績(事業活動)	,_,	, , , ,		国庫支出		<b>実績</b> 0	実績	実績 ()	計画	0	計画	0	計画 ()
錦町・曙町・若葉町の3地区を対			財	都支出		0				0		0	0
象に、避難所運営連絡会を書			源中	地方任		0	C	0		0		0	0
面等で開催し、地域版防災マップの更新を行うとともに、避難所		① 事	内訳	その作		0	0	0		0		0	0
運営マニュアルに記載の避難		業	ы, ,	一般財	源 千円	2,690	2,686	4,299	2,9	39		0	0
所運営組織の見直しや施設利 用方法の再検討など各避難所	:	費	寻	事業費計(A	4) 千円	2,690	2,686	4,299	2,93	39		0	0
運営マニュアルの修正を行っ		Ī		予算額(B)	千円	2,740	2,724	4,434	_		_		_
た。また、避難所における感染対策			執	1行率(A)/(I	B) %	98.2%	98.6%	97.0%	_		—		—
を示した「感染症対策を踏まえ	(	2	職員	数(正規   月給	時給) 人	0.92 0.00 0.30	0.98 0.00 0.1	5 1.03 0.00 0.15	0.75 0.00	0.15 0.	00 0.00 0	.00 0.0	0.00 0.00
た避難所運営の補助資料」を作		<u>`</u> [	Ī	E規職員分	千円	8,280	8,820	9,270	6,7	50		0	0
成した。		件「	会計	年度任用職	員等 千円	450	300	300	30	00		0	0
		費し	J	人件費計(0	) 千円	8,730	9,120	9,570	7,0	50		0	0
		<b>③</b> 約	総事詞	業費(A)+	(C) 千円	11,420	11,806	13,869	9,9	89		0	0
2 評価の部										_		_	
(1)全体総括(①事業の成果・②	2)改革	•改	善•③	歌課題・反行	省点)	✓ 改割	らい 見直しを	図った	(2) 事	■業(	の方針		
※課題の有無 (課題がある場合にと) ア:目的妥当性		イ: 有:	効性	✔ ウ:効	]率性	工:公平性	オ: <sup>-</sup>	その他	]	Ļ		コスト	
(事業の成果)			<b>.</b>	— - >nt.db/t →e	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	^ · · · · · · ·	<b>4</b> 1.1 1 N.1	<b>₽</b>		向	削減し	維持	増加
対象の3地区について、地区ごとの更新や避難所運営マニュアル									8	Ηl			0
あった。									成果	維持			
(改革・改善)地域の要望により、追(課題・反省点)	<b>逆難</b> 所	連営	マニ	ュアルの修	止について	適冝対応	した。			低			_
地域版防災マップは地震時の活	用を主	:眼に	作成	えしているが	、令和元年	三10月の台	風19号の	経験を生か		下			

し風水害編として、風水害限定指定避難所の位置や風水害情報も掲載している。

更新した地域版防災マップを活用したシミュレーション訓練の実施など、その活用について検討する。市内の各一次避難所で避難所運営体制の検討を行い、避難所運営マニュアルの見直し、修正を行っていく。また、避難所運営訓練等を通じてマニュアルの検証を行い継続して修正を行うとともに、令和3年度に作成した「感染症対策を踏まえた避難所運営の補助資料」を避難所ごとに反映し、避難所の運営体制を強化していく。

(廃止・休止の場合は記入不要)

令和 3	年度事後評価	令和	和4	4 <b>左</b>	F度	事務	事業	マ	ネミ	ジメ	ン	トシ	/—	<b> </b>	令	和 4 年	6 月作成
事務事業名	民間住宅耐震化推	推進						所	属部	市民生	生活	部		課	長名	西上 大	助
政策名	環境•安全							所	属課	住宅記	果			係	名	住宅対策	係
施策名	防災・災害対策の	推進						予算	算科目	会計	1	款	8	項	4	目 1	事業 5番号 5
基本事業名	防災活動の推進						地形態	I	全部	『委託		一音	『委託	<b>v</b>	補助・	助成	連携・協働
事業期間	単年度繰返			根拠		築物の	耐震改				る法	全律					
		年度		去令等	<b>⊈</b> □ △	川市耐煙					1 ~ N =		V Mc a	L 44 and	. १७७		
市長公約 1 現状押握	主要施策   ( の部(1)事務事業	O L Eの相	好要•	日的		川市木注 活動•成		二間多	<b>。</b>	診断が	Z () [	时晨記	<b>多</b> 断	]	: 補		
①事業概要				数の		<u>石 却                                   </u>	単位	H31	<b>年</b>	R2年	审	D3/	年度	R44	午時	R5年度	R6年度
	文修促進計画に基 いまちづくりを促					化対象木									十尺	110千皮	110千皮
進するため、ス	木造住宅の耐震診	7			暦年1月		棟		8,899	8	,634		8,428				
	工事等に対する助、・啓発、耐震診断	1															
	、耐震性の向上を	ウ															
目指す。		<b>6</b>	活動	指標			単位		年度 編	R2年 実約			年度 :績	R44 計	年度画	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をど	のような状態にしたいのか)	ア	簡易	耐震部	<b>参</b> 断実施	 件数	件		<del>有</del>		1		4	н	_	HIFT	ин
	]上と制度利用を	1	アドノ	バイザ	一派遣実	施件数	件		14		27		22				
震改修工事等	、木造住宅の耐 等の施工につな	ウ	戸別詞	訪問作	+数		件		367		655		1,038				
げ、耐震化率	を向上させる。	7)	成果	指標			単位		年度	R2年 実約			年度 :績	R44 計	年度	R5年度 計画	R6年度 計画
	うな結果に結び付けるか)	ア	耐震	 診断す	 		件	<del></del>	· 小貝 4	<b>一大</b> 小	10		: <b>小見</b> 13				
	震化を支援するこ	1															
	火災延焼を防ぎ、																
炎者に短いま  きる。	ちづくりを促進で	ウ								<u> </u>							
		(2	)事ӭ	業の=	コスト		単位		年度 績	R2年 実統			年度 :績		年度 画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度	医実績(事業活動)				国庫	支出金	千円		355		732	1	,302	2	,108	0	0
	耐震化緊急促進			財源	都因	と出金	千円		90		366		491		994	0	0
アクションプロ ・広報、ホーム	クラムの取組へページ掲載による		1	源内	地	方債	千円		0		0		0		0	0	0
啓発			事	訳	_	の他	千円		0		0		0		0	0	_
	オセンターへの業 住宅簡易耐震診		業費		1	<u></u>	千円		303		467		313		,159	0	
	一派遣•戸別訪			=	事業費詞		千円		748		565 507		2,106	4	,261	0	0
間) ·木造住宅耐力	震診断助成			±	予算額 執行率(A		千円 %		3,554 21.0%		,597 3.5%		3,264 64.5%		_		
						/// (D/ 月給 時給)				0.15 0.35	_	_				0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
			② 人		正規職		千円		450		350		900		900	0	
			件			用職員等		]	1,050	· ·	470	1	,470	1	,260	0	0
			費		人件費訂	†(C)	千円		1,500	2,	820	2	2,370	2	,160	0	0
<u></u>			3	総事	業費(A)	)+(C)	千円	4	2,248	4,	385	4	4,476	6	,421	0	0
2 評価の部			보기	· 羊 /	う 手用 B E E	ロル EX				É LA PIT	ı + =	71 - ±		(0	/ 事 %	きの方針	
(1)全体総招  ※課題の有無	(①事業の成果・②							_ L		らや見直 ┏━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━					/ 尹 オ		スト
(課題がある場合に)	ア:目的妥当性	Ш	1:信	刘任	?	/: 刈平性		工:2	工件性	<u>Ш</u>	1:そ	の他					<u>^                                    </u>
簡易耐震診断	f、アドバイザー派遣	<b>畫、</b> 戸	別訪	間を	実施し、	助成制度	の普	及•론	各発に	努める	とと	もに、	耐震		向上		0
診断の助成に (課題・反省点														Į,	↓ <u>上</u> 対 維		_
耐震診断の件	-数増だが、まだ執行	行率を	を伸に	ばす 弁	≷地があ	る。引き約	売き、戸	三別	訪問等	争による	啓到	卷、耐	震化	見	<b>!</b> 持		
の促進に努め	る。														低下		
														(,		休止の場合に	は記入不要)
(3) 今後の事	幕業の方向性(改革	• 改	善案	等)													
立川市耐震改	文修促進計画に定め	た目	標の	達成	に向け、	立川市信	主宅所	震化	緊急	促進ア	クシ	ヨンフ	プログ	ラムに	基づ	く旧耐震基	準の民
	)耐震性の向上を目 市民に対し耐震化																

一 / 30 あた、いれに対し回域にソタがではない、V バスにくために、幅仏い情報提供を適切かつ継続的に実施し、建築士会等の関連団体との連携や適切な相談体制の整備を図るほか、老朽マンションを含む非木造住宅への耐震化促進事業の可能性について研究していく。

令和 3	年度事後評価	令	和 4	4 <b>£</b>	丰度	事務	事業	₹マ	<b>'ネ</b> シ	ジメ	ン	トシ	<i>_</i>	<b> </b>	令和	和 4 年	6 月作成
事務事業名	民間住宅耐震化推	推進(	耐震	改修	補助金	)		克	所属部	市民生	生活	部		課	長名	西上 大	助
政策名	環境•安全							克	所属課	住宅詞	果			仔	系名	住宅対策	係
施策名	防災・災害対策の	推進						予	·算科目	会計	1	款	8	項	4	目 1	事業 5番号 5
基本事業名	防災活動の推進						<b>地形態</b>		全部	<b>『委託</b>		一	邻委託	~	補助・	助成	連携・協働
事業期間	単年度繰返			根拠	_	整物の	耐震改				る法	律					
市長公約		年度 <b>〇</b>	Š	去令等	⊈ [≟	2川市耐煙 2川市木道					¢ 81-1 ∈	北会元	ち仕事	<b>三</b> 公図			
	エタルス  N の部(1)事務事業		L 既要・	目的				5 JUN )	長以形	守尹未	€ <i>19</i> J/\	以金 2	文刊 多	ぐ孙門			
①事業概要			対象			, <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	単位	Н3	1年度	R2年	度	R34	年度	R4:	年度	R5年度	R6年度
	女修促進計画に基 いまちづくりを促	_	昭和:	56年以	以前の耐力	震化対象	棟		8,899	S.	634		8,428				
	木造住宅の耐震改		木造	住宅数	枚(暦年1	月1日時	1/1		0,000	0,	,001		0,120				
修工事等に対耐震性の向」	対する助成を行い、 上を目指す。	1															
		ウ						110	4 F F	D0 /	#	D0.	<del></del>	D.4.	h- rt-	DE 5 5	D0/T/#
		6	活動				単位		1年度 実績	R2年 実績			年度 績		年度 ·画	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をと	でのような状態にしたいのか)	ア	簡易にアドン	耐震診 バイザ・	》断実施 一派遣実	件数 : 施件数	件		6 14		1 27		4 22				
	付震改修工事等を	1	戸別			.~ <u>=11.2</u>	件		367		655		1,038				
促進し、耐震 る。	化率を向上させ	ゥ	耐震	診断す	 実施件数		件		4		10		13				
		_	成果				単位		1年度	R2年			年度		年度	R5年度	R6年度
<b>②4+ 田</b>	<del>-</del>				L事等実	施件数		5	実績	実統		実	.績		·画	計画	計画
	うな結果に結び付けるか) 対震化を支援するこ	ア	(設計	ト・工事	<b>E</b> 監理含		件		2		1		0				
とで、倒壊や	火災延焼を防ぎ、		建替	え			件		_		2		5				
災害に強いま きる。	ちづくりを促進で	ウ	除却				件		_		0		4				
C.20		(2	2)事第	業の=	コスト		単位		1年度	R2年			年度		年度	R5年度	R6年度
④今和3年度	度実績(事業活動)				国庫	支出金	千円	ž	<b>実績</b> 708	実統	900		:績 1,315		·画 3,750	計画	計画
_	耐震化緊急促進			財		之出业 5出金	十円		0		950		,567		4,375		~
	ログラムの取組 ムページ掲載による		1	源中		<u>` ̄ ̄</u> 方債	千円		0		0		0		0	0	(
啓発			事	内訳	そ	の他	千円		0		0		0		0	0	(
	材センターへの業 住宅簡易耐震診		業費		<b>一</b>	<b>殳財源</b>	千円		792	1,	050		318	5	,875	0	C
断・アドバイサ	正七間 <i>多</i> 間及む ドー派遣・戸別訪		貝	3	事業費詞		千円		1,500		900	6	5,200	19	,000	0	(
問) • 木浩住字耐	震改修、建替え、			_	予算額		千円		6,000	-	200		0,200	-	_		_
除却工事助原					执行率(A	A)/(B)  月給 時給)	%	0.05	25.0%		2.4%		60.8%	0.10.0	20 0 00		0.00 0.00 0.00
			② 人		正規職		イチ円	0.05	450		350	0.10 0.	900		900	0.00 0.00 0.00	
			件			アプ 用職員等	1		1,050	-	470	1	1,470		,260	0	
			費		人件費記		千円		1,500		820		2,370		2,160	0	(
			3	総事	業費(A	)+(C)	千円		3,000	6,	720	8	3,570	21	,160	0	C
2 評価の部		<b>-</b>		<b>.</b>						· ·				1-	\ <del></del> = -"	* o + ^!	
(1)全体総括 ※課題の有無	5①事業の成果・②	•								や見直				(2	)事第	美の方針	スト
(課題がある場合により) (事業の成果)			イ∶有	幼性	;	7:効率性		<b>工</b> :	公平性	7	<b>ग</b> ∶そ	·の他					<u>ヘト</u> 持   増加
簡易耐震診斷	<b>新、アドバイザー派遣</b>														向L	12.000	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
改修、補強設なった。	:計・工事監理に加え	えて、	建替	え、阴	余却に対	する助成	を引き	き続	き行っ	た結果	、助	成件	数増る	ᆸ	上 述 維	,	
(課題・反省点		.l		d. 383	—··	datine 22		<b>→</b> /	v	÷.//	> <i>!</i> !	· - 4-	., -	5	龙 棋 持	(	
実施件数増た	どが、まだ執行率を値	甲ば、	す余均	也があ	つる。戸別	川訪問等	による	啓多	è、耐慧	(化の	足進	に努る	める。		低下		
														(	廃止•	休止の場合	は記入不要
	事業の方向性(改革				, , ,			. ===					0		ш.	),	4 Mt.
	女修促進計画に定め ○耐震性の向上を目																
14. La La			・ニッノ	プロコル	ヘッヘッシュ	ノチュルフ		ルムノ	去土口 +日 /	ユショパヘリ	いん		(本品	ノロマノ、	/   L C	- ドー・フ ハ 川	ペーロ ご 八

| 立川市耐震改修促進計画に定めた目標の達成に同け、立川市任宅耐震化緊急促進アクションフロクラムに基づく旧耐震基準の民間木造住宅の耐震性の向上を目指すため、耐震改修工事等に対する拡充された助成制度の普及・啓発の強化を図り、耐震化を促進する。また、市民に対し耐震化の理解を深めていただくために、幅広い情報提供を適切かつ継続的に実施し、建築士会等の関連団体との連携や適切な相談体制の整備を図るほか、老朽マンションを含む非木造住宅への耐震化促進事業の可能性について研究していく。

令和 3 年度事後評価	令和	<u> </u>	<b>ነ</b>	F度 事務	事業	ミマネシ	ジメン	トシー	ト <sub>令</sub>	和 4 年 (	6 月作成 <u></u>
事務事業名消火栓の設置						所属部	市民生活	部	課長名	仲沢 克	之 之
政策名 環境・安全						所属課	防災課		係名	地域防災	.係
施策名 防災・災害対策の技	推進					予算科目	会計 1	款 9	項 1	目 4	事業 1番号
基本事業名防災活動の推進					<b>も形態</b>	全部	『委託 ▶	一部委託	補助・	助成	連携·協働
事業期間 単年度繰返			根拠	消防法第2	20条	消防水利の	の基準第2	条			
昭和41 年度~	年度		<b>长令等</b>	≰ □ 型川田地	,	(計画					
□ 市長公約   1 主要施策   1 現状把握の部(1)事務事業	 eの概	要・	目的	*************************************							
①事業概要		付象数			単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
火災が発生した際に確実な消 火活動が行えるように維持管理		消火档			基	2,166	2,169	2,169	2,171		
及び新規設置等、消火栓の管理を行う。	, ,	水利指		れた排水栓の総	基	36	33	33	33		
また、既存消火栓及び排水栓の	3	数			坐	30	- 33				
枠塗装の補修を行う。	ウ					H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	6;	舌動扌	旨標		単位	実績	実績	実績	計画	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア	新規消	当火档	全設置箇所数	基	0	1	1	1		
火災が発生した際に確実な消 火活動が行えるように常に有効	1	消火档	全撤去	云箇所数	基	0	0	0	0		
な水利が確保されている状態に	ウ	<b>忰塗</b> 装	支補修	<b>多</b> 箇所数	基	100	100	97	100		
なっている。	<b>7</b>	<b></b> 成果技	旨標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア	水利虫	を備の	)充足率	%	97.9	98.4	98.3	98.5		
災害による被害を最小限に抑え		火災に 数	こおけ	る消火栓使用回	口	9	14	28	17		
る。市民や事業者、関係機関等と連絡して防災体制が強化され	ウ	奴									
る。						1101左曲	DO左连	DO左曲	D4左连	DE左连	DC左连
	(2)	事業	€の=	コスト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)				国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
消火栓の移設及び補修を実施 した。消火栓及び排水栓の枠塗			財源	都支出金	千円		0	0	0	0	_
装を行った。		1	内	地方債	千円		0	0	0		_
		事   業	訳	その他	千円		33,533	47,115	39,506	0	
		費	3	<u> </u>	千円		33,533	47,115	39,506		Ů
		ŀ		ディタログ// 予算額(B)	千円	43,084	39,315	50,027	—	_	_
			幸	丸行率(A)/(B)	%	65.8%	85.3%	94.2%	_	_	_
		2	職員	<b>数</b> (正規 月給 時給)	人	0.08 0.00 0.15	0.11 0.00 0.00	0.06 0.00 0.00	0.06 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
		人		正規職員分	千円	720	990	540	540	0	0
		件		年度任用職員等	_		0	0	0	0	_
	ŀ			人件費計(C)	千円	945	990	540	540	0	
L 2 評価の部		3)f	∜争:	業費(A)+(C)	千円	29,277	34,523	47,655	40,046	0	0
(1)全体総括(①事業の成果・②	2)改革	• 改	善 (	③課題・反省点)		改善	きや見直しを図	つた	(2)事業	美の方針	
※課題の有無 (課題がある場合にマ)ア:目的妥当性[		イ:有	効性	ウ:効率性	<b>V</b>	工:公平性	オ:そ	の他			スト
(事業の成果)	±	ヘマ. ⁄型	工士左	ケチャル 火 老 1ヶ 亜 ウ	月1 十二	かなおかみ	<b>公二</b> る[187]テ	<b>4.</b> 开门沙丛 .1. 4.		削減 維	持 増加
多摩水道改革推進本部に対し、i 蓋を丸型消火栓蓋に改修した。	画正/。	♪ J´昇	科貝多	早と担ヨ有 に安ま	<b>≛</b> <i>U/</i> ⊂ <sub>0</sub>	。修穡寺で	117际(二、)	<b>再空</b> 们久怕	「   上		
(課題・反省点) 消火栓は火災発生時の水利とし <sup>*</sup>	て右	·かか	~iX	更でおり 設置及	5 アド&任	*	¥続 する心	亜がある	成 集 持	(	)
水道施設の耐震化が急務となって									画 低		
的に管理していく必要がある。									(廃止・	┃    ┃ 休止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革	. 改	善案等	等)						,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	201	
水道施設の耐震化に伴う経費を含				道局多摩水道改	文革推	進本部と連	連携、協力し	、年次計画	画の作成及	び予算措	置を行っ
ていく。											

令和 3 年度事後評価	令和 4	4 <b>4</b>	年度 事務	事業	マネシ	ジメン	トシー	<b>卜</b> 令	和 4 年 6	6 月作成
事務事業名 耐震性防火貯水槽	•				所属部	市民生活	部	課長名	仲沢 克森	之
政策名 環境・安全					所属課	防災課		係名	地域防災	係
施策名 防災・災害対策の	推進				予算科目	会計 1	款 9	項 1	目 4	事業 2 番号 2
基本事業名防災活動の推進			実施	地形態 <sub>選択可)</sub>	全部	『委託 €	一部委託	補助・	助成	連携・協働
事業期間 単年度繰返	左曲	根拠	消防法第2		ŧ					
田和52 年度~   市長公約   主要施策	年度	去令	消防水利( 立川市地)							
1 現状把握の部 (1)事務事業	美の概要・	目的	·結果·活動·成	果						
① <b>事業概要</b> 災害発生時に確実な消火活動	⑤対象	数の	推移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
を行えるよう有効な消防水利を	ア耐震	性防り	と 貯水槽	基	793	817	822	827		
確保する。	1									
	ウ									
	 ⑥活動	指標		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア修繕			件	<b>実績</b> 3	<b>実績</b> 4	<b>実績</b> 6	<u>計画</u> 5	計画	計画
火災が発生した際に確実な消			++1 \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \							
火活動が行えるよう、常に有効 な消防水利が確保されている状		地工气力	支払い件数	件	11	10	10	10		
旅にする。	ウ				H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	⑦成果			単位	実績	実績	実績	計画	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)			巻による防火貯水 设置件数	個	5	10	9	10		
災害による被害を最小に抑え る。市民や事業者、関係機関等	•	メッシ		メッ シュ	439	440	441	442		
と連携して防災体制が強化され	ウシュ数		足メッシュ/総メッ	%	92.6	92.8	93.0	93.2		
<b>ప</b> .	(2)事	業の=	コスト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
防火貯水槽修繕・維持管理を実施した。民有地を借用して防火		財   源	都支出金	千円	0	0	0	0	0	0
貯水槽を設置している10件の借	1	内	地方債	千円	0	0 496	0	0	0	0
用地代(賃料相当損害金1件含む。)の支払いを行った。	事業	訳	その他	千円	5,301	8,426 5,757	30,779	59,809	0	0
民有地の防火貯水槽撤去に向け、補償や撤去工事契約を行っ	費	1		千円	5,301	14,183	30,779	59,809	0	0
た。			予算額(B)	千円	8,203	21,593	48,108	_	_	_
市道下に設置されている防火貯水槽1基を撤去した。		<u> </u>	執行率(A)/(B)	%	64.6%	65.7%	64.0%		_	_
開発等まちづくり指導要綱に基づき、防火貯水槽の設置に関す	2		数(正規   月給   時給)				0.12 0.00 0.00			
る開発指導検査を行った。	人		正規職員分 十年度任用職員等	千円	540 75	2,880	1,080	2,250	0	0
	費		人件費計(C)	千円	615	2,880	1,080	2,250	0	0
	3	総事	業費(A)+(C)	千円	5,916	17,063	31,859	62,059	0	0
2 評価の部 (4) なけい (3) 東 ** の ぱ 思 (6)		-¥ /	多細胚 二体上		17L ×	: L = : + :	a 4	(0) 車 #	*~+	
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 ア:目的妥当性						きや見直しを図 ・・・ <i>2</i>	goた の他	(乙)事才	美の方針 コフ	スト
(課題がある場合に)(改革・改善)	11:#	刘注	リニューリン 効率性		工:公干压	1:で	707世	-		持 増加
不足メッシュ区域の把握、消防署										0
防署と水利に関する意見交換を行 求められている案件について、撤					で信地の別	丌有 有 より□	上地区退化	成維		
(課題・反省点) 民有地を借用して設置している例	5 火 貯 水 槓	まにつ	いては 埋設現え	兄調本	でを行ったか	な。設置状:	況や近隣出	果持低		
況により、すぐに撤去が困難な箇			. (101( 土泉())	) L	1211 - 721	, CEC		下	仕止の担合と	+記17世)
 (3)今後の事業の方向性(改革	▼ 改善家	等)						(廃止・	休止の場合は	ょ配八个罢)
不足メッシュの解消を行う。	- <b>以</b> 古木	च /								
まちづくり指導要綱における設置 老朽化した防火貯水槽について							~確保する			
市が借地に設置している防火貯	水槽に関し	しては	は、原状回復の上`						i火貯水槽	の埋設状
況等をふまえながら計画的に撤っ	ムを行って	11/								

	17 47	<u> </u>		F度 事務 <del>-</del>	尹未	マイン	<u> </u>	トンー	<b>卜</b> 令和	和4年6	<u> </u>
事務事業名防災訓練推進事業	美(図上	:防災	と訓練 かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	東推進事業)		所属部	市民生活	部	課長名	仲沢 克素	之
政策名 環境・安全						所属課	防災課		係名	地域防災	係
施策名 防災・災害対策の	推進					予算科目	会計 1	款 9	項 1	目 5	事業 番号 2
基本事業名防災活動の推進					<b>施形態</b>	全部	<b>『</b> 委託 <b>▶</b>	一部委託	補助・	助成	連携•協働
事業期間 単年度繰返	左应	7	根拠	災害対策	基本法						
平成17 年度~ 市長公約 主要施策	年度		令等		<b>蚁</b> 沙	(計画					
1 現状把握の部(1)事務事業	美の概:	要・	]的·	·結果·活動·成	果						
① <b>事業概要</b> 大規模な地震災害発生時にお	<b>⑤</b> 対	象数	女の扌	推移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
けるシミュレーション方式の図上	アポ	ī職員	員(4月	1日現在)	人	1,043	1,032	1,033	1,035		
防災訓練を実施することにより、 市職員の危機管理能力や災害	1										
対応力の向上を図るとともに、対応マニュアル、庁内情報ルー	ゥ										
ト、情報伝票様式等の改善に向		_ <del> </del>	<b>上</b>		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
けた問題点の洗い出しを行う。		動拍				実績	実績	実績	計画	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	アド	上队	5災訓	練実施回数	口	1	1	1	1		
大規模災害発生時、職員一人 ひとりが自分の任務を理解し、	1										
確実に遂行できる。また、それら	ウ										
を結集して、組織としての対応 が迅速・的確に行える。	⑦成	果扣	旨標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	アゖ	ī職員	参加	1者数	人	80	142	143	150		
災害による被害を最小限に抑え	1										
る。	ウ										
						H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	(2)	事業	⊚⊐	スト	単位	実績	実績	実績	計画	計画	計画
_						大限	大限	大帜	可凹	前四	H1 111
④令和3年度実績(事業活動)				国庫支出金	千円	()	<del>天</del> 槇 ()	<del>大</del> 根	fi回 ()	0	0
令和4年1月11日から2月3日に			財源	都支出金	千円	0	0	0	0	0	0
令和4年1月11日から2月3日に かけて訓練を実施し、多数の市 職員の参加を得た。訓練によっ		<u></u>	源内	都支出金 地方債	千円 千円	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
令和4年1月11日から2月3日にかけて訓練を実施し、多数の市職員の参加を得た。訓練によって各部の災害時での体制の検		事	源	都支出金 地方債 その他	千円 千円 千円	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0
令和4年1月11日から2月3日にかけて訓練を実施し、多数の市職員の参加を得た。訓練によって各部の災害時での体制の検討や問題点の洗い出しが行われ、対応マニュアルの見直しを			源内訳	都支出金 地方債 その他 一般財源	千円 千円 千円	0 0 0 0 0 1,150	0 0 0 0 1,155	0 0 0 0 1,155	0 0 0 0 1,320	0 0 0 0	0 0 0 0
令和4年1月11日から2月3日にかけて訓練を実施し、多数の市職員の参加を得た。訓練によって各部の災害時での体制の検討や問題点の洗い出しが行われ、対応マニュアルの見直しを行った。		事	源内訳	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A)	千円 千円 千円 千円	0 0 0 0 1,150 1,150	0 0 0 0 1,155 1,155	0 0 0 0 1,155 1,155	0 0 0 0 1,320 1,320	0 0 0 0 0	0 0 0
令和4年1月11日から2月3日にかけて訓練を実施し、多数の市職員の参加を得た。訓練によって各部の災害時での体制の検討や問題点の洗い出しが行われ、対応マニュアルの見直しを		事	源内訳	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B)	千円 千円 千円 千円 千円	0 0 0 0 1,150 1,150 1,320	0 0 0 0 1,155 1,155	0 0 0 0 1,155 1,155	0 0 0 0 1,320 1,320 —	0 0 0 0 0	0 0 0 0
令和4年1月11日から2月3日にかけて訓練を実施し、多数の市職員の参加を得た。訓練によって各部の災害時での体制の検討や問題点の洗い出しが行われ、対応マニュアルの見直しを行った。また、各部が訓練時に作成した災害対応計画が、「実災害発生時にどのようなことをしなければ		事 業 費 -	源内訳	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B)	千円 千円 千円 千円 千円	0 0 0 0 1,150 1,320 87.1%	0 0 0 0 1,155 1,155 1,320 87.5%	0 0 0 0 1,155 1,155 1,320 87.5%	0 0 0 0 1,320 1,320 —	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0
令和4年1月11日から2月3日にかけて訓練を実施し、多数の市職員の参加を得た。訓練によって各部の災害時での体制の検討や問題点の洗い出しが行われ、対応マニュアルの見直しを行った。また、各部が訓練時に作成した災害対応計画が、「実災害発生時にどのようなことをしなければならないか」「どのようなことが課		事業費 - ② -	源内訳 戦員	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) でで(A)/(B) 数(正規   月給   時給)	千円 千円 千円 千円 千円 千円	0 0 0 1,150 1,150 1,320 87.1%	0 0 0 1,155 1,155 1,320 87.5%	0 0 0 1,155 1,155 1,320 87.5%	0 0 0 1,320 1,320 — —	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0
令和4年1月11日から2月3日にかけて訓練を実施し、多数の市職員の参加を得た。訓練によって各部の災害時での体制の検討や問題点の洗い出しが行われ、対応マニュアルの見直しを行った。また、各部が訓練時に作成した災害対応計画が、「実災害発生時にどのようなことをしなければならないか」「どのようなことが課題となるか」がまとまったものとなり、各種マニュアルの作成・見直		事業費 ②人件	源内訳	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B)	千円 千円 千円 千円 千円 千円 % 人	0 0 0 0 1,150 1,320 87.1%	0 0 0 0 1,155 1,155 1,320 87.5%	0 0 0 0 1,155 1,155 1,320 87.5%	0 0 0 0 1,320 1,320 —	0 0 0 0 0 0 0 	0 0 0 0 0 0 0 
令和4年1月11日から2月3日にかけて訓練を実施し、多数の市職員の参加を得た。訓練によって各部の災害時での体制の検討や問題点の洗い出しが行われ、対応マニュアルの見直しを行った。また、各部が訓練時に作成した災害対応計画が、「実災害発生時にどのようなことをしなければならないか」「どのようなことが課題となるか」がまとまったものとな		事業費  ②人	源内訳 朝員 計	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) (石本(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等	千円 千円 千円 千円 千円 4 千円 千円	0 0 0 1,150 1,320 87.1% 0.38 0.00 0.00 3,420	0 0 0 1,155 1,155 1,320 87.5% 0.36 0.00 0.00 3,240	0 0 0 1,155 1,155 1,320 87.5% 0.65 0.00 0.00 5,850	0 0 0 1,320 1,320 — 0.60 0.00 0.00 5,400	0 0 0 0 0 0 0  0.00 0.00 0.00	0 0 0 0 0 0 0 
令和4年1月11日から2月3日にかけて訓練を実施し、多数の市職員の参加を得た。訓練によって各部の災害時での体制の検討や問題点の洗い出しが行われ、対応マニュアルの見直しを行った。また、各部が訓練時に作成した災害対応計画が、「実災害発生時にどのようなことをしなければならないか」「どのようなことが課題となるか」がまとまったものとなり、各種マニュアルの作成・見直		事業費 ②人件費	源内訳 報員 計	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) (行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等	千円 千円 千円 千円 4 千円 千円 千円 千円	0 0 0 1,150 1,320 87.1% 0.38 0.00 0.00 3,420 0	0 0 0 1,155 1,320 87.5% 0.36 0.00 0.00 3,240 0	0 0 0 1,155 1,320 87.5% 0.65 0.00 0.00 5,850	0 0 0 1,320 1,320 — — 0.60 0.00 0.00 5,400	0 0 0 0 0 0 0 	0 0 0 0 0 0 0 
令和4年1月11日から2月3日にかけて訓練を実施し、多数の市職員の参加を得た。訓練によって各部の災害時での体制の検討や問題点の洗い出しが行われ、対応マニュアルの見直しを行った。また、各部が訓練時に作成した災害対応計画が、「実災害発生時にどのようなことをしなければならないか」「どのようなことが課題となるか」がまとまったものとなり、各種マニュアルの作成・見直		事業費 ②人件費	源内訳 報員 計	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) (石本(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等	千円 千円 千円 千円 千円 4 千円 千円	0 0 0 1,150 1,320 87.1% 0.38 0.00 0.00 3,420	0 0 0 1,155 1,155 1,320 87.5% 0.36 0.00 0.00 3,240	0 0 0 1,155 1,320 87.5% 0.65 0.00 0.00 5,850	0 0 0 1,320 1,320 — 0.60 0.00 0.00 5,400	0 0 0 0 0 0 0 	0 0 0 0 0 0 0 
令和4年1月11日から2月3日にかけて訓練を実施し、多数の市職員の参加を得た。訓練によって各部の災害時での体制の検討や問題点の洗い出しが行われ、対応マニュアルの見直しを行った。また、各部が訓練時に作成した災害対応計画が、「実災害発生時にどのようなことをしなければならないか」「どのようなことが課題となるか」がまとまったものとなり、各種マニュアルの作成・見直しを図った。		事業費  ②人件費 ③	源内訳 職 会 総	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) (A) (A) (B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 (件費計(C) 業費(A)+(C)	千円         千円         千円         千円         千円         %         千円         千円         千円         千円         千円	0 0 0 1,150 1,320 87.1% 0.38 0.00 0.00 3,420 0 4,570	0 0 0 1,155 1,320 87.5% 0.36 0.00 0.00 3,240 0	0 0 0 1,155 1,320 87.5% 0.65 0.00 0.00 5,850 0 7,005	0 0 0 1,320 1,320  0.60 0.00 0.00 5,400 6,720	0 0 0 0 0 0 0 	0 0 0 0 0 0 0 0 0.00 0.00
令和4年1月11日から2月3日にかけて訓練を実施し、多数の市職員の参加を得た。訓練によって各部の災害時での体制の検討や問題点の洗い出しが行われ、対応マニュアルの見直しを行った。また、各部が訓練時に作成した災害対応計画が、「実災害発生時にどのようなことをしなければならないか」「どのようなことが課題となるか」がまとまったものとなり、各種マニュアルの作成・見直しを図った。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無	2改革	事業費 ②人件費 ③ 改	源内訳	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) 行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 件費計(C) 業費(A)+(C)	千円       千円         千円       千円         千円       千円         千円       千円	0 0 0 1,150 1,320 87.1% 0.38 0.00 0.00 3,420 0 4,570	0 0 0 1,155 1,320 87.5% 0.36 0.00 0.00 3,240 0,3240 4,395	0 0 0 1,155 1,320 87.5% 0.65 0.00 0.00 5,850 0 5,850 7,005	0 0 0 1,320 1,320  0.60 0.00 0.00 5,400 6,720	0 0 0 0 0 0 0 - - 0,00 0,00 0,00 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
令和4年1月11日から2月3日にかけて訓練を実施し、多数の市職員の参加を得た。訓練によって各部の災害時での体制の検討や問題点の洗い出しが行われ、対応マニュアルの見直しを行った。また、各部が訓練時に作成した災害対応計画が、「実災害発生時にどのようなことをしなければならないか」「どのようなことが課題となるか」がまとまったものとなり、各種マニュアルの作成・見直しを図った。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 ア:目的妥当性 (事業の成果)	2改革	事業費 ②人件費 ③ 改有	源内訳                      善	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) (石本(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 件費計(C) 業費(A)+(C)	千円       千円         千円       千円         千円       八円         千円       千円         千円       千円	0 0 0 1,150 1,320 87.1% 0.38 0.00 0.00 3,420 0 3,420 4,570	0 0 0 1,155 1,320 87.5% 0.36 0.00 0.00 3,240 0 3,240 4,395	0 0 0 1,155 1,320 87.5% 0.65 0.00 0.00 5,850 0 5,850 7,005	0 0 0 1,320 1,320 ————————————————————————————————————	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
令和4年1月11日から2月3日にかけて訓練を実施し、多数の市職員の参加を得た。訓練によって各部の災害時での体制の検討や問題点の洗い出しが行われ、対応マニュアルの見直しを行った。また、各部が訓練時に作成した災害対応計画が、「実災害発生時にどのようなことをしなければならないか」「どのようなことが課題となるか」がまとまったものとなり、各種マニュアルの作成・見直しを図った。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 (課題がある場合に) ア:目的妥当性 (事業の成果) 災害時初動対応マニュアルの見	2改革	事業費 ②人件費 ③ 改有	源内訳                      善	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) (石本(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 件費計(C) 業費(A)+(C)	千円       千円         千円       千円         千円       八円         千円       千円         千円       千円	0 0 0 1,150 1,320 87.1% 0.38 0.00 0.00 3,420 0 3,420 4,570	0 0 0 1,155 1,320 87.5% 0.36 0.00 0.00 3,240 0 3,240 4,395	0 0 0 1,155 1,320 87.5% 0.65 0.00 0.00 5,850 0 5,850 7,005	0 0 0 1,320 1,320 ————————————————————————————————————	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
令和4年1月11日から2月3日にかけて訓練を実施し、多数の市職員の参加を得た。訓練によって各部の災害時での体制の行われ、対応マニュアルの見直しを行った。また、各部が訓練時に作成した災害対応計画が、「実災害発生時にどのようなことをしなければならないか」「どのようなことが課題となるか」がまとまったものとなり、各種マニュアルの作成・見直しを図った。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・①、実題の有無、(課題がある場合に)、ア:目的妥当性(事業の成果)災害時初動対応マニュアルの見(改革・改善)例年とは異なり、時間をかけた課	20 <b>改革</b> / 直しや 出出	事業費 ②人件費 ③ 改有 災型の	源内訳  「職」会 一	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) (石率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 件費計(C) 業費(A)+(C) 課題・反省点) レ ウ:効率性	千円千円千円 千円	0 0 0 1,150 1,320 87.1% 0.38 0.00 0.00 3,420 0 3,420 4,570	0 0 0 1,155 1,320 87.5% 0.36 0.00 0.00 3,240 0 3,240 4,395	0 0 0 1,155 1,320 87.5% 0.65 0.00 0.00 5,850 7,005	0 0 0 1,320 1,320 ————————————————————————————————————	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
令和4年1月11日から2月3日にかけて訓練を実施し、多数の市職員の参加を得た。訓練によって各部の災害時での体制の行われ、対応マニュアルの見直しを行った。また、各部が訓練時に作成した災害対応計画が、「実災害発生時にどのようなことをしなければならないか」「どのようなことが課題となるか」がまとまったものとなり、各種マニュアルの作成・見直しを図った。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・①、実題の有無、課題がある場合により、 ア:目的妥当性(事業の成果)災害時初動対応マニュアルの見(改革・改善) 明年とは異なり、時間をかけた課でニュアル等の見直しを図るこ	20 <b>改革</b> / 直しや 出出	事業費 ②人件費 ③ 改有 災型の	源内訳  「職」会 一	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) (石率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 件費計(C) 業費(A)+(C) 課題・反省点) レ ウ:効率性	千円千円千円 千円	0 0 0 1,150 1,320 87.1% 0.38 0.00 0.00 3,420 0 3,420 4,570	0 0 0 1,155 1,320 87.5% 0.36 0.00 0.00 3,240 0 3,240 4,395	0 0 0 1,155 1,320 87.5% 0.65 0.00 0.00 5,850 7,005	0 0 0 1,320 1,320 — 0.60 0.00 0.00 5,400 6,720	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
令和4年1月11日から2月3日にかけて訓練を実施し、多数の市職員の参加を得た。訓練によって各部の災害時での体制のが書時での体制のが書時での体制のできる。 おいかりになった。また、各部が訓練時に作成とを行った。また、各部が訓練時に作成と手にといるができるとをしなけれが思とならないからどのようなことがはならないからどのようなことがは、となるからがまとまったものとなり、各種マニュアルの作成・見直しを図った。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・(課題がある場合により、時間をかけた関連をの成果)災害時初動対応マニュアルの見では異なり、時間をかけた課では異なり、時間をかけた課では異なり、時間をかけた課ででは異なり、時間をかけた課では異なり、時間をかけた課ででは異なり、時間をかけた課ででは異なり、時間をかけた課ででは異なり、時間をかけた課ででは異なり、時間をかけた課では異なり、時間をかけた課では異なり、時間をかけた課では異なり、時間をかけた課では異なり、時間をかけた課では異なり、時間をかけた課では異なり、時間をかけた課では、表記を記述していることには、またないというには、またないというには、またないとは、またないというには、またないというには、またないというには、またないというには、またないというには、またないというには、またないというには、またないというには、またないというには、またないというには、またないというには、またないというには、またないというには、またないというには、またないというには、またないというには、またないというには、またないというには、またないというには、またないというには、またないというには、またないというには、またないというには、またないというには、またないというには、またないというには、またないというには、またないというには、またないというには、またないというには、またないというには、またないというには、またないというには、またないというには、またないというには、またないというには、またないというには、またないというには、またないというには、またないというには、またないというには、またないというには、またないというには、またないというには、またないというには、またないというには、またないというには、またないというには、またないというは、またないというは、またないというには、またないというには、またないというには、またないというには、またないというには、またないというには、またないというには、またないというには、またないというには、またないというには、またないというないというには、またないというないというには、またないというは、またないというないというないというには、またないというは、またないというは、またないというないというは、またないというは、またないというないというないというは、またないというは、またないというは、またないというないというは、またないというは、またないというないというないというないというないというないというないというないとい	② <b>改 ン</b> 直 題と 型 が 単で 訓 が 計 で 訓 が 計 で 割 が で 割 が で 割 か で 計 で 割 か で か 出 で 割 か で か か か か か か か か か か か か か か か か	事業費 ②人件費 ③ ・ イ: 、 型き 東を記する (1) ・ (2) ・ (3) ・ (4) ・ (4) ・ (5) ・ (5) ・ (6) ・ (6) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7) ・ (7	源内訳 事	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) (石率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 件費計(C) 業費(A)+(C) 製課題・反省点) で:効率性 における体制の ほおける体制の	千千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 十二 大 一 一 大 計 を により、	0 0 0 1,150 1,320 87.1% 0.38 0.00 0.00 3,420 0 3,420 4,570 レ 改善 エ:公平性	0 0 0 1,155 1,320 87.5% 0.36 0.00 0.00 3,240 4,395 や見直しを図 マオ:そ	0 0 0 1,155 1,320 87.5% 0.65 0.00 0.00 5,850 7,005	0 0 0 1,320 1,320  0.60 0.00 0.00 5,400 6,720 (2)事業   (2)事業	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 7 7 7 8 7 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9
令和4年1月11日から2月3日にかけて訓練を実施し、多数の市職員の参加を得た。訓練によって各部の災害時での体制の指しが行われ、対応マニュアルの見直しを行った。また、各部が訓練時に作成した災害対応計画が、「実災害ればならないか」「どのようなことをけならないか」がまとまったものとうなことがとり、各種マニュアルの作成・見直しを図った。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②楽課題の有無 ア:目的妥当性(事業の成果)災害時初動対応マニュアルの見(改革・改善)例年とは異なり、時間をかけた認定、決定事が必要した。)の見直しを図るこ(課題・反省点)感染症等の影響もあり、課題抽出訓練のあり方も検討することが必	<b>②改革</b> ~ 直 題と	事業費 ②人件費 ③ ・ イ: 、、 型き 東る。	源内訳 事 ,	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) (石率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 件費計(C) 業費(A)+(C) 製課題・反省点) で:効率性 における体制の ほおける体制の	千千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 十二 大 一 一 大 計 を により、	0 0 0 1,150 1,320 87.1% 0.38 0.00 0.00 3,420 0 3,420 4,570 レ 改善 エ:公平性	0 0 0 1,155 1,320 87.5% 0.36 0.00 0.00 3,240 4,395 や見直しを図 マオ:そ	0 0 0 1,155 1,320 87.5% 0.65 0.00 0.00 5,850 7,005	0 0 0 1,320 1,320  0.60 0.00 0.00 5,400 6,720 (2)事業   (2)事業	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 7 7 7 8 7 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9
令和4年1月11日から2月3日にかけて訓練を実施し、多数の市職員の参加を得た。訓練によって各部の災害時での体制のが書時での体別になった。また、各部が訓練時に作成と発生がならないか」「どのようなことをしなけれが課題となるか」がまとまったものとうなことがり、各種マニュアルの作成・見直しを図った。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・(課題がある場合にメ)がまとまった。とを可った。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・(課題がある場合にメ)が、時間をかけた図った。場所では異なり、時間をかけた図のに課題・反省点)の見に、といいの見に、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	<b>②改革</b> ~ 直 題と	事業費 ②人件費 ③ ・ イ: 、、 型き 東る。	源内訳 事 ,	都支出金 地方債 その他 一般財源 業費計(A) 予算額(B) (石率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 年度任用職員等 件費計(C) 業費(A)+(C) 製課題・反省点) で:効率性 における体制の ほおける体制の	千千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 十二 大 一 一 大 計 を により、	0 0 0 1,150 1,320 87.1% 0.38 0.00 0.00 3,420 0 3,420 4,570 レ 改善 エ:公平性	0 0 0 1,155 1,320 87.5% 0.36 0.00 0.00 3,240 4,395 や見直しを図 マオ:そ	0 0 0 1,155 1,320 87.5% 0.65 0.00 0.00 5,850 7,005	0 0 0 1,320 1,320 	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 7 7 7 8 7 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9

員の防災力向上を図る。

435

3年度に関しては、災害対策本部員と一般職員が共に訓練に参加し、災害対応を検討するといった形の訓練を実施した。

今後も訓練を行っていない部署や分野がでないよう、幅広い対象の訓練となるよう企画・実施していく。また、東京都図上防災訓練へ の参加を通して、防災課員の能力向上や効果的な訓練手法の収集を行うとともに、各種マニュアルの検証、修正、周知を行い、全職

令和 3 年月	度事後評価	令和	] 4	上左	F度	事務	事業	マ	<b>补</b> :	ジメン	,	トシ	/—	<b> </b>	令	和 4 年	6	月作成
事務事業名 防災	災情報網整備事	業						所属	禹部	市民生	活	部		課		仲沢 ラ		
政策名 環均	境•安全							所属	<b></b>	防災課	:			1	系名	防災推	進伊	Ŕ
施策名	災・災害対策の推	隹進						予算	科目	会計	1	款	9	項	1	目 5	- H4	事業 4 番号 4
基本事業名 防災	災活動の推進						<b>医施形態</b>		全	部委託	·	一音	『委託		補助・	助成	追	連携∙協働
事業期间 昭和 市長公約	主要施策	年度 D	法	根拠	手	立川市[ 立川市	策基本法 方災会議 也域防災	条条例	第2多	条								
1 現状把握の語 ①事業概要	部 (1)事務事業					∗活動・												
災害発生及び災		<b>⑤</b> 対	象数	数の	推移		単位	H31年	F度	R2年原	臣	R34	年度	R4	年度	R5年度	Ę	R6年度
恐れがあるときに に情報収集を行い					日現在		人	184	,090	184,5	77	18	5,124					
的確に情報伝達機器の保守・訓練る。	を行うために、	イ ウ		関係機	· 上)	域系設置	局		198	1	99		199		199			
		⑥活	動排	旨標			単位	H31年 実糸		R2年原 実績	支		年度 :績		年度 一画	R5年度 計画	E.	R6年度 計画
	うな状態にしたいのか)	ア州	地域系	ミデシ	ジタル朝		局	<b>**</b>	<del>貝</del> 198		99		<b>小貝</b> 199		199			не
災害発生時にお	いても情報入					整備局数	局		81	1	81		84		84		$\dagger$	
手・提供が的確認維持する。	こ取れる体制を	ウ																
		⑦成	果排	旨標			単位	H31年 実績		R2年原 実績	支		年度		年度 一画	R5年度 計画	Ę	R6年度 計画
③結果(どのような絹		アほ	定系	<b>《放</b> 送	色型数		回		822		18		1,000		900			
災害による被害を る。市民や事業者		イ 地	地域系	<b>系通信</b>	訓練	実施回数	口		963	1,0	03		1,051		1,030			
と連携して防災体		ウタ	字於	女送 回	]数		回		450	5	67		663		650			
		(2)	事業	(の=	スト		単位	H31年 実績		R2年原 実績	臣		年度		年度 一画	R5年度 計画	Ę.	R6年度 計画
④令和3年度実	<b>雲績(事業活動)</b>				国	車支出金	10000000000000000000000000000000000000		0		0		0		0		0	0
難聴地域対策とし系防災行政無線	して、既設固定			財源	者	这出金			0		0		0		0		0	0
ピーカーを性能力	が良いスピー		1	内		地方債	千円		0		0		0		0		0	0
カー(ソノコラムス 換した。また、屋久			事 業 	訳		その他 -般財源	千円	20	$\frac{0}{458}$		17		0 5,809		$\frac{0}{2,206}$		0	0
箇所新設した。固	固定系防災行政		費	<u> </u>	1	計(A)	千円		458 458	<u> </u>			5,809 6,809		2,206 2,206		0	0
無線保守点検・診した。	試験 放达 ど 美施		ŀ			額(B)	千円		,760				5,278		_	_		_
地域系防災行政検・関係機関と月				幸	丸行率	(A)/(B)	%	9	9.0%	99.	8%	(	93.2%	-	_	_		_
訓練を実施した。		(	2			1 月給   時	11417										_	0.00 0.00
災害用防災ライス 検を行った。	フカメフ保守点		人 件			战員分 壬用職員	千円	1,	620	· ·	_	1	,440		3,240		0	0
職員参集システム職員への登録促			ij L			T用嘅貝 計(C)	千円	1	0 620		0 60	2	630		630 3,870		0	0
信訓練を実施した			<b>③</b> 約			A)+(C)			078				3,879		6,076		0	0
2 評価の部 (1)全体総括(①	1)事業の成果・2	产工	• 改:	盖•(:	3 課題	- 万省点	<b>5</b> )	[v	改善	善り 見直し	を区	図った		(2	2)事第	美の方針		
ツー田田のナ何	ア:目的妥当性					· へ - // ウ:効率		工:公	_			の他			-, 1.5	=	コス	
(事業の成果) 東日本大震災で 況や帰宅困難者 て計画停電の周: (改革・改善)難聴 所新設した。防災 (課題・反省点)	知に頻繁に活用。地域対策として、	信手見された防災	設とし .。 行政 ービ	てそれ無続ない	この威 見のスト ついて	力を発揮 ピーカー <b>て電話</b> 回	した。ま を交換し 線増設	た、固 た。ま を行っ	定系  た、 た。	系無線は 屋外拡減	災	害対	応とし	,	向上維持低下 除止・			0
	の方向性(改革				.,, J.		.—//#(=-	J. J. 40	- 71	000								
災害時に確実に 新しい通信手段 様々な状況下で	が導入されている	う中で、	、災害	害時(	の運用	実情に	合わない	ところ	も出	けてきてい	る	く。市民	民への	)災害	等時情	報提供は	こつ	いては、

令和 3 年度事後評価	令和 4	4 年度 事務	事業	マネシ	ジメン	トシー	<b>卜</b> 令	和 4 年	6 月作成
事務事業名避難所機能の整備	Ħ			所属部	市民生活	部	課長名	仲沢 克	之
政策名 環境・安全				所属課	防災課		係名	防災推進	係
施策名 防災・災害対策の	推進			予算科目	会計 1	款 9	項 1	目 5	事業 5 番号 5
基本事業名防災活動の推進			を形態 (選択可)		『委託 6	✓ 一部委託	補助・	助成	連携•協働
事業期間単年度繰返		<b>災害対策</b>	基本法	5第49条					
年度~		<b>去令等</b> 立川市地	域防災	(計画					
□ 市長公約 □ □   主要施策 □ □ □ 1 現状把握の部 (1)事務事業	•		果						
①事業概要		<u> </u>	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
避難所となる小中学校に、想定 避難者の1日分の食料等を配備		<u> </u>	箇所	29	29	30			
する。想定帰宅困難者の3日分の食料等を配備する。各避難所		<u> </u>							
の給水タンク等の点検を行う。			人	45,198		· ·			
		立川駅周辺滞留者数	人	17,239 <b>H31年度</b>	17,239 <b>R2年度</b>	17,239 <b>R3年度</b>	17,239 <b>R4年度</b>	R5年度	R6年度
	⑥活動:	指標 ————————	単位	実績	実績	実績	計画	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)		食料数(一次避難所)	食	144,900	144,900	144,900	144,900		
いつ起こるか分からない災害に対して、いつでも使用できる状	イ  備蓄流	食料数(帰宅困難者対	食	58,200	58,200	58,200	58,200		
態に管理する。	ウ備蓄質	飲料水量	t	920	920	920	920		
	⑦成果:	指標	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア備蓄	食料買い替え数	食	46,840					
災害による被害を最小限に抑え	1月3:	食とした場合の1日分の 率(一次避難所)	%	107.0	107.0	107.0	107.0		
る。 		タンク・防災井戸点検数	箇所	35	35	35	35		
	(2)事美	<b>業のコスト</b>	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)		国庫支出金	千円			()			
避難者及び帰宅困難者向けの		財都支出金	千円	11,450	10,000	2,763	1,023		, and the second
食料等の物資の購入・入替、	1	源地方债	千円	0	0	0	0		C
ペットボトル水を配備した。また、新たに一次避難所に液体ミ	事	内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	千円	0	0	0	0	0	C
ルクを配備するとともに、避難所	業	一般財源	千円	43,575	29,717	24,702	37,827	0	C
における新型コロナウイルス感 染症対策として段ボール間仕切	費	事業費計(A)	千円	109,117	39,717	27,465	38,850	0	C
りを配備した。		予算額(B)	千円	166,000	52,523	39,836	_	_	_
このほか、市内給水タンク等の 点検を行った。		執行率(A)/(B)	%	65.7%	75.6%	68.9%	_	_	_
////////////////////////////////////	2	職員数(正規   月給   時給)	人	0.25 0.00 0.00	0.24 0.00 0.00	0.07 0.25 0.00	0.17 0.25 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	人	正規職員分	千円	2,250	2,160	630	1,530	0	C
	件   費	会計年度任用職員等	千円	0	0	1,050	1,050	0	C
	貝	人件費計(C)	千円	2,250	2,160	1,680	2,580	0	C
	3	総事業費(A)+(C)	千円	111,367	41,877	29,145	41,430	0	C
2 評価の部	376# 75	· 羊 ② 珊 旺		/ las 4	<u> </u>	- L	(0) 事*	* 0 + 41	
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 ファロ ロ スカー					善や見直しを図		( <i>2)</i>	美の方針 「 <del>「</del>	7
(課題がある場合にと)	<u>レ</u> イ:有	「効性     ウ∶効率性		エ:公平性	オ:そ	の他			スト 持   増加
(事業の成果)(改革・改善) 一次避難所及び帰宅困難者用の	)食料等区	び経年坐化した衛生	用品华	等の購入・	入巷を行っ	た。入麸を	自向	日11/19人 不田	
象となった乳児用・介護用オムツ							, , , , , ,		0

水タンク等の点検を行った。新たに一次避難所に乳児用液体ミルクの配備及び避難所感染症対策とし て段ボール間仕切りや段ボールベッドを配備し、避難所機能の充実を図った。 (課題・反省点)

避難所感染症対策のために備蓄品を増やしており、防災備蓄倉庫のスペース確保が困難である。この ため、震災時に真に必要な備蓄品について精査する必要がある。

# 果持 低 下

(廃止・休止の場合は記入不要)

#### (3)今後の事業の方向性(改革・改善案等)

備蓄食料や衛生用品など交換が必要な備蓄品の入替作業を引き続き行っていく。また、入替の際に古い備蓄品の有効活用について 検討する。備蓄倉庫のスペース確保のため、災害時に真に必要な備蓄品の精査を行っていく。併せて、一次避難所の防災備蓄倉庫 の棚卸し等により、災害時に速やかに活用できるような倉庫を目指す。

令和 3 年度事後評価	令和 4	4 年月	度 事務	事業	マネシ	<b>ジメン</b>	トシー	<b>卜</b> 令和	11 4 年 6	6 月作成
事務事業名 地域配備消火器	-					市民生活			仲沢 克	
政策名 環境・安全					所属課	防災課		係名	地域防災	係
施策名 防災・災害対策の	推進				予算科目	会計 1	款 9	項 1	目 5	事業 番号 7
基本事業名防災活動の推進				を形態 (選択可)	全音	<b>『</b> 委託 <b>』</b>	一部委託	補助・	助成	連携•協働
<b>事業期間</b> 単年度繰返 昭和47 年度~	年度	根拠	立川市地立川市消	或防災						
市長公約 主要施策 主要施策			田江野古	Ħ						
1 現状把握の部 (1)事務事第 ①事業概要							- 0 <del></del>			2055
市民による初期消火が迅速に		数の推移		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
実施することができ、延焼拡大 が防止できるように地域に消火 器を配備する。確実に使用でき	ア市民のイ	1月1日現	(在)	人	184,090	184,577	185,124			
るよう保守点検を行い、故障品										
及び製造年度の古い消火器に ついては、交換を行う。	ウ				1101年亩	DO左曲	DO左曲	D4年由	DE左曲	R6年度
ン (は、大揆と口)。	⑥活動:	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア地域	配備型消	火器交換件数	本	70	171	159	150		
火災発生時に市民が迅速な初 期消火を行い、延焼・拡大を防 ぐようになっている。	イウ									
	⑦成果:	 指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア 火災 器	利用した地	也域配備消火	本	0	0	3	0		
適正な消火器の配備、管理を行うことで、迅速な初期消火につ	白白	使用した目	民間消火器	本	0	0	7	0		
ながり、災害による被害が最小と	ウ地域	配備型消	火器総数	本	1,353	1,356	1,342	1,365		
なる。	(2)事業	業のコス	<b>-</b>	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
地域配備消火器の維持管理業		財	都支出金	千円	0	0	0	0	0	0
務、地域配備消火器の全体の 保守点検、設置年度が古い消	1	源一内	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
火器等の交換を行った。	事	訳	その他	千円		_	_	0	0	0
なお、近年の建物建て替えに伴 い年々減少する消火器数に歯	業費		一般財源	千円	2,090	2,404	2,080	2,213	0	0
止めをかけるため今年度から4			(費計(A)	千円	2,090	2,404	2,080	2,213	0	0
か年計画で、市内12地区を年3 地区ごとに、自治会に地域配備			算額(B) 	千円	2,213	2,444	2,453			
消火器設置希望票で希望を募			率(A)/(B) 正規   月給   時給)	从	94.4%	98.4%	84.8% 0.06 0.00 0.00		0 00 0 00 0 00	0.00 0.00 0.00
り、19本設置を行った。	2		<sup>正院(月和)時和)</sup> 見職員分	千円	180	900	540	360	0.00 0.00	0.00 0.00
	件		发现。 生任用職員等		150	0	0	0	0	0
	費		-費計(C)	千円	330	900	540	360	0	0
	3	総事業費	費(A)+(C)	千円	2,420	3,304	2,620	2,573	0	0
2 評価の部	@75# ='	* @=						(C) = 4		
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 つっ 日的 平出性						・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		(2)事第	(の方針 「 っ	スト
※課題の有無 ア:目的妥当性 (課題がある場合によ) (事業の成果)	イ:有	対性 /	′ ウ:効率性		工:公平性	<b>レ</b> オ:そ	の他			<u>へト</u> 持
(事業の成果)  市内全域に一定の配備を行い地	垃域の防火	<ul><li>防災体</li></ul>	制に寄与した	-o				向	7.2.47	1,75
(課題・反省点)								成 維		
近年の建物建て替えに伴い撤去								·    果  <u>持</u>		
を働きかける必要がある。また、消置を検討する。	肖火器配值	∮が少なレ	・地域におい	ては、	公園や公	共施設外標	<b>觜等への設</b>	低下		
上で1火口)が0。									木止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革	· 改善案	等)								
今後も市民へ設置希望を募り、公	共公今園公	施設外村	構等へ設置を	検討	するなど、i	適正な消火	器数が配信	備されるよう	留意する	必要があ
る。										
1										

<u> 令和 3 年度事後評価</u>	<u> </u>	<u>4 1</u>	<u> </u>	<u>事</u>	マイン	ノメン	トンー	<b>卜</b> 令	11 4 年 (	6 月作成
事務事業名 緊急輸送道路沿流	首建築物	耐震化	L促進事業		所属部	市民生活	部	課長名	西上 大馬	助
政策名 環境・安全					所属課	住宅課		係名	住宅対策	係
施策名 防災・災害対策の	推進				予算科目	会計 1	款 9	項 1	目 5	事業 番号 11
基本事業名防災活動の推進			(複数	地形態 選択可)		<b>『委託</b>	一部委託	✔ 補助・	助成	連携∙協働
事業期間単年度繰返	6-1-t-	根拠	建築物ので					7.5.11 0.7	he.i	
平成23 年度~ 市長公約 主要施策	年度 7	去令等								
1 現状把握の部 (1)事務事	_	目的		_ ,,,,,	20011100	在来1011111	X ILIKAE F	术切及	//ved	
①事業概要	⑤対象			単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
大地震による緊急輸送道路沿 道の建築物の倒壊による道路	ア対象	建築物		<b>棟</b>	15	14	14			
の閉塞を防ぐため、沿道建築物の耐震診断に係る費用を助成	イ上記	<b>の内</b>		棟	3	3	3			
し、耐震化の促進を図る。	ウ	^>1.1'	· N C II	1/1						
					H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	⑥活動	指標		単位	実績	実績	実績	計画	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア戸別	訪問の	実施	件	0	1	0			
耐震診断費用の助成を行うことにより、耐震診断を実施し、耐震	イ 助成	制度の	案内配布	件	0	1	14			
改修等を促進する。	ウ									
	⑦成果	指標		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア耐震		h str//t:米b	件	実績 1	実績 1	実績	計画	計画	計画
耐震化支援を行うことで、災害					1	1	1			
による被害を最小限に抑えると		診断目	目費執行判明数	件	0	0	0			
ともに、応急救助活動等を円滑に進めることができる。	ウ									
	(2)事	業の=	コスト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	1,616	1,228	1,613	2,432	0	0
·緊急輸送道路2,3次路線沿 道建築物耐震診断助成		財源	都支出金	千円	1,131	859	1,129	1,702	0	0
•事前相談	1		地方債	千円	0	0	0	0	0	0
・広報、ホームページでの普及・ 啓発	事業	訳	その他	千円		0	0	0	0	0
・法に基づく耐震診断結果報告	費		一般財源	千円	3,602	2,648	1,130	2,300	0	0
公表の実施		=	事業費計(A)  	千円	6,349 33,569	4,735 4,735	3,872 3,872	6,434	0	0
		<b></b>	,并吸(D) 执行率(A)/(B)	%	18.9%	100.0%	100.0%	_	_	_
	2	_	<b>数</b> (正規   月給   時給)	人	0.35 0.05 0.00	0.15 0.35 0.00		0.05 0.10 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	人		正規職員分	千円	3,150	1,350	450	450	0	0
	件費	会計	·年度任用職員等	千円	175	1,470	588	420	0	0
			人件費計(C)	千円	3,325	2,820	1,038	870	0	0
0. 証件の部	3	総事	業費(A)+(C)	千円	9,674	7,555	4,910	7,304	0	0
2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・(	のみ 苦・み	<b>3盖。</b> (*	3) 理題 • 反省占)		改善	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10 <i>t</i> -	(2)事業	<u></u> の方針	
※課題の有無 ア・日的妥当性			プロングログラング ウ:効率性				の他	(=) 1.51		スト
(課題がある場合にと) (事業の成果)					· / ·			<b>-</b>	削減維	持増加
広報、ホームページによる啓発、	事前相談	のほね	か、法に基づく耐	震診	折結果報告	公表を実力	施し、耐震	向		
診断の助成につなげた。 (課題・反省点)								成維	(	
国及び東京都の施策に沿い、立用が生じるため、制度利用が少な								果 持 低		
田か生しるため、耐度利用が少な   最小限に抑えるため、今後も引き							こ、似古で	下		
								( He . I	休止の場合に	1 = 1

特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震診断補助事業については、財源である国や都の施策を踏まえ、新たに対象建築物と判明した場合を除き、平成28年度で終了し、緊急輸送道路2,3次路線の沿道建築物は令和5年度末までとなっている。これに合わせて、啓発や周知の活動を進めていく。なお、都は令和7年度まで区市町村への補助事業を続ける意向を示している。

令和	3 年度事後評価	2	<del>介</del> 和		1	年度	事務	事業	₹	'ネシ	ジメ	ン	١.	<u>シー</u>	<b> </b>	令	和 4	年	6 月	作成
事務事業	業名 緊急輸送道路沿 修等補助金·特別	道字學	建築	物质輸送	付震化 道路	化促進 〉。	事業(耐意	<b>夏改</b>	戸	斤属部	市民	生活	部		言	<b>果長名</b>	西」	上 大	助	
政策名						••			戸	所属課	住宅	課				係名	住宅	三対策	孫	
施策名	<b>3</b> 防災・災害対策の	り推	推進						予	·算科目	会計	1	款	9	項	1	目	5	事業番号	11
基本事業	<b>養名</b> 防災活動の推進							<b>施形態</b>		全部	逐託		]-	部委託	V	/ 補助	助成		_	•協働
事業期	間 単年度繰返 <sub>平成23</sub> 年度~	ź	手度		根拠	և	建築物の東京にお	耐震改						足准す	スた	めの冬	-伤			
市長公		C	_	7	去令等	<del>等</del>	立川市緊													
	把握の部(1)事務事	業	の概	₹要・	目的	ı·結果	∙活動∙成	果												
①事業権 大地震に	既要 よる緊急輸送道路沿		<b>⑤</b> \$	付象	数の	推移		単位	Н3	1年度	R24	年度	R	3年度	R4	4年度	R5	年度	R	6年度
道の建築	E物の倒壊による道路		ア	対象類	建築物	勿(4月1	日現在)	棟		45		42		39						
	·防ぐため、特定緊急輔 A道建築物の補強設	ij	1																	
計、耐震	改修等に係る費用を助	h	ゥ																	
成し、耐	<b>震化の促進を図る。</b>							N/ //	Н3	1年度	R24	年度	R:	3年度	R/	1年度	R5	年度	R	6年度
			6)7	舌動:	指標			単位		実績		績		実績		計画		一人		計画
	付象をどのような状態にしたいのか	١)	ア	戸別記	方問♂	の実施		件		0		0		0						
	ト、耐震改修等の費用 行うことにより耐震改修	<b>x</b>	1	助成制	制度の	の案内暦	己布	件		0		0		30						
を促進す			ウ																	
			( <b>7</b> ) F	<b></b>	指標			単位		1年度		年度		3年度		1年度		年度		6年度
②	どのような結果に結び付けるか)	\				等助成件	上米r	件	7	<b>実績</b>	美	積 。	25	<b>実績</b>	Ē	計画	Ē	十画	i	計画
	を援を行うことで、災害	_						1				0								
による被	害を最小限に抑えると					没計助局		件		2		0		0						
	ふ急救助活動等を円滑 ことができる。		ウ	耐震	<b>火修</b> 等	等自費報	执行判明数	件		0		0		0						
			(2)	事第	ξの=	コスト		単位		1年度 実績		年度 績		3年度 実績		1年度 計画		年度 <del> </del>  画		6年度 計画
4 令和3	3年度実績(事業活動)	)				国原	車支出金	千円		5,149	9	,896	1	16,699	19	5,218		(	)	0
	急輸送道路沿道建築 設計·耐震改修等助				財源	都	支出金	千円		5,149	8	3,332	1	13,915	12	27,604		(	)	0
成				1	内		也方債	千円		0		0		0		0		0	)	0
•事前相	談 トームページでの普及			事業	訳		その他	千円		0		0		0		0		0	-	0
啓発及び	ド郵送による助成制度			費	<u> </u>	 事業費	般財源	千円		2,575 2,873		,742		6,959 3 <mark>7,573</mark>	_	$\frac{60,123}{82,945}$	_	(	-	0
	びに通知 づく耐震診断結果報告				-	予未貝 予算額		千円		94,773		4,742		58,457	30	<u></u>			,	_
公表の実					幸		(A)/(B)	%		2.6%		00.0%		64.3%		_		_		_
			- 1	2	職員	数(正規	月給 時給	人	0.35	0.05 0.00	0.15 0.	35 0.00	0.05	0.14 0.00	0.07	0.25 0.00	0.00	0.00	0.00	0.00 0.00
				人		正規職	战員分	千円		3,150	1	,350		450		630		C	)	0
				件			E用職員等	_		175		,470		588		1,050	+	(	-	0
			-			人件費		千円		3,325		,820		1,038	0.0	1,680	_	0	1	0
2 評価	の部			(3)?	総事	<b>美賀</b> ()	A)+(C)	千円	1	6,198	27	,562		38,611	38	3 <mark>4,625</mark>		C	)	0
	:総括(①事業の成果 <sup>。</sup>	· (2	)改革	ⅰ改	善(	3課題	• 反省点	)		改善	きや見正	直しを図	図った	:	()	2)事	集のス	方針		
※課題の(課題がある場	有無 ア:目的妥当性	ŧΓ		イ:有	効性	~	ウ:効率性	~	<b>エ</b> :	公平性		オ:そ	- の ft	也	1			コ	スト	
(事業の)	<b></b>														٦,		削	咸 糸	持	増加
	ームページによる啓発 )助成につなげた。	\ <del>-</del>	事前村	旧談の	かほだ	か、法に	こ基づく耐	震診	折結	果報告	子公表	を実	施し	、耐震		向上				
(課題・反	省点)	1	u <b>-</b>	rı == -	11.15-1	I⊟ NL → I	٠- الله مدرود	ı. → \"	٠ ۱	L \ \ \	TI =		. 1 4.			成維持			0	
	夏京都の施策に沿い、コ るため、制度利用が少														T	低	,			
	抑えるため、今後も引															(廃止・		の場合	)计記	入不要)
																(/ <del>/</del> LIL		フラカカ ロー	(みロレノ	ヘーマル

特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震改修等の補助事業については、財源である国や都の施策を踏まえ、令和5年度末までに着手するものが対象となっているが、引き続き次年度以降も継続し、これに合わせて、啓発や周知の活動を進めていく。なお、都は令和7年度まで区市町村への補助事業を続ける意向を示している。

令和 3 年度事後評価	<u> 令和</u>	4年	度 事務	事業	ミマネシ	ジメン	トシー	<b>卜</b> 令	和 4 年 6	6 月作成
事務事業名 緊急輸送道路沿道 修等補助金·緊急	重集物而 輸送道路	対震化() 2.3次ド	足進事業(耐 <b>層</b> 8線)	建改	所属部	市民生活	部	課長名	西上 大則	助
政策名 環境・安全			H1/2/\/		所属課	住宅課		係名	住宅対策	係
施策名 防災・災害対策の	惟進				予算科目	会計 1	款 9	項 1	目 5	事業 番号 11
基本事業名防災活動の推進				を 地形態 (選択可)	全部	『委託	一部委託	<b>✓</b> 補助・	助成	連携•協働
事業期間 単年度繰返		根拠				に関する法		7.1.11 0.7	/EI	
	年度	去令等					どを促進する 悪化促進事			
1 現状把握の部 (1)事務事業	•	目的・糸					K I II I K Z F		17.3	
①事業概要 大地震による緊急輸送道路沿	⑤対象	数の推	移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
道の建築物の倒壊による道路	ア対象	建築物(4	 4月1日現在)	棟	16	16	17			
の閉塞を防ぐため、市の要綱で 指定した緊急輸送道路(2,3次	1									
路線)沿道建築物の補強設計、	ウ									
耐震改修等に係る費用を助成し、耐震化の促進を図る。		+比+無		** 1_	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
-	⑥活動			単位	実績	実績	実績	計画	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア戸別	訪問の実	·施 ——————	件	0	1	0			
補強設計、耐震改修等の費用の助成を行うことにより耐震改修	イ助成績	制度の案	内配布	件	0	1	14			
を促進する。	ウ									
	⑦成果	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア耐震	改修等助	成件数	件	0		1			
耐震化支援を行うことで、災害	イ耐震	補強設計		件	0	0	2			
による被害を最小限に抑えると ともに、応急救助活動等を円滑	ウ耐震	改修等自		件	0	0	0			
に進めることができる。					H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	(2)事第	<b>美のコス</b>	<b>( )</b>	単位	実績	実績	実績	計画	計画	計画
④令和3年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	0	0	4,179	108,725	0	0
・緊急輸送道路(2,3次路線) 沿道建築物の補強設計・耐震		財源	都支出金	千円	0	0	2,089	54,361	0	
改修等助成	1	内	<u>地方債</u> その他	千円			0	0	0	
<ul><li>事前相談</li><li>広報、ホームページでの普及・</li></ul>	事業	訳	一般財源	千円		0	4,181		0	
啓発	費	事	* 費計(A)	千円		0	10,449	· ·	0	
		予	\$算額(B)	千円	306,457	0	18,732	_	_	_
			F率(A)/(B)	%	0.0%		55.8%		_	_
	2	_	(正規   月給   時給)						0.00 0.00 0.00	
	人		規職員分 度任用職員等	千円		1,350 1,470	450 588	1,050		0
	費		<u> </u>	千円		2,820	1,038	1,680	0	_
	3		費(A)+(C)	千円		2,820	11,487	273,497	0	0
2 評価の部		<b>*</b>					7.	/C/ = 4	* • + •	
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 ファーロ の 3 3 3 3 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4						きや見直しを図 		(2)事業	美の方針 「フラ	スト
※課題の有無 ア:目的妥当性   (課題がある場合によ)   (事業の成果)	イ:有	郊性	✓ □ ウ:効率性	<u> </u>	工:公平性	オ:そ	で他		1/	- · ·
広報、ホームページによる啓発、	事前相談	を実施し	、耐震改修等	の助り	成につなけ	だ。		向		
(課題・反省点) 国及び東京都の施策に沿い、立	川市耐震	改修促社	生計画で定め7	を事業	きであるが、	耐震化に	は多額の費	成 維		
用が生じるため、制度利用が少な	い状況に	ある。光	が道建築物の倒	り壊に	よる道路の	閉塞を防る		果 持 低		
最小限に抑えるため、今後も引き	がで、尸匠	山砂間等	ドによる啓発な	८Ⅲ浬	受化り促進	に分める。		下		
(a) A (// a = all		<i>f</i> - <i>f</i> \						(廃止・	休止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革 一般緊急輸送道路沿道建築物の			車業にへいて	7.4 B	が近づなスト	日の単の日	(等わいま)	, Af⊓E⊄	= 由士士べ)	ア美子士
るものが対象となっているが、引き	き続き次年	度以降	も継続し、これ							
度まで区市町村への補助事業を	続ける意「	句を示し	ている。							

令和 3 年度事後評価	11 J H	4 -	年度 事務署	<u>事</u>	ミマイン	<u> </u>	トンー	<b>卜</b> 令	和 4 年 6	5 月作队
事務事業名 災害医療対策事業	<del>_</del>				所属部	福祉保健	部	課長名	鈴木 央	<del></del> 子
政策名 環境・安全					所属課	健康推進	課	係名	業務係	
施策名 防災・災害対策の	推進				予算科目	会計 1	款 4	項 1	目 1	事業 6番号 6
基本事業名災害対策の推進				地形態 (選択可)	全部	<b>『委託</b>	一部委託	補助・	助成	連携•協働
事業期間 単年度繰返		根拠	災害対策	基本法						
平成27 年度~	年度 〇	法令		医療コ	ロディネータ	ター設置要約	鋼、立川市災	害薬事コー	・ディネーター	一設置要綱
□ 市長公約 □ □   主要施策   □ 1 現状把握の部(1)事務事業			┛┃ ユ・結果・活動・成	果						
①事業概要		象数の		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
災害時に医療救護活動の統括 および調整を図る災害医療コー			日現在)							
ディネーター(医師2人)と災害薬		大(1月1	日現仕/	人	184,090	184,577	185,124			
事コーディネーター(薬剤師2 人)と連携を図り、大規模災害に	1									
備えた訓練の参加や緊急医療	ウ									
救護所の整備等を進める。	⑥活	動指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
2目的(対象をどのような状態にしたいのか)			コーディネーターの関	□	<b>天</b> 根	<b>天</b> 根	<b>天</b> 根 ()	可凹	可凹	可凹
震災等の大規模な災害が発生	連接	会議への 寮・薬事	の出席回数 「コーディネーターの関			-		0		
した場合に、市民に対して必要	1 連		の参加回数	□	2	1	۷	2		
とされる医療等が迅速かつ的確 に提供されるようにする。	ウ									
(CIEPSCA COS)(C) VO	⑦成!	果指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア総ク	 合防災記	訓練参加者数	人	713		857	900		F
災害時における適切な医療救	1									
護活動の提供により、市民の生命および健康が保たれる。	ウ									
可 わよい、健泳パー杯/これでし。	')									
	(2)事	事業の:	コスト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
令和3年11月に実施された「立	1									
		財	都支出金	千円	0	0	0	777	0	0
川市総合防災訓練」に、災害医	(1	源	都支出金 地方債	千円 千円	0	0	0	777 0	_	0
川市総合防災訓練」に、災害医療コーディネーター(2人)及び 災害薬事コーディネーター(2	(1 事	源内部	地方債その他	千円 千円	0	0	0	0	0	0
川市総合防災訓練」に、災害医療コーディネーター(2人)及び災害薬事コーディネーター(2人)が参加し、災害発生時にお	事業	源内訳	地方債 その他 一般財源	千円 千円 千円	0 0 132	0 0 66	0 0 2,207	0 0 12,987	0 0	0 0
川市総合防災訓練」に、災害医療コーディネーター(2人)及び災害薬事コーディネーター(2人)が参加し、災害発生時における医療救護活動の統括・調整の訓練を行った。	事	源内訳	地方債 その他 一般財源 事業費計(A)	千円 千円 千円	0 0 132 132	0 0 66 66	0 0 2,207 2,207	0	0 0	0
川市総合防災訓練」に、災害医療コーディネーター(2人)及び災害薬事コーディネーター(2人)が参加し、災害発生時における医療救護活動の統括・調整の訓練を行った。 また、立川市医師会と委託契約	事業	源内訳	地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B)	千円 千円 千円 千円	0 0 132 132 132	0 0 66 66 132	0 0 2,207 2,207 2,432	0 0 12,987	0 0	0 0
川市総合防災訓練」に、災害医療コーディネーター(2人)及び災害薬事コーディネーター(2人)が参加し、災害発生時における医療救護活動の統括・調整の訓練を行った。	事業費	源内訳	地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B)	千円 千円 千円 千円	0 0 132 132 132 100.0%	0 0 66 66 132 50.0%	0 0 2,207 2,207 2,432 90.7%	0 0 12,987 13,764 —	0 0 0 0	0 0 0 0 
川市総合防災訓練」に、災害医療コーディネーター(2人)及び災害薬事コーディネーター(2人)が参加し、災害発生時における医療救護活動の統括・調整の訓練を行った。 また、立川市医師会と委託契約を結び、緊急医療救護所の医	事業費	源内訳	地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 執行率(A)/(B)	千円 千円 千円 千円 千円 人	0 0 132 132 132 100.0% 0.14 0.00 0.00	0 0 66 66 132 50.0% 0.14 0.00 0.00	0 0 2,207 2,207 2,432 90.7% 0.24 0.00 0.00	0 0 12,987 13,764 — — 0.24 0.00 0.00	0 0 0 0 0 0 	0 0 0 0 
川市総合防災訓練」に、災害医療コーディネーター(2人)及び災害薬事コーディネーター(2人)が参加し、災害発生時における医療救護活動の統括・調整の訓練を行った。 また、立川市医師会と委託契約を結び、緊急医療救護所の医	事業費 2人	源内訳	地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 執行率(A)/(B) 政(正規   月給   時給) 正規職員分	千円 千円 千円 千円 千円 千円	0 0 132 132 132 100.0% 0.14 0.00 0.00 1,260	0 0 66 66 132 50.0% 0.14 0.00 0.00 1,260	0 0 2,207 2,207 2,432 90.7% 0.24 0.00 0.00 2,160	0 0 12,987 13,764 — — 0.24 0.00 0.00 2,160	0 0 0 0 0 	0 0 0 0 
川市総合防災訓練」に、災害医療コーディネーター(2人)及び災害薬事コーディネーター(2人)が参加し、災害発生時における医療救護活動の統括・調整の訓練を行った。 また、立川市医師会と委託契約を結び、緊急医療救護所の医	事業費	源内訳 報員 会計	地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等	千円千円千円 千円 5 人 千円 千円	0 0 132 132 132 100.0% 0.14 0.00 0.00 1,260	0 0 66 66 132 50.0% 0.14 0.00 0.00 1,260	0 0 2,207 2,207 2,432 90.7% 0.24 0.00 0.00 2,160	$ \begin{array}{r} 0 \\ 0 \\ 12,987 \\ 13,764 \\ - \\ - \\ 0.24 \\ 0.00 \\ 0.00 \\ 2,160 \\ 0 $	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0  0.00 0.00 0.00 0.00
川市総合防災訓練」に、災害医療コーディネーター(2人)及び災害薬事コーディネーター(2人)が参加し、災害発生時における医療救護活動の統括・調整の訓練を行った。 また、立川市医師会と委託契約を結び、緊急医療救護所の医	事業費	源内訳 報 会計	地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 執行率(A)/(B) 政(正規   月給   時給) 正規職員分	千円 千円 千円 千円 千円 千円	0 0 132 132 100.0% 0.14 0.00 0.00 1,260 0	0 0 66 66 132 50.0% 0.14 0.00 0.00 1,260	0 0 2,207 2,207 2,432 90.7% 0.24 0.00 0.00 2,160	0 0 12,987 13,764 — — 0.24 0.00 0.00 2,160	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 
川市総合防災訓練」に、災害医療コーディネーター(2人)及び災害薬事コーディネーター(2人)が参加し、災害発生時における医療救護活動の統括・調整の訓練を行った。 また、立川市医師会と委託契約を結び、緊急医療救護所の医	事業費	源内訳 報 会計	地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等	千円千円千円 千円	0 0 132 132 100.0% 0.14 0.00 0.00 1,260 0	0 0 66 66 132 50.0% 0.14 0.00 0.00 1,260	0 0 2,207 2,432 90.7% 0.24 0.00 0.00 2,160	0 0 12,987 13,764 — 0.24 0.00 0.00 2,160 0 2,160 15,924	0 0 0 0 0 0 0.00 0.00 0.00 0 0	0 0 0 0  0.00 0.00 0.00 0.00
川市総合防災訓練」に、災害医療コーディネーター(2人)及び災害薬事コーディネーター(2人)が参加し、災害発生時における医療救護活動の統括・調整の訓練を行った。また、立川市医師会と委託契約を結び、緊急医療救護所の医薬品配備を進めた。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・(2)	事業費	源内訳 職 会 総	地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C)	千円円円 人 千円円	0 0 132 132 132 100.0% 0.14 0.00 0.00 1,260 0 1,392	0 0 66 66 132 50.0% 0.14 0.00 0.00 1,260	0 0 2,207 2,432 90.7% 0.24 0.00 0.00 2,160 0 4,367	0 0 12,987 13,764 — 0.24 0.00 0.00 2,160 0 2,160 15,924	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0  0.00 0.00 0.00 0.00 0
川市総合防災訓練」に、災害医療コーディネーター(2人)及び災害薬事コーディネーター(2人)が参加し、災害発生時における医療救護活動の統括・調整の訓練を行った。また、立川市医師会と委託契約を結び、緊急医療救護所の医薬品配備を進めた。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 ア:目的妥当性	事業費 ②人件費 ○ ② 改革・	源内訳 職 会 総 善・	地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C)	千円千円 % 人 开 开 开	0 0 132 132 132 100.0% 0.14 0.00 0.00 1,260 0 1,392	0 0 66 66 132 50.0% 0.14 0.00 0.00 1,260 0 1,260 1,326	0 0 2,207 2,432 90.7% 0.24 0.00 0.00 2,160 0 4,367	0 0 12,987 13,764 — 0.24 0.00 0.00 2,160 0 2,160 15,924	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0.00 0.00 0.00 0 0 0
川市総合防災訓練」に、災害医療コーディネーター(2人)及び災害薬事コーディネーター(2人)が参加し、災害発生時における医療救護活動の統括・調整の訓練を行った。また、立川市医師会と委託契約を結び、緊急医療救護所の医薬品配備を進めた。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無 ア:目的妥当性(事業の成果)	事業費	源内訳 職 会 総 善 効 性	地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C) 主業費(A)+(C) ③課題・反省点) に対応した。	千円円円 %人円円円	0 0 132 132 130.0% 0.14 0.00 0.00 1,260 0 1,392 □改善	0 0 66 66 132 50.0% 0.14 0.00 0.00 1,260 0 1,326 きや見直しを図	0 0 2,207 2,432 90.7% 0.24 0.00 0.00 2,160 0 2,160 4,367	0 0 12,987 13,764 — 0.24 0.00 0.00 2,160 0 2,160 15,924	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 - 000 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0
川市総合防災訓練」に、災害医療コーディネーター(2人)及び災害薬事コーディネーター(2人)が参加し、災害発生時における医療救護活動の統括・調整の訓練を行った。また、立川市医師会と委託契約を結び、緊急医療救護所の医薬品配備を進めた。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の有無(課題がある場合に))ア:目的妥当性(事業の成果)災害医療・災害薬事コーディネーにおける対応能力の向上を図る。	事業費 ②人件費 (② 本 イ ーターが	源内訳 職 会 総 善・性 の 編 一 本 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一	地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C) 主業費(A)+(C) ③課題・反省点) に対応した。	千円円円 %人円円円	0 0 132 132 130.0% 0.14 0.00 0.00 1,260 0 1,392 □改善	0 0 66 66 132 50.0% 0.14 0.00 0.00 1,260 0 1,326 きや見直しを図	0 0 2,207 2,432 90.7% 0.24 0.00 0.00 2,160 0 2,160 4,367	0 0 12,987 13,764 — — 0.24 0.00 0.00 2,160 0 2,160 15,924 (2)事第	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
川市総合防災訓練」に、災害医療コーディネーター(2人)及び災害薬事コーディネーター(2人)が参加し、災害発生時における医療救護活動の統括・調整の訓練を行った。また、立川市医師会と委託契約を結び、緊急医療救護所の医薬品配備を進めた。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・(課題がある場合に)) 災害医療・災害薬事コーディネーにおける対応能力の向上を図るに課題・反省点)	事業費 (②人件費) ( ) 本 イ がでことがでことができ	源内訳 環 会 総 善・性 の き	地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) ③課題・反省点) ・ ウ:効率性 総合防災訓練に参	千円千円 千円	0 0 132 132 132 100.0% 0.14 0.00 0.00 1,260 0 1,392 立業	0 0 66 66 132 50.0% 0.14 0.00 0.00 1,260 0 1,326 す:その、大規模等	0 0 2,207 2,432 90.7% 0.24 0.00 0.00 2,160 0 4,367	0 0 12,987 13,764 — — 0.24 0.00 0.00 2,160 0 2,160 15,924 (2)事第	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
川市総合防災訓練」に、災害医療コーディネーター(2人)及び災害薬事コーディネーター(2人)が参加し、災害発生時における医療救護活動の統括・調整の訓練を行った。また、立川市医師会と委託契約を結び、緊急医療救護所の医薬品配備を進めた。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・(課題がある場合に)・ア:目的妥当性(事業の成果)災害疾事カーディネーターについては、立が、災害時において立川市の医:	事業費     ②人件費       一クン     一クン       一クン     一次で       一次で     一次で       一次で	源内訳 職 会 総 善 対 の 。 お の 。 お の 。 お の 。 お の 。 お の 。 お の 。 お の 。 お の 。 お の 。 お の 。 お の 。 お の 。 お の 。 お の 。 お の 。 お の 。 お の 。 お の 。 お の 。 お の 。 お の 。 お の 。 お の 。 と の と ろ の 。 と 。 と ろ と ろ と ろ と ろ と ろ と ろ と ろ と ろ と	地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) ③課題・反省点) ・ ウ: 効率性 総合防災訓練に参 なび立川市薬を行うに	千千千円 % 人 千千千千 かか 会は	0 0 132 132 130.0% 0.14 0.00 0.00 1,260 0 1,260 1,392 立き エ:公平性	0 0 66 66 132 50.0% 0.14 0.00 0.00 1,260 0 1,326 オ:その、大規模を	0 0 2,207 2,432 90.7% 0.24 0.00 0.00 2,160 0 2,160 4,367	0 0 12,987 13,764 — 0.24 0.00 0.00 2,160 0 2,160 15,924 (2)事第	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 - 000 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0
川市総合防災訓練」に、災害医療コーディネーター(2人)及び災害薬事コーディネーター(2人)が参加し、災害発生時における医療救護活動の統括・調整の訓練を行った。また、立川市医師会と委託契約を結び、緊急医療救護所の医薬品配備を進めた。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・(※課題の有無(課題がある場合に)) 災害医療・災害薬事コーディネーにおける対応能力の向上を図るに課題・反省点)コーディネーターについては、立	事業費     ②人件費       一クン     一クン       一クン     一次で       一次で     一次で       一次で	源内訳 職 会 総 善 対 の 。 お の 。 お の 。 お の 。 お の 。 お の 。 お の 。 お の 。 お の 。 お の 。 お の 。 お の 。 お の 。 お の 。 お の 。 お の 。 お の 。 お の 。 お の 。 お の 。 お の 。 お の 。 お の 。 お の 。 と の と ろ の 。 と 。 と ろ と ろ と ろ と ろ と ろ と ろ と ろ と ろ と	地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) ③課題・反省点) ・ ウ: 効率性 総合防災訓練に参 なび立川市薬を行うに	千千千円 % 人 千千千千 かか 会は	0 0 132 132 130.0% 0.14 0.00 0.00 1,260 0 1,260 1,392 立き エ:公平性	0 0 66 66 132 50.0% 0.14 0.00 0.00 1,260 0 1,326 オ:その、大規模を	0 0 2,207 2,432 90.7% 0.24 0.00 0.00 2,160 0 2,160 4,367	0 0 12,987 13,764 — 0.24 0.00 0.00 2,160 0 2,160 15,924 (2)事業 (2)事業	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 7 7 7 8 7 8
川市総合防災訓練」に、災害医療コーディネーター(2人)及び災害薬事コーディネーター(2人)が参加し、災害発生時における医療救護活動の統括・調整の訓練を行った。また、立川市医師会と委託契約を結び、緊急医療救護所の医薬品配備を進めた。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の表場合にで)で、事業の成果)災害医療・災害薬事コーディネーにおける対応に、対応能力の上を図る、は、選手では、災害時において立川市の医療・対、災害時においては、、近に対し、可能な限り継続してコーデを対し、可能な限り継続してコーデ	事業費     ②人件費       ②人件費     ・・イ       がで     医漢ク       上     がで       下     下       上     かで       上     上       上     かで       上     上       上     上       上     上       上     上       上     上       上     上       上     上       上     上       上     上       上     上       上     上       上     上       上     上       上     上       上     上       上     上       上     上       上     上       上     上       上     上       上     上       上     上       上     上       上     上       上     上       上     上       上     上       上     上       上     上       上     上       上     上       上     上       上     上       上     上       上     上       上     上       上     上	源内訳 職 会 総 善 効 市 た 会 の 務 の お り れ り れ り る り る り る り る り る り る り る り る	地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) ③課題・反省点) ・ ウ: 効率性 総合防災訓練に参 なび立川市薬を行うに	千千千円 % 人 千千千千 かか 会は	0 0 132 132 130.0% 0.14 0.00 0.00 1,260 0 1,260 1,392 立き エ:公平性	0 0 66 66 132 50.0% 0.14 0.00 0.00 1,260 0 1,326 オ:その、大規模を	0 0 2,207 2,432 90.7% 0.24 0.00 0.00 2,160 0 2,160 4,367	0 0 12,987 13,764 — 0.24 0.00 0.00 2,160 0 2,160 15,924 (2)事業 (2)事業	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 7 7 7 7 8 7 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9
川市総合防災訓練」に、災害医療コーディネーター(2人)及び災害薬事コーディネーター(2人)が参加し、災害発生時における医療救護活動の統括・調整の訓練を行った。また、立川市医師会と委託契約を結び、緊急医療救護所の医薬品配備を進めた。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・災害との有無(課題がある場合に)・ア:目的妥当性(事業の成果)災害医療・災害薬事コーディネーをは、対応能力の向上を図るが、災害時において立川市の医において立川市の医にため、可能な限り継続してコーデによいて立川市の医にため、可能な限り継続してコーディストの、可能な限り継続してコーディストの、可能な限り継続してコーディストの、可能な限り継続してコーディストの、可能な限り継続してコーディストの、可能な限り継続してコーディストの、可能な限り継続してコーディストの、可能な限り継続してコーディストの、可能な限り継続してコーディストの、可能な限り継続してコーディストの、可能な限り継続してコーディストの、可能な限り継続してコーディストの、第二、第二、第二、第二、第二、第二、第二、第二、第二、第二、第二、第二、第二、	事業費   ②人件費     で   で     みとが   市談中     本   がで     医護々     ・改     ・   ・     ・   ・     ・   ・     ・   ・     ・   ・     ・   ・     ・   ・     ・   ・     ・   ・     ・   ・     ・   ・     ・   ・     ・   ・     ・   ・     ・   ・     ・   ・     ・   ・     ・   ・     ・   ・     ・   ・     ・   ・     ・   ・     ・   ・     ・   ・     ・   ・     ・   ・     ・   ・     ・   ・     ・   ・     ・   ・     ・   ・     ・   ・     ・   ・     ・   ・     ・   ・     ・   ・     ・   ・     ・   ・     ・   ・     ・   ・     ・   ・     ・   ・     ・   ・     ・   ・     ・   ・     ・   ・     ・   ・<	The state of t	地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) ③課題・反省点) ・ ウ: 効率性 総合防災訓練に参 なび立川市薬行ういるが、お話・いただく必要	千千千円 % 人 千千千千 加 会はがあったが	0 0 132 132 130.0% 0.14 0.00 0.00 1,260 0 1,392 立き エ:公平性 ることによい た定の訓練・る。	0 0 66 66 132 50.0% 0.14 0.00 0.00 1,260 1,326 オ:その、大規模:	0 0 2,207 2,432 90.7% 0.24 0.00 0.00 2,160 4,367 3つた での他	0 0 12,987 13,764 — 0.24 0.00 0.00 2,160 0 2,160 15,924 (2)事第	の の の の の の の の の の の の の の	の の の の の の の の の の の の の の
川市総合防災訓練」に、災害医療コーディネーター(2人)及び災害薬事コーディネーター(2人)が参加し、災害発生時における医療救護活動の統括・調整の訓練を行った。また、立川市医師会と委託契約を結び、緊急医療救護所の医薬品配備を進めた。  2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②※課題の表場合にで)で、事業の成果)災害医療・災害薬事コーディネーにおける対応に、対応能力の上を図る、は、選手では、災害時において立川市の医療・対、災害時においては、、近に対し、可能な限り継続してコーデを対し、可能な限り継続してコーデ	***	源内訳	地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 予算額(B) 執行率(A)/(B) 数(正規   月給   時給) 正規職員分 十年度任用職員等 人件費計(C) 業費(A)+(C) ③課題・反省点) ・ 対・効率性 総合防災訓練に参 がび立川整を行ういる。 よび立川をだく必要 ・ ディ薬事業との ・ ディックを表	千千千千9人千千千千 加 会はが ぞ整	0 0 132 132 130.0% 0.14 0.00 0.00 1,260 0 1,260 1,392 立き ことにより ら推薦を受ったのように	0 0 66 66 132 50.0% 0.14 0.00 0.00 1,260 1,326 オ:その、大規模: か見直しを駆けて任命や経験等か	0 0 2,207 2,432 90.7% 0.24 0.00 0.00 2,160 4,367 0 0 2,160 4,367 0 0 2,160 4,367	0 0 12,987 13,764 - 0.24 0.00 0.00 2,160 0 2,160 15,924 (2)事業 原止・	の の の の の の の の の の の の の の	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1 1 1 1

令和 3 年度事後評価	令和 4	1 左	F度 事務	事業	マネシ	<b>ジメン</b>	トシー	<b>卜</b> 令和	11 4 年 6	6 月作成
事務事業名被災者の支援事業	É				所属部	市民生活	部	課長名	仲沢 克	之
政策名 環境・安全					所属課	防災課		係名	防災推進	係
施策名 防災・災害対策の	推進				予算科目	会計 1	款 9	項 1	目 5	事業 8
基本事業名 災害対策の推進			実旅	<b>形態</b> 選択可)	全部	<b>『委託</b>	一部委託	補助・		連携・協働
事業期間 単年度繰返		根拠	災害対策	基本法			及び17号		·	
平成元 年度~		去令等	<u>工川</u> 田火市			条例				
□ 市長公約 □ □   主要施策 □ 1 現状把握の部(1)事務事業		日的	<b>・</b>		と計画					
①事業概要	5対象	_		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
自然災害等により生じた被害を 受けた場合に、被災状況によ			要災した市民 要災した市民	人	23	2	22	0		
り、被災者にホテル、旅館の空 室手配をする。被災者に見舞金	1	-00/	XX0121112					-		
等を被災の状況により支給す	-									
る。災害に関しては、申請する 者へ罹災証明書を発行する。	ウ	_			1101左座	DO左连	DO左连	D.4 左连	DE C. E.	DC 左连
有 イ催火血の音で元刊する。	<b>⑥活動</b> :	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア宿泊加	<b>を設利</b>	川用件数	件	1	1	2	0		
火災等で住居に困窮している市 民が一時的にホテル等に宿泊	イ災害	見舞金	支給件数	件	5	0	2	0		
まること、また災害見舞金等の	ウ									
支給や罹災証明書の発行で生活の再建を支援する。	⑦成果:	指標		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア宿泊が		   用人数	人	<b>実績</b> 2	<b>実績</b> 1	<b>実績</b> 7	計画 0	計画	計画
災害による被害を最小限に抑え	イ宿泊			円	112,000	49,100	332,000	0		
る。市民や事業者、関係機関等と連携して防災体制が強化され				円	70,000	0	20,000	0		
る。	ファステン	心夕中立	之人们 亚钡	11						
	(2)事業	€の=	スト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
火災等の現況調査を行い、宿 泊先手配を2件行った。また、災		財源	都支出金	千円	0	0	0	0	0	
害見舞金の支給を2件行った。	1	内	地方債	千円	0	0	0	0	0	
災害時に迅速に被災者生活支援業務を遂行できるよう、システ	事業	訳	その他	千円	0		0	0		
ムを活用した被災者生活再建	費	-	一般財源 事業費計(A)	千円	2,971 2,971	2,819 2,819	3,114 3,114	2,871 2,871	0	0
支援訓練を研修形式で実施した。		=	₱未負責(A) 予算額(B)	千円	3,002	2,019	3,202	<u> </u>	— U	
7-0		幸	,并吸(B) 执行率(A)/(B)	%	99.0%	96.6%	97.3%	_	_	_
	2		数(正規   月給   時給)	人		0.47 0.00 0.00		0.25 0.10 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	人		正規職員分	千円	2,700	4,230	3,150	2,250	0	0
	件費		年度任用職員等		75	0	420	420	0	0
			人件費計(C)	千円	2,775	4,230	3,570	2,670	0	0
	(3)	総事	業費(A)+(C)	千円	5,746	7,049	6,684	5,541	0	0
(1)全体総括(①事業の成果・②	②改革•改	善.(	③課題・反省点)		✓ 改善	きや見直しを図	つた	(2)事業	の方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性	イ:有	効性	✓ ウ:効率性		エ:公平性	オ:そ	の他			スト
(事業の成果)(改革・改善)		>-l>			- 3: )!!!	PP 2 - 2 HP	nn , 4~ ) )	、	削減維	持 増加
火災により住む場所を失った市民 住宅の確保や生活の立て直しが								-	_	
活再建支援として住家被害認定										
訓練を行った。 (課題・反省点)								低		_
住家被害認定調査や罹災証明書 ル作成を行う。住家被害認定調査							き務マニュフ		木止の場合は	†記入不再)
(3)今後の事業の方向性(改革			<del>す兵</del> / プツ僧?	nt1ソ	/ · //・火い	女(める。		()光北。)	/・ユニヘンクの口じ	マロハイ・女)
引き続き、被災者に対する一時宿	言泊施設の	斡旋								
また、大規模災害時の被災者の生命の体制に関する意識付けを行	生活再建立	と援と	して住家被害認	定調金	生や罹災証	E明書発行	を速やかに	行うため、	職員への	災害時の
現在使用している被災者生活再						ナムレく、倣	.火有生活	<del>寸</del> 建又抜計	『旅ど歴紀	して11つ。

令和 3 年度事後評価	<u> </u>	1 4	. í	上皮	<u> </u>	事業	ミマネン	ノメン	トンー	<b>卜</b> 令	和 4 年 (	8 月作成
事務事業名立川駅周辺の帰宅	漢困ぎ	推者対	策事	業			所属部	市民生活	部	課長名	仲沢 克	さ
政策名 環境・安全							所属課	防災課		係名	地域防災	
施策名 防災・災害対策の	惟進						予算科目	会計 1	款 9	項 1	目 5	事業 _ 番号
基本事業名災害対策の推進						色形態 (選択可)	全部	『委託 ■	一部委託	補助・	助成	連携·協働
事業期間単年度繰返	6-1 rd-	7	拫拠		災害対策							
平成22 年度~ 市長公約 主要施策	年度		令等		立川市地	<b>      顿</b> 防     以	2計画					
1 現状把握の部(1)事務事業	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	要・見	目的	· 結集	<u>I</u> ₹·活動·成	果						
①事業概要	<b>(5)</b>	対象数	女の打	推移		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
災害時における立川駅周辺の 帰宅困難者対策を、交通機関、	ア	 市内想	東定帰	字凩	 難者	人	56,735	56,735	56,735	56,735		
防災機関、ライフライン機関、駅 周辺事業者などの参加による協	•				滞留者	人	17,239	-	17,239	17,239		
議会を立ち上げ、対策案を検討		1/1/	门可足	2亿亿	(作) 笛 (1)	八	17,239	17,239	17,239	17,239		
するとともに、その対策を実施していく。	ウ		_				山竹左南	D0 左连	DO左座	D4左连	DE C E	DC左连
CV 1/0	6)	舌動指	旨標			単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア	協議会	の開	催		口	3	1	1	1		
市や交通機関、駅前事業者などで体制を構築し、帰宅困難者	1	帰宅困	難者	対策	訓練の実施	口	1	1	1	1		
とで体制を構築し、帰毛困難有に対応できる状態とする。一時	ウ											
滞在施設の受け入れ可能人数 が、確保できる状態とする。		<b></b>	台標			単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア			f 記 ( /	月1日)	施設	<b>実績</b> 25	<b>実績</b> 24	<b>実績</b> 25	<u>計画</u> 26	計画	計画
災害による被害を最小限に抑え												
る。市民や事業者、関係機関等		受入可	] 肥人	(		人	9,373	9,373	9,473	9,573		
と連携して防災体制が強化される。	ウ											
	(2	)事業	の=	スト		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)	Γ			玉	庫支出金	千円	2,073	0	0	0	0	
立川駅前滞留者対策推進協議			財	者	你支出金	千円	0	0	0	0	0	0
会を書面開催した。帰宅困難者対策訓練を実施し、情報伝達に		1	源内		地方債	千円	0	0	0	0	0	0
関する課題解消のため、情報伝		事	訳		その他	千円		0	0	0	0	0
達に特化した訓練を行った。 帰宅困難者受入れについて、		業費			一般財源	千円	·	0	0	0	0	ŭ
民間施設と防災協定を締結し		~	Ę		費計(A)	千円	4,146	0	0	0	0	0
た。		-	÷:		額(B) E(A)/(B)	千円 %	4,657 89.0%	0	0		_	
	H				: (A)/(D) 			0.57 0.00 0.00	0.58 0.10 0.00	0.43 0.10 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
		2			<del>观 / / / / / / / / / / / / / / / / / / /</del>	千円	4,500	5,130	5,220	3,870	0	
		件			任用職員等		0	0	420	420	0	0
		費「	J	人件書	貴計(C)	千円	4,500	5,130	5,640	4,290	0	0
O =1/T O †		3 約	総事 :	業費	(A)+(C)	千円	8,646	5,130	5,640	4,290	0	0
2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②	2 次 5	直。改善	盖•(*	3) 課是	頁• 反省占)		✓ 改善	きや見直しを図	<b>図った</b>	(2)事業	美の方針	
※課題の有無 ア・日的平当性							エ:公平性		-の他	(=/ <del>-</del> / <del>-</del>		スト
(課題がある場合によ)(改革・改善)							- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				削減維	持増加
平成23年度に立川駅前滞留者対 滞留者に関する対応計画」を策算												С
施。平成28年度から実動訓練を行								うり目報は	重訓潔と天	成 維 井		
(課題・反省点) 新型コロナウイルス感染症拡大防	til-o	ため	会系	in 2 - 5	2年度け宝証	計訓練	お宝梅士	ず 情報伝	達訓練の			_
みを実施した。そのため、実動訓										下		
る。		¥ ;= ^	<b>&amp;</b> \							(廃止・	休止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革				レングル	. L.₹.1> +4r	大計画	が宝地県	のなるもの	アオスたみ	- N 宝 吐	近子ご回生	実施1で
市民、事業者等へ修正した対応にいる。一時滞在施設等確保のため												
の修正等を行っていく。												

令和 3 年度事後評価	<u>令和</u>	4 左	F度 事務	事業	マネシ	ジメン	トシー	<b>卜</b> 令	和 4 年	6 月作成
事務事業名 安全・安心のまち	づくり推進	事業			所属部	市民生活	·部	課長名	中島 弘	場
政策名 環境・安全					所属課	生活安全	:課	係名	生活安全	:係
施策名 生活安全の推進					予算科目	会計 1	款 2	項 1	目 14	事業 番号 1
基本事業名防犯の推進				<b>地形態</b>	全部	<b>『委託</b>	一部委託	<b>✓</b> 補助・	助成	連携•協働
事業期間 単年度繰返	左应	根拠	立川市生活	舌環境					<u> </u>	
	年度 <b>(</b> )	去令等		古塚丐	竞安全確保	:会議規則				
1 現状把握の部 (1)事務事業	_	目的	 ·結果·活動·成	果						
①事業概要 安全で安心して生活できるまち	⑤対象			単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
づくりを推進するため、関係機	ア市民	(1月1	 日現在)	人	184,090	184,577	185,124			
関等と連携して市の生活環境改善に関する施策を総合的に検	イ関係	機関・	関係団体の数	団体	9	9	9	9		
討するとともに、立川・国立防犯 協会と立川・国立暴力団追放協	ウ									
議会の活動を支援する。	<b>⑥活動</b>	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア生活数	環境安	全確保会議開催	回	<b>大</b> 順 0			1		可圖
関係機関等との連携・協働によりない。本に関係されている。	<b>イ</b>									
り生活環境改善を図り、市民が安全で安心して生活できるまち	ウ									
づくりを推進する。	⑦成果	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)			した生活が送れ る市民割合	%	88.2	90.0		ш	ш	ш
・体感治安の向上	1	D C I E I	0112(010							
・特殊詐欺等に対する危機意識の醸成	ウ									
	(a) ± 4	W-0			H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	(2)事	₹の=		単位	実績	実績	実績	計画	計画	計画
4个和3年度実績(事業活動)		B→	国庫支出金	千円	0	0	Ü	0	0	
・生活環境安全確保会議の開催 (権		財源	都支出金	千円	5,664	2,136		4,420	0	
•特殊詐欺対策	1	内	地方債	千円	0	0	0	0	0	, ,
・ポスターの作成・掲示・チラシや啓発用品の配布、自	事業	訳	その他	千円			_	_		
動通話録音機の設置等	十		一般財源	千円	1,433	· ·		5,862	0	
・立川・国立防犯協会及び立		특	事業費計(A)	千円	7,097	3,568		10,282	0	0
川・国立暴力団追放協議会の 活動支援			予算額(B)	千円	9,668	3,809			—	_
伯凱又饭			1.行率(A)/(B)	%	73.4%	93.7%		_		_
	2		数(正規   月給   時給)		0.35 0.05 0.00	0.35 0.05 0.00	0.40 0.05 0.00	0.40 0.05 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	人		正規職員分	千円	3,150	3,150	3,600	3,600	0	0
	件	会計	年度任用職員等	千円	175	210	210	210	0	0
	費		人件費計(C)	千円	3,325	3,360	3,810	3,810	0	0
	3	総事	業費(A)+(C)	千円	10,422	6,928	6,695	14,092	0	0
2 評価の部										
(1)全体総括(①事業の成果・②	2 改革•改	善(	)課題・反省点)		✓ 改善	きや見直しを図	図った	(2)事業	の方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性	【 イ: 有	効性	ウ:効率性		エ:公平性	オ:そ	の他	1		スト
(事業の成果)									削減 維	持増加
特殊詐欺対策について、立川警 ポスターや啓発物品の作成・配布			<b>た関係機関と</b> 連	直携し`	て市独自の	)キャラクタ	一を用いた			
(改革・改善)		-	± 1 >1. =0. = 1.	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		t. 1 - mile - 2 - 3	. 4	成 維 持	(	)
特殊詐欺被害防止の一環として、 YouTube立川市動画チャンネル							ョンや	未   持		_
7 11 234	-,,,,,,,		, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	, • –		,		下		

・引き続き、関係機関と連携・協力して生活環境改善に関する施策を総合的に検討するとともに、情報共有や連携・協力関係を強化していくことで市民生活の安全安心を推進する。

(廃止・休止の場合は記入不要)

・特殊詐欺被害を未然に防止するために、自動通話録音機の無償貸出、啓発映像放映やSDGsに配慮した啓発物品の配布など、効果的な対策について、警察や関係機関と連携して推進する。

令和 3 年度事後評価	令和 4	4 年度	事務	事業	マネシ	ジメン	トシー	<b>卜</b> 令和	和 4 年 (	6 月作成
事務事業名 地域の安全・安心	推進事業				所属部	市民生活	部		中島 弘隆	
政策名 環境・安全					所属課	生活安全	課	係名	生活安全	係
施策名 生活安全の推進					予算科目	会計 1	款 2	項 1	目 14	事業 3番号 3
基本事業名防犯の推進				形態	全部	『委託 』	一部委託	<b>✓</b> 補助・	助成 🗸	連携・協働
事業期間 単年度繰返 <sub>平成17</sub> 年度~	年度	根拠 法令等	立川市生活	舌環境			金交付要約	<b></b>		
市長公約   ○   主要施策   1 現状把握の部(1)事務事業	_	目的•結果	<u>.</u> ・活動・成	果						
①事業概要		数の推移		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
市内12地区で行われている「あいあいパトロール隊」の防犯活		(1月1日現在		人	184,090	184,577	185,124			
動、地域の防犯講習会等の活動を支援するとともに、青色防	立山	見守りメール		人	34,311	36,578		38,500		
犯パトロールやキッズパトロー	1 (3月) ウ	末時点)		八	54,511	30,576	30,239	30,300		
ル、立川見守りメール配信により 地域の犯罪抑止と防犯意識の		16 læ		*** / 1	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
向上を図る。	⑥活動   <sub>  青角</sub>	<b>指標</b> 防犯パトロー	小沙汗・新口	単位	実績	実績	実績	計画	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア数	かんにく、トロー	/ビロ判日	日	160	152	181	181		
市民や地域の防犯意識向上と安全で快適な生活環境づくりを	1あいる	あいパトロー	ル隊懇談会	口	1	1	1	1		
推進する。	ウ立川	見守りメール	配信件数	件	56	111	189			
	⑦成果			単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)		で安心した生 ると感じる市!		%	88.2	90.0	89.5			
<ul><li>・体感治安の向上</li><li>・市内刑法犯認知件数の減少</li></ul>	1 市内	刑法犯罪認	知件数(年)	件	1,682	1,243	1,055			
- 1月17月月1日20日前2月1十多人7月29	<b>ウ</b> 子どの件	らに関連した 数	防犯メール	件	9	11	16			
	1.2	業のコスト		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)		国	庫支出金	千円	0	0	0	0	0	(
・青色防犯パトロールの実施		財者	『支出金	千円	0	0	0	0	0	(
<ul><li>キッズパトロールの実施</li><li>あいあいパトロール隊の活動</li></ul>	1	I I∕I	地方債	千円	0	0	0	0	0	(
支援及び懇談会開催 ・ 落書き消し活動	事業	訳	その他	千円	0	0	0 100	0 100	0	(
<ul><li>自治会支部での防犯講習会</li></ul>	費		-般財源 	千円	1,566 1,566	1,835 1,835	2,130 2,130	2,408 2,408	0	(
・立川見守りメール配信(不審者・防犯情報)			額(B)	千円	1,737	2,104	2,475		_	_
			(A)/(B)	%	90.2%	87.2%	86.1%	_	_	_
	2		見   月給   時給)		0.50 0.05 0.00		0.70 0.05 0.00		0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.0
	人		哉員分 5 田聯号第	千円	4,500	5,850	6,300	6,300	0	(
	件費	ļ	壬用職員等 <u></u> と計(C)	十円	175 4,675	6,060	6,510	6,510	0	(
	(3)	<u>へ件す</u> 総事業費(		千円	6,241	7,895	8,640	8,918	0	(
2 評価の部						,	,			
(1)全体総括(①事業の成果・(			•			きや見直しを図 		(2)事業		21
※課題の有無 ア:目的妥当性 (課題がある場合にょ)	イ: 有	可効性	ウ:効率性	Ш	工:公平性	オ: そ	の他レ			スト 持 ┃ 増加
(事業の成果) 市民と行政が防犯意識の向上と				かって	それぞれの	の役割を果	:たすこと	向	11140	.,, -,,,,
で、体感治安の向上等、一定のでは、 (改革・改善)	効果をあげ	「ることがで	きた。					成 推		
あいあいパトロール隊の活動を広	「報たちか	わの1面で	取り上げたこ	ことで、	地域防犯	活動を周囲	印できた。	果 持 低		
(課題・反省点) 立川見守りメールについて、気象	2情報連携	ラシステムに	不具合が生	こじたか	ため、年度	途中で契約	的変更を	下		
行った。	+ ¬∟→	http://						(廃止・1	木止の場合に	は記入不要
(3) 今後の事業の方向性(改革・地域住民の防犯意識向上と地域			防沟洋動	に取り	組まる批批	団体へのず	7揺た継結	ナス		
・立川見守りメール配信を利用し	て防犯情								ル活動」を	継続する
ことで犯罪抑止効果の向上に努	める。									

令和 3 年度事後評価	令和	4	F度 事務	事業	マネシ	<b>ジメン</b>	トシー	<b>ト</b> 令	11 4 年 (	6 月作成
事務事業名立川駅周辺の安全	È·安心推	進事	業		所属部	市民生活	部	課長名	中島 弘隆	湯
政策名 環境・安全					所属課	生活安全	課	係名	生活安全	係
施策名 生活安全の推進					予算科目	会計 1	款 2	項 1	目 14	事業 2番号 2
基本事業名 立川駅周辺地域の	安全の向	上		形態	全部	<b>逐</b> 話 <b>•</b>	/ 一部委託	✔ 補助・	助成	連携・協働
事業期間 単年度繰返		根拠	立川市客引き	行為、匍			とい行為及び	ピンクちらしの	配布等の防止に	こ関する条例
平成17 年度~	<u>年度</u>	法令等	₹ 7川山田子(		安全確保 記刀環境改		業交付金交	· 什更細		
1 現状把握の部(1)事務事業	)	目的			心來先以	古他是于	未入门亚义	门女啊		
①事業概要	<ul><li>⑤対象</li></ul>			単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
立川駅南口地域安全ステーションを拠点とした立川駅周辺安										
全・安心まちづくり協議会による	广市氏	(1月1	日現在)	人	184,090	184,577	185,124			
環境改善の取り組みを支援し、	1									
指導員等を中心に市管理職、 警察、市民、事業者、地域団体	ウ									
等のパトロール活動により駅周 辺の環境浄化を図る。	<b>⑥活動</b>	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)			安全安心パト	日	341	343	344	345	可凹	
立川駅周辺の体感治安が改善	一方管	レ活動 理職職	1日 <u>数</u> 我員等パトロール	日	69	47	43	53		
され、市民や来街者が安全で安	<b>1</b> 活動	日数 事業者	そのパトロール活			47				
心して快適に過ごせる。	ウ動日	数		月	14	8	6	20	DE左连	DC左连
	⑦成果			単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア駅周	辺地域	が治安維持され ごる市民割合	%	71.7	78.0	77.7			
・体感治安の向上			で   が   く    お   連   数   の   の   の   の   の   の   の   の   の	件	1,036	777	705			
<ul><li>・条例禁止行為等迷惑行為の 減少</li></ul>	ウ									
	(2)事	業の=	コスト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
・指導員等の安全安心パトロール、市管理職職員・市民指導員		財源	都支出金	千円	0	0	0	0	0	
等のパトロール活動、関係団体	1	内	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
の合同パトロール、駅周辺迷惑 行為抑止の指導啓発活動を	事業	訳	その他	千円	0				_	
行った。	サール・サード	_	一般財源	千円	30,461	34,146	· ·	27,444	0	ŭ
・指導員による私服パトロールを行い、指導の効果を高めた。		-	事業費計(A)	千円	30,461	34,146	30,215	27,444	0	0
・立川駅周辺防犯カメラの維持		±:	予算額(B) 执行率(A)/(B)	千円 %	33,787 90.2%	35,252 96.9%	30,892 97.8%			
管理を行っている。			<b>数</b> (正規   月給   時給)				0.90 4.00 0.00		0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	<b>②</b> 人	_	正規職員分	千円	7,470	7,470	8,100	8,100	0	0
	件			千円	21,000	21,000	16,800	16,800	0	0
	費		人件費計(C)	千円	28,470	28,470	24,900	24,900	0	
	3		業費(A)+(C)	千円	58,931	62,616	55,115	52,344	0	0
2 評価の部					·	·	,			
(1)全体総括(①事業の成果・(	2 改革・改	₹善(	3課題・反省点)		✓ 改善	や見直しを図	引った	(2)事業	きの方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性	イ: 本	可効性	ウ:効率性		工:公平性	オ:そ	の他			スト ++   ###=
(事業の成果)	- み / / / / / / / / / / / / / / / / / /	目目 150		ななみご	古 <del> 佐</del> ]	さんたい。	口. 小江垂	向	削減 維	持 増加
立川駅周辺の体感治安向上のためを実施することができた。	_60、11以	、)判(济	(機)、地域凹件	守かり	里捞し、樅角	宛印パこノ ヽト	ロール伯男	'    上		
(改革•改善)	1 2 7 2 14 PM	- N/ =	<del>-</del>	<b>₹ 11</b> 2.10 ×	/ロッ ユ <del>ム</del> にょ	) = <del>(                                     </del>	_	成 維 果 持		
ウェアラブルカメラを活用し、客引地域団体との合同パトロールの際										
など、立川駅周辺地域の体感治							, <u>_</u> , .	下	(L. L. ~ II ^ )	153 7
								【 解止 • ′	<b>小ഥの場合に</b>	は記入不要)

- ・警察との相互協力を軸にすえながら、市、市民、事業者等との連携・協働により、立川駅周辺における安全・安心の取り組みを継続して推進する。
- ・令和5年度以降の立川駅周辺の安全・安心推進事業について、現状の課題等を整理したうえ、防犯カメラや安全安心パトロールの再構築を検討し、方向性を定める。

令和 3 年度事後評価	令和 4	1 年	度 事務	事業	ミマネシ	<b>ジメン</b>	トシー	ト <sub>令和</sub>	11 4 年 6	3 月作成
事務事業名 交通災害共済事業	ŧ				所属部	市民生活	部	課長名	中島 弘隆	易
政策名 環境・安全					所属課	生活安全	課	係名	生活安全	係
施策名 生活安全の推進					予算科目	会計 1	款 2	項 1	目 7	事業 1
基本事業名交通安全の推進				<b>地形態</b>		<b>『委託</b>	一部委託	補助・		連携・協働
事業期間 単年度繰返		根拠	東京都市町	订村县	尼交通災害					
昭和42 年度~	年度	去令等			子子子。 子子子。 子子子。 子子子。 子子子。 子子。 子子。 子子。 子子			141 V <del>1</del> 41	<del>वर्षः</del> श्रेल	
□ 市長公約 □ □   主要施策 □ □ □ 1 現状把握の部(1)事務事業	の概要・	日的•			尼交通災害	<b>开</b> 済加入≒	事務取扱部	「化金文仏	安綱	
①事業概要	5 対象			単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
東京都の全市町村が、その住 民を対象に共同で実施する公	ア市民			人	184,090	184,577	185,124			
的な交通災害共済制度で、加	-	(1/71)	→ 5/L111./	八	104,030	104,577	105,124			
入者が交通事故で受傷した場合、見舞金を支給し生活の安定	1									
化を図る。	ウ									
	⑥活動:	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア総加	人者数		人	32,565	31,829	30,459			
市民が、安価な金額で制度に	イ出張	受付回	数	口	8	14	11			
加入することにより安心して日々の生活を過ごし、万が一の交通	ウ									
事故に際して、生計の一助となる。	⑦成果:	上 指煙		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
③結果(どのような結果に結び付けるか)		<b>加入者</b>		人	<b>実績</b> 6,014	<b>実績</b> 5,666	<b>実績</b> 4,892	計画	計画	計画
交通災害共済加入者数の維	イ市費			人	26,554	26,163	25,567			
持•増加。	ウ総加			人	32,565	31,829	30,459			
					山の4左车	•		D.4 左连	DE左连	DC左车
	(2)事業	美のコ.	スト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円		0	0	0	0	0
·加入申込受付 ·加入促進		財源	都支出金	千円		0	0	0	0	0
・見舞金の支給	1	内	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
・休日・出張受付 ・公費加入事務の改善	事業	訳	その他  一般財源	千円		903 7,862	883 7,555	859 8,122	0	0
・特別加入者へのPR	費			千円		8,765	8,438	8,981	0	0
・インターネット受付による還付金対象者への対応			予算額(B)	千円	9,584	9,613	9,105	_	_	_
		執	.行率(A)/(B)	%	93.6%	91.2%	92.7%	_	_	_
	2		数(正規   月給   時給)		0.35 0.80 0.00		0.35 0.80 0.00		0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	人		E規職員分	千円		3,150	3,150	3,150	0	0
	件   費		年度任用職員等			3,360	3,360	3,360	0	0
			、件費計(C) <pre></pre>	千円 千円	5,950 14,919	6,510 15,275	6,510 14,948	6,510 15,491	0	0
2 評価の部		心于月	K貝(M)丁(U)		14,919	10,410	14,340	10,491	U	U
(1)全体総括(①事業の成果・②	②改革•改	善。③	課題•反省点)		✓ 改善	や見直しを図	つた	(2)事業	の方針	
※課題の有無 (課題がある場合によ)ア:目的妥当性	イ:有	効性	ウ:効率性		工:公平性	オ:そ	·の他 🔽		コン	
(事業の成果) ちょこっと共済の加入事務、見舞	会 支払い	主変え	滴正に行ることに	ァトハ	不慮のな	温車地に通	<b></b> あわた古	向	削減 維	持増加
民に対して規定された見舞金を支				ーみソ、	、口温の文	ᄺᆍᆙᄊᄯᆒ	<b>⊒ 4 ∨ 4 ∪ / ⊂     1</b>	上		
(改革・改善) 昨年度の出張受付実績を考慮し	、受付の同	可数及	び場所を見直す	ーことで	で事務負扣	の軽減を図	<b>すった。</b>	成 維果 持		
(課題・反省点)								低		
令和3年度加入分よりインターネケが増加している。	ツP安付か 	特人さ _	されい、てれいに関理 	≗ງ ໖≘ 	云質(V) 速气 	処理など(	ツ <del>事</del> 務貝担 	•	木止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革										
・本制度に関連して、令和2年4月・出張受付の回数見直しや、特別									少傾向にあ	る。
山派又刊の四剱元旦して、特別	1711/1、スプ	マルハ	<b>、</b> vノ <i>州</i> 木印がよ川ス	H/Y C	、刀口がださ	尹⁄历刈竿[]	uru <del>n</del> のの。			

令和 3 年度事後評価	令和 4	4 年度	事務	事業	マネシ	<b>ジメン</b>	トシー	<b>卜</b> 令和	10 4 年 6	6 月作成
事務事業名 交通安全対策支援	(交通安	全啓発活!	動)		所属部	まちづくり	部	課長名	大和田 智	智也
政策名 環境・安全					所属課	交通対策	課	係名	交通企画	係
施策名 生活安全の推進					予算科目	会計 1	款 2	項 1	目 7	事業 2 番号 2
基本事業名交通安全の推進				形態 選択可)	全部	『委託 <b>▶</b>	一部委託	補助・	助成	連携•協働
事業期間 単年度繰返 昭和46 年度~	年度 、	根拠	交通安全外第10次立员			画				
市長公約 主要施策 (	) )	去令等			··					
1 現状把握の部 (1)事務事業 ①事業概要			₹・活動・成							
① <b>争未恢安</b> 交通事故を減少させることを目	<b>⑤</b> 対象	数の推移		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
的に、交通安全に関わる個人や 団体と連携して交通安全に取り	ア市民			人	184,090	184,577	185,124			
組む。交通安全教室や講習会	<b>イ</b> 65歳	以上の市民	(4月1日)	人	44,712	45,254	45,536	45,748		
等を実施する団体等を支援するとともに、交通安全用品の購入・	ウ小学	校3年生(4)	月7日)	人	1,452	1,403	1,408	1,420		
配布を行い、交通安全を啓発する。	⑥活動	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア高齢	者講習会の	実施回数	回	19	0	0			
歩行者、運転者、家庭、職場、 学校、PTA、幼稚園等、並びに		車安全運転 実施校数	免許証交付	校	19	19	19	19		
地域等の個人及び団体の交通			対策審議会	口		2	2			
ルール遵守とマナー向上を図 る。	⑦成果	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)		者講習会参		人	840	0	0			
交通安全に対する意識啓発が 促進され、交通事故が減少す		での自転車 数(各年1~	交通事故発 12月)	件	290	198	244			
る。	ウ									
	(2)事美	業のコスト		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)		国	庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
·新入学児童用交通安全用品			『支出金	千円	0	0	0	0	0	0
配付(交通安全黄帽子、ランドセルカバー、啓発冊子)	1	源	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
•自転車安全運転免許証交付	事	訳	その他	千円	0	0	0	0	0	0
事業(小学校3年生対象) ・スケアードストレイト方式による	業費	_	-般財源	千円	4,136	3,995	3,689	4,417	0	0
自転車交通安全教育(中学生	負	事業費	貴計(A)	千円	4,136	3,995	3,689	4,417	0	0
対象)		予算	額(B)	千円	4,609	4,972	4,606	_	_	
・交通安全対策審議会開催(6 月に1回開催、7月に書面で1回		執行率	(A)/(B)	%	89.7%	80.3%	80.1%	_	_	_
開催)	2	職員数征	現 月給 時給)	人	0.50 0.00 0.00	0.40 0.00 0.00	0.45 0.00 0.00	0.45 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	Į	正規	職員分	千円	4,500	3,600	4,050	4,050	0	0
	件	会計年度	任用職員等	千円	0	0	0	0	0	0
	費	人件	貴計(C)	千円	4,500	3,600	4,050	4,050	0	0
	3	総事業費	(A)+(C)	千円	8,636	7,595	7,739	8,467	0	0
2 評価の部										
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 ファロ ロロマンサル			_			きや見直しを図 		(2)事業	美の方針 っっ	スト
※課題の有無 (課題がある場合にと) (事業の成果)広報紙やホームペー			ウ:効率性   改彩活動 <i>の</i>		エ:公平性					持 増加
識向上に取り組んだ。警察など関								向		
現場との連携による小中学生を対 対策審議会を開催し、第11次交通	力象とする	交通安全教	対育を実施し					L   成 維		
(改革・改善)TwitterやFun To Cy	cle!!展で	自転車の交	ご通安全に~					果 持		
(課題・反省点)交通事故件数は新	「型コロナ	ウイルス感	染症の影響	もあり	、コロナ前			低下		
故件数減少に向けたさらなる工夫 より、高齢者講習会等が実施でき									    休止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革				47431E	- >=1H ##*>	124 P. 14 VE. 3	- 10		2011	
交通事故減少に向け、関係機関	<ul><li>団体等と</li></ul>	連携した名								
全運転免許証交付事業についてナウイルス感染症の影響により、	は、改めて	て学校やP	ΓA等関係者	作に事	業の意義	や必要性、	役割につい	いて伝えてい	いく。また、	新型コロ
な媒体での情報発信に努める。	四十世りり	/	ロプロ 別か	大心	くさな! 物	ロで与ん、	/二 FK水八、八	, 4,1	/ \ I wille	1 守()()()

令和 3 年度事後評価	令和 4	4 年度	事務	事業	マネシ	ジメン	トシー	<b>ト</b> 令和	11 4 年 6	6 月作成
事務事業名 交通安全対策支援	爱(交通安:	全対策事	業補助金)		所属部	まちづくり	部	課長名	大和田 智	智也
政策名 環境・安全					所属課	交通対策	課	係名	交通企画	<del></del> 係
施策名 生活安全の推進					予算科目	会計 1	款 2	項 1	目 7	事業 番号 2
基本事業名 交通安全の推進				<b>地形態</b>	全部	<b>『委託</b>	一部委託	<b>✓</b> 補助・		連携・協働
事業期間 単年度繰返		根拠			全対策事業	補助金交付	寸要綱			
昭和62 年度~		去令等	<u> </u>							
<ul><li>市長公約   主要施策   1 現状把握の部(1)事務事業</li></ul>		日的•結	<u>┃</u> 果•活動•成:	果						
①事業概要		数の推移			H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
立川国立地区交通安全協会による交通安全教室や講習会等	ア交通			団体	1	1	1	1		
の開催、地域行事での交通整		人 王 伽 云		山件	1	1	1	1		
理、キャンペーンや市民のつど いでの啓発等の活動を支援す	1									
<b>්</b>	ウ									
	<b>⑥活動</b>	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア交通	安全市民の	つどい	回	1	0	0	1		
立川国立地区交通安全協会			全運動啓発	□	1	0	0	0		
が、交通ボランティアとして交通道徳の高揚を図り、交通事故を	772	ペーン 安全講習 <i>会</i>	<u> </u>	□	18	0	4	6		
未然に防止するための活動がし	⑦成果:		`	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
やすい環境を支援する。		<b>161示</b> 安全講習 <i>会</i>	<u> </u>	人	<b>実績</b> 736	<b>実績</b> 0	<b>実績</b> 89	計画	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか) 交通安全に対する意識啓発が			、 文発生件数							
促進され、交通事故が減少す	1 (各年			件	682	452	463			
る。	ウ									
	(2)事業	美のコスト		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)		国	庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
・各小学校の自転車教室での指導や、地域行事開催時の交通		財  :  源 <del>  -</del>	都支出金	千円	0	0	0	0	0	0
整理等の活動	1	内	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
・秋の交通安全運動時、駅前大型ビジョンを使用しての交通安	事業	訳	その他	千円			_			
全動画の放映等、周知啓発活	費		一般財源 費計(A)	千円	5,201 5,201	4,996 4,996	4,585 4,585	5,201 5,201	0	0
動			更可(A) 「額(B)	千円	5,201	5,201	5,201	<del></del>		_
			本(A)/(B)	%	100.0%	96.1%	88.2%	_	_	_
	2							0.20 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	人	正規	職員分	千円	1,800	1,800	1,800	1,800	0	0
	件		任用職員等		0	0	0	0	0	0
			費計(C)	千円	1,800	1,800	1,800	1,800	0	0
2 評価の部	3	総事業費	(A)+(C)	千円	7,001	6,796	6,385	7,001	0	0
(1)全体総括(1)事業の成果・(	2)改革•改	善(3)課	題•反省点)		レ改善	きや見直しを図	<b>国った</b>	(2)事業	<u></u> の方針	
※課題の有無 マロの双半性					工:公平性				ادر (۱۳	スト
(事業の成果)新型コロナウイルス	<del></del> 感染症の	影響により	- 、例年交通:	安全追	重動期間に	 実施する <sup>3</sup>	テャンペーン		削減維	持増加
や交通安全講習会は実施するこの配金等を行い、東民の交通等				゛ジョン	を活用した	た啓発活動	や、啓発品			
(改革・改善)各支部ごとに実施していた交通安全講習会を収容人数の多いアイムホールで開催したり 成権 (										
交通安全啓発動画を発信するなど、新たな取組を行い、市民の交通安全意識向上を図った。 (課題・反省点)交通事故件数は新型コロナウイルス感染症の影響もありコロナ前よりも減少しているが、										
件数減少に向けたさらなる工夫、	取り組みの	り継続と新	たな方法で	の周知	口啓発活動			下		
お、交通安全協会の支部によって	·		等が課題とな	いって	いる。			(廃止・	休止の場合に	は記入不要)
	(3) 今後の事業の方向性(改革・改善案等) 交通安全意識の高揚やマナーの向上には、事業を継続的に実施することが不可欠である。引き続き補助事業を継続する中で、交通									
安全協会が行う交通安全教室等	プロエには 、効果的な	、尹栗を約 c交通事は	w舵的に実施 女防止に向け	il g る た取	ことかかり り組みを支	人でめる。 援していく	ケIで舵さ佣 。	切 事 来 ど に	<b>止舵り</b> る円	じ、父进

令和 3 年度事後評価	令和 4	4 左	F度 事務	事業	マネシ	ジメン	トシー	<b>ト</b> 令	和 4 年 6	<u>6 月作成</u>
事務事業名 交通安全施設管理	運営				所属部	まちづくり	部	課長名	卯月 寿-	_
政策名 環境・安全					所属課	道路課		係名	施設係	
施策名 生活安全の推進					予算科目	会計 1	款 2	項 1	目 7	事業 4 番号 4
基本事業名交通安全の推進			(複数	<b>地形態</b>		『委託 ●	一部委託	補助・	助成	連携•協働
事業期間 単年度繰返 年度~	年度 ,	根拠	交通安全 <sup>2</sup> 道路法	付策基	本法					
	<sup>平度</sup> O	去令等	第10次立	市交	· 通安全計	画				
1 現状把握の部 (1)事務事業	美の概要・	目的	·結果·活動·成	果						
①事業概要 道路を利用する人や車等の安	<b>⑤</b> 対象	数の打	准移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
全・快適な交通環境の向上を図るため、交通安全施設の点検・	ア市道の	の利用	者	人	-	-	-	-		
補修等の維持管理を行う。	イ 市道	を利用	する車両	台	_	_	_	_		
	ゥ									
	⑥活動:	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア街路	 灯の管		基	12,145			13,148		
交通安全施設の点検・補修等			色の管理数	基	2,111	2,136		2,173		
の維持管理を行うことにより、機 能を維持し、人や車等の安全・	ウ	<u></u>	L*> B / L 3/	<b>Æ</b>	2,111	2,100	2,102	2,110		
快適な交通環境の向上を図る。	⑦成果	<b>指</b> 煙		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
② 红 田 / じゅ トラナが 田 にかける (サルフル)			通事故発生件数	件件	<b>実績</b> 682	<b>実績</b> 452	<b>実績</b> 490	計画	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか) 交通安全の推進を図り、市内の										
交通事故の発生を抑制する。		事奴則	7年度比	%	94.0	66.3	108.4	_		
	ウ									
	(2)事業	業の⊐	スト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
保守管理委託(エレベーター・エスカレーター)、道路反射鏡		財源	都支出金	千円	0	0	0	0	0	_
点検委託、街路灯·園内灯等	1	内	地方債	千円	0	0	0	0	0	
LED化事業委託、区画線等塗 装工事、交通安全施設維持補	事業	訳	その他	千円 千円	7 189,501			$\frac{10}{172,240}$	0	
修工事等	費	=	   	十円	189,508			172,250	0	
			予算額(B)	千円	188,023	183,704	181,090		_	_
			九行率(A)/(B)	%	100.8%	83.4%	95.0%	_	_	_
	2		数(正規   月給   時給)	_ ` `					0.00 0.00 0.00	_
	人   件		正規職員分 年度任用職員等	千円 千円	18,000	17,550 0	17,550 0	17,550	0	
	費		<u> </u>	千円	18,000	17,550	17,550	17,550	0	
	3		業費(A)+(C)	千円				189,800	0	
2 評価の部		* 6	) - m n =			=		(a) ± 4	4 o <del>1</del> Al	
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無						・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		(2)事第	美の方針 	スト
※課題の有無   ア:目的妥当性   (課題がある場合に)   (事業の成果) 交通安全の推進を					エ:公平性  <sup>又みた</sup>	オ:そ	·の他 <b>レ</b>			<u>ヘト</u> 持 増加
					-			向上		
(課題・反省点) 経年劣化による ている。また、街路灯、道路反射							唇が増加し	成 推 持		)
	,, ,,							果 <u> 持</u>  低		
								下		
(0) 人化 の末米の十九州 (2) 甘		<i>ŀ</i> -∤ \						(廃止・	休止の場合は	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革			であてなる独特等す	Ħみご <b>え</b>	可欠から	い一屋のさ	+   大が去み	こわており	コニキッチ	けに奴み
交通事故を未然に防ぐためには る。今後、増加している交通安全							当心かれる)	りれいくわり	、心迷な刃	心に劣め

事務事業名交通安全施設設置	<u>.</u>				所属部	まちづくり	部	課長名	卯月 寿-	_
政策名 環境・安全					所属課	道路課		係名	施設係	
施策名 生活安全の推進					予算科目	会計 1	款 2	項 1	目 7	事業 5
基本事業名交通安全の推進				地形態 (選択可)	全部	逐託 🕨	一部委託	補助・	助成	連携・協働
事業期間 単年度繰返		根拠	交通安全		本法					
平成18 年度~	年度 <b>つ</b>	法令等	生 退路法	ロセナ	き 通安全計	<del>कां</del>				
1 現状把握の部(1)事務事業	_	•目的			(囲女生計	<u> </u>				
①事業概要	<ul><li>⑤対象</li></ul>				H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
道路交通の安全を図るため、街 路灯や防護柵などを設置する。	ア市道			人				-		
また、都市劣化対応として、経										
年劣化の進んだ道路反射鏡の 設置替えを行う。		を利用	する車両	台	_	_	_	_		
	ウ									
	⑥活動	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア道路	反射鎖	<b>竟設置数</b>	基	5	7	16	9		
経年劣化の進んだ交通安全施	1 道路	反射錄		基	67	24	20	10		
設の設置替えや施設の充実に より、人や車等の安全・快適な	ウ防護	<b>排</b> 取表	 <b></b>	m	757	522	585	810		
交通環境の向上を図る。	7成果		1 291	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
@#+ B			- '\Z - <del>z</del> - \L . \. \. \. \. \. \. \. \. \. \. \. \. \		実績	実績	実績	計画	計画	計画
③結果(どのような結果に結び付けるか) 交通安全の推進を図り、市内の			至通事故発生件数	件	682	452	490	_		
交通事故の発生を抑制する。	•	事故前	前年度比	%	94.0	66.3	108.4	_		
	ウ									
	(2)事	業の=	コスト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	<del>文</del> 和東	<b>入</b> 特	<b>入</b> 特	0	0	0
道路反射鏡設置工事		財	都支出金	千円	17,234	12,436	109,073	3,400	0	0
防護柵等設置工事 立川駅南口駅前デッキエレベーター	1	源	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
改修工事(令和2·3債務負担)	事	訳	その他	千円	0	0	36,084	0	0	0
立川駅北口デッキエスカレーター設置 工事(令和2・3債務負担)	業費		一般財源	千円	7,564	97,211	26,485	28,836	0	0
可動式自家発電機購入	具	=	事業費計(A)	千円	24,798	109,647	171,642	32,236	0	0
		+	予算額(B)	千円	28,553	113,869	197,559	_	_	_
	_		丸行率(A)/(B) 	从	86.8%	96.3%	86.9%	1 60 0 00 0 00	0.00 0.00 0.00	0 00 0 00 0 00
	<b>②</b> 人		正規職員分	千円	15,300	14,400	14,400	14,400	0.00 0.00	0.00 0.00
	件		·年度任用職員等		0	0	0	0	0	0
	費		人件費計(C)	千円	15,300	14,400	14,400	14,400	0	0
	(3	総事	業費(A)+(C)	千円	40,098	124,047	186,042	46,636	0	0
2 評価の部		<b>L</b> ≠ <i>(</i>	<b>3-885 にかり</b>			: L = + .	a 4	1/0/車型	*~+	
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 ファーロ の 3 3 3 3 3 4 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1						や見直しを図		(2)事录	美の方針 コス	7 L
**   **   **   **   **   **   **   *										
(改革・改善) 都市軸(サンサンロ	ード)へ	妾続す	る立川駅北口デ	ッキへ	のエスカレ					
い、街の回遊性・利便性の向上を 修工事を行い、交通環境の向上を			老朽化した立川県	訳南口	1駅前広場	デッキエレ	ベーター改			
(課題・反省点) 街路灯・道路反射鏡・その他交通安全施設の新設及び充実により管理費が増加してい   果 持										
る。	低									
					(廃止・	木止の場合に	は記入不要)			
(3)今後の事業の方向性(改革・改善案等)										

令和 4 年度 事務事業マネジメントシート 令和 4 年 6 月作成

令和 3 年度事後評価

道路反射鏡・防護柵等の経年劣化が進んでいることから、今後も計画的な設置替えを進める。また、街路灯についてはESCO事業導入で市内全域のLED化を進め、令和2年7月末に整備完了している。経年劣化したエレベーター、エスカレーターについては、改修計

画を立てると共に改修工事の財源確保が必要となる。

令和 3 年度事後評価	令和 4	4 年	度 事務	事業	マネシ	<b>ジメン</b>	トシー	<b>卜</b> 令	和 4 年 (	6 月作成
事務事業名 消費生活講座事業						市民生活			中島 弘隆	湯
政策名 環境・安全					所属課	生活安全	課	係名	消費生活	センター係
施策名 生活安全の推進					予算科目	会計 1	款 7	項 1	目 3	事業 2 番号 2
基本事業名消費者行政の推進				地形態 (選択可)	全部	『委託 🔽	一部委託	補助・	助成	連携·協働
事業期間 単年度繰返 平成4年度~	年度 ,	根拠	消費者基準	本法	<b>上</b>					
市長公約 主要施策	o ;	去令等	立川市消	費者問	_ ::	師派遣事刻	<b>美実施要綱</b>	j		
1 現状把握の部 (1)事務事業	€の概要・	目的・	結果·活動·成	果						
① <b>事業概要</b> 消費者団体企画講座、食育講	⑤対象	数の推	移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
座、畑の見学会を消費者団体と協働で実施する。また、地域団体の要望に応じて、消費生活相	ア消費イ	者(市民	)(1月1日現在)	人	184,090	184,577	185,124			
談事例集の配布や、消費生活	ゥ									
相談員を講師として派遣(出前講座)するなど、自立した消費者		T		× / /	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
を育成する。	⑥活動	指標		単位	実績	実績	実績	計画	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア講座	参加人	数	人	568	246	269			
講師派遣を含む各種講座を開催し、情報や知識を得る機会を 提供することにより、消費行動に	イウ									
対する意識を高め、賢い消費者を育む。	⑦成果	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア講座	実施回		回	26		20			
賢い消費行動ができるように意 識や視野を広げ、消費生活に	イ 講座	参加人	数	人	568	246	269			
関する正しい知識の取得や消	ウ									
費者被害を防止するための意 識啓発が図れる。		<b>.</b>			H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
一 元 / 一 四 / 0 / 0 / 0 / 0 / 0 / 0 / 0 / 0 / 0 /	(2)事	美のコン	<b>X</b> F	単位	実績	実績	実績	計画	計画	計画
④令和3年度実績(事業活動)			国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
登録団体共催講座及び出前講 座の実施。		財源	都支出金	千円	7	0	7	43	0	_
)	1	内	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	事業	訳	その他  一般財源	千円		132	122	$\frac{0}{324}$	0	0
	費	事	 業費計(A)	千円	320	132	122	367	0	0
			<u> </u>	千円	549	521	474	_	_	_
		執	行率(A)/(B)	%	58.3%	25.3%	27.2%	_	_	_
	2	職員数	<b>汝</b> (正規 月給 時給)	人	0.45 0.20 0.00	0.45 0.30 0.00	0.45 0.50 0.00	0.45 0.50 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	人	I	規職員分	千円	4,050	4,050	4,050	4,050	0	0
	件   費		F度任用職員等		700	1,260	2,100	2,100	0	0
			.件費計(C)	千円	4,750	5,310	6,150	6,150	0	0
2 評価の部	(3)	総事業	養(A)+(C)	千円	5,070	5,442	6,279	6,517	0	0
(1)全体総括(①事業の成果・②	2)改革•改	善.③	課題•反省点)		改善	きや見直しを図	つた	(2)事業	きの方針	
※課題の有無 ア・日的平当性		_	・ ウ:効率性		工:公平性					スト
(課題がある場合によ) (事業の成果)									削減維	持増加
消費者団体が企画した講座の開える場を提供することができた。						まさまさり	な問題を考			
(課題・反省点)					-			成 集 持	(	
消費者団体企画講座、食育講座る畑の見学会については、コロナ										
なった。コロナ禍における開催方				10100	ン <b>、</b> //い <i>分</i> ・ロ /	<i>~~</i> ~~~~	E ) SCC	下		
(0) 人从 0 末米 0 土土 11 (二 艹	· =L <del>**</del>	/e/e \						(廃止・	休止の場合に	は記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革 「消費者教育推進法」による消費			「ての池弗上江	·+> //	マーレ 沙井	男型数字の	切いチベキ	ス治弗尹	ヨ休しの油	進かしい
深め、自ら考え行動する消費者の				レンク	· C、旧复	1日4以月の	iev 🛨 Ca	がけぼ石	ヨからひ進	コガムみり

令和 3 年度事後評価	令和	1 4	4 左	F度 事務	多事業	マネシ	ジメン	トシー	<b>卜</b> 令	和 4 年 (	3 月作成
事務事業名消費者団体活動式	支援事	業				所属部	市民生活	部	課長名	中島 弘隆	湯
政策名 環境・安全						所属課	生活安全	課	係名	消費生活	センター係
施策名 生活安全の推進						予算科目	会計 1	款 7	項 1	目 3	事業 3番号 3
基本事業名消費者行政の推進					実施形態	全部	<b>多託</b>	一部委託	補助・	助成 🗸	連携•協働
事業期間 単年度繰返 平成13 年度~	年度		根拠	消費者	基本法	ヤンター条係	列及び施行規	見町 女川市	i女性総合†	アンター団体	<b>登録要綱</b>
	O	7.	去令等	<b>F</b>			補助金交付				
1 現状把握の部(1)事務事業	集の根	要・	目的	·結果·活動·	成果						
①事業概要 消費者団体を中心とした実行委	<b>(5)</b>	対象	数の	推移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
員会との協働で「くらしフェスタ	ア	登録[	 団体数	 女	団体	14	12	12			
立川」を開催し、消費者団体の 活動発表の場の確保及び支援	1										
を行うとともに、自ら考え行動す											
る消費者を育成する。	ウ					1104 左京	D0/T #	D0 /= #=	D.1 5 5	DE #	B0/E E
	6)	舌動:	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)		参加[ 川)	引体数	女(くらしフェスタ	立団体	13					
団体活動を支援することにより、		くらし		タ立川実行委員	同	11	10	11			
団体の活性化を図り、また、市		会開 立川i	崔数	骨者団体連絡会	完						
民に向けた多様な消費生活に 関する啓発活動を推進する。	.)	例会	開催数	X	Ш	12	12	12	R4年度	DE左曲	DC F E
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	<b>7</b>	<b></b> 求果:	指標		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
3結果(どのような結果に結び付けるか)	ア	くらし	フェス	タ立川来場者数	数 人	2,855	中止	中止			
消費者団体が活性化すること	1										
で、消費者の消費生活に関する 正しい知識の取得や、消費者被											
ECV 知識の取得や、消費有板 害を防止するための意識啓発	ウ										
が図れる。	(2)	)事ӭ	€の=	コスト	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
④令和3年度実績(事業活動)	1 1			国庫支出金	金千円	0	0	0	0	0	(
「第20回くらしフェスタ立川」実	1		財	都支出金	千円	1,138	1,108	0	0	0	(
行委員会の運営、立川市消費 者団体連絡会定例会開催。	ш	1	源内	地方債	千円	0	0	0	0	0	(
	ш	事	訳	その他	千円	0	0	0	0	0	(
※新型コロナウイルス感染症拡 大防止により、「第20回くらし	ш	業費		一般財源	千円	1,209	573	480	1,249	0	(
フェスタ立川」の開催を中止とし	ш	貝	-	事業費計(A)	千円	2,347	1,681	480	1,249	0	(
た。	ш			予算額(B)	千円	2,391	2,413	1,247			
	l			丸行率(A)/(B)	%	98.2%	69.7%	38.5%			
		2		数(正規   月給   時  正担   時 昌   4	7.1007		0.80 0.10 0.00				0.00 0.00 0.0
		人件		正規職員分 ·年度任用職員	年 4 年	5,850	7,200 420	6,300 1,260	6,300 1,260	0	(
		費		一段任用職員 人件費計(C)	千円 千円	5,850	7,620	7,560	7,560	0	(
		(3):		<u> </u>	_	8,197	9,301	8,040	8,809	0	(
2 評価の部	. L		17U - J- 1	~~~ (/ (/ (U	/ III		0,001	0,010			
(1)全体総括(①事業の成果・(	2改章	直∙改	善(	3課題•反省;	点)	改善	きや見直しを図	引った	(2)事業	美の方針	
※課題の有無 ア:目的妥当性		イ:有	効性	✓ ウ:効率	性	エ:公平性	オ:そ	の他			スト 
事業の成果)	1 0 0	5 <del>**</del> **	- mil	1.J. /.) a of	· / /	1.17+.1.1 > 1	- 10	7/21	向	削減 維	持 増加
消費者団体の活動支援はできた スタ立川」の開催を中止としたたる								凹くりレンエ	上		
(課題・反省点)							-		成 維 果 持		
コロナ禍で活動自体ができない消 ための継続的な支援及び各団体						実に必要7	よ団体の自	立と育成の	)     禾  <u>  持</u>   低		
	٧),	/1/1/ <b>9</b> L	, v H / <b>\</b>	- 1FV=W HVV	~ W/ Wo				下		
(a) A (// a + all a - l - l - l - l - l - l - l - l -	+	¥6	lele \						(廃止・	休止の場合に	は記入不要
(3)今後の事業の方向性(改革				2 1 1 4 4 4 4 5 1 4 5 5 1 4 5 5 1 4 5 5 5 6 5 6 5 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	ハーゴュ	4-1.E					
・消費者団体が自立し、消費者行 ・「くらしフェスタ立川」を消費生活							人、より良い	ものとしてい	\\\\_\c_0		
		,,, 0 1	_, +1	,		_,, ,,	, = - > - < -	,	••		

令和 3 年度事後評価	令和 ∠	<u> 4 年度</u>	事務事	業	マネシ	<b>ジメン</b>	トシー	ト <sub>令利</sub>	和 4 年 6	<u>月作成</u>
事務事業名リサイクル活動支援	<del></del> 爰事業			_	所属部	市民生活	部	課長名	中島 弘陽	易
政策名 環境・安全					所属課	生活安全	<del></del> 課	係名	消費生活す	アンター係
施策名 生活安全の推進					予算科目	会計 1	款 7	項 1	目 3	事業 番号 4
基本事業名消費者行政の推進			実施界		全部	<b>『委託</b>	一部委託	補助・	助成・	連携•協働
事業期間 単年度繰返		根拠	消費者基本	法	15 1±±0.77					
平成3 年度~		去令等	立川市不用	品交	換情報運	営要綱				
1 現状把握の部 (1)事務事業	•	目的·結果	· · 活動 · 成果	₽						
①事業概要 隔月におもちゃの病院を開催		数の推移			H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
し、壊れたおもちゃの修理を行	ア消費	者(市民)(1月	月1日現在)	人	184,090	184,577	185,124			
う。また、家庭等で不用となった 再利用できる物品を不用品交換	1			$\dashv$						
情報として、ホームページや掲	ウ			-			-			
示板で情報提供する。		+15.4元	E	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	⑥活動技			半江	実績	実績	実績	計画	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか)	ア不用と	品交換情報		件	16	10	4			
不用品交換情報やおもちゃを 修理し再利用することにより、物	イおもち	らやの病院		口	6	4	6	6		
を大切にする意識の高揚を図	ウ			1						
る。	⑦成果	指標	当	単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア成立化	件数(不用品	交換情報)	件	4	0	0			
不用品交換情報やおもちゃの 病院の開催を通して、環境配慮	イ修理体	件数(おもちゃ	ゃの病院)	件	183	143	150			
病院の開催を通して、環境配慮 への意識啓発ができる。	ウ									
	(の)車ぎ	——— 業のコスト		· * /	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	(乙/尹オ   			単位	実績	実績	実績	計画	計画	計画
④令和3年度実績(事業活動) •不用品交換情報				千円	0	0	0	0	0	0
申し込み4件、成立0件		源		千円 千円	0	0	0	0	0	0
・不用品交換情報運営要綱を 廃止	事	M ├──		千円	0		0	0	Ů	0
・おもちゃの病院の開催(4月・6	業	I II' \		千円	101	54	84	111	0	0
月・8月・10月・12月・2月) 受付件数 150件	費	事業費	불計(A) ㅋ	千円	101	54	84	111	0	0
			* '	千円	138	138	120	_	_	_
			V: 77 V=7	%	73.2%	39.1%	70.0%	_	_	_
	2			人 千円	0.15 0.40 0.00 1,350	1,800	3,600	3,600	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00
	人	会計年度任		千円	1,400	2,100	420	420	0	0
	費			千円	2,750	3,900	4,020	4,020	0	0
	3	総事業費(		千円	2,851	3,954	4,104	4,131	0	0
2 評価の部		<b>→</b>			17. *	*** = + , + =		1/2/車型	- A-AL	
(1)全体総括(①事業の成果・② ※課題の有無 ファーロ の 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3			_			・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		(2)事業	<b>ミの万針</b> コス	7 L
※課題の有無 ア:目的妥当性   (課題がある場合によ)   (事業の成果)	1:相	対性 🗸	ウ:効学性		エ:公平性	オ:そ	の他	4	削減 維持	
消費者が環境に配慮した行動を	するための	)意識啓発;	ができた。					向上		
(改革・改善)  情報化社会が著しく発展し、個人	間での取	引等が容易	<b></b>	スニと	を踏まえ、	近年、申し	込みと成立	<u>上</u> 成 維 果 持		
数の激減が続いていることから、								果摂低		
(課題・反省点) おもちゃ病院に出席したドクター	が極端に	少ない月が	あり、受付数	を減	らし対応し	たこともある	ることから、	下		
継続的に実施できるようドクターの	の人員の確	<b>雀保と後継</b> 者						(廃止・	木止の場合は	‡記入不要)
(3)今後の事業の方向性(改革			- 144 % Form of	,	· 0 > \ \	- ~ <del>**</del> ! <del>~</del> !!.	· ~ m - /-		*4-2 × 886	· ( - 11 - 12 - 12 - 12 - 12 - 12 - 12 -
より充実した事業とするため、ごみ受付が殺到することもあるため、気										
a.	п. В ими. —	3-114 I	2°7 194 - 12.	ζн, .	\ \/\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	11/10:14	000,000	1111/2/10/-	115 / ~	O IX H J /

令和 3 年度事後評価	令和	4 4	年度 事務	事業	マネシ	ジメン	トシー	<b>卜</b> 令	和 4 年 6	6 月作成
事務事業名消費生活相談事業	É				所属部	市民生活	部	課長名	中島 弘隆	湯
政策名 環境・安全					所属課	生活安全	課	係名	消費生活	センター係
施策名 生活安全の推進					予算科目	会計 1	款 7	項 1	目 3	事業 番号 5
基本事業名消費者行政の推進			(複数	地形態 選択可)	全部	『委託 🗸	一部委託	補助・	助成	連携•協働
事業期間 単年度繰返	tr tr	根拠	消費者基本							
	年度 <b>O</b>	法令	<b>生</b> 相質有女子		問題啓発講	師派遣事業	*実施要細	1		
1 現状把握の部 (1)事務事業		・目的			1/C I / UII/	PARAMET 1	K J C J C J C J C J C J C J C J C J C J			
①事業概要 事業者との間で生じた契約トラ	⑤対1	象数の	推移	単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
ブル等の相談に応じ、問題解決	ア消	費者(市	民)(1月1日現在)	人	184,090	184,577	185,124			
のための情報提供や助言、あっせん、必要に応じ専門家へつな	1									
げる。相談事例集の作成・配布 や、相談員による講師派遣(出	ウ									
前講座)を実施する。相談員の		助指標		単位	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
研修機会を確保する。					実績	実績	実績	計画	計画	計画
②目的(対象をどのような状態にしたいのか) 消費生活相談により消費者被			目談件数	件	1,539	1,576	1,361			
害の回復や、消費者被害を防			<b>講師派遣</b>	口	9	4	5			
止するための意識啓発を行う。 消費生活相談員のさらなる資質	ウ研	多参加。	人数(延べ)	人	229	127	78			
向上、相談体制の充実を図る。	⑦成!	<b>具指標</b>		単位	H31年度 実績	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画
③結果(どのような結果に結び付けるか)	ア相語	炎解決例	牛数	件	1,454	1,477	1,283			
消費者被害の未然・拡大防止 及び被害回復を図ることで、安	イ消	貴生活村	泪談解決率	%	94.5	93.7	94.3			
全で安心できる市民生活の実	ウ消	<b>貴生活</b> 村	目談あっせん率	%	11.1	11.2	10.1			
現を図る。	(O) #	<b>**</b> の-	-7l	*** / 1	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	(2)事	業の:		単位	実績	実績	実績	計画	計画	計画
④令和3年度実績(事業活動)		財	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
消費生活相談及び啓発講座講師派遣を実施した。		源	都支出金 地方債	千円	1,436	1,056	0	34	0	0
事例集2,000部発行・配布、「くらしの豆知識」配布、広報たち			その他	千円	, ,	0	0	0	_	
かわへ年4回「消費者の目」を掲	業		一般財源	千円		559	544	581	0	0
載、消費生活相談員の研修参加(国民生活センター4回、東京	費		事業費計(A)	千円	1,839	1,615	544	615	0	0
都消費生活総合センターWeb 参加16回)。			予算額(B)	千円	1,881	1,634	545	_	_	_
<i>≫</i> //µ10円/₀			執行率(A)/(B)	从	97.8%	98.8%	99.8%	0.00 2.00 0.00	0.00 0.00 0.00	
	② 人	)	数 <sup>征規   月給   時給)</sup> 正規職員分	イガ	3,510	6,300	5,400	5,400		0.00 0.00 0.00
	召	会計	上次1%兵力     年度任用職員等		9,450	17,220	15,960	15,960		0
	費	·	人件費計(C)	千円	12,960	23,520	21,360	21,360		0
T/T - +D	(	3総事	業費(A)+(C)	千円	14,799	25,135	21,904	21,975	0	0
2 評価の部 (1)全体総括(①事業の成果・②	つみ 苦。	小美.(	②钾顆. 反火占)		一一一一	₩の見直しを図	10t-	(2) 重業	美の方針	
※課題の有無 ア・日的妥当性			○味趣・及有点)		エ: 公平性			(4)#7		スト
(課題がある場合によ) (事業の成果)		17%) I	, <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>					1,		持増加
消費生活相談により、消費者被害(課題・反省点)	<b>手の未然</b>	防止と	解決に向けた支持	援がて	<b>ごきた。</b>			一 上		
消費者(市民)の権利保護と被害						更であるが、	コロナ禍に	成維		
より原則電話相談に切り替えたこ	とによっ	て、来	<b>听者の対応に苦</b> 属	意した	0			果 <u>持</u>   低		
								下		よき コープ 亜ヾ
(3)今後の事業の方向性(改革	***	玄笑)						(廃止・	休止の場合は	よ配八个岁)
悪質・巧妙で複雑多様化した消費			ーーーー 字が増加しており、	令和	2年度より村	目談員を増	員し体制を	を強化してい	いる。コロナ	一禍である
が社会情勢を鑑みながら、予約制 啓発を強化する。庁内関係部署、	訓の来所	相談を	後活し充実してい	いく。シ	肖費生活相	談の掘り走				
古元で知りる。月内関係部者、	、ぼ怵慨	因守乙	足別し、旧貫生品	コピン	/· · · · · J/G	·1) (11/0				